

**浦添市子ども・子育て支援事業計画基礎調査
報告書**

**平成 25 年 3 月
浦添市 福祉部**

目 次

I	浦添市の子育てをめぐる現状	
1.	人口等の推移	1
2.	勤労等の状況	4
3.	子育て支援の現状	7
II	子ども・子育てに関するニーズ調査結果	
1.	調査の概要	33
2.	就学前児童アンケート調査の結果	34
3.	就学児童アンケート調査の結果	91

I. 浦添市の子育てをめぐる現状

1. 人口等の推移

(1) 総人口及び児童人口等

平成 25 年 3 月末の住民基本台帳における浦添市の総人口は、113,752 人となっている。平成 21 年からの推移を見ると増加の傾向にあり、平成 21 年と比較すると 3,467 人の増加となっている。また、18 歳未満の児童人口は 25,940 人となっており、総人口の 2 割強 (22.8%) となっている。

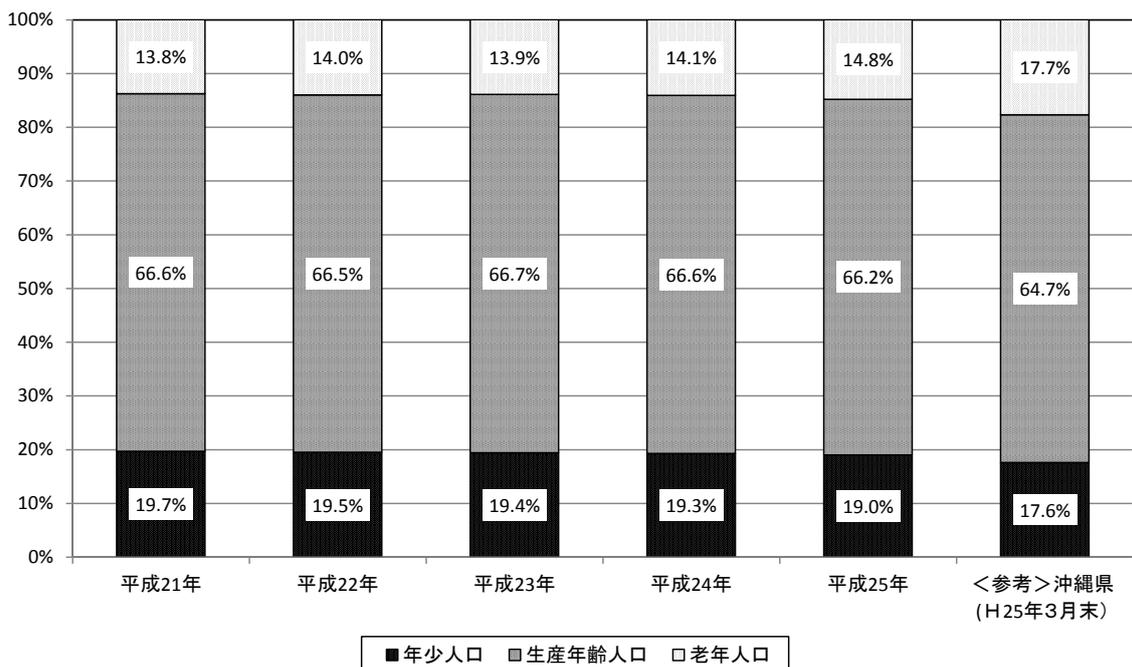
さらに、年齢 3 階層別人口をみると、年少人口 (0~14 歳) が 21,652 人 (19.0%)、生産年齢人口 (15~64 歳) が 75,290 人 (66.2%)、老年人口 (65 歳以上) が 16,810 人 (14.8%) となっている。平成 21 年からの推移を見ると、年少人口及び生産年齢人口が占める割合は減少傾向にある一方で、老年人口の割合が増加しており、浦添市においても少子・高齢化が進んでいる状況がうかがえる。沖縄県と比較をすると、年少人口及び生産年齢人口の占める割合が高く、比較的若い世代が多いことがわかる。

◇総人口及び児童人口、年齢 3 階層人口

各年 3 月末、単位：人、%

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総人口	実数	110,285	110,894	111,463	112,413	113,752
	増加率	—	0.6%	0.5%	0.9%	1.2%
年少人口 (0~14歳)	実数 構成比 (%)	21,678 19.7%	21,673 19.5%	21,601 19.4%	21,691 19.3%	21,652 19.0%
	増加率	—	0.0%	-0.3%	0.4%	-0.2%
生産年齢人口 (15~64歳)	実数 構成比 (%)	73,440 66.6%	73,695 66.5%	74,384 66.7%	74,876 66.6%	75,290 66.2%
	増加率	—	0.3%	0.9%	0.7%	0.6%
老年人口 (65歳以上)	実数 構成比 (%)	15,167 13.8%	15,526 14.0%	15,478 13.9%	15,846 14.1%	16,810 14.8%
	増加率	—	2.4%	-0.3%	2.4%	6.1%
児童人口 (18歳未満) (再掲)	実数 構成比 (%)	25,886 23.5%	25,916 23.4%	25,836 23.2%	25,912 23.1%	25,940 22.8%
	増加率	—	0.1%	-0.3%	0.3%	0.1%

児童人口は浦添市統計資料



(2) 出生の動向

① 出生数について

浦添市の平成 23 年の出生数は 1,541 人となっており、平成 19 年からの推移を見ると、増減を繰り返しながらも増加傾向にある。平成 23 年の合計特殊出生率は 1.865 と沖縄県より高く、沖縄本島 9 市の中では 4 番目に高い。

◇ 出生数及び合計特殊出生率

単位：人

	沖縄県	那覇市	宜野湾市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	南城市
平成19年	16,588	3,399	1,218	1,487	749	703	1,788	791	1,357	381
平成20年	16,736	3,466	1,165	1,534	744	690	1,794	843	1,355	324
平成21年	16,744	3,362	1,275	1,535	730	733	1,759	849	1,363	365
平成22年	17,098	3,625	1,278	1,509	765	733	1,704	869	1,404	356
平成23年	16,918	3,386	1,312	1,541	758	723	1,692	834	1,326	363
合計特殊出生率	1.817	1.670	1.826	1.865	1.906	1.888	1.821	2.046	1.864	1.588

資料：衛生統計年報

※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女子の年齢別出生数の合計

※合計特殊出生率に用いた分母：住民基本台帳（平成23年）の5歳階級別女性人口

※出生数：衛生統計年報

② 年齢別出生数

母の年齢別出生数をみると、平成7年～12年にかけては「25～29歳」の出生数が最も多いが、平成17～22年では「30～34歳」の出生数が最も多く、それ以上の年齢の出生数も増えてきており、子を産む母の年齢が高くなっている状況がうかがえる。

◇ 母の年齢別出生数

単位：人

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
15～19歳	30	49	22	21
20～24歳	275	276	211	160
25～29歳	596	568	452	448
30～34歳	533	512	549	492
35～39歳	196	204	213	319
40～44歳	38	32	43	66
45～49歳	1	2	2	3
合計	1,669	1,643	1,492	1,509

資料：衛生統計年報

(3) 婚姻の動向

浦添市における平成22年の婚姻数は777件、婚姻率は7.04%となっている。平成7年以降の婚姻数の推移をみると、平成7年から12年にかけて増加しているが、その後、減少に転じている。婚姻率についても減少しており、平成7年と平成22年を比較すると1.56ポイント減少している。

平成22年の離婚数は309件、離婚率2.80%となっている。平成7年以降の推移をみると、平成7年から平成12年にかけては離婚数、離婚率ともに増加しているが、その後は横ばいとなっている。

沖縄県の値と比較をすると、婚姻率では約0.7ポイント、離婚率では約0.2ポイント浦添市の値が高くなっている。

◇婚姻・離婚の状況

単位：件、%

	沖縄県		浦添市		沖縄県		浦添市	
	婚姻数	婚姻率	婚姻数	婚姻率	離婚数	離婚率	離婚数	離婚率
平成7年	8,401	6.60	819	8.60	2,804	2.22	244	2.55
平成12年	9,077	6.90	847	8.20	3,589	2.74	334	3.25
平成17年	8,808	6.47	790	7.45	3,667	2.69	294	2.77
平成22年	8,892	6.38	777	7.04	3,580	2.57	309	2.80

資料：国勢調査、衛生統計年報

※平成22年の婚姻率・離婚率に使用した人口は国勢調査人口
 ※婚姻率＝年間婚姻届出件数／3月31日現在の日本人×1,000
 ※離婚率＝年間離婚届出件数／3月31日現在の日本人×1,000

(4) 世帯の様子

平成22年における浦添市の世帯数は40,858世帯であり、そのうち「18歳未満世帯員のいる世帯」は13,716世帯(33.6%)となっている。「18歳未満世帯員のいる世帯」の割合を沖縄県、沖縄本島9市と比べると、沖縄県より高く9市の中では3番目に高い。

また、世帯の家族類型別で「18歳未満世帯員のいる世帯」の割合をみると、「核家族世帯」(46.3%)、「核家族以外の世帯」(50.5%)ともに、沖縄県の値と比較すると高くなっている。なお、「母子世帯」(91.5%)は他市と比べてやや低い割合となっている。

◇世帯類型別一般世帯数及び18歳未満親族のいる一般世帯数

単位：世帯

	沖縄県			那覇市			宜野湾市			浦添市			名護市		
	一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数	
総数	519,184	157,284	30.3%	129,221	34,215	26.5%	36,332	10,779	29.7%	40,858	13,716	33.6%	24,210	6,516	26.9%
A 親族のみの世帯	359,697	156,007	43.4%	81,623	33,923	41.6%	23,389	10,648	45.5%	29,083	13,601	46.8%	14,718	6,443	43.8%
I 核家族世帯	314,152	133,488	42.5%	72,086	29,579	41.0%	20,812	9,349	44.9%	26,084	12,086	46.3%	13,004	5,553	42.7%
II 核家族以外の世帯	45,545	22,519	49.4%	9,537	4,344	45.5%	2,577	1,299	50.4%	2,999	1,515	50.5%	1,714	890	51.9%
B 非親族を含む世帯	6,494	959	14.8%	1,609	165	10.3%	681	103	15.1%	611	85	13.9%	252	37	14.7%
C 単独世帯	152,589	318	0.2%	45,895	127	0.3%	12,245	28	0.2%	11,116	30	0.3%	9,083	36	0.4%
(再掲) 母子世帯	14,137	13,126	92.8%	2,991	2,737	91.5%	954	897	94.0%	1,238	1,133	91.5%	642	603	93.9%
(再掲) 父子世帯	1,770	1,603	90.6%	290	258	89.0%	105	97	92.4%	120	107	89.2%	97	91	93.8%

	糸満市			沖縄市			豊見城市			うるま市			南城市		
	一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数		一般世帯数	18歳未満世帯員のいる一般世帯数	
総数	19,188	6,561	34.2%	47,942	15,799	33.0%	19,299	7,195	37.3%	38,277	13,080	34.2%	12,644	3,970	31.4%
A 親族のみの世帯	14,649	6,525	44.5%	33,704	15,667	46.5%	15,186	7,145	47.0%	29,665	13,035	43.9%	10,307	3,944	38.3%
I 核家族世帯	12,924	5,643	43.7%	29,705	13,622	45.9%	13,488	6,273	46.5%	24,436	10,256	42.0%	8,764	3,199	36.5%
II 核家族以外の世帯	1,725	882	51.1%	3,999	2,045	51.1%	1,698	872	51.4%	5,229	2,779	53.1%	1,543	745	48.3%
B 非親族を含む世帯	188	26	13.8%	648	109	16.8%	252	48	19.0%	209	41	19.6%	90	26	28.9%
C 単独世帯	4,349	10	0.2%	13,583	23	0.2%	3,861	2	0.1%	8,401	4	0.0%	2,245	0	0.0%
(再掲) 母子世帯	558	515	92.3%	1,740	1,616	92.9%	465	439	94.4%	1,266	1,176	92.9%	297	281	94.6%
(再掲) 父子世帯	83	79	95.2%	217	196	90.3%	56	54	96.4%	173	149	86.1%	61	57	93.4%

資料：国勢調査

2. 勤労等の状況

(1) 就労状況等

平成 22 年国勢調査における浦添市の就業者総数は 46,871 人であり、労働力人口に占める割合は 90.1%となっており、豊見城市 (90.7%) に次いで高い値となっている。

また、女性の就業者は 20,928 人 (44.7%) となっており、就業者率を他市と比較をすると、名護市、那覇市、宜野湾市に次いで 4 位となっている。

さらに、女性の年齢別就業者数を見ると、30 代『30～34 歳 (2,579 人) +35～39 歳 (2,968 人)』が 5,547 人 (26.5%) で最も多く、40 代『40～44 歳 (2,651 人) +45～49 歳 (2,387 人)』が 5,038 人 (24.1%) と続いている。

◇労働力の状況

単位：人、%

	沖縄県	那覇市	宜野湾市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市
総数	1,138,467	260,656	74,292	88,533	48,359	46,577	105,150	45,786	95,761
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就業者総数	578,638	131,003	37,349	46,871	24,142	24,293	50,271	24,666	42,823
総数に占める割合	50.8%	50.3%	50.3%	52.9%	49.9%	52.2%	47.8%	53.9%	44.7%
男性就業者数	324,552	71,914	20,612	25,943	13,205	13,891	28,011	13,799	24,534
男性就業者率	56.1%	54.9%	55.2%	55.3%	54.7%	57.2%	55.7%	55.9%	57.3%
女性就業者数	254,086	59,089	16,737	20,928	10,937	10,402	22,260	10,867	18,289
女性就業者率	43.9%	45.1%	44.8%	44.7%	45.3%	42.8%	44.3%	44.1%	42.7%
完全失業者総数	71,669	13,798	4,386	5,129	3,046	3,242	8,532	2,531	9,506
総数に占める割合	6.3%	5.3%	5.9%	5.8%	6.3%	7.0%	8.1%	5.5%	9.9%
非労働人口	405,186	84,412	25,738	29,875	17,550	17,484	38,706	15,274	36,917
総数に占める割合	35.6%	32.4%	34.6%	33.7%	36.3%	37.5%	36.8%	33.4%	38.6%

資料：国勢調査

※総数：労働力状態「不詳」含む

◇男女別年齢別就業者数

単位：人、%

	男性		女性	
総数	25,943	100.0%	20,928	100.0%
15～19歳	337	1.3%	341	1.6%
20～24歳	1,615	6.2%	1,594	7.6%
25～29歳	2,631	10.1%	2,423	11.6%
30～34歳	3,111	12.0%	2,579	12.3%
35～39歳	3,785	14.6%	2,968	14.2%
40～44歳	3,144	12.1%	2,651	12.7%
45～49歳	2,858	11.0%	2,387	11.4%
50～54歳	2,661	10.3%	2,110	10.1%
55～59歳	2,602	10.0%	1,990	9.5%
60～64歳	1,708	6.6%	1,079	5.2%
65～69歳	768	3.0%	461	2.2%
70～74歳	473	1.8%	217	1.0%
75～79歳	177	0.7%	83	0.4%
80～84歳	46	0.2%	32	0.2%
85歳以上	27	0.1%	13	0.1%

資料：国勢調査

(2) 産業別就業者数

平成22年国勢調査における産業別就業者は、第3次産業が8割弱（76.1%）と大部分を占め最も多く、次いで第2次産業が1割強（13.5%）となっており、第1次産業従事者（0.5%）は僅かとなっている。

就業者数を産業大分類別で見ると、「卸売業・小売業」が2割強（17.5%）と多く、次いで、「医療・福祉」（12.1%）、「建設業」（8.8%）と続いている。

また、男女別就業者数を見ると、男性では「卸売業・小売業」（16.1%）、「建設業」（13.7%）、「運輸業・郵便業」（8.0%）が多く、女性では「医療・福祉」（19.7%）、「卸売業・小売業」（19.4%）、「飲食店・宿泊業」（9.1%）が多くなっている。

◇産業（大分類）別15歳以上就業者数

単位：人、%

	総数	男性	女性
総数	46,871	25,943	20,928
	100.0%	100.0%	100.0%
第1次産業	212	174	38
	0.5%	0.7%	0.2%
農業	160	126	34
	0.3%	0.5%	0.2%
林業	2	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%
漁業	50	47	3
	0.1%	0.2%	0.0%
第2次産業	6,321	4,826	1,495
	13.5%	18.6%	7.1%
鉱業	18	14	4
	0.0%	0.1%	0.0%
建設業	4,124	3,549	575
	8.8%	13.7%	2.7%
製造業	2,179	1,263	916
	4.6%	4.9%	4.4%
第3次産業	35,687	18,266	17,421
	76.1%	70.4%	83.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	365	288	77
	0.8%	1.1%	0.4%
情報通信業	1,431	959	472
	3.1%	3.7%	2.3%
運輸業、郵便業	2,465	2,063	402
	5.3%	8.0%	1.9%
卸売業、小売業	8,216	4,164	4,052
	17.5%	16.1%	19.4%
金融業、保険業	1,265	580	685
	2.7%	2.2%	3.3%
不動産業、物品賃貸業	1,080	726	354
	2.3%	2.8%	1.7%
学術研究、専門・技術サービス業	1,648	1,172	476
	3.5%	4.5%	2.3%
宿泊業、飲食サービス業	3,169	1,268	1,901
	6.8%	4.9%	9.1%
生活関連サービス業、娯楽業	1,829	800	1,029
	3.9%	3.1%	4.9%
教育、学習支援業	2,467	1,064	1,403
	5.3%	4.1%	6.7%
医療、福祉	5,658	1,539	4,119
	12.1%	5.9%	19.7%
複合サービス事業	213	108	105
	0.5%	0.4%	0.5%
サービス業（他に分類されないもの）	3,700	2,059	1,641
	7.9%	7.9%	7.8%
公務（他に分類されるものを除く）	2,181	1,476	705
	4.7%	5.7%	3.4%
分類不能の産業	4,651	2,677	1,974
	9.9%	10.3%	9.4%

資料：国勢調査

(3) 流動人口

平成22年国勢調査による就学・通学による流動人口を見ると、夜間人口に対する昼間人口の割合は103.2%となり、流入人口が多くなっている。

また、流入・流出の関係を見ると、市内に住む就業・通学者の3割弱(27.2%)が那覇市へ、次いで、1割弱が宜野湾市へ通っている。一方で、浦添市内に流入する就業・通学者を見ると、那覇市から2割弱(18.2%)、宜野湾市から約1割(10.1%)となっており、那覇市、宜野湾市を中心に隣接市町村と結びつきが強いことがうかがえる。

◇流動人口

単位：人、%

		平成22年					
		総数		就業者		通学者	
		実数	%	実数	%	実数	%
浦添市の人口(夜間人口)		110,351					
市内に住む就業・通学者		53,665	100.0%	46,871	100.0%	6,794	100.0%
市外で就業・通学する者		23,465	43.7%	20,376	43.5%	3,089	45.5%
流出人口	総数	27,563	51.4%	24,166	51.6%	3,397	50.0%
	県内計	25,360	47.3%	22,422	47.8%	2,938	43.2%
	①那覇市	14,616	27.2%	12,968	27.7%	1,648	24.3%
	②宜野湾市	3,033	5.7%	2,559	5.5%	474	7.0%
	③西原町	2,077	3.9%	1,581	3.4%	496	7.3%
	④沖縄市	1,028	1.9%	985	2.1%	43	0.6%
	⑤南風原町	664	1.2%	590	1.3%	74	1.1%
県外		104	0.2%	77	0.2%	27	0.4%
浦添市の人口(昼間人口)		113,936	—				
市内の就業・通学者数		56,912	100.0%	50,667	100.0%	6,244	100.0%
流入人口	総数	29,453	51.8%	26,295	51.9%	3,158	50.6%
	県内計	29,413	51.7%	26,258	51.8%	3,155	50.5%
	①那覇市	10,370	18.2%	9,258	18.3%	1,112	17.8%
	②宜野湾市	5,773	10.1%	5,170	10.2%	603	9.7%
	③沖縄市	2,044	3.6%	1,951	3.9%	93	1.5%
	④西原町	1,808	3.2%	1,636	3.2%	172	2.8%
	⑤豊見城町	1,264	2.2%	1,182	2.3%	82	1.3%
県外		40	0.1%	37	0.1%	3	0.0%
夜間人口を100とした場合の昼間人口		103.2%		—		—	

資料：国勢調査

- 1) 従業地・通学地「不詳」を含む。
- 2) 他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

3. 子育て支援の現状

(1) 教育・保育の現状

0歳～5歳児の保育状況をみると、「認可保育所」が3割強（34.0%）で多く、次いで、「その他(家庭保育等)」(31.4%)、「認可外保育施設」(18.2%)、「認可幼稚園」(16.4%)となっている。

年齢別にみると、0歳児、1歳児では「その他(家庭保育)」がそれぞれ8割弱（76.4%）、5割弱（45.2%）と最も多いが、年齢が上がるにつれてその割合は減少していく。2～3歳児では「認可保育所」、「認可外保育施設」の割合が多く、4歳児では「認可保育所」、「認可幼稚園」の割合が多くなっている。5歳児では「認可幼稚園」が6割強（63.0%）と最も多くなっている。

◇0～5歳児の教育・保育状況

単位：人、箇所

	乳幼児数	認可保育所			認可外保育施設 (50力所)	認可幼稚園			その他(家庭保育等)
		市立 (4力所)	法人 (22力所)	合計		市立 (11力所)	私立 (2力所)	合計	
0歳児	1,464	21	251	272	74	0	0	0	1,118
	100	1.4%	17.1%	18.6%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	76.4%
1歳児	1,508	70	444	514	313	0	0	0	681
	100	4.6%	29.4%	34.1%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%
2歳児	1,440	84	481	565	376	0	0	0	499
	100	5.8%	33.4%	39.2%	26.1%	0.0%	0.0%	0.0%	34.7%
3歳児	1,459	101	503	604	396	0	120	120	339
	100	6.9%	34.5%	41.4%	27.1%	0.0%	8.2%	8.2%	23.2%
4歳児	1,452	105	472	577	331	280	145	425	119
	100	7.2%	32.5%	39.7%	22.8%	19.3%	10.0%	29.3%	8.2%
5歳児	1,401	56	377	433	100	770	112	882	-14
	100	4.0%	26.9%	30.9%	7.1%	55.0%	8.0%	63.0%	
0～5歳児 の合計	8,724	437	2,528	2,965	1,590	1,050	377	1,427	2,742
	100	5.0%	29.0%	34.0%	18.2%	12.0%	4.3%	16.4%	31.4%

※乳幼児数は、平成26年2月28日現在

※認可保育所の人数は、平成26年3月1日現在

※認可幼稚園(市立)の人数は、平成26年3月24日現在

※認可幼稚園(私立)の人数は、平成25年5月1日現在

(2) 保育施設等の状況

平成26年3月現在、浦添市内に立地している保育施設は、認可保育所が26施設(市立4カ所、認可法人22カ所)、認可外保育施設が54施設となっている。てだこ親子プラン後期計画のスタート時期である平成22年4月以降に取り組んできた指定保育施設が平成25年12月31日に廃止されたことに伴い、4カ所の認可法人保育所が整備されている。

認可保育所の定員は市立保育所が430人、認可法人が2,317人、認可外保育施設は2,246人(認可外保育施設の定員は平成25年7月現在)となっており、浦添市内で保育定員の4割強を認可外保育施設で占めている状況となっている。

◇認可保育所一覧

	施設名	定員	在籍数	所在地	開所年月日
市立保育所	小湾保育所	60	60	大平2丁目7番6号	昭和50年6月1日
	内間保育所	120	125	内間4丁目26番20号	昭和47年8月1日
	大平保育所	130	134	安波茶1丁目28番2号	昭和49年10月11日
	宮城ヶ原保育所	120	128	宮城2丁目4番1号	平成13年12月1日
	小計	430	447		
認可法人保育所	勢理客保育園	150	158	勢理客2丁目18番27号	昭和41年5月27日
	広栄保育園	120	136	当山2丁目7番7号	昭和51年11月1日
	ありあけ保育園	160	168	勢理客3丁目6番10号	昭和53年3月31日
	ハイジ保育園	150	181	牧港2丁目23番5号	昭和53年3月31日
	たいよう保育園	90	108	大平1丁目14番11号	昭和53年3月31日
	柿の実保育園	100	117	前田1丁目11番17号	昭和53年3月31日
	牧港ひまわり保育園	120	144	牧港4丁目1番16号	昭和54年10月30日
	さみどり保育園	90	108	伊祖3丁目44番2号	昭和56年3月31日
	パンダ保育園	120	140	安波茶1丁目13番8号	昭和56年3月31日
	内間みどり保育園	90	108	内間3丁目1番13号	昭和58年4月1日
	あいのその保育園	150	150	仲西2丁目3番11号	昭和54年3月31日
	わらべ保育園	110	122	沢岬1丁目11番6号	平成13年5月1日
	あおい保育園	120	144	屋富祖1丁目3番17号	平成16年4月1日
	うらら保育園	90	107	当山2丁目40番20号	平成17年4月1日
	子むすびの森保育園	90	102	前田1224番地1	平成18年4月1日
	ほととのき保育園	90	104	牧港1丁目64番6号	平成19年4月1日
	ルーブル保育園	90	106	牧港2丁目21番1号	平成20年10月1日
	あずま保育園	90	108	経塚645-2	平成21年4月1日
	にしばる保育園	90	92	西原6丁目16番14号	平成22年4月1日
	ジョイジョイ保育園	70	84	城間3丁目26番11号	平成23年4月1日
	てだこ保育園	77	87	経塚1丁目3番5号	平成23年4月1日
	テクノ保育園	60	72	城間1丁目12番12号	平成24年4月13日
		小計	2,317	2,646	
	合計	2,747	3,093		

※在籍数：平成26年3月1日現在

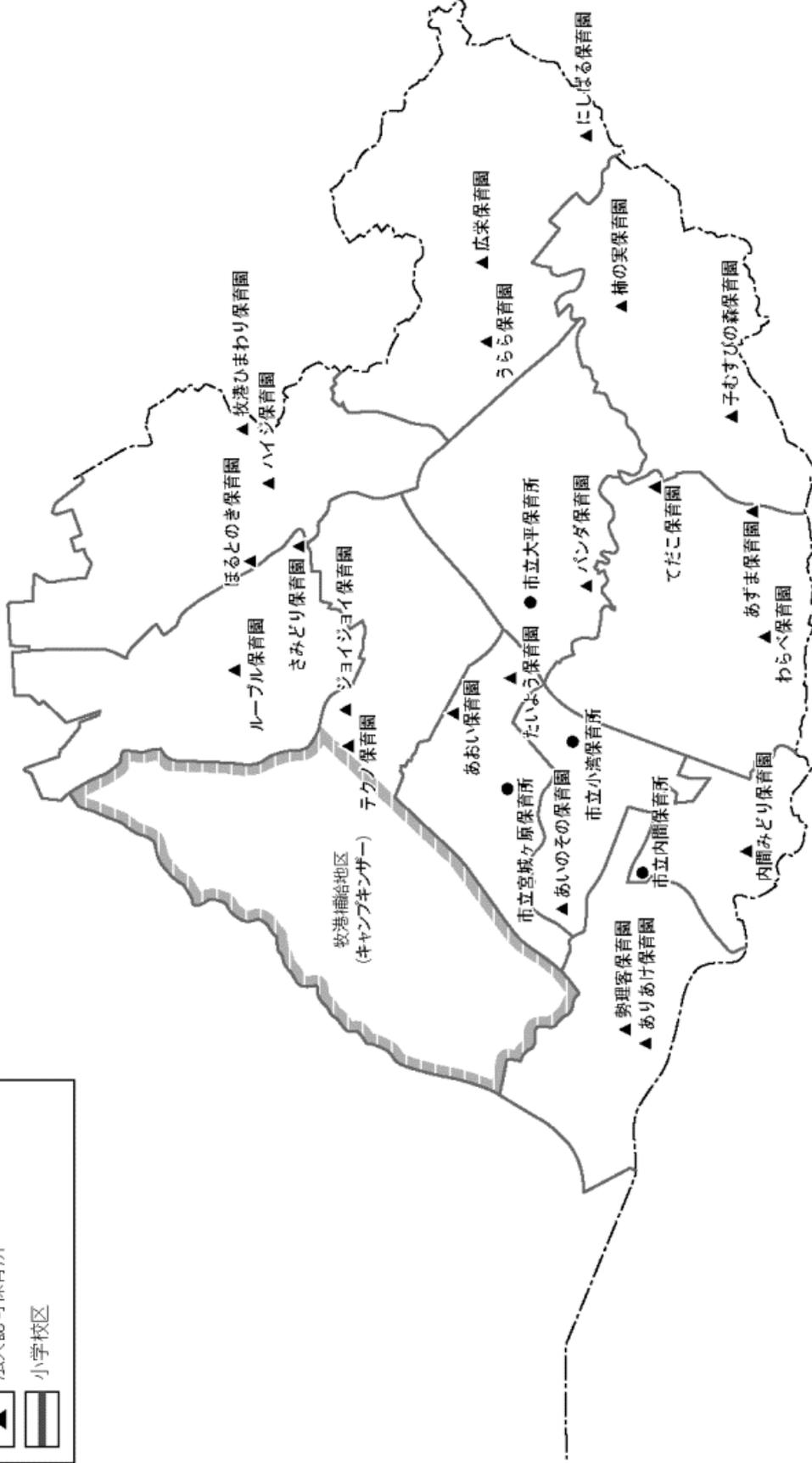
◇認可外保育施設一覧

No	保育園名	所在地	対象年齢	定員	No	保育園名	所在地	対象年齢	定員
1	びよびよ託児園	西原4-38-2	8ヶ月～	20	27	キッズルームエンジェル	勢理客1-16-11	1歳～	29
2	浦西保育園	西原5-12-5	1歳～	72	28	サンライズ英語幼児園	仲西2-1-21	2歳～	38
3	愛翔学園	前田2-17-12	1歳半～	120	29	さくらんぼ保育園	宮城2-39-3	2ヶ月～	28
4	ベビーハウスたけのこ	前田3-1-20	2ヶ月～	20	30	ドレミ幼児学園	宮城3-5-2	1歳～	35
5	むーみん自然のこ	前田260-7	1歳～	32	31	すまいる保育園	宮城3-5-9	6ヶ月～	36
6	ライオンの子保育園	前田1-46-7	6ヶ月～	74	32	みやぎ保育園	宮城3-17-5	6ヶ月～	50
7	当山っ子保育学童	当山2-19-5	0歳～	3	33	ドレミ幼児園	宮城4-2-7	3歳～	68
8	げんき保育園	経塚430	5ヶ月～	36	34	明誠保育園	宮城4-17-3	4ヶ月～	33
9	たのしい保育園	経塚437-18	9ヶ月～	10	35	いちご保育園	宮城4-19-8	6ヶ月～	14
10	きょうづか保育園	経塚661	6ヶ月～	32	36	さくらんぼ保育園	屋富祖1-4-8	2ヶ月～	22
11	たくし保育園	沢岬1-22-1	6ヶ月～	48	37	サウンドキッズ	屋富祖2-1-5	6ヶ月～	55
12	みつや保育園	大平1-14-6	3ヶ月～	42	38	くまの子保育園	屋富祖2-9-3	3ヶ月～	32
13	乳児園金城	大平3-4-25	3ヶ月～	30	39	ひまわり保育園	伊祖1-19-9	3ヶ月～	33
14	ベビーキッズステーション くるの家	大平451 リモビル2F	6ヶ月～	3	40	安里学園第二	伊祖1-21-8	2ヶ月～	114
15	平和学園	安波茶2-20-3	6ヶ月～	122	41	ちゅうりっぷ保育園	伊祖2-24-8	1・5歳～	35
16	さつき保育園	内間1-1-5	5ヶ月～	43	42	すきっぷ保育園	伊祖3-2-9	5ヶ月～	38
17	ばんだこ保育園	内間2-8-3	4ヶ月～	42	43	美咲保育園	伊祖4-4-9	8ヶ月～	155
18	あい保育園	内間3-15-3	6ヶ月～	20	44	えくぼ保育園	城間3-26-12	5ヶ月～	36
19	チューリップ保育園	内間3-28-8	1歳～	22	45	きらきら保育園	港川2-9-3	5ヶ月～	23
20	ひかり保育園	内間4-20-10	3ヶ月～	60	46	港川保育園	港川2-13-1	5ヶ月～	35
21	わらびー保育園	内間4-26-11	6ヶ月～	45	47	安里学園	港川2-22-7	2ヶ月～	82
22	メロディー保育園	内間5-3-16	5ヶ月～	23	48	KID'S LAND幼児園	牧港1-51-9	2ヶ月～	20
23	ハイビスカス保育所	内間4-5-37	3ヶ月～	45	49	リルチエリー保育園	牧港1-57-25	6ヶ月～	38
24	セントジョセフィン・モンテッソーリ	内間1-3-15	2歳～	15	50	かりゆし幼児学園	牧港2-18-5	3ヶ月～	21
25	ポテト保育園	内間1-11-10	2ヶ月～	50	51	太陽の子保育園	牧港4-17-5	3ヶ月～	48
26	わかば保育園	勢理客3-1-24	3ヶ月～	48	52	保育ルームすきっぷ	牧港2-43-12	6ヶ月～	15
					53	沖縄自然塾	牧港4-22-3	3歳～	15
					54	西平保育園	屋富祖3-13-13	6ヶ月～	6

※在籍数：平成25年7月現在

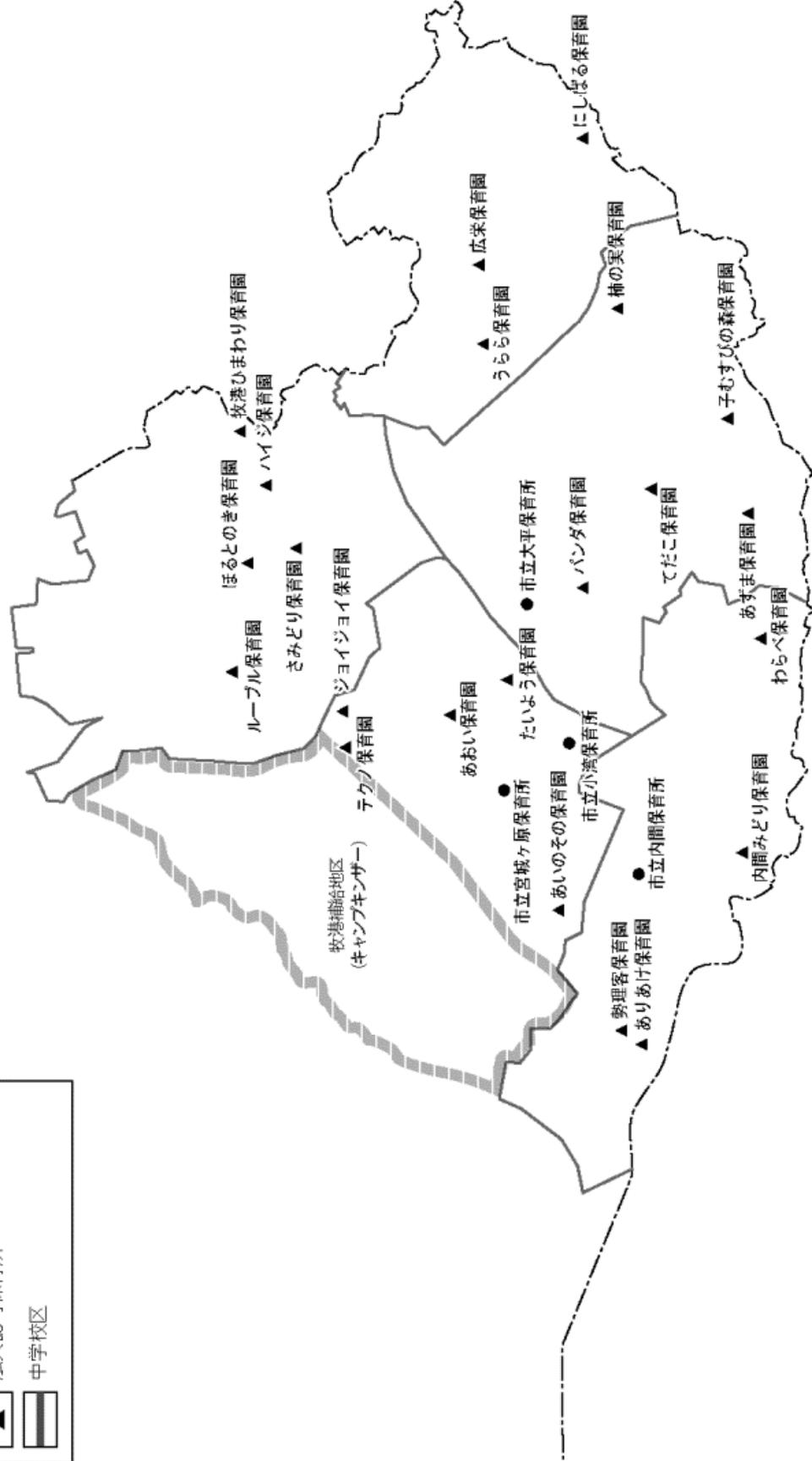
保育関連施設分布図(その1)

- 市立認可保育所
- ▲ 法人認可保育所
- ▬ 小学校区



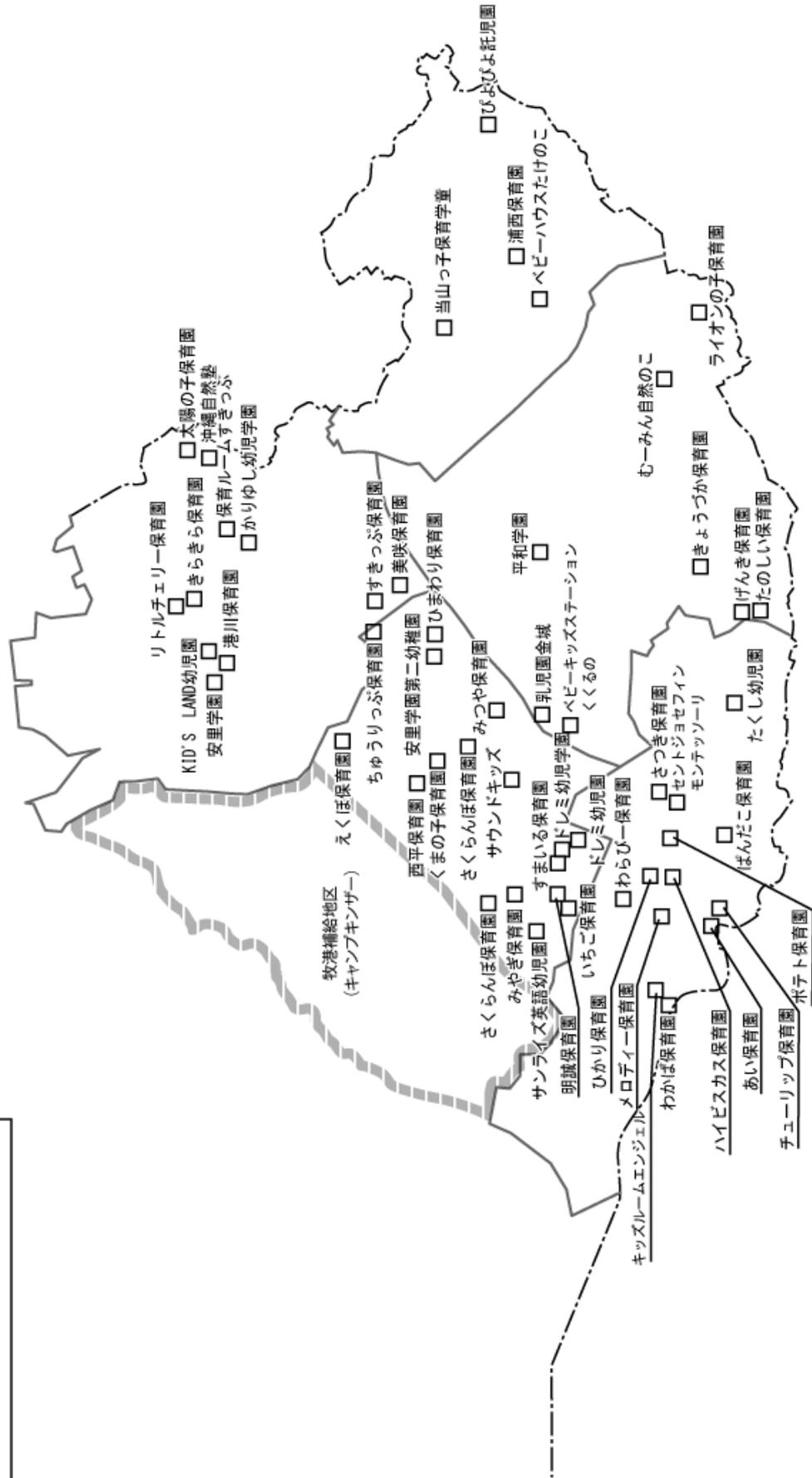
保育関連施設分布図(その1)

●	市立認可保育所
▲	法人認可保育所
▬	中学校区



保育関連施設分布図(その2)

- 認可外保育施設
- 中学校区



(3) 保育サービス等の状況

保育サービスの状況をみると、全ての認可保育所で平日の延長保育を実施している。その中でも「ありあけ保育園」では、午後10時までの4時間の延長保育を行い、仕事をもつ保護者への支援を積極的に行っている。

特別保育は、全ての認可保育所で障がい児保育を実施、一時保育は認可法人保育園の16施設で、休日保育は認可法人保育園の1施設で実施している。

また、「子育て支援事業(拠点型)」は市立保育所1カ所、認可法人保育園2カ所で実施されており、「子育て支援事業(広場型)」は法人認可保育園である「ルーブル保育園」1カ所で実施している。

◇認可保育所の主な保育サービスの実施状況

	施設名	定員	開所時間		延長保育		特別保育実施状況						
			開始	終了	月～金	土	障がい児保育	一時保育	特定保育	休日	地域活動事業	子育て支援事業(拠点型)	子育て支援事業(広場型)
市立保育所	内間保育所	120	7:15	18:15	19:15	×	○				○	○	
	大平保育所	130	7:15	18:15	19:15	×	○				○		
	宮城ヶ原保育所	120	7:15	18:15	19:15	×	○				○		
	小計	370											
認可法人保育園	勢理客保育園	150	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	広栄保育園	120	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	ありあけ保育園	160	7:00	18:00	22:00	×	○						
	ハイジ保育園	150	7:00	18:00	19:00	×	○	○		○			
	たいよう保育園	110	7:15	18:15	19:15	×	○						
	柿の実保育園	100	7:00	18:00	19:00	×	○					○	
	牧港ひまわり保育園	120	7:15	18:15	19:15	×	○	○					
	さみどり保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	バンダ保育園	120	7:00	18:00	19:00	×	○						
	内間みどり保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○	○	○				
	あいのその保育園	150	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	わらべ保育園	110	7:15	18:15	19:15	×	○	○					
	あおい保育園	120	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	うらら保育園	120	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	子むすびの森保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	ほるとのき保育園	90	7:15	18:15	19:15	×	○	○				○	
	ルーブル保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○	○					○
	あずま保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	にしぼる保育園	90	7:00	18:00	19:00	×	○						
	ジョイジョイ保育園	70	7:00	18:00	19:00	×	○	○					
	てだこ保育園	77	7:15	18:15	19:15	×	○	○					
テクノ保育園	60	7:15	18:15	19:15	×	○							
こわん保育園(仮)	80	7:15	18:15	19:15	×	○							
小計	2447												
合計	2817												

(4) 入所・待機児童数の推移

浦添市の入所・待機状況を見ると、平成25年3月末現在の認可保育所定員数は2,747人に対して、入所児童数は2,972人、待機児童数は220人であり、待機率は7.4%となっている。

待機児童数について過去5年間の推移をみると、200～300人で増減を繰り返しており、待機児童がなかなか減らない状況となっている。また、沖縄県(平成25年待機率5.9%)や国(待機率1.0%)のデータと比較をしても、浦添市の待機率は高い状況にある。

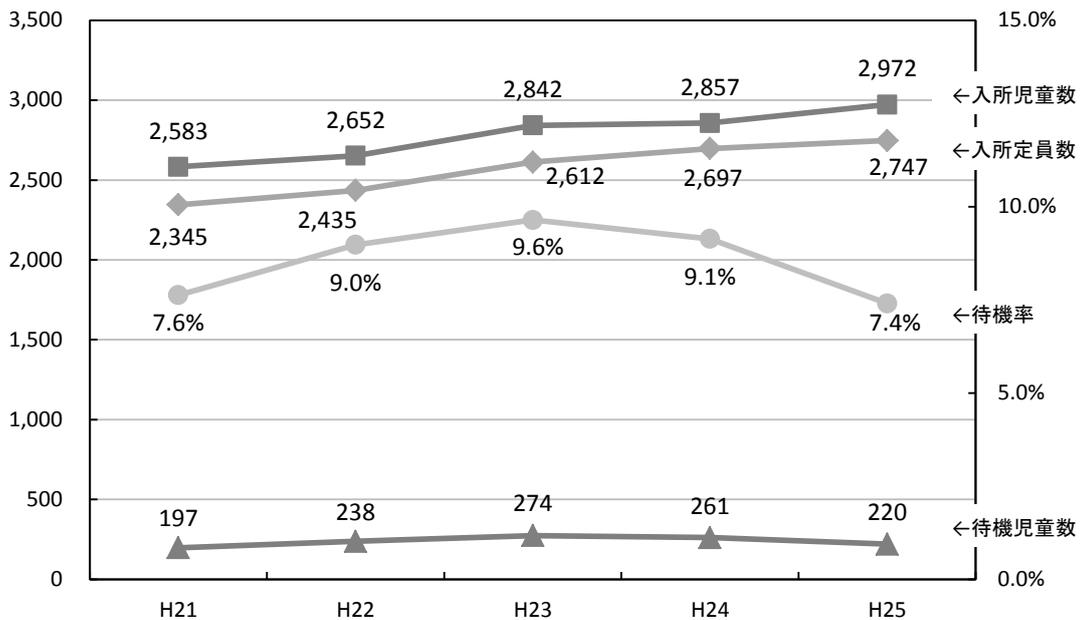
◇待機児童数の推移と比較

単位：人、%

		入所定員数	入所児童数	待機児童数	待機率
浦添市	H21	2,345	2,583	197	7.6%
	H22	2,435	2,652	238	9.0%
	H23	2,612	2,842	274	9.6%
	H24	2,697	2,857	261	9.1%
	H25	2,747	2,972	220	7.4%
沖縄県	H21	29,888	32,087	1,888	5.9%
	H22	30,748	33,114	1,680	5.1%
	H23	32,467	34,964	2,295	6.6%
	H24	33,497	36,556	2,305	6.3%
	H25	34,913	37,705	2,216	5.9%
全国	H21	2,131,929	2,040,934	25,384	1.2%
	H22	2,158,045	2,080,072	26,275	1.3%
	H23	2,204,393	2,122,951	25,556	1.2%
	H24	2,240,178	2,176,802	24,825	1.1%
	H25	2,288,819	2,219,581	22,741	1.0%

※沖縄県のデータについては、青少年・児童家庭課より

※全国については、厚生労働省の速報値。



(5) 幼稚園の状況

平成25年度現在、市内には公立幼稚園が11カ所、私立幼稚園が2カ所設置されている。

公立幼稚園では、4歳児及び5歳児の2年保育を実施しており、認可定員1,540人に対し1,050人が在籍している。

私立幼稚園では、3歳児、4歳児及び5歳児の3年保育を実施しており、418人が在籍している。

◇公立幼稚園の設置状況

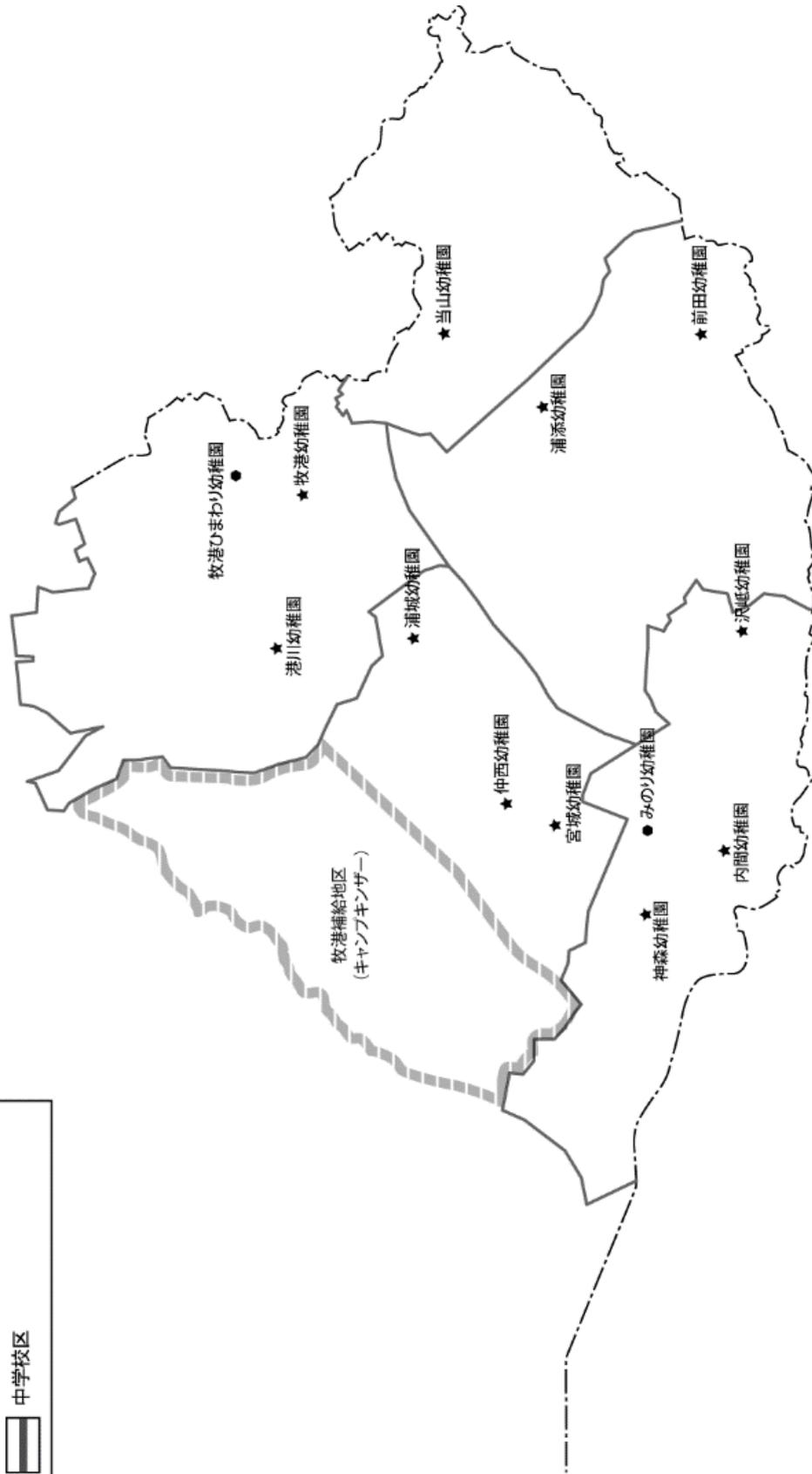
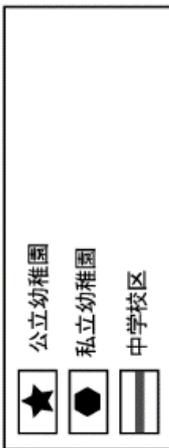
	園数	認可定員	合計	年齢別	
				4歳児	5歳児
平成22年度	11	1,510	1,070	294	776
平成23年度	11	1,520	1,073	341	732
平成24年度	11	1,635	1,131	305	826
平成25年度	11	1,540	1,050	280	770

◇私立幼稚園の設置状況

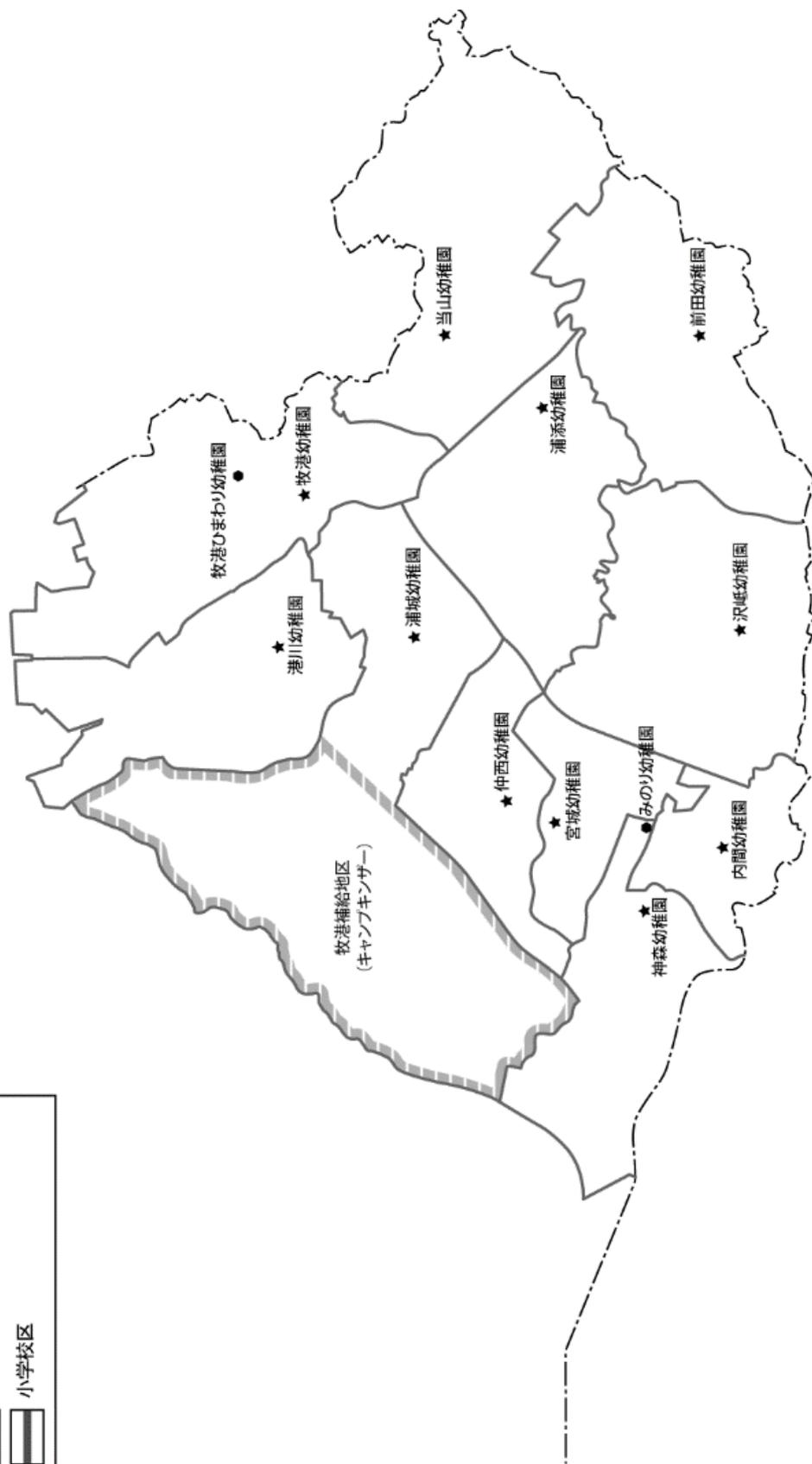
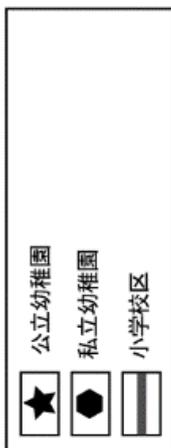
	園数	学級数	合計	年齢別		
				3歳児	4歳児	5歳児
平成22年度	3	20	391	146	119	126
平成23年度	3	16	374	134	144	96
平成24年度	2	16	401	147	131	123
平成25年度	2	16	418	147	156	115

資料：学校基本調査

浦添市公立・市立幼稚園分布図(その1)



浦添市公立・市立幼稚園分布図(その2)



(6) 児童センター等の設置状況

児童センターは遊びを通した子ども達の健全育成等を目的に設置される施設であり、子ども会・母親クラブなどの地域組織活動の拠点としても利用されており、各小学校区に1カ所、合計11カ所が設置されている。

平成25年度の各施設の利用状況を見ると、各館ごとに利用者のばらつきがあるが、最も多い児童センターの1日平均利用者数は129人となっている。

◇児童センター設置状況

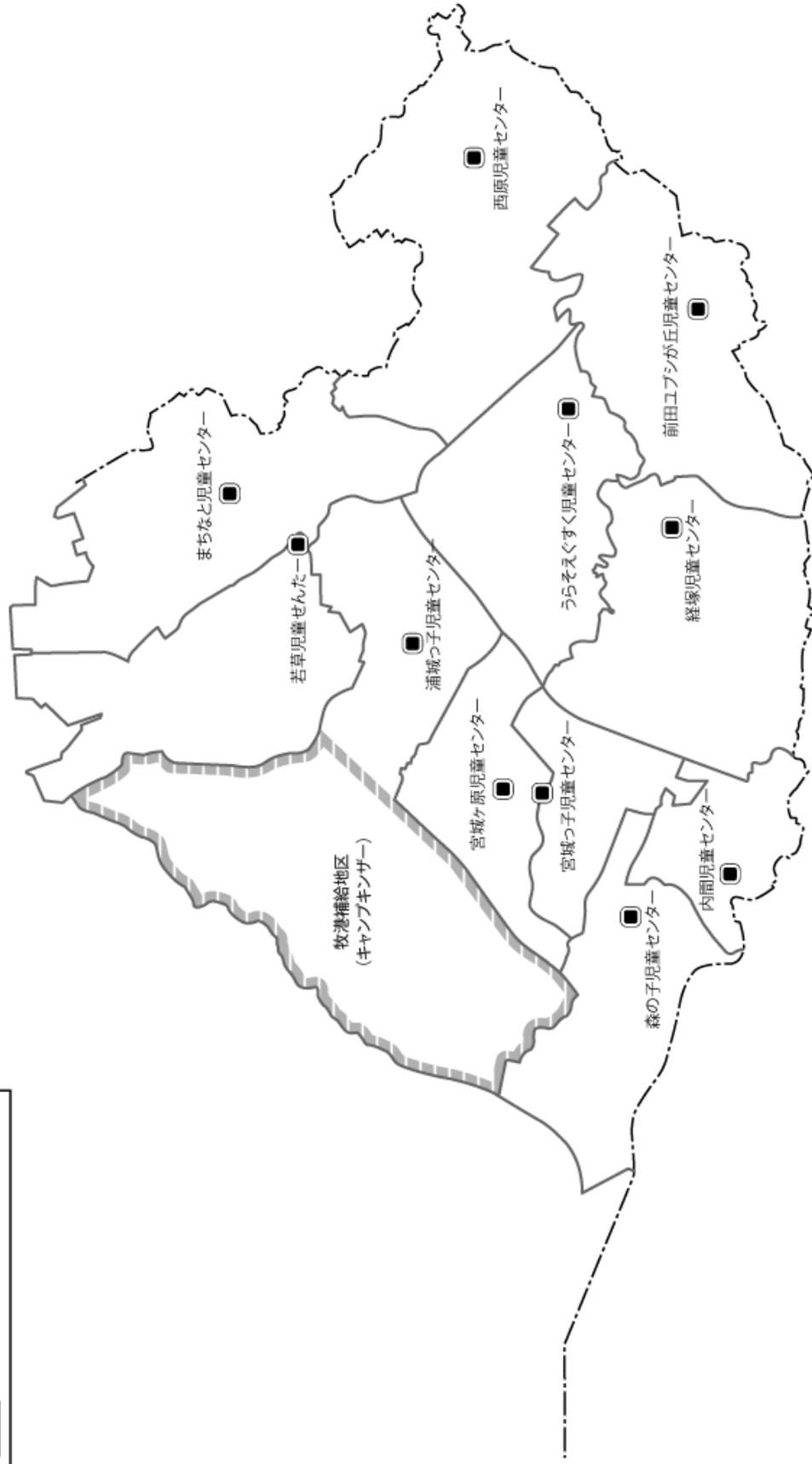
センター名	区分	電話	所在地	敷地面積	建物構造	建築面積	開館年	経営主体	職員数
若草児童センター		877-0047	伊祖3丁目44番1号	544.81㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	340.60㎡	昭和60年3月	浦添市	館長1人 児童厚生員3人
内間児童センター		876-1502	内間3丁目28番12号	456.93㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	305.39㎡	平成元年4月	//	//
西原児童センター		878-1766	西原4丁目9番地1号	607.6㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	410.49㎡	平成4月4月	//	//
経塚児童センター		876-4100	経塚1丁目17番1号	1,777.63㎡	鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階	870.39㎡	平成8年4月	//	//
宮城ヶ原児童センター		876-1895	宮城2丁目4番地1号	844.6㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	436.2㎡	平成14年1月	//	//
まちなと児童センター		873-1898	牧港2丁目38番地2号	508.00㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	526.97㎡	平成15年4月	//	//
浦城っ子児童センター		878-6815	伊祖2丁目13番2号	615.7㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	561.77㎡	平成16年4月	//	//
森の子児童センター		874-7610	勢理客1丁目4番地1号	899.00㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	633.88㎡	平成18年6月	//	//
うらそえぐすく児童センター		874-0417	仲間2丁目47番地5号	1461.23㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	598.35㎡	平成19年5月	//	//
宮城っ子児童センター		870-0227	宮城3丁目7番3号-1	756.97㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	526.11㎡	平成22年1月	//	//
前田ユブシが丘児童センター		871-1558	前田323番地	887.24㎡	鉄筋コンクリート造 2階建	-	平成22年5月	//	//

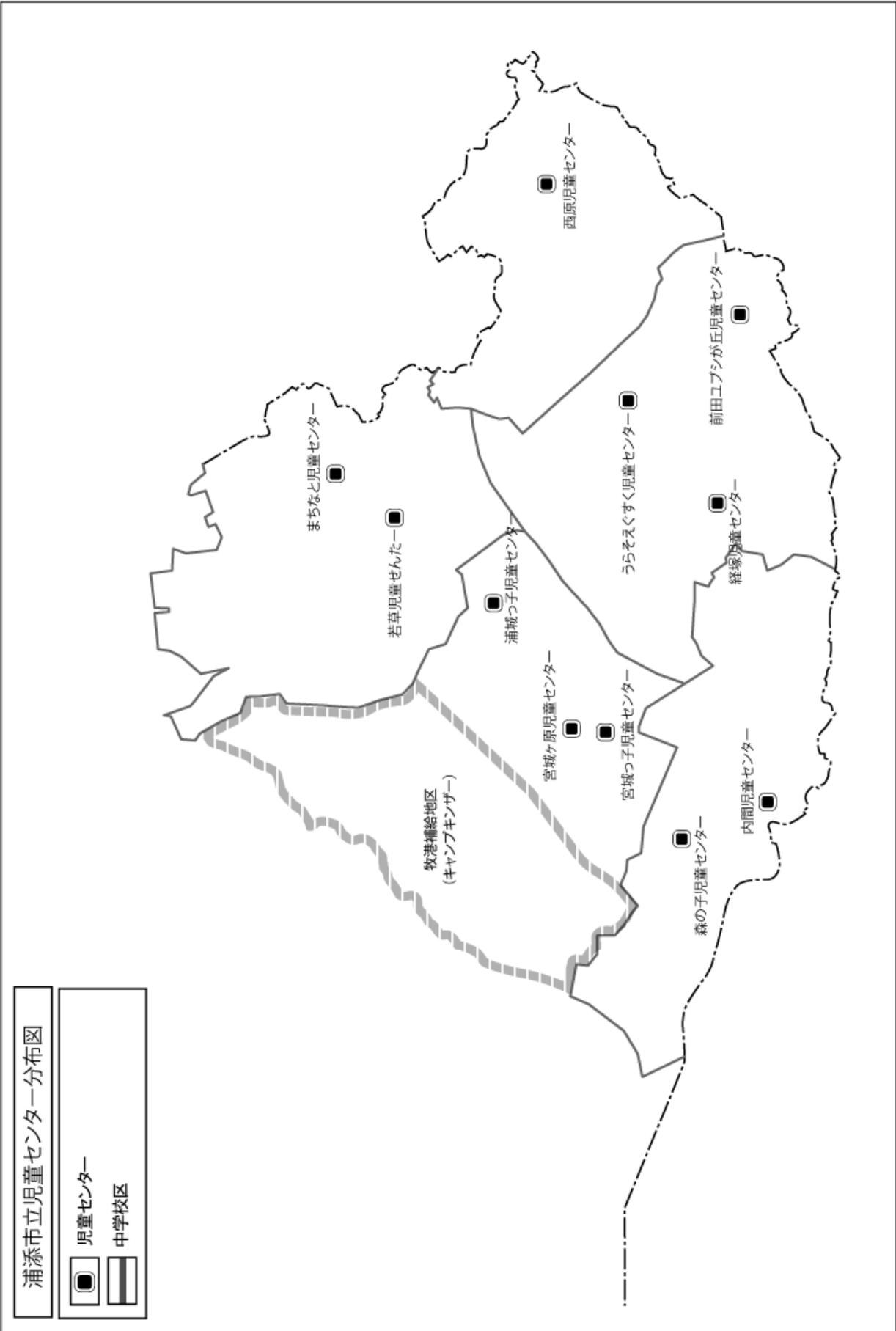
◇児童センター利用状況

センター名	年度	平成21年			平成22年			平成23年			平成24年			平成25年		
		開館日数	年間利用者数	1日平均利用者数	開館日数	年間利用者数	1日平均利用者数									
若草児童センター		290	15,761	54.3	291	14,714	50.6	293	16,628	56.8	289	14,573	50.4	243	11,537	47.5
内間児童センター		286	16,756	58.6	291	15,256	52.4	291	14,375	49.4	289	14,296	49.5	243	11,374	46.8
西原児童センター		279	17,104	61.3	290	21,714	74.9	293	23,155	79.0	289	21,398	74.0	243	13,791	56.8
経塚児童センター		289	25,263	87.4	289	25,126	86.9	289	24,202	83.7	289	20,811	72.0	243	15,948	65.6
宮城ヶ原児童センター		290	26,502	91.4	291	24,839	85.4	291	24,276	83.4	289	22,150	76.6	243	16,811	69.2
まちなと児童センター		291	23,487	80.7	291	17,299	59.4	291	18,497	63.6	289	15,654	54.2	243	13,044	53.7
浦城っ子児童センター		290	23,365	80.6	291	27,918	95.9	292	28,879	98.9	289	29,334	101.5	243	21,093	86.8
森の子児童センター		286	14,373	50.3	291	30,028	103.2	292	32,279	110.5	289	41,621	144.0	243	31,413	129.3
うらそえぐすく児童センター		290	22,457	77.4	291	19,935	68.5	290	22,768	78.5	289	17,796	61.6	243	16,398	67.5
宮城っ子児童センター					291	25,180	86.5	290	28,925	99.7	289	23,863	82.6	243	20,179	83.0
前田ユブシが丘児童センター					265	21,381	80.7	292	18,965	64.9	289	19,519	67.5	243	17,439	71.8
各種平均		288	20,563	71	288	22,126	77	291	22,995	79	289	21,910	76	243	17,184	71
前年度増減率		-	-	-	0.00	7.60	8.45	1.04	3.93	2.60	-0.69	-4.72	-3.80	-15.92	-21.57	-6.58

浦添市立児童センター分布図

- 児童センター
- 小学校区





(7) 学童クラブの状況

学童クラブは各小学校区に1～3カ所、市内に26カ所(うち1つ障がい児を受け入れ)が組織され、小学校低学年児童を中心に放課後に適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成に寄与している。

◇学童クラブ設置状況

校区	クラブ	開設年月日	開設時間	児童数	所在地	電話番号
浦添小学校	なかま学童なかよしクラブ	昭和58年4月	10:00～19:30	73	仲間2丁目43番11号	879-2101
	なかま学童まごころクラブ	平成21年4月	10:00～19:30	45	仲間2丁目47番5号(2F)	878-8697
神森小学校	神森どんぐり学童クラブ	昭和58年4月	10:00～19:00	55	勢理客1丁目4番1号(2F)	878-6657
	神森やまねこ学童クラブ	平成21年4月	10:00～19:00	75	勢理客1丁目4番1号	877-3262
	神森第2やまねこ学童クラブ	平成23年4月	10:00～19:00	43	勢理客1丁目28番1号	877-3261
内間小学校	うちま学童クラブ	昭和57年4月	10:00～19:00	53	内間4丁目14番15号	876-2574
前田小学校	前田学童クラブ	昭和63年4月	10:00～19:00	53	前田323番地(2F)	875-1132
	第二前田学童クラブ	平成22年4月	10:00～19:00	52	前田323番地(2F)	874-1020
宮城小学校	第一宮城学童クラブ	昭和63年4月	10:00～18:30	47	宮城3丁目7番3号-1(2F)	879-7499
	第二宮城学童クラブ	平成21年4月	10:00～18:30	54	宮城3丁目7番3号-1(2F)	988-3863
	第三宮城学童クラブ	平成24年4月	10:00～19:30	43	宮城3丁目6番10号 (メゾン松山101号)	878-5657
牧港小学校	牧港学童クラブ	昭和63年4月	10:00～19:00	35	牧港2丁目38番2号(2F)	879-7350
	牧港マブヤー学童クラブ	平成22年4月	10:00～19:00	24	牧港2丁目16番7号	943-7020
当山小学校	浦西学童クラブ	昭和63年4月	10:00～19:00	67	当山2丁目34番3号(1階)	878-3023
	当山学童クラブ	平成20年4月	10:00～19:00	64	当山2丁目34番3号(2階)	877-7088
港川小学校	港川学童クラブ	平成3年4月	10:00～19:00	50	港川2丁目12番1号 No.54	874-3363
	港川地域学童クラブ	平成20年4月	10:00～19:00	47	港川2丁目14番7号 No.36	879-9777
仲西小学校	仲西学童クラブ	平成4年4月	10:00～19:00	49	宮城2丁目4番地1号(2F)	874-1568
	仲西にこにこ学童クラブ	平成22年4月	10:00～19:00	31	屋富祖2丁目29番23号	874-1480
浦城小学校	浦城学童クラブ	平成4年4月	10:00～19:00	61	伊祖2丁目13番2号(2F)	875-4084
	浦城たいよう学童クラブ	平成17年4月	10:00～18:30	34	伊祖1丁目12番3号 豊里アパート101号	878-3992
	浦城キラキラ学童クラブ	平成22年4月	10:00～19:00	57	伊祖2丁目22番10号(2F)	878-4560
沢岬小学校	沢岬学童クラブ	平成5年4月	10:00～18:30	50	沢岬1丁目22番1号	875-7153
	沢岬げんき学童クラブ	平成6年4月	10:00～19:00	55	沢岬992番地1	876-0051
	第二沢岬げんき学童クラブ	平成24年4月	10:00～19:00	46	沢岬1丁目11番1号	879-7930
	ひまわり学童クラブ	平成12年4月	10:00～18:30	11	経塚1丁目10番地17号	874-5006

※児童数は、平成25年4月～平成26年3月の平均(ただし、ひまわり学童クラブは、4月～12月の平均)

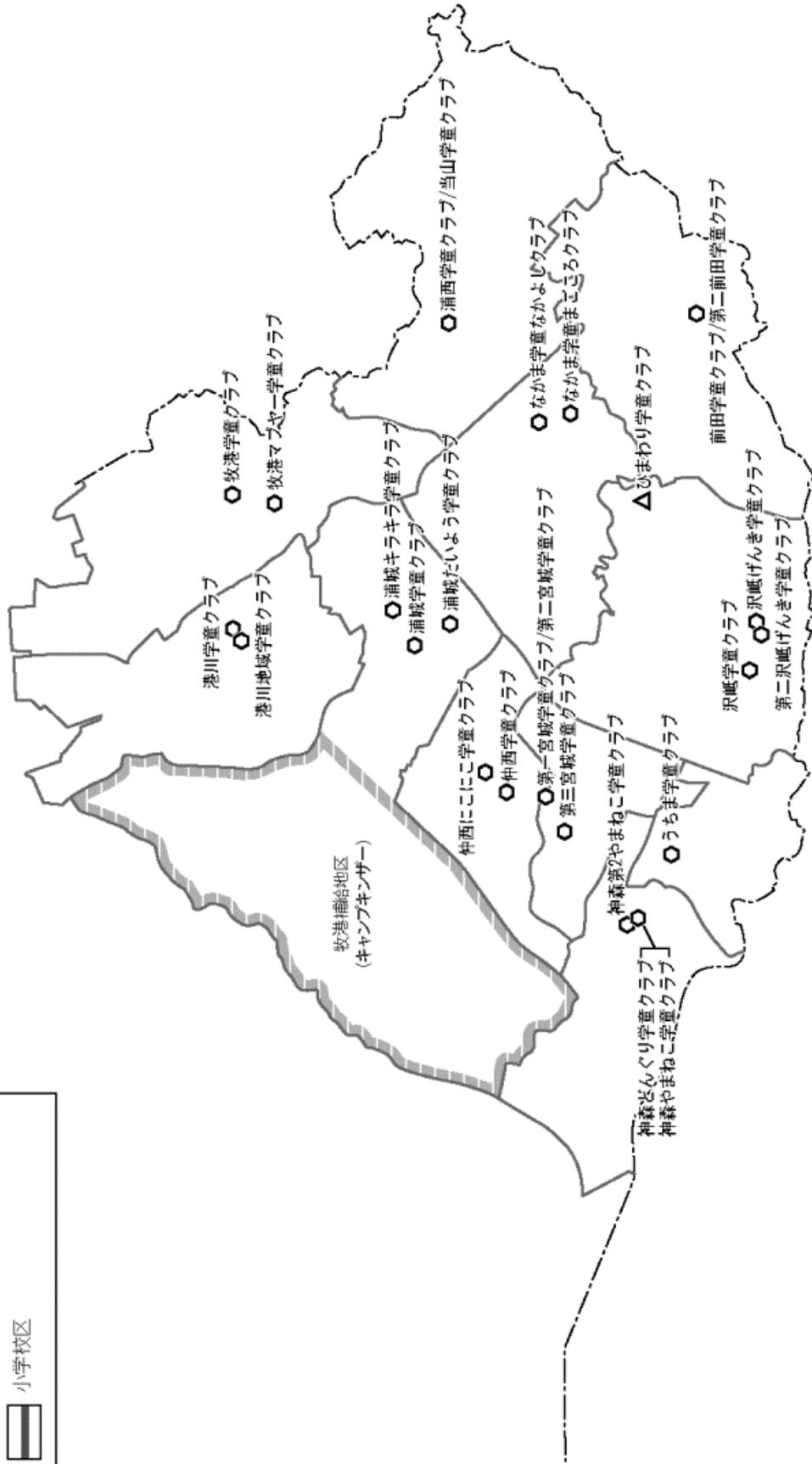
◇障がい児放課後児童健全育成事業

平成25年度	開設年月日	開設時間	児童数	所在地	電話番号
ひまわり学童クラブ	平成12年4月	平日10:00～16:30	11	経塚1丁目10番17号	874-5006

※土曜日・学校休日は、8:30～18:30

学童クラブ分布図

	学童クラブ
	障害児学童クラブ
	小学校区



(8) その他の子育て支援施設

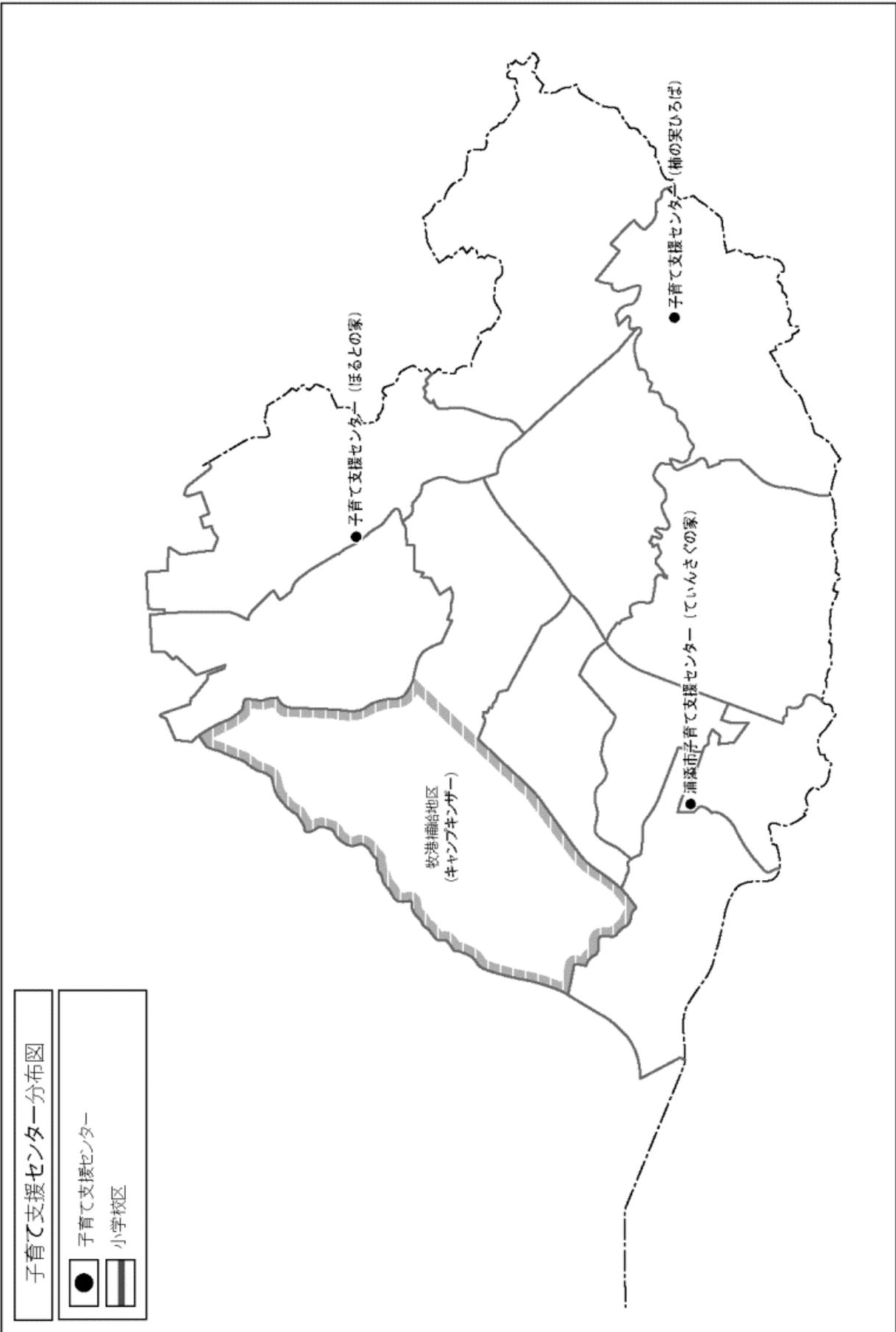
子育て支援センター、つどいの広場ともに、乳幼児をもつ親が気軽におしゃべり（情報交換）をしたり、子ども同士が遊んだりする場として提供されており、育児相談、子育てに関する講座等も行っている。

子育て支援センターは市内に3ヵ所設置されており、港川中学校区、浦添中学校区、神森中学校区にそれぞれ1ヵ所設置されている。

つどいの広場は市内に4ヵ所設置されており、港川中学校区、仲西中学校区、浦添中学校区、浦西中学校区にそれぞれ1ヵ所設置されている。

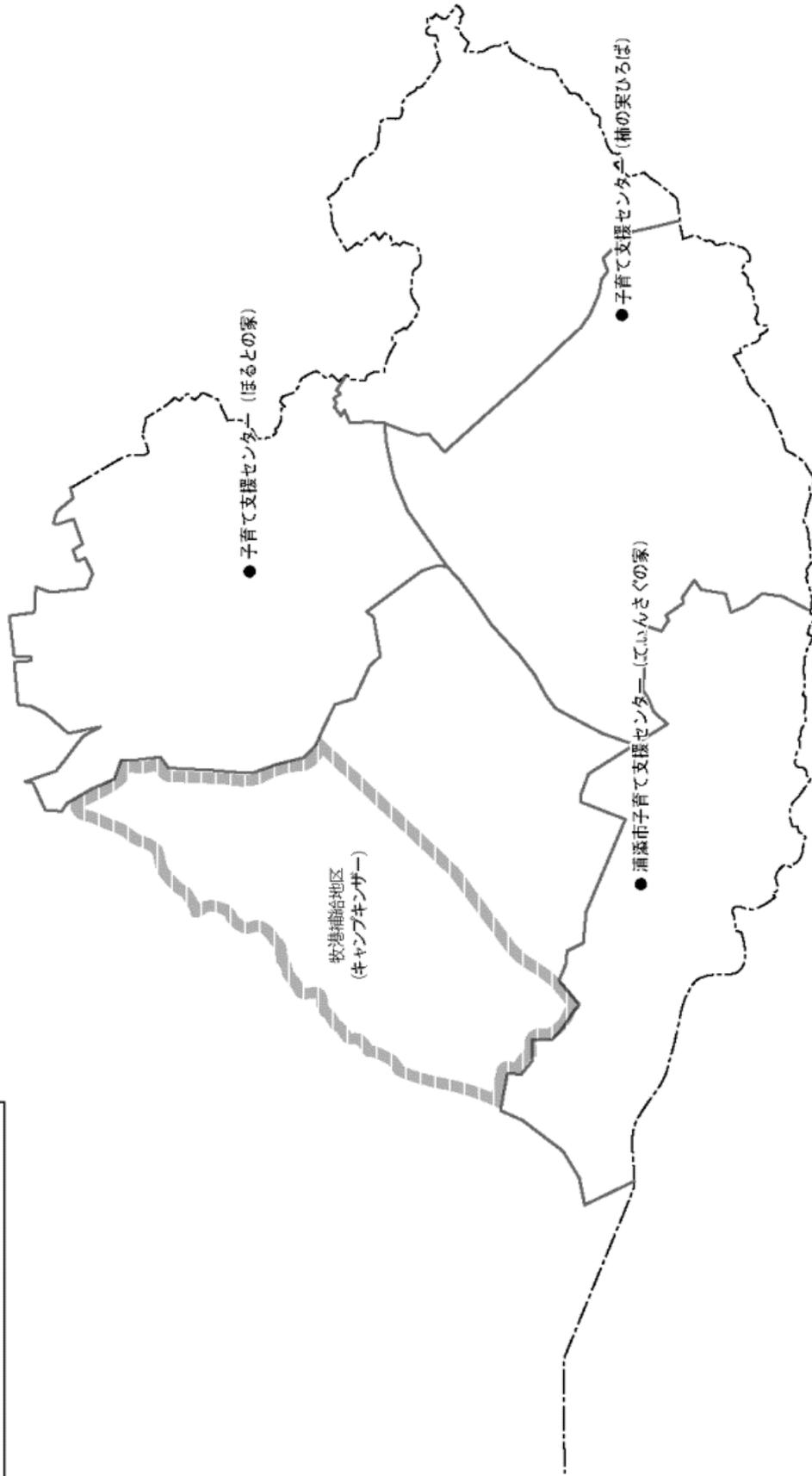
◇ その他の子育て支援施設

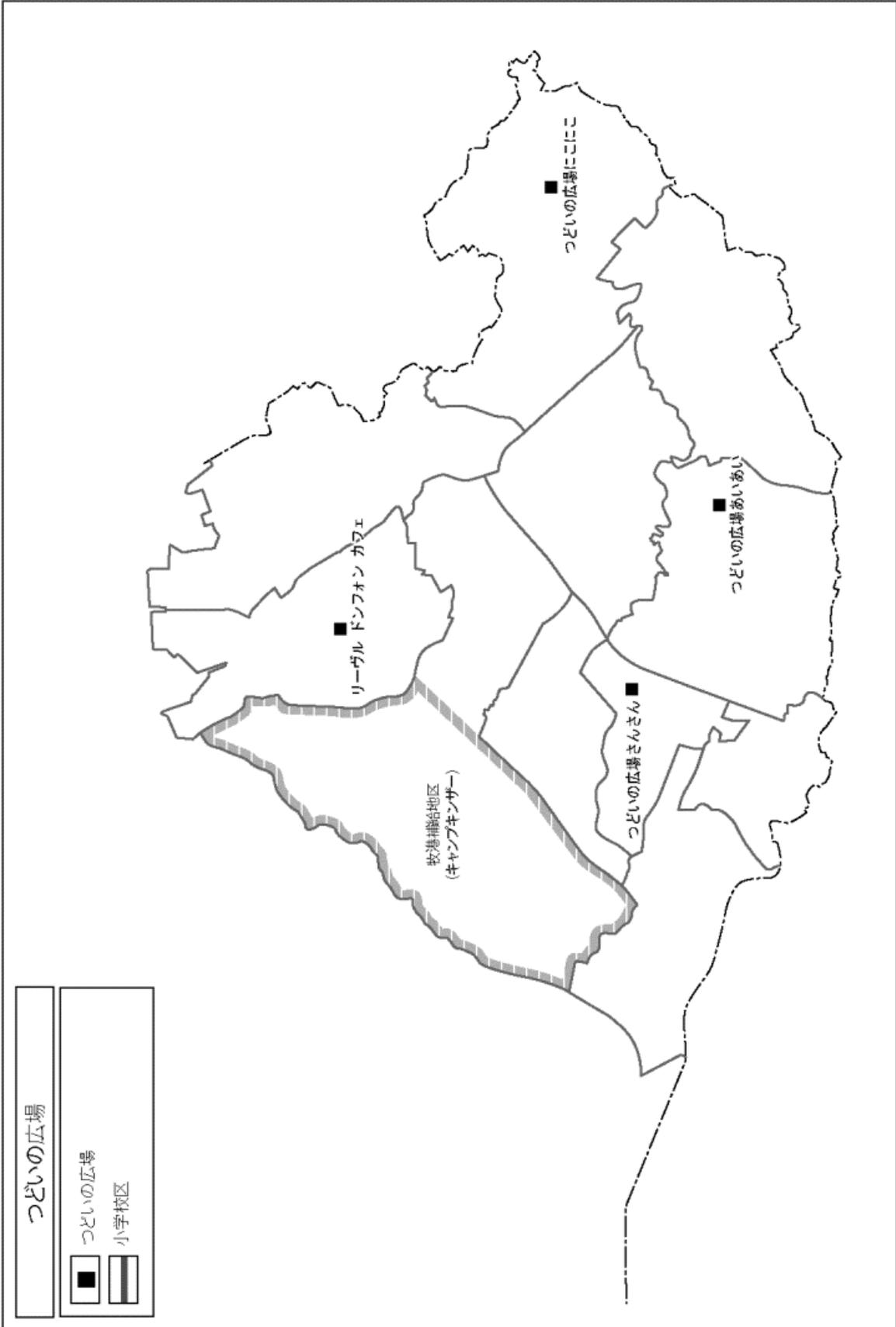
	名称	住所
子育て支援センター	ほるとの家	牧港1-64-6
	ていんさぐの家	内間4-26-20(内間保育所2F)
	柿の実ひろば	前田1-11-17(柿の実保育園内)
つどいの広場	リーヴル ドンフォン カフェ	港川2-21-1(ルーブル保育園内)
	にこにこ	西原4-9-1(西原児童センター2階)
	あいあい	経塚1-17-1(経塚児童センター内)
	さんさん	大平2-7-6(小湾保育所2階)

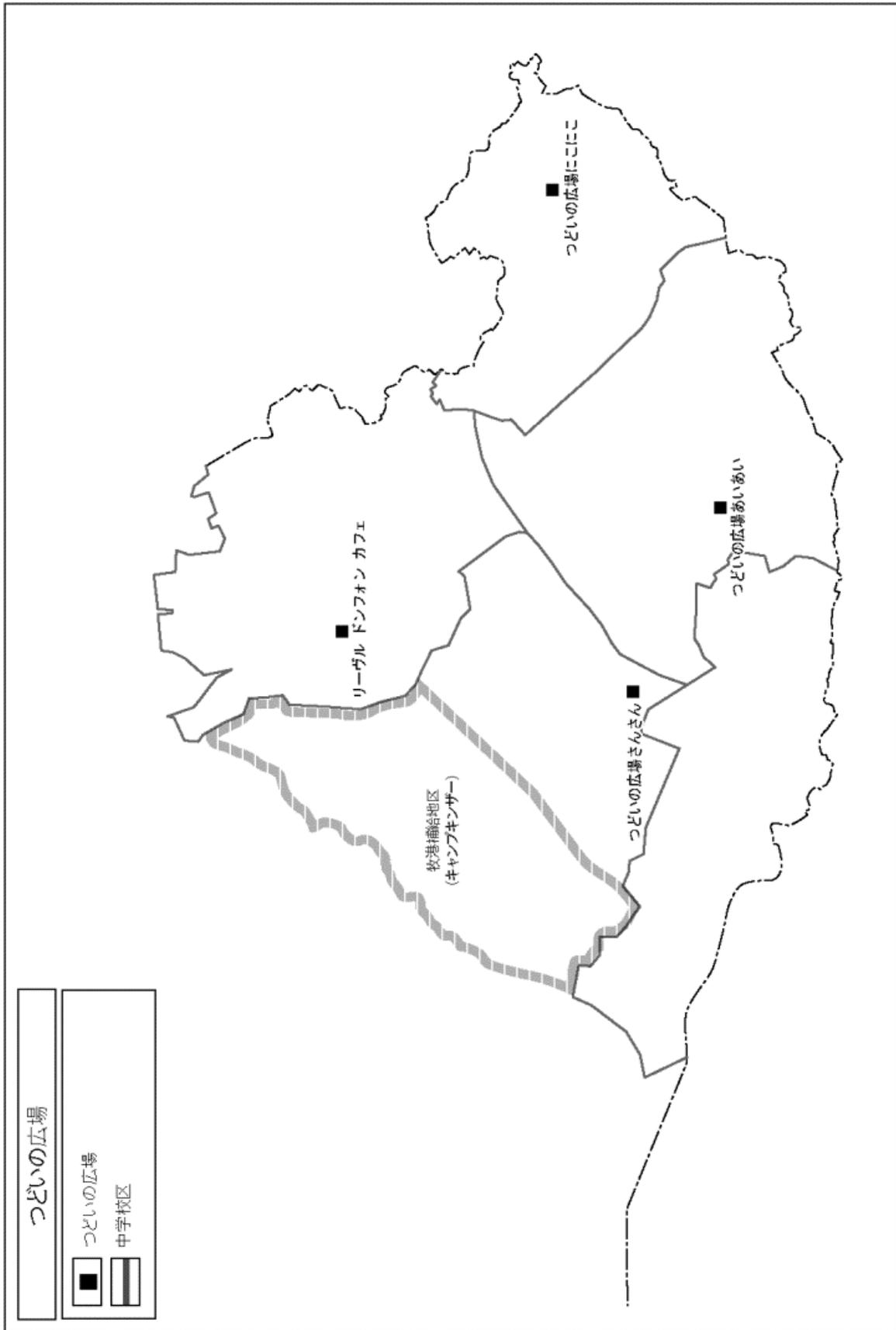


子育て支援センター分布図

- 子育て支援センター
- ▬ 中学校区

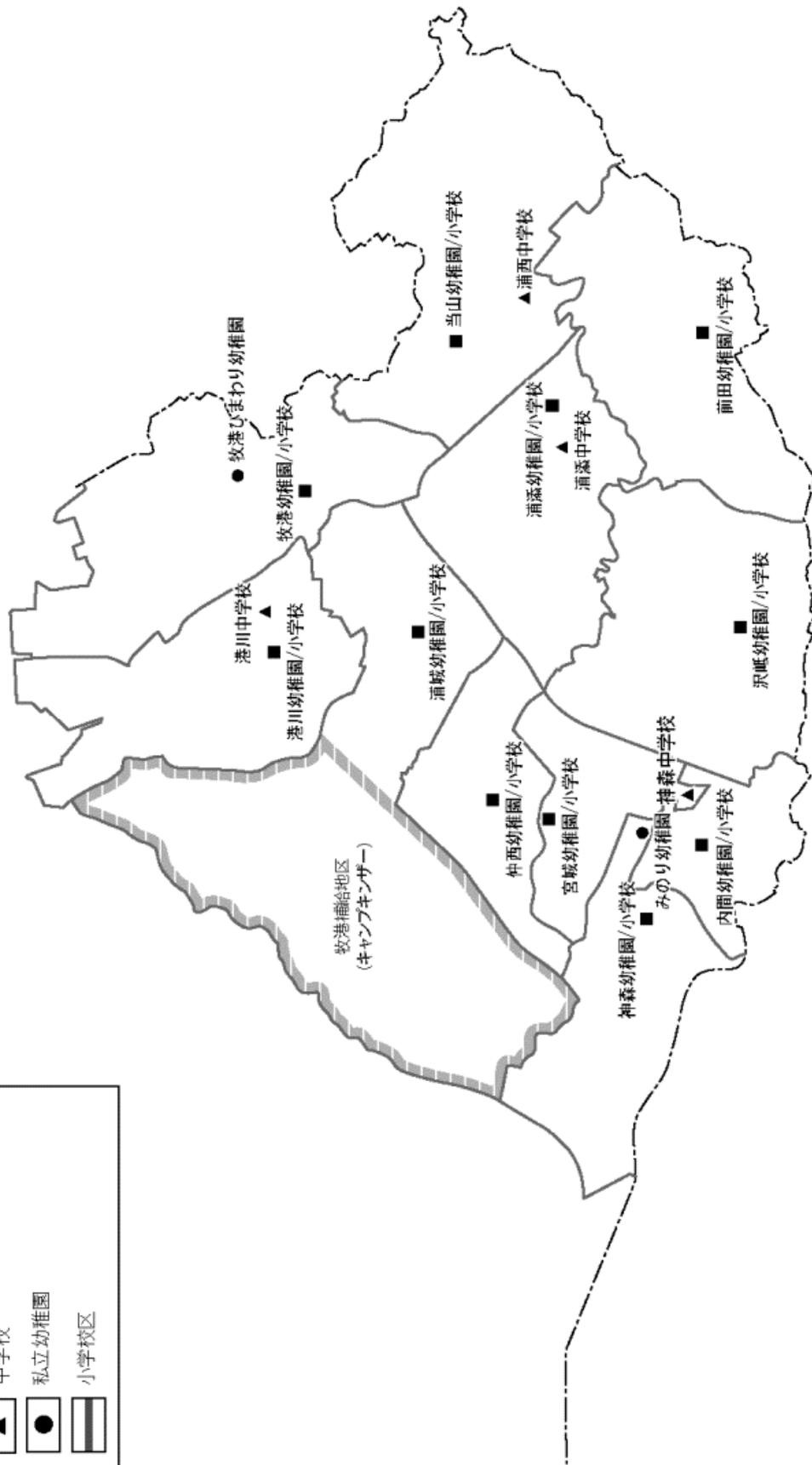






幼稚園・小学校・中学校分布図

- 市立幼稚園・小学校
- ▲ 中学校
- 私立幼稚園
- ▬ 小学校区



Ⅱ 子ども・子育てに関するニーズ調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

浦添市子ども子育て支援事業計画の策定に向け、子育て支援について市民の実態や教育・保育サービスのニーズ等を把握することを目的に「浦添市子ども・子育てに関するニーズ調査」を実施した。

(2) 就学前児童調査【0歳～5歳児】

調査は、平成25年11月1日現在市内に居住する就学前児童（0歳～5歳児）のいる世帯を対象として、その保護者に実施した。

調査対象の抽出方法は、住民基本台帳より5,000世帯を無作為抽出した。

調査方法は、郵送による調査票の配付・回収とした。

調査の概要は以下のとおりである。

基準日：平成25年11月1日

調査件数：5,000世帯

世帯数：6,392世帯

調査期間：平成25年12月13日～27日

児童数：8,715人

有効回収数（率）：1,558件（31.2%）

(3) 就学児童調査【小1～小6年生】

調査は、平成26年2月現在市内に居住する就学児童（小1～小6年生）のいる世帯を対象として、その保護者に実施した。

調査対象の抽出方法は、市立11小学校の全児童数の按分により1,000世帯を抽出した。

調査方法は、各小学校を通じた調査票の配付・回収とした。

調査の概要は以下のとおりである。

児童在籍数：8,216人

調査件数：1,000世帯

（平成25年5月1日現在）

調査期間：平成26年2月18日～26日

有効回収数（率）：946件（94.6%）

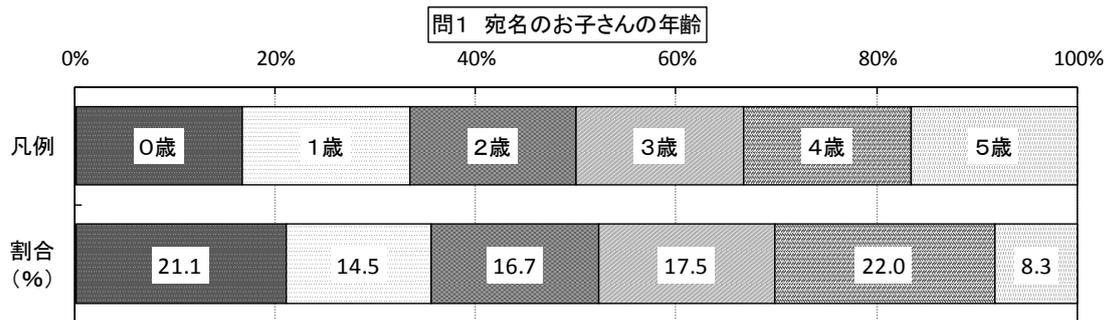
2. 就学前児童アンケート調査の結果

調査の結果は以下の通りとなった。

お子さんと家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

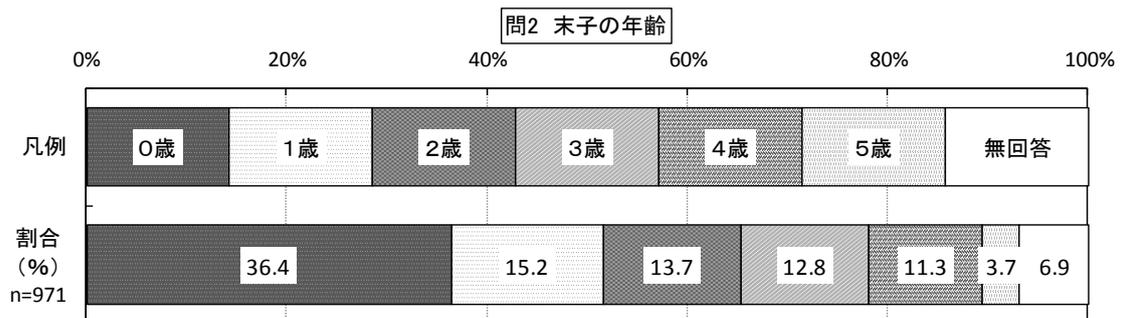
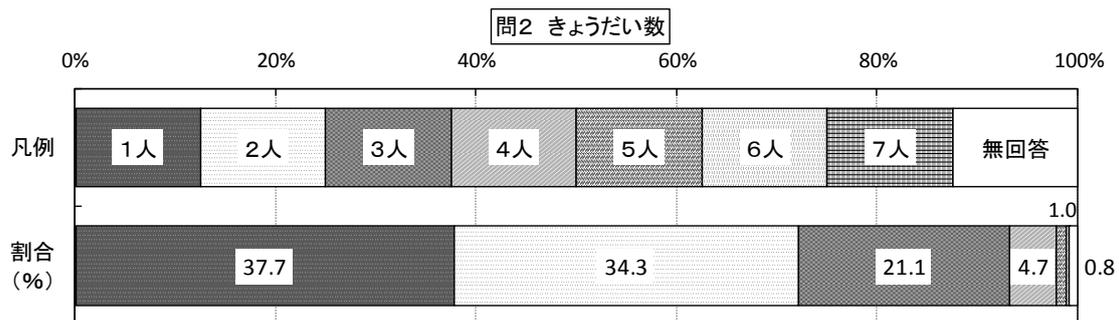
年齢をみると「4歳」が2割強（22.0%）で最も多く、次いで「0歳」（21.1%）、「3歳」（17.5%）、「2歳」（16.7%）、「1歳」（14.5%）、「5歳」（8.3%）と続いている。



問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

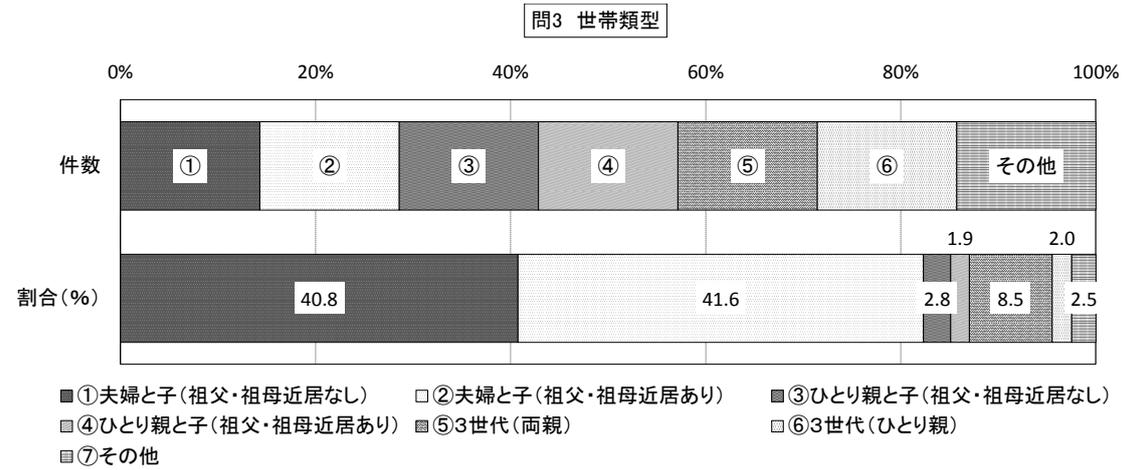
きょうだいの数をみると、「1人」が4割弱（37.7%）で最も多く、次いで「2人」が3割強（34.3%）となっており、『2人以下』が7割強（72.0%）を占める。

末子の年齢をみると、「0歳」が4割弱（36.4%）で最も多く、次いで「1歳」（15.2%）、「2歳」（13.7%）、「3歳」（12.8%）、「4歳」（11.3%）、「5歳」（3.7%）と続いている。年齢が低くなるにつれ割合が高くなる傾向がみられる。



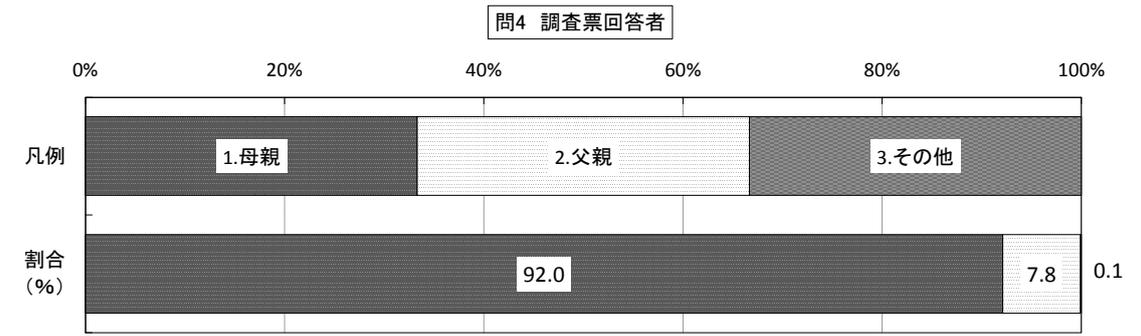
問3 あて名のお子さんの同居・近居の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

同居・近居の状況についてみると、「夫婦と子(祖父・祖母近居あり)」が4割強(41.6%)で最も多く、次いで「夫婦と子(祖父・祖母近居なし)」が約4割(40.8%)となっており、『夫婦と子』世帯が8割強(82.4%)を占める。『ひとり親』(4.7%)をあわせた9割弱(87.1%)が核家族世帯となり、『3世代同居』は約1割(10.5%)にとどまっている。



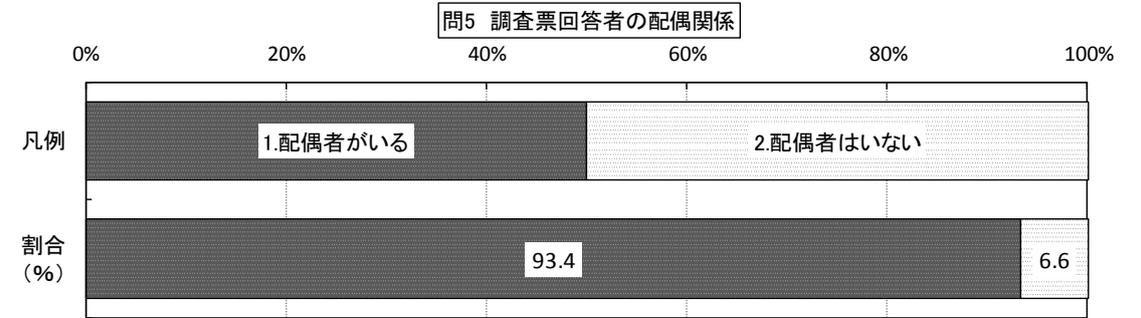
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者を見ると、「母親」が9割強(92.0%)を占め、「父親」は1割弱(7.8%)、「その他」は0.1%とごく僅かである。



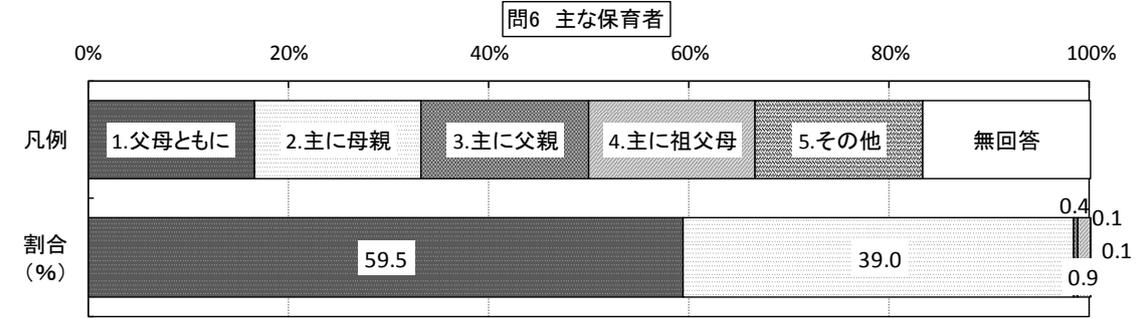
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶者についてみると、「配偶者がいる」が9割強（93.4%）を占め、「配偶者はいない」は1割以下（6.6%）となっている。



問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

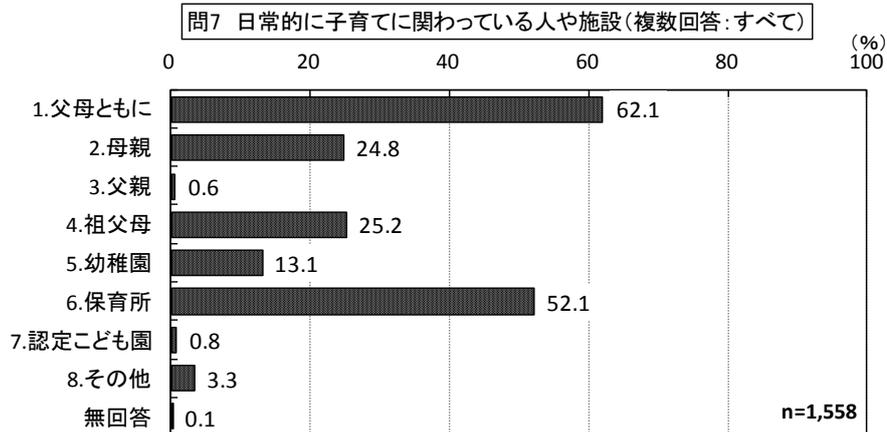
子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が約6割（59.5%）を占め、次いで「主に母親」（39.0%）となっている。



子どもの育ちをめぐる環境について

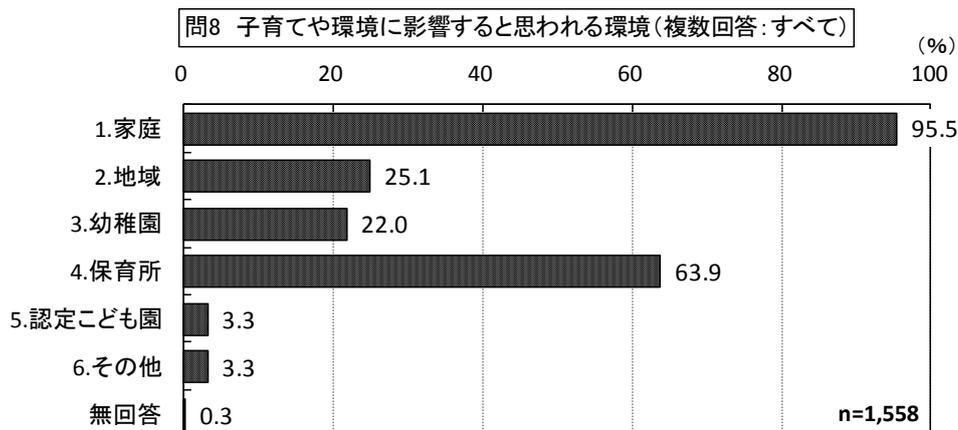
問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

子育てに関わっている人や施設をみると、「父母ともに」が6割強（62.1%）で最も多く、次いで「保育所」（52.1%）、「祖父母」（25.2%）、「母親」（24.8%）と続いている。



問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに影響すると思われる環境をみると、10割近い（95.5%）回答者が「家庭」を挙げ、次いで「保育所」が6割強（63.9%）、「地域」（25.1%）、「幼稚園」（22.0%）と続いている。

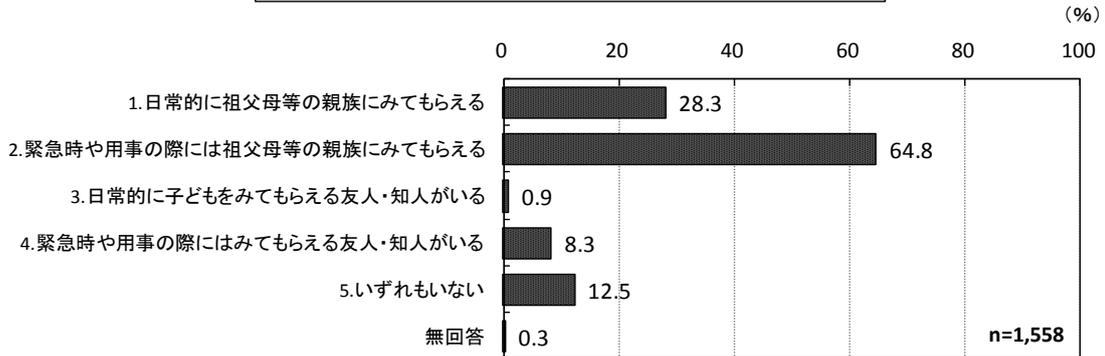


問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

面倒をみてくれる親族・知人については、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割強（64.8%）を占め、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は3割弱（28.3%）となっている。

一方で、「いずれもない」が1割強（12.5%）と、“子どもの面倒をみてもらえる親族・知人がいない世帯”もみられる。

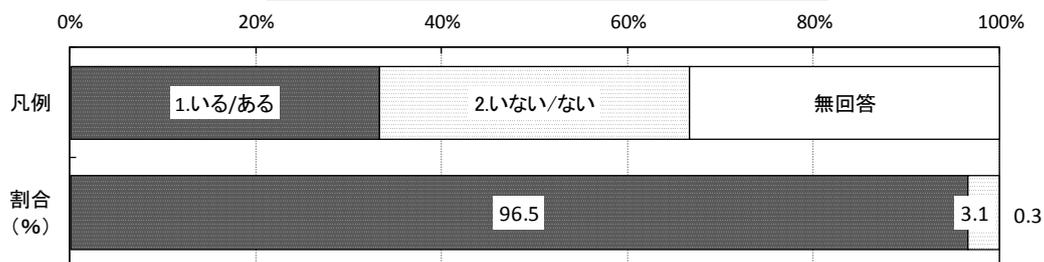
問9 日頃、面倒をみてくれる親族・知人の有無（複数回答：すべて）



問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

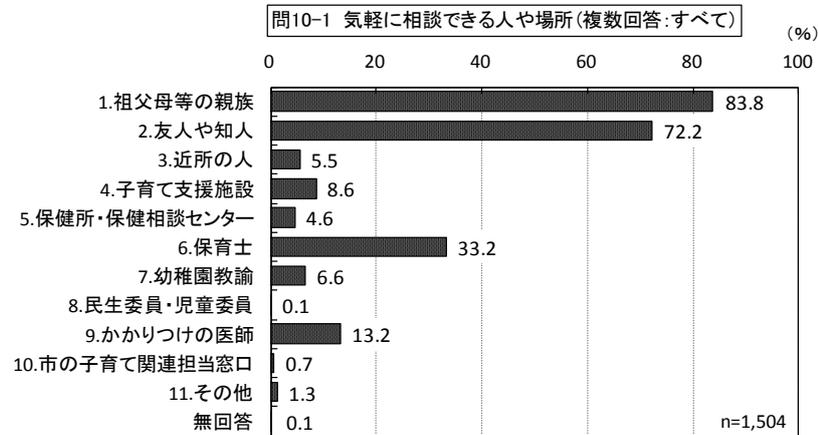
子育てや教育について気軽に相談できる人や場所があるかについては、10割近い（96.5%）回答者が「いる／ある」としており、「いない／ない」は約3%と僅かである。

問10 子育てや教育について気軽に相談できる人や場所の有無



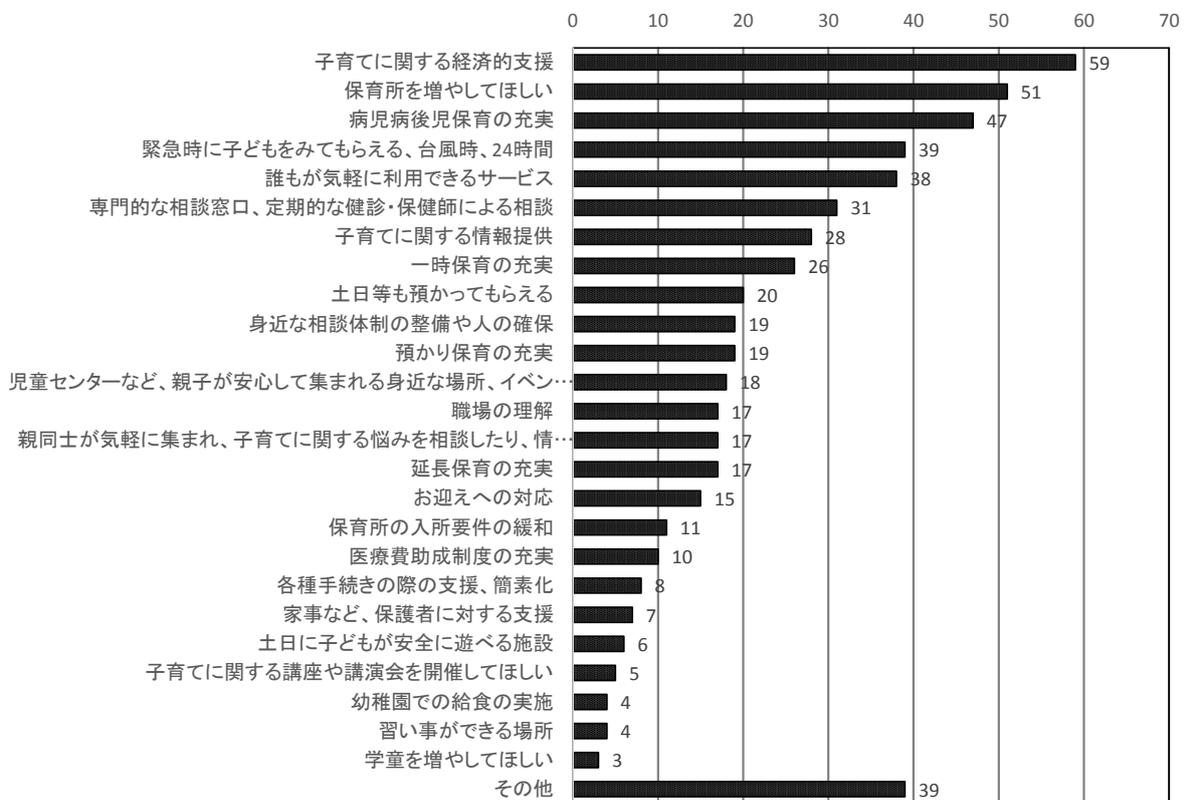
問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

子育てや教育について気軽に相談できる人や場所をみると、「祖父母等の親族」が8割強（83.8%）で最も多く、次いで「友人や知人」（72.2%）、「保育士」（33.2%）と続いている。



問11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要なサポートとしては、経済的な支援を求める意見や、保育所の増設、病児病後児保育の充実が上位を占めており、経済的な支援や子どもを預けやすい環境整備を求める声が多くなっている。

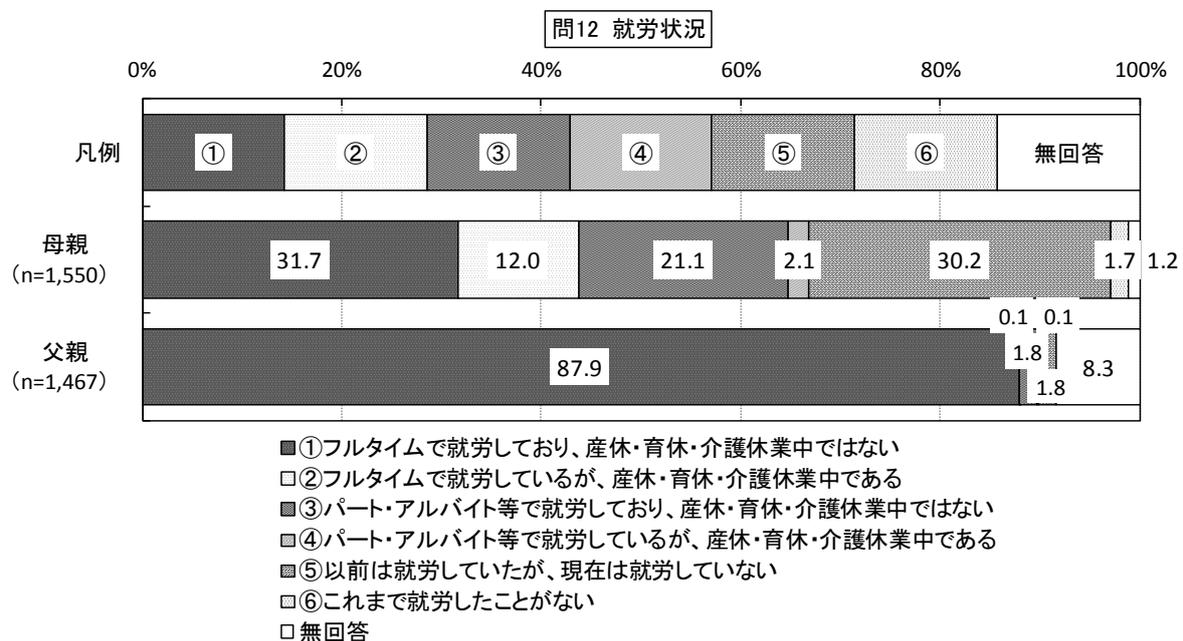


保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

保護者の就労状況をみると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が3割強（31.7%）で最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（21.1%）をあわせた半数以上（52.8%）が現在就労している。また、『就労しているが産休・育休・介護休業中』もあわせて1割強（14.1%）みられる。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が9割弱（87.9%）を占め、他は僅かである。



問12-1 問12で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

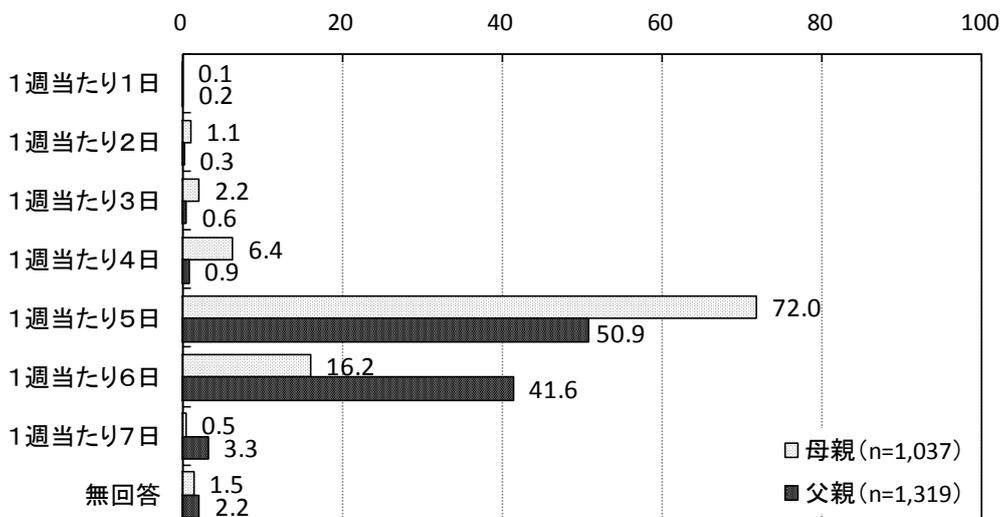
1週当たりの就労日数をみると、母親では「1週当たり5日」が7割強（72.0%）で最も多く、次いで「1週当たり6日」（16.2%）となっている。父親では「1週当たり5日」が約5割（50.9%）で最も多く、次いで「1週当たり6日」（41.6%）となっている。

1日当たりの就労時間をみると、母親では「1日当たり8時間」が約4割（40.2%）で最も多く、次いで「1日当たり6時間」（11.9%）、「1日当たり7時間」（11.3%）となっている。父親では「1日当たり8時間」が3割強（33.0%）で最も多く、次いで「1日当たり10時間」（19.3%）、「1日当たり9時間」（16.5%）となっている。

母親はパート・アルバイトの就労も多いことから、短時間就労も多くみられる傾向にある。父親は就労日数、就労時間が多い傾向にあり、残業や休日出勤も多いことがうかがえる。

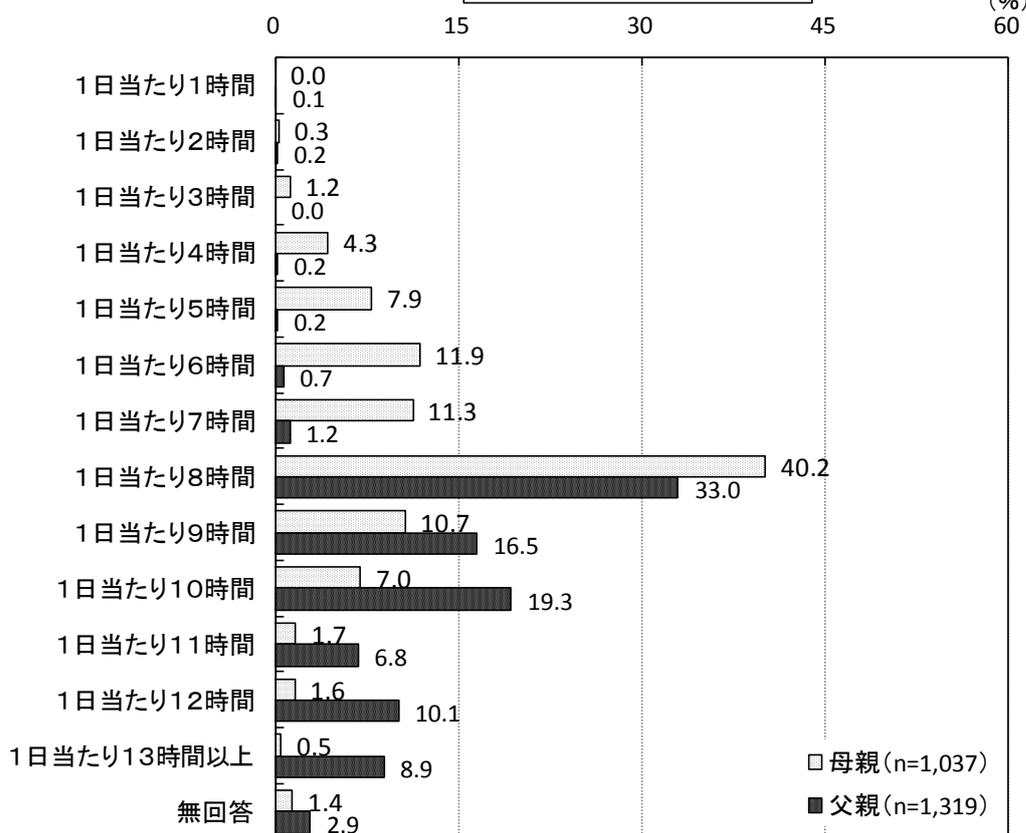
問12-1 1週当たりの就労日数

(%)



問12-1 1日当たりの就労時間

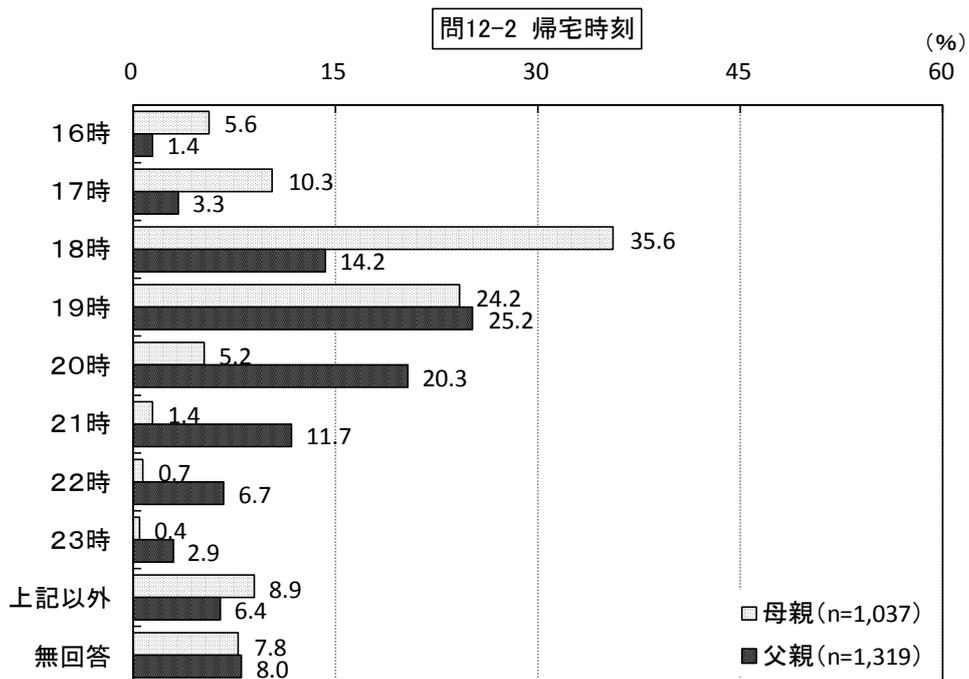
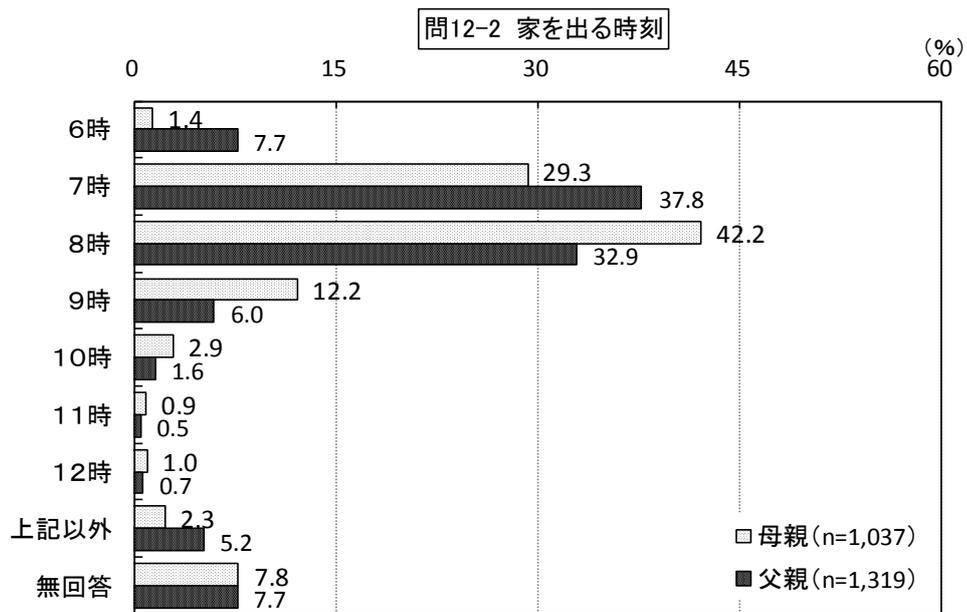
(%)



問12-2 問12 で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

家を出る時刻をみると、母親では「8時」が4割強（42.2%）で最も多く、次いで「7時」（29.3%）となっている。父親では「7時」が4割弱（37.8%）で最も多く、次いで「8時」（32.9%）となっている。

帰宅時間をみると、母親では「18時」が4割弱（35.6%）で最も多く、次いで「19時」（24.2%）となっている。父親では「19時」が3割弱（25.2%）で最も多く、次いで「20時」（20.3%）となっている。

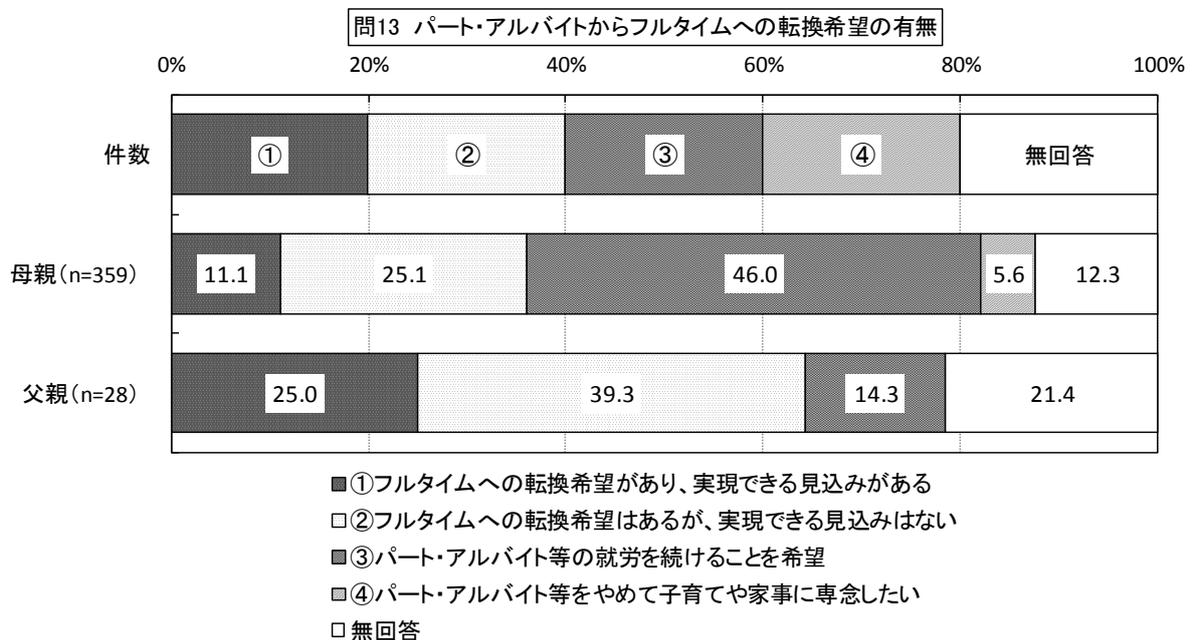


問13 問12で「3.4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいますフルタイムへの転換希望はありますか。

フルタイムの転換希望をみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割弱（46.0%）で最も多くなっている。

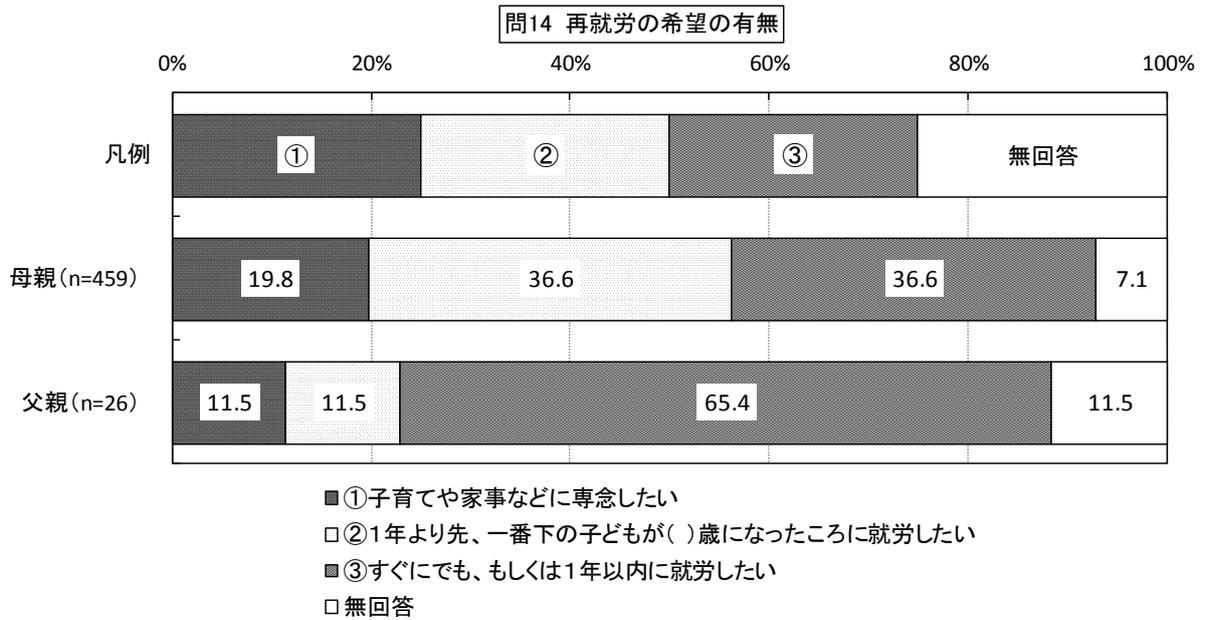
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」をあわせた『フルタイムへの転換希望』も4割弱（36.2%）みられるが、実現できる見込みがあると回答したのは1割強（11.1%）にとどまっている。

父親については、『フルタイムへの転換希望』が6割強（64.3%）となっており、母親と比べて転換希望が高い。しかし、実現できる見込みがあると回答したのは2割強（25.0%）にとどまっている。

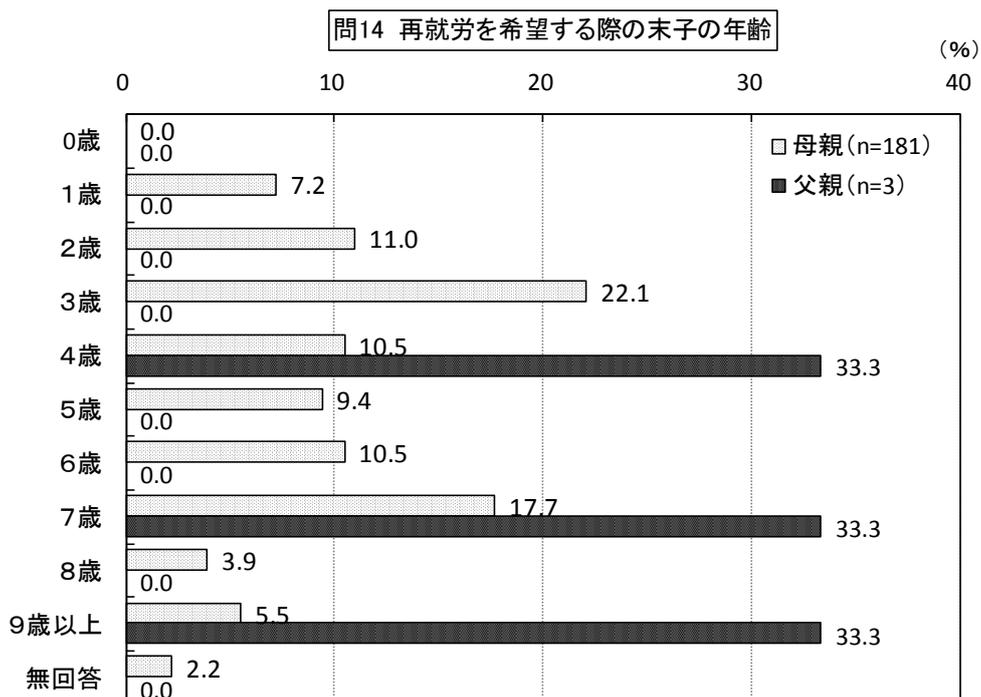


問14 問12で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

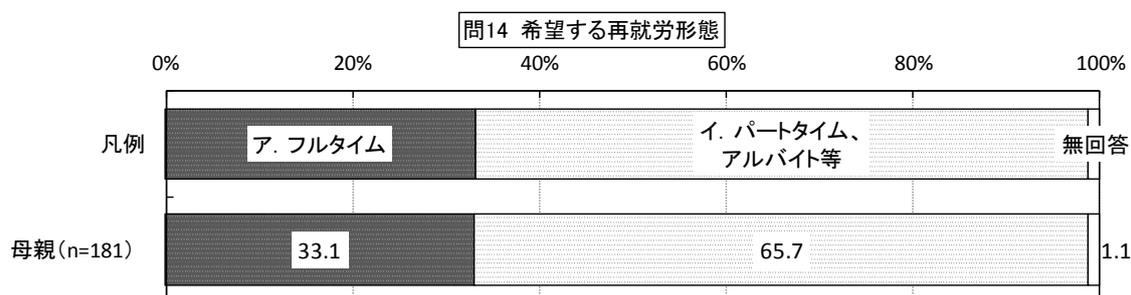
再就労・就労の希望をみると、母親では「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに4割弱(36.6%)となっており、『再就労・就労を希望する母親』があわせて7割強(73.2%)を占める。



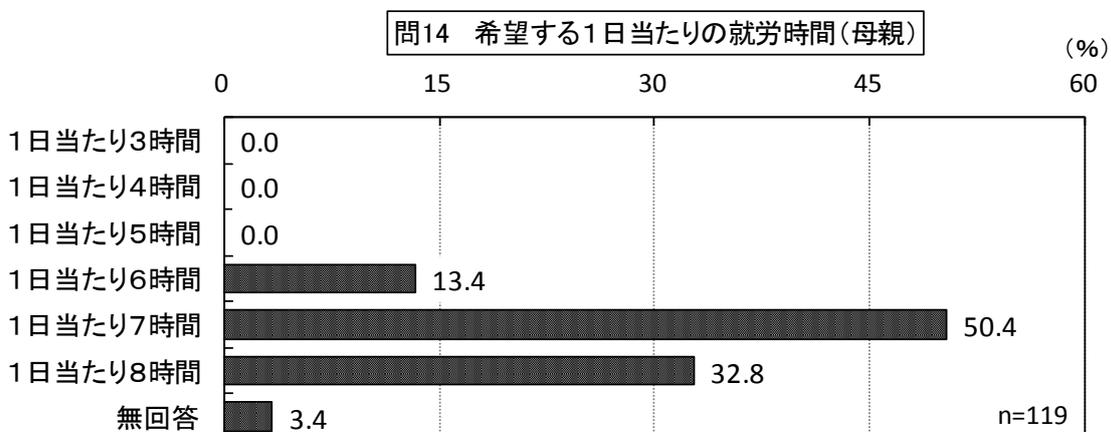
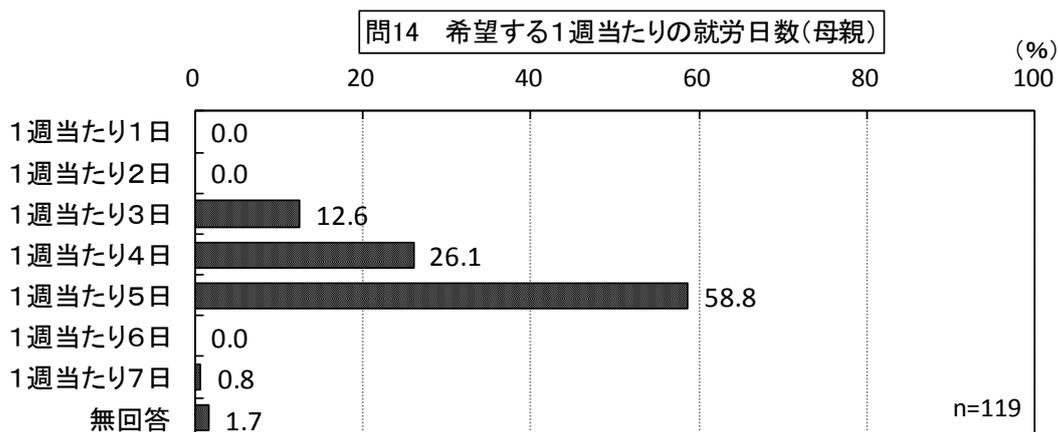
「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」と回答した母親について、再就職を希望する際の末子の年齢をみると、「3歳」が2割強(22.1%)で最も多く、次いで「7歳」(17.7%)となっている。



希望する就労形態をみると、母親では「パートタイム、アルバイト等」が7割弱（65.7%）を占め、「フルタイム」は3割強（33.1%）となっている。



パートタイム、アルバイト等希望者について、希望する1週当たりの就労日数をみると、母親では「1週当たり5日」が6割弱（58.8%）で最も多く、次いで「1週当たり4日」（26.1%）となっている。また、希望する1日当たりの就労時間をみると、母親では「1日当たり7時間」が約5割（50.4%）で最も多く、次いで「1日当たり8時間」（32.8%）となっている。

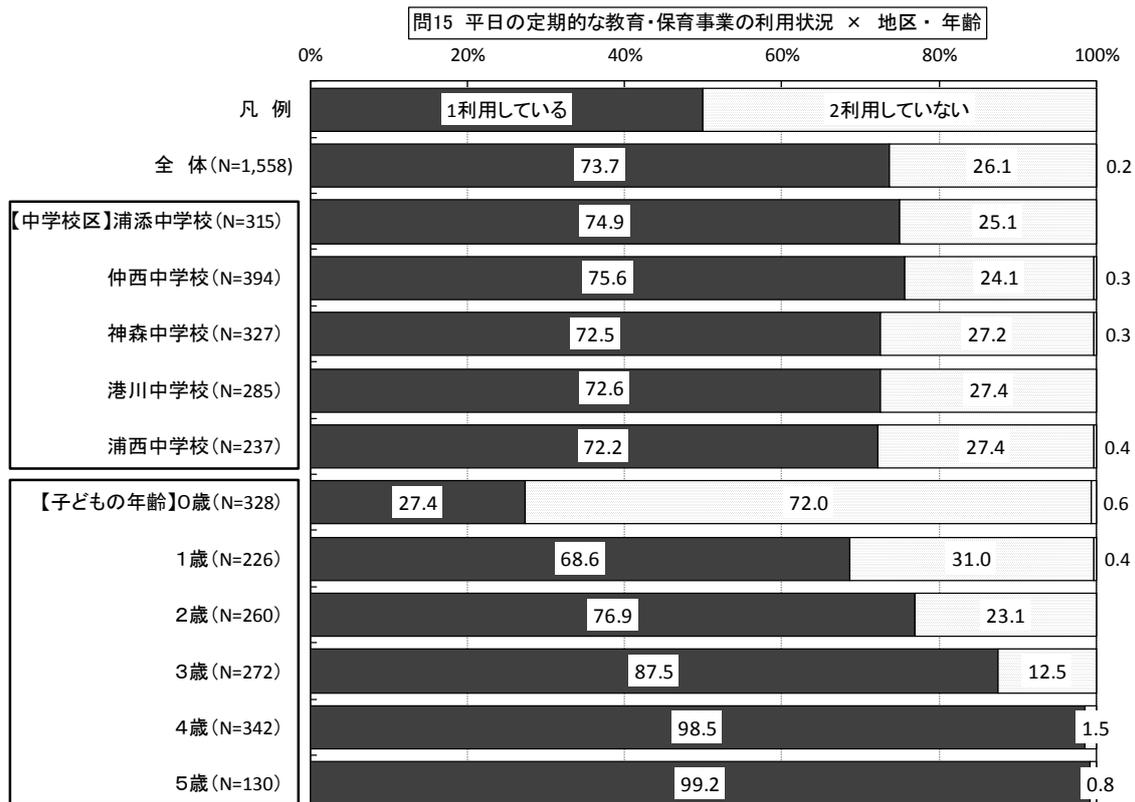
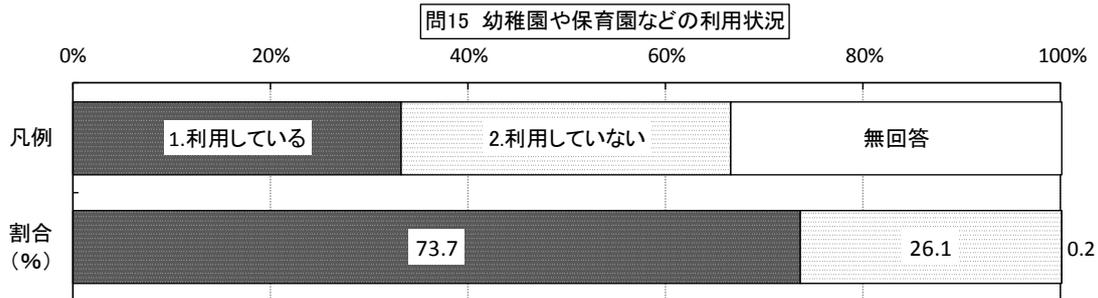


平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

幼稚園や保育所などの利用状況を見ると、「利用している」が7割強（73.7%）、「利用していない」が3割弱（26.1%）となっている。

年齢で見ると、0歳で「利用している」の割合が3割弱（27.4%）で最も少なく、年齢が上がるにしたがって利用している割合が増加する傾向にある。



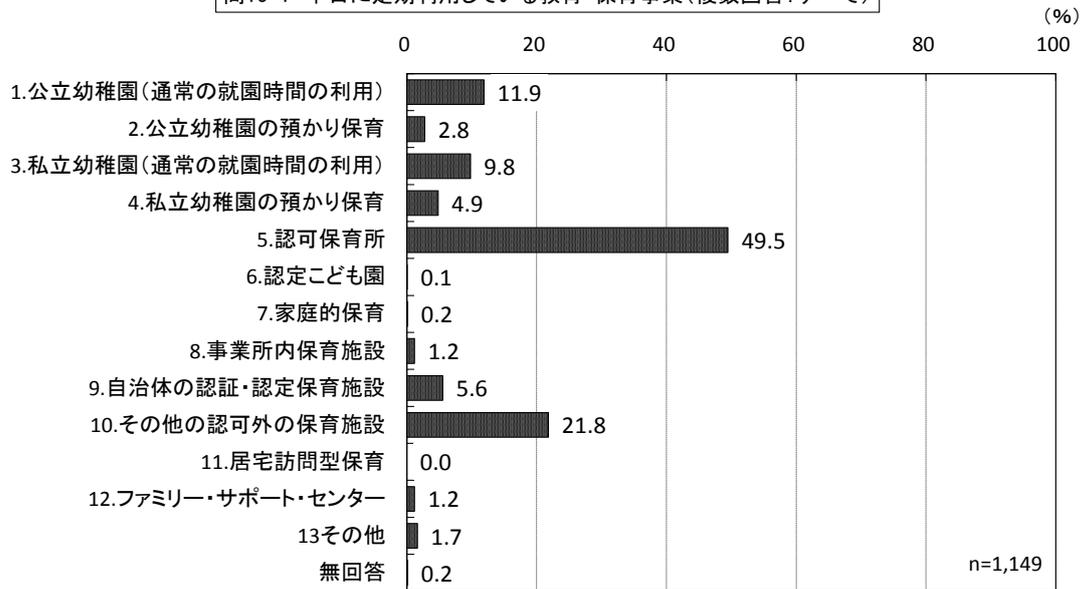
問15-1 問15-1～問15-4 は、問15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

平日に定期的に利用している教育・保育事業をみると、「認可保育所」が約5割(49.5%)で最も多く、次いで「その他の認可外の保育施設」(21.8%)、「公立幼稚園(通常の就園時間の利用)」(11.9%)となっている。

地区別でみると、浦添中学校区では「公立幼稚園」、港川中学校区では「私立幼稚園」、浦西中学校区では「認可保育所」の割合がそれぞれ若干高くなっている。

年齢でみると、0歳～3歳では「認可保育所」や「その他の認可外保育施設」の割合が比較的高く、4歳～5歳では「公立幼稚園」の割合が比較的高くなっている。

問15-1 平日に定期利用している教育・保育事業(複数回答:すべて)



問15-1 平日に定期的にご利用している教育・保育事業(すべて) × 中学校区・年齢 (複数回答)

上段:件数、下段:横%	①	か②	③	か④	⑤	⑥	⑦	設⑧	認⑨	の⑩	⑪	ポ⑫	⑬	無	
	公立幼稚園	り公立幼稚園の預	私立幼稚園	り私立幼稚園の預	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	回答	
全体 (n=1,149)	137 11.9	32 2.8	113 9.8	56 4.9	569 49.5	1 0.1	2 0.2	14 1.2	64 5.6	251 21.8	0 0.0	14 1.2	19 1.7	2 0.2	
地区	浦添中学校区 (n=236)	37 15.7	9 3.8	23 9.7	10 4.2	113 47.9	1 0.4	0 0.0	3 1.3	10 4.2	48 20.3	0 0.0	3 1.3	4 1.7	0 0.0
	仲西中学校区 (n=298)	39 13.1	10 3.4	33 11.1	20 6.7	131 44.0	0 0.0	1 0.3	5 1.7	20 6.7	69 23.2	0 0.0	4 1.3	6 2.0	1 0.3
	神森中学校区 (n=237)	25 10.5	6 2.5	17 7.2	10 4.2	126 53.2	0 0.0	0 0.0	4 1.7	4 8.0	19 20.7	49 0.0	0 0.4	1 0.0	0 0.0
	港川中学校区 (n=207)	20 9.7	3 1.4	31 15.0	11 5.3	103 49.8	0 0.0	0 0.0	2 1.0	7 3.4	46 22.2	0 0.0	3 1.4	4 1.9	1 0.5
	浦西中学校区 (n=171)	16 9.4	4 2.3	9 5.3	5 2.9	96 56.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	8 4.7	39 22.8	0 0.0	3 1.8	5 2.9	0 0.0
	年齢	0歳 (n=90)	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 46.7	0 0.0	0 0.0	6 6.7	5 5.6	32 35.6	0 0.0	1 1.1	3 3.3
1歳 (n=155)		0 0.0	0 0.0	3 1.9	1 0.6	86 55.5	0 0.0	0 0.0	2 1.3	15 9.7	47 30.3	0 0.0	0 0.0	3 1.9	0 0.0
2歳 (n=200)		0 0.0	0 0.0	9 4.5	5 2.5	119 59.5	0 0.0	0 0.0	1 0.5	9 4.5	60 30.0	0 0.0	3 1.5	3 1.5	0 0.0
3歳 (n=238)		0 0.0	0 0.0	30 12.6	12 5.0	143 60.1	1 0.4	1 0.4	2 0.8	14 5.9	48 20.2	0 0.0	3 1.3	1 0.4	0 0.0
4歳 (n=337)		62 18.4	9 2.7	51 15.1	29 8.6	148 43.9	0 0.0	1 0.3	3 0.9	19 5.6	58 17.2	0 0.0	5 1.5	3 0.9	2 0.6
5歳 (n=129)		74 57.4	23 17.8	20 15.5	9 7.0	31 24.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	6 4.7	0 0.0	2 1.6	6 4.7	0 0.0

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たりの利用日数をみると、現在は「5日」が7割強（65.2%）で最も多く、次いで「6日」（30.4%）となっており、希望する利用日数については、「5日」が4割強（44.6%）、次いで「6日」（35.2%）となっている。

問15-2 1週当たりの利用日数

(単数回答)

	(1)現在		(2)希望	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1週当たり1日	4	0.3	2	0.2
1週当たり2日	8	0.7	0	0.0
1週当たり3日	7	0.6	6	0.5
1週当たり4日	8	0.7	8	0.7
1週当たり5日	749	65.2	513	44.6
1週当たり6日	349	30.4	404	35.2
1週当たり7日	1	0.1	9	0.8
無回答	23	2.0	207	18.0
合計	1,149	100.0	1,149	100.0

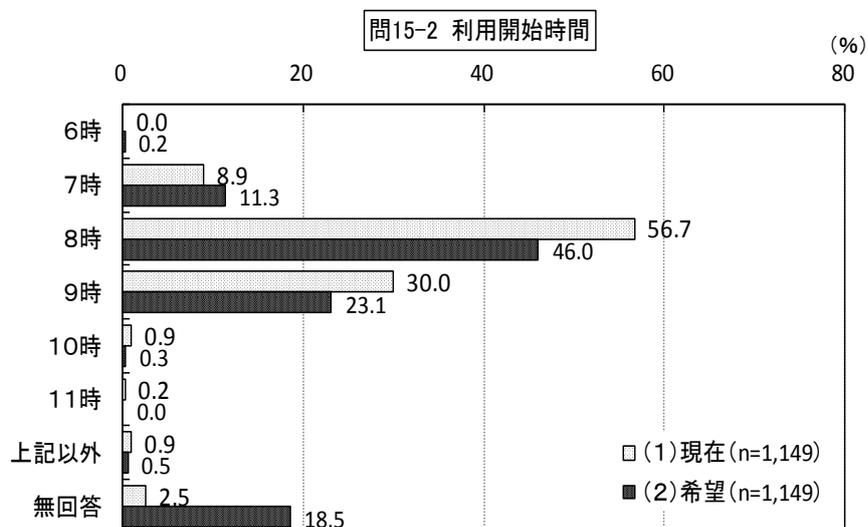
1日当たりの利用時間をみると、現在は「10時間」が3割強（27.5%）で最も多く、次いで「9時間」（26.5%）、「8時間」（15.4%）、「11時間」（9.0%）と続いており、希望する利用時間については、「9時間」が約2割（20.8%）で最も多く、次いで「8時間」（18.3%）、「7時間」（12.4%）、「10時間」（11.5%）と続いている。

問15-2 1日当たりの利用時間

(単数回答)

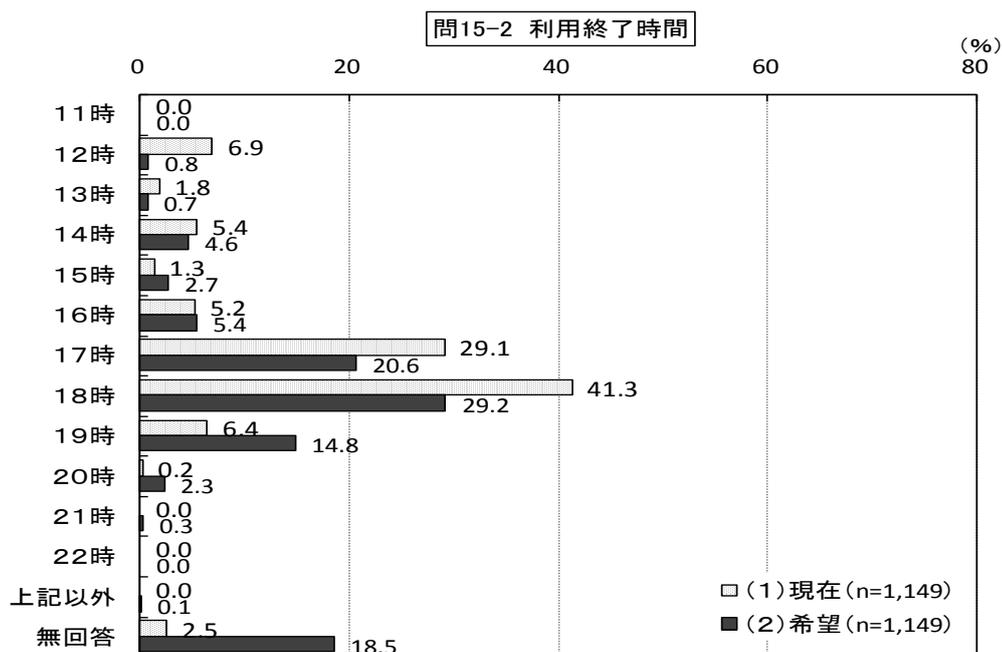
	(1)現在		(2)希望	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1日当たり1時間	1	0.2	0	0.0
1日当たり2時間	5	0.3	4	0.3
1日当たり3時間	3	0.3	12	1.0
1日当たり4時間	86	7.5	13	1.1
1日当たり5時間	47	4.1	63	5.5
1日当たり6時間	34	3.0	46	4.0
1日当たり7時間	33	2.9	143	12.4
1日当たり8時間	177	15.4	210	18.3
1日当たり9時間	305	26.5	239	20.8
1日当たり10時間	316	27.5	132	11.5
1日当たり11時間	103	9.0	78	6.8
1日当たり12時間以上	12	1.0	209	18.2
無回答	27	2.3	0	0.0
合計	1,149	100.0	1,149	100.0

利用開始時間でみると、現在は「8時」が6割弱（56.7%）で最も多く、次いで「9時」（30.0%）、「7時」（8.9%）となっており、希望する開始時間については、「8時」が5割弱（46.0%）で最も多く、次いで「9時」（23.1%）、「7時」（11.3%）となっている。



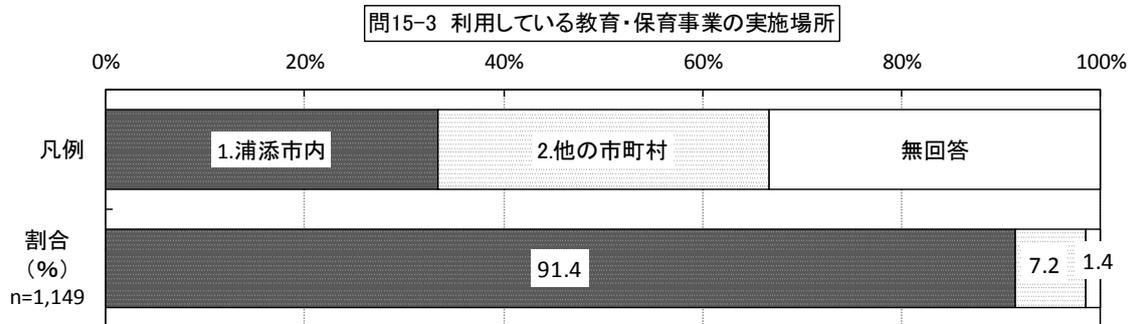
利用終了時間でみると、現在は「18時」が4割強（41.3%）で最も多く、次いで「17時」（29.1%）、「12時」（6.9%）と続いており、希望する終了時間については、「18時」が約3割（29.2%）で最も多く、次いで「17時」（20.6%）、「19時」（14.8%）と続いている。

現在の利用状況と希望する利用状況を比較すると、利用時間や利用終了時間で若干差がみられるものの、ほぼ同様の傾向にあり、現在の利用状況は希望に近い状況にあると思われる。



問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

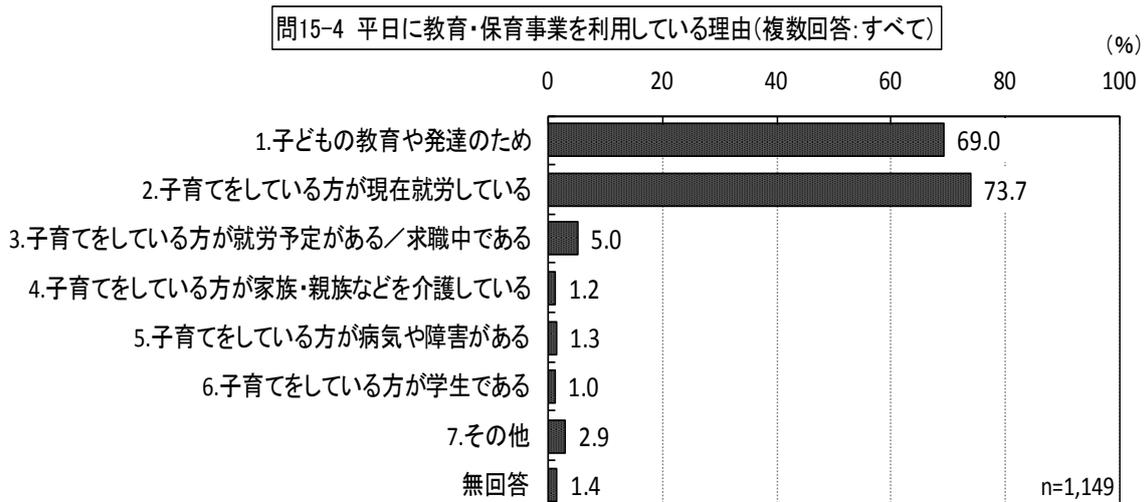
利用している教育・保育事業の実施場所をみると、「浦添市内」が9割強（91.4%）を占め、「他の市区町村」は1割弱（7.2%）となっている。



問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」が7割強（73.7%）で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（69.0%）となっている。

利用している教育・保育事業との関係でみると、幼稚園（公立幼稚園・私立幼稚園）では「子どもの教育や発達のため」が多く、認可保育所では「子育てをしている方が現在就労している」が多くみられた。なお、幼稚園（公立幼稚園・私立幼稚園）においても、「子育てをしている方が現在就労している」が4割程度みられる状況にある。



問15-4 平日に教育・保育事業を利用している理由(すべて) × 問15-1 主な利用事業 (複数回答)

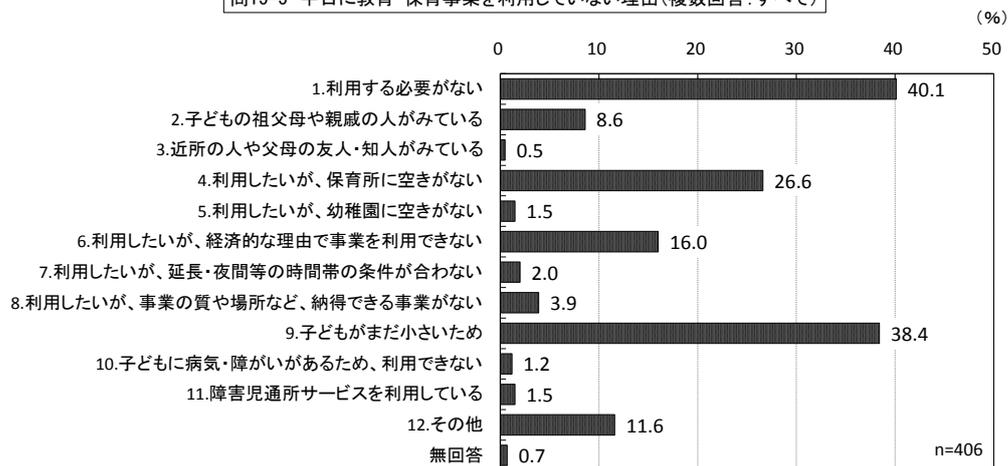
	達1の子どものための教育や発達	る方2が子育てを就労している	方3が就職中である	方4が家族を介護している	方5が病気を患っている	方6が子育てを学生である	7その他	無回答
上段:件数、下段:横%								
全体 (n=1,149)	793 69.0	847 73.7	57 5.0	14 1.2	15 1.3	12 1.0	33 2.9	16 1.4
公立幼稚園 (n=137)	113 82.5	55 40.1	6 4.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	3 2.2	4 2.9
私立幼稚園 (n=113)	107 94.7	50 44.2	2 1.8	1 0.9	1 0.9	0 0.0	4 3.5	2 1.8
認可保育所 (n=569)	343 60.4	515 90.7	18 3.2	8 1.4	8 1.4	4 0.7	9 1.6	9 1.6
認可外保育施設 (n=244)	171 70.1	170 69.7	24 9.8	5 2.0	4 1.6	6 2.5	10 4.1	1 0.4
その他 (n=87)	59 67.8	57 65.5	7 8.0	0 0.0	1 1.1	2 2.3	7 8.0	0 0.0

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください

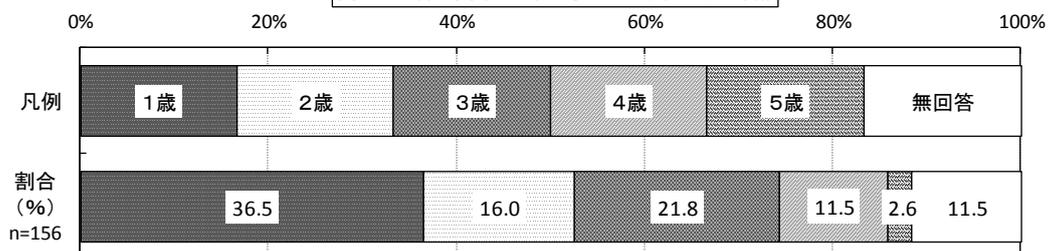
平日に教育・保育事業を利用しない理由をみると、「利用する必要がない」が約4割(40.1%)で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」(38.4%)、「利用したいが、保育に空きがない」(26.6%)と続いている。

「子どもがまだ小さいため」とした場合について、利用開始を考えている子どもの年齢をみると、「1歳」が4割弱(36.5%)で最も多く、次いで「3歳」(21.8%)となっている。

問15-5 平日に教育・保育事業を利用していない理由(複数回答:すべて)



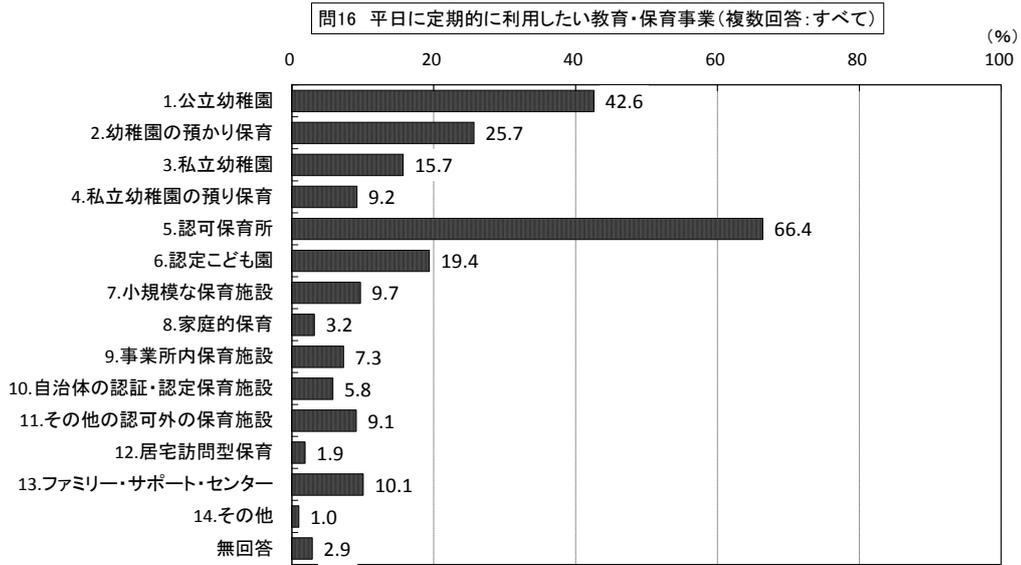
問15-5 利用開始しようと考えている子どもの年齢



問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

平日に利用したい教育・保育事業をみると、「認可保育所」が7割弱（66.4%）で最も多く、次いで「幼稚園」（42.6%）、「幼稚園の預かり保育」（25.7%）となっている。

年齢でみると、4歳～5歳では「公立幼稚園」と「公立幼稚園の預かり保育」が多くみられ、2歳以下では「認可保育所」が多くみられた。

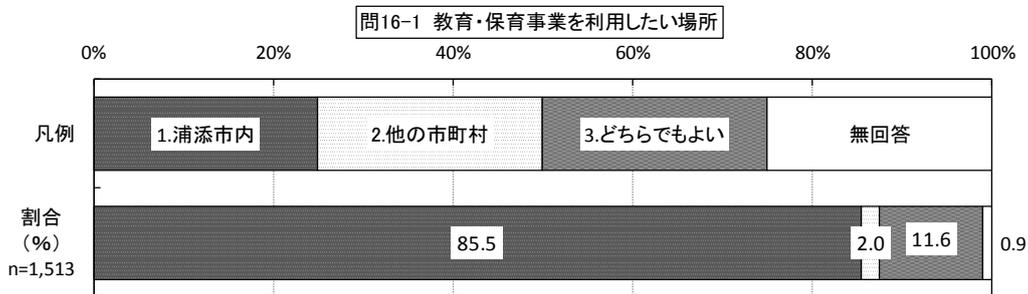


問16 平日に定期的に利用したい教育・保育事業 × 地区・年齢 (複数回答)

上段:件数、下段:横%	①	の②	③	の④	⑤	園⑥	育⑦	⑧	育⑨	施設⑩	認可⑪	保⑫	タサ⑬	⑭	無回答	
	公立幼稚園	預公立幼稚園	私立幼稚園	預私立幼稚園	認可保育所	認定こども園	小規模な保育	家庭的保育	事業所内保育	施設・自治体保育	認可外の保育施設	居宅訪問型	ファミリー・サポート・センター	その他		
全体 (n=1,558)	664 42.6	401 25.7	245 15.7	143 9.2	1,035 66.4	302 19.4	151 9.7	50 3.2	113 7.3	90 5.8	141 9.1	29 1.9	158 10.1	15 1.0	45 2.9	
地区	浦添中学校区 (n=315)	122 38.7	75 23.8	50 15.9	33 10.5	220 69.8	56 17.8	30 9.5	11 3.5	28 8.9	18 5.7	29 9.2	9 2.9	30 9.5	4 1.3	12 3.8
	仲西中学校区 (n=394)	178 45.2	99 25.1	61 15.5	28 7.1	247 62.7	82 20.8	34 8.6	10 2.5	31 7.9	18 4.6	38 9.6	3 0.8	41 10.4	5 1.3	11 2.8
	神森中学校区 (n=327)	140 42.8	85 26.0	47 14.4	32 9.8	219 67.0	61 18.7	32 9.8	16 4.9	25 7.6	19 5.8	29 8.9	8 2.4	34 10.4	2 0.6	8 2.4
	港川中学校区 (n=285)	124 43.5	77 27.0	60 21.1	32 11.2	185 64.9	61 21.4	25 8.8	8 2.8	18 6.3	18 6.3	26 9.1	7 2.5	26 9.1	2 0.7	10 3.5
	浦西中学校区 (n=237)	100 42.2	65 27.4	27 11.4	18 7.6	164 69.2	42 17.7	30 12.7	5 2.1	11 4.6	17 7.2	19 8.0	2 0.8	27 11.4	2 0.8	4 1.7
		0歳 (n=328)	126 38.4	73 22.3	41 12.5	23 7.0	276 84.1	63 19.2	62 18.9	16 4.9	33 10.1	25 7.6	39 11.9	6 1.8	38 11.6	0 0.0
年齢	1歳 (n=226)	66 29.2	41 18.1	26 11.5	19 8.4	185 81.9	49 21.7	28 12.4	8 3.5	16 7.1	21 9.3	22 9.7	5 2.2	18 8.0	1 0.4	6 2.7
		84 32.3	47 18.1	44 16.9	18 6.9	190 73.1	53 20.4	22 8.5	8 3.1	16 6.2	13 5.0	32 12.3	6 2.3	21 8.1	4 1.5	9 3.5
	3歳 (n=272)	121 44.5	75 27.6	42 15.4	30 11.0	170 62.5	43 15.8	12 4.4	8 2.9	13 4.8	11 4.0	26 9.6	5 1.8	23 8.5	1 0.4	4 1.5
		182 53.2	119 34.8	61 17.8	35 10.2	171 50.0	66 19.3	20 5.8	7 2.0	27 7.9	13 3.8	15 4.4	7 2.0	44 12.9	5 1.5	11 3.2
	5歳 (n=130)	85 65.4	46 35.4	31 23.8	18 13.8	43 33.1	28 21.5	7 5.4	3 2.3	8 6.2	7 5.4	7 5.4	0 0.0	14 10.8	4 3.1	3 2.3

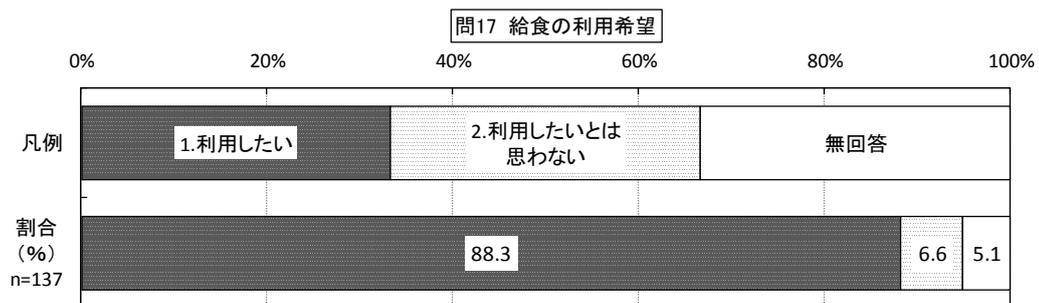
問16-1 教育・保育事業を利用したい場所について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

教育・保育事業を利用したい場所は、「浦添市内」が9割弱（85.5%）を占めるが、「どちらでもよい」も1割程度（11.6%）みられる。



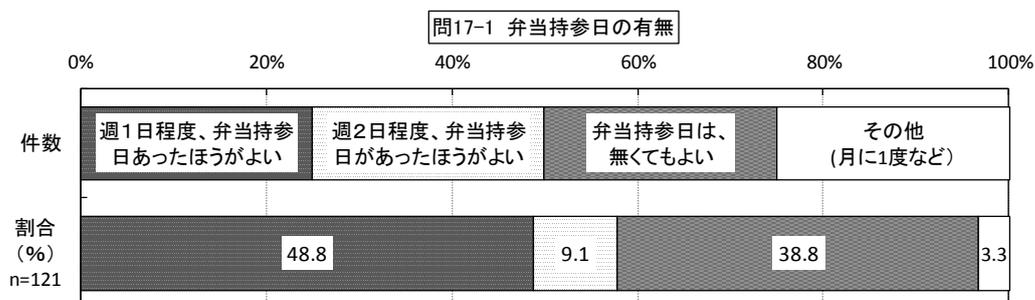
問17 問15-1 で「1. 公立幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。公立幼稚園において、給食の利用希望はありますか。

公立幼稚園利用者の給食利用希望をみると、「利用したい」が約9割（88.3%）を占めている。



問17-1 問17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。給食を利用する場合においても、弁当持参日はあったほうがよいと思われませんか。

給食を利用したいとした場合の弁当持参日の有無については、「週1日程度、弁当持参日があったほうがよい」が5割弱（48.8%）で最も多く、「週2日程度、弁当持参日があったほうがよい」（9.1%）をあわせると、6割弱（57.9%）が『あったほうがよい』としている。一方で、4割弱（38.8%）が「弁当持参日は、無くてもよい」としている。



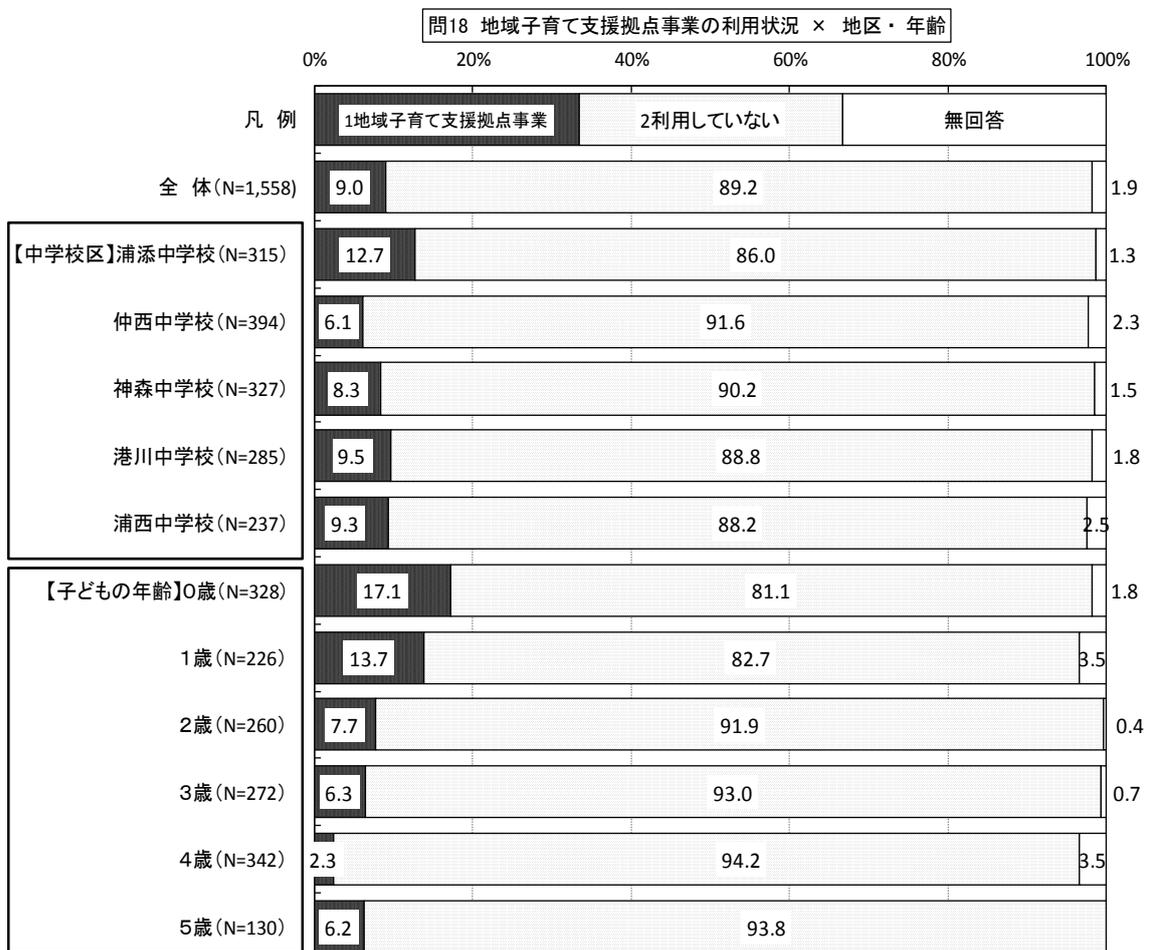
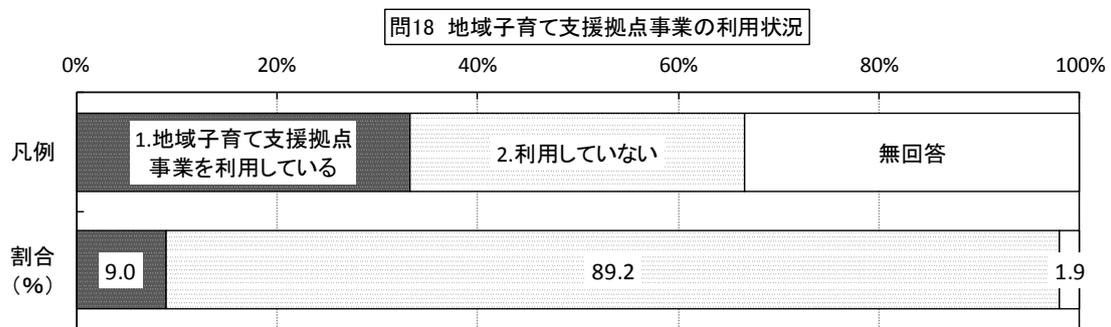
地域の子育て支援事業の利用状況について

問18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。

地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、「利用していない」が約9割（89.2%）を占め、「利用している」のは1割程度（9.0%）にとどまっている。

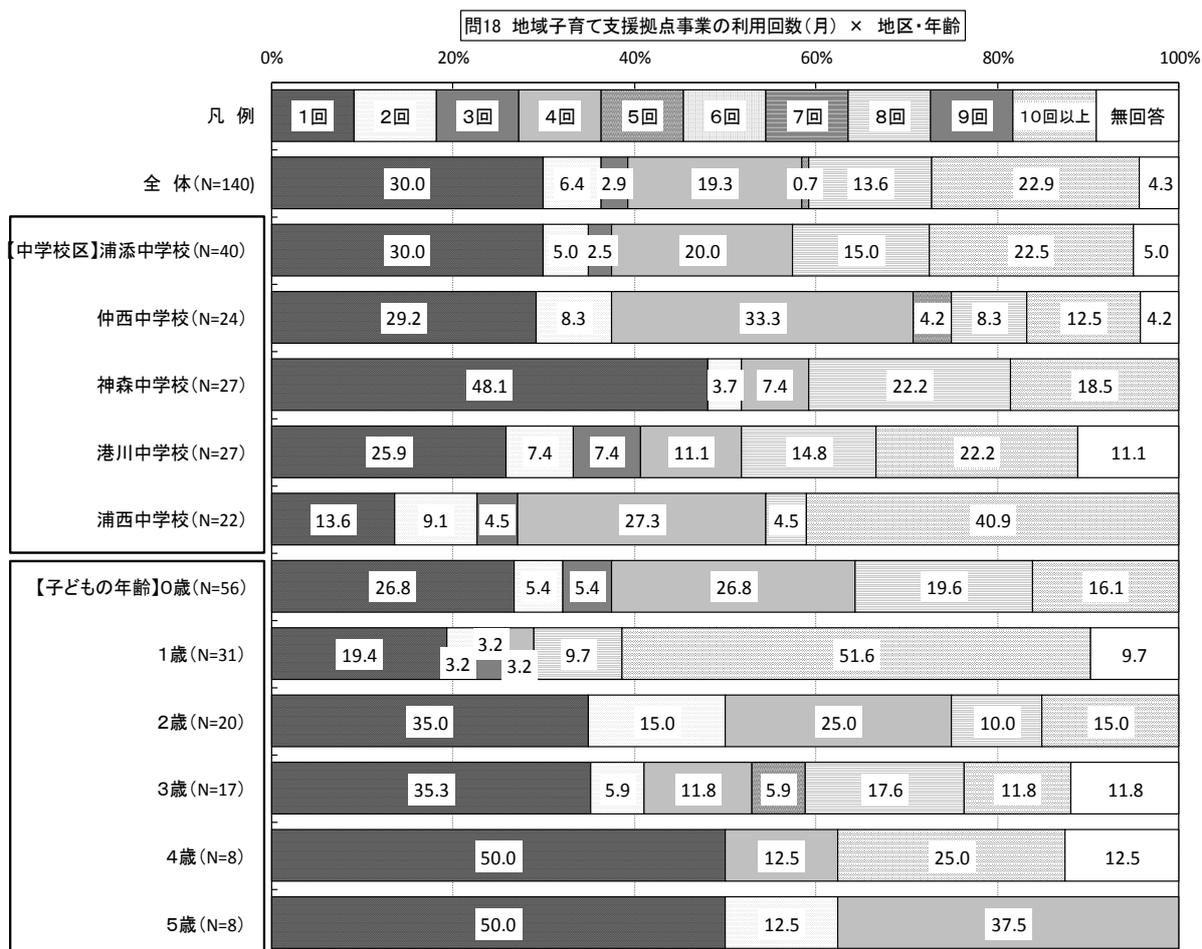
利用している人の1ヶ月当たりの利用回数をみると、「1ヶ月当たり1回」が3割（30.0%）で最も多く、次いで「1ヶ月当たり10回以上」（22.9%）、「1ヶ月当たり4回」（19.3%）と続いている。

年齢でみると、0歳で地域子育て支援事業を利用している割合が比較的多く、1月当たりの利用回数も多くなっている。



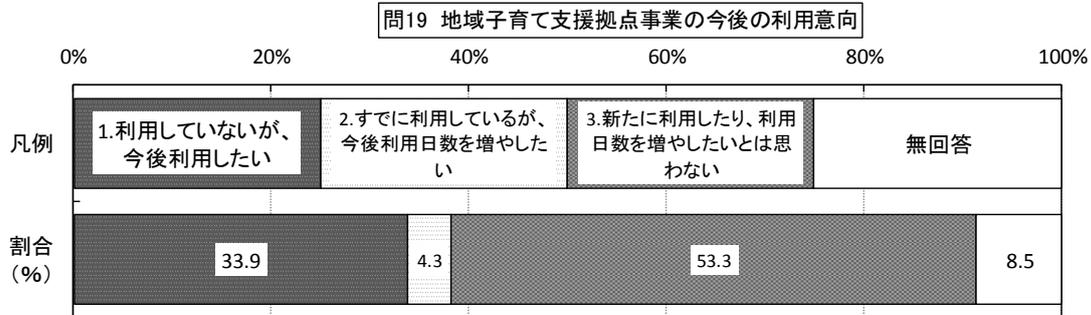
問18 地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たり利用回数
(単数回答)

	件数	割合(%)
1ヶ月当たり1回	42	30.0
1ヶ月当たり2回	9	6.4
1ヶ月当たり3回	4	2.9
1ヶ月当たり4回	27	19.3
1ヶ月当たり5回	1	0.7
1ヶ月当たり6回	0	0.0
1ヶ月当たり7回	0	0.0
1ヶ月当たり8回	19	13.6
1ヶ月当たり9回	0	0.0
1ヶ月当たり10回以上	32	22.9
無回答	6	4.3
合計	140	100.0



問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が5割強（53.3%）で、「利用していないが、今後利用したい」は3割強（33.9%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は約4%となっている。



「利用していないが、今後利用したい」とした場合の1ヶ月当たりの利用希望回数をみると、「1ヶ月当たり2回」が約3割（29.5%）で最も多く、次いで「1ヶ月当たり1回」（26.1%）となっており、1ヶ月当たり1～2回が過半数（55.6%）を占める。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とした場合の1ヶ月当たりの利用追加回数をみると、「1ヶ月当たり8回」が3割強（34.3%）で最も多く、次いで「1ヶ月当たり4回」（26.9%）、「1ヶ月当たり10回以上」（25.4%）と続いている。

年齢でみると、年齢が低くなるにつれて「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなる傾向がみられる。

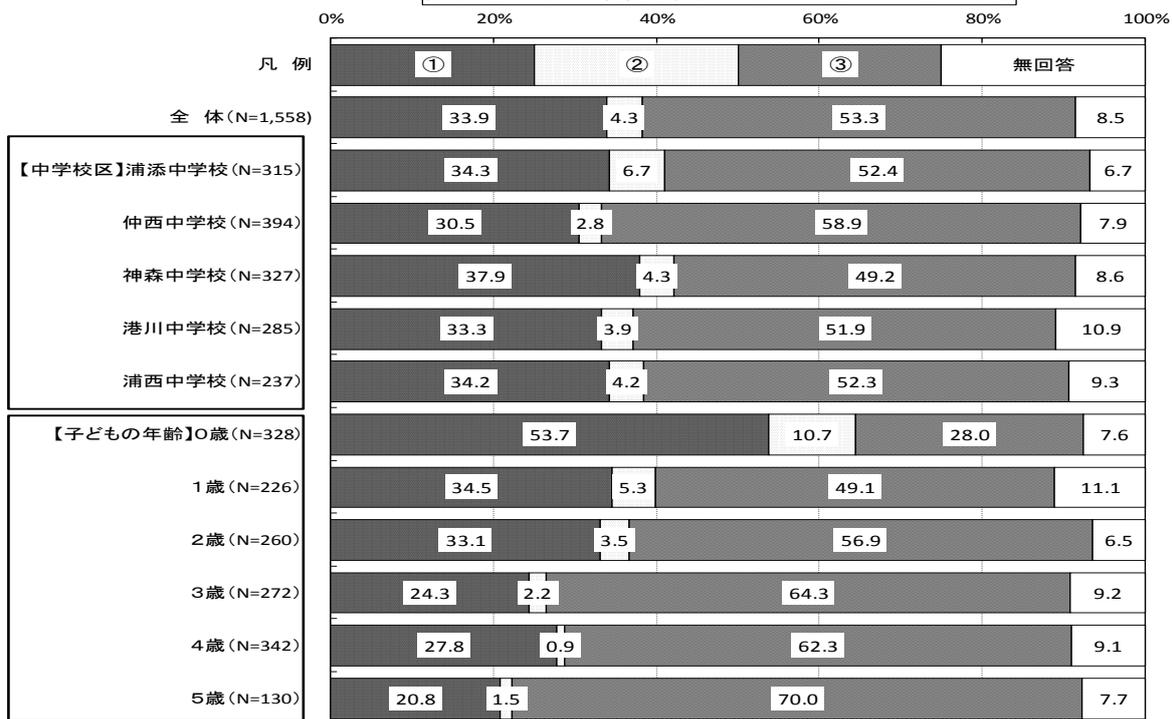
問19 1ヶ月当たり利用希望回数 (単数回答)

	件数	割合 (%)
1ヶ月当たり1回	138	26.1
1ヶ月当たり2回	156	29.5
1ヶ月当たり3回	39	7.4
1ヶ月当たり4回	136	25.8
1ヶ月当たり5回	16	3.0
1ヶ月当たり6回	2	0.4
1ヶ月当たり7回	0	0.0
1ヶ月当たり8回	17	3.2
1ヶ月当たり9回	0	0.0
1ヶ月当たり10回以上	9	1.7
無回答	15	2.8
合計	528	100.0

問19 1ヶ月当たり利用追加回数 (単数回答)

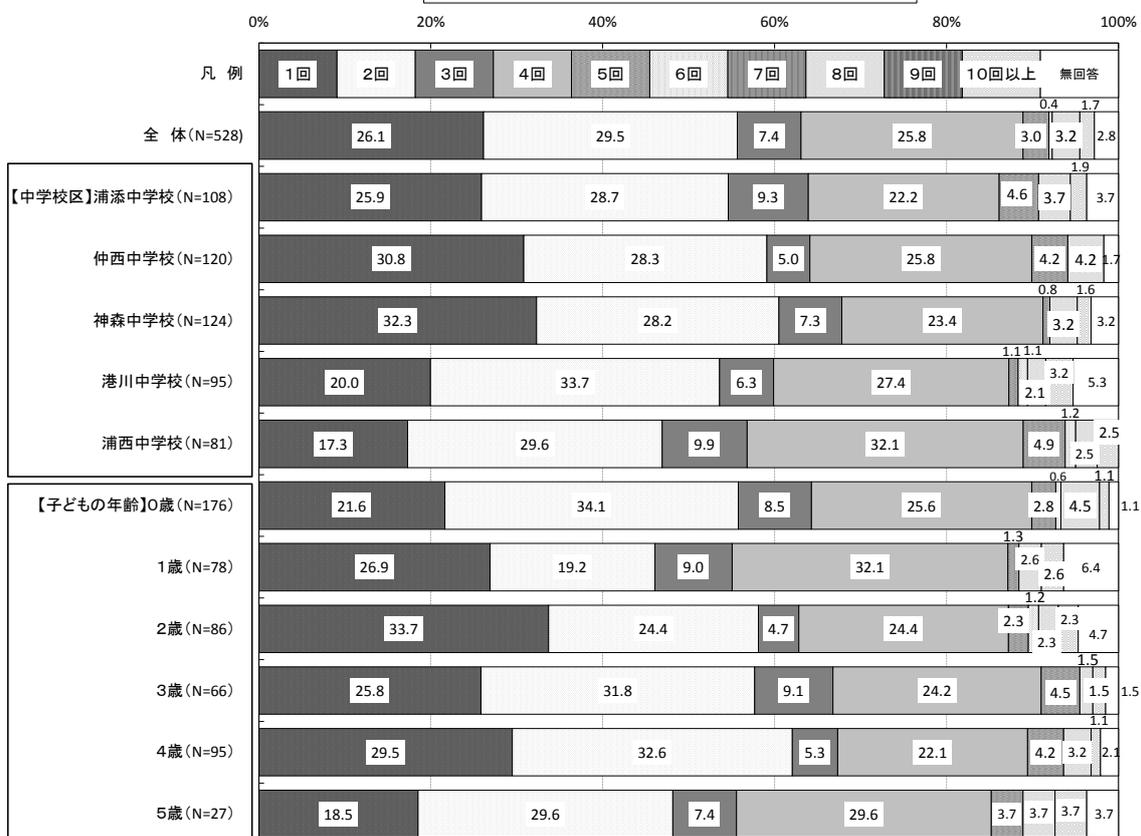
	件数	割合 (%)
1ヶ月当たり1回	3	4.5
1ヶ月当たり2回	0	0.0
1ヶ月当たり3回	5	7.5
1ヶ月当たり4回	18	26.9
1ヶ月当たり5回	1	1.5
1ヶ月当たり6回	0	0.0
1ヶ月当たり7回	0	0.0
1ヶ月当たり8回	23	34.3
1ヶ月当たり9回	0	0.0
1ヶ月当たり10回以上	17	25.4
合計	67	100.0

問19 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 × 地区・年齢

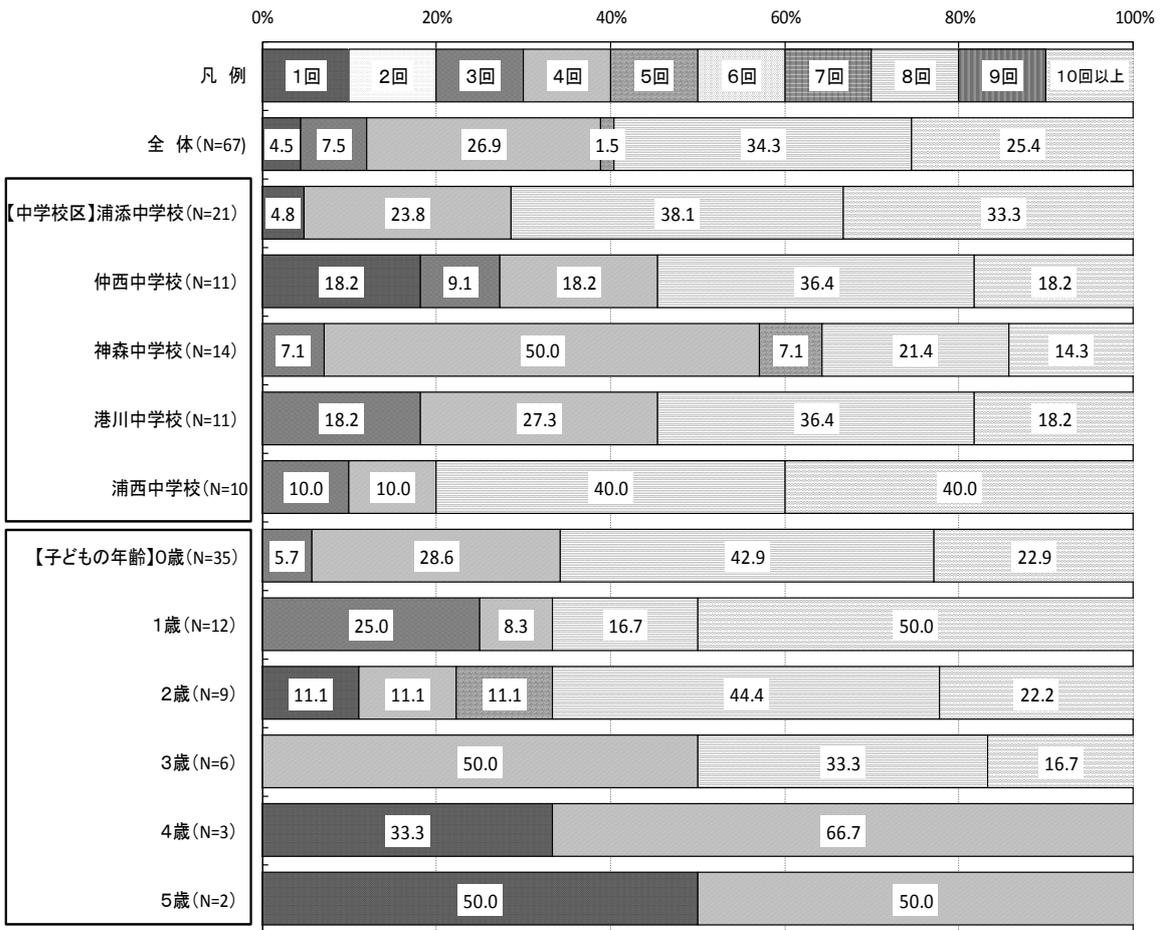


- ①利用していないが、今後利用したい
- ②すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- ③新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

問19 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数(月) × 地区・年齢



問19 地域子育て支援拠点事業の追加回数(月) × 地区・年齢

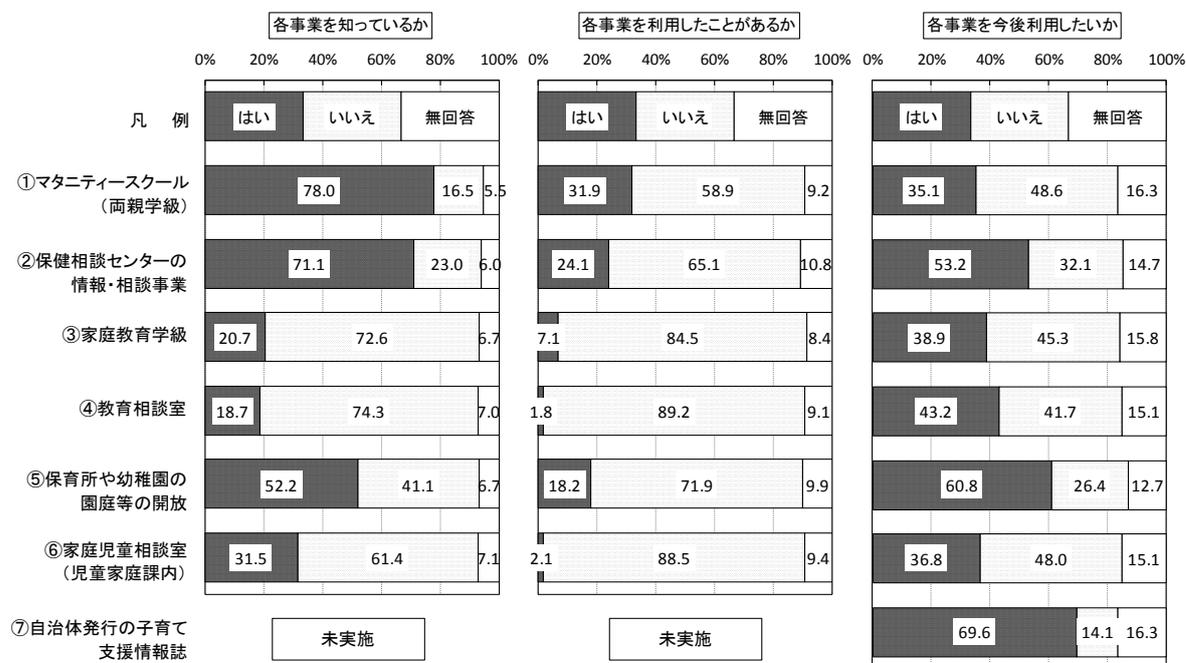


問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

各事業の認知度をみると、知っていると回答した人の割合は「マタニティスクール(両親学級)」が8割弱(78.0%)で最も多く、次いで「保健相談センターの情報・相談事業」(71.1%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(52.2%)と続いている。

各事業の利用状況をみると、利用したことがあると回答した人の割合は「マタニティスクール(両親学級)」が3割強(31.9%)で最も多く、次いで「保健相談センターの情報・相談事業」(24.1%)、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(18.2%)と続いている。

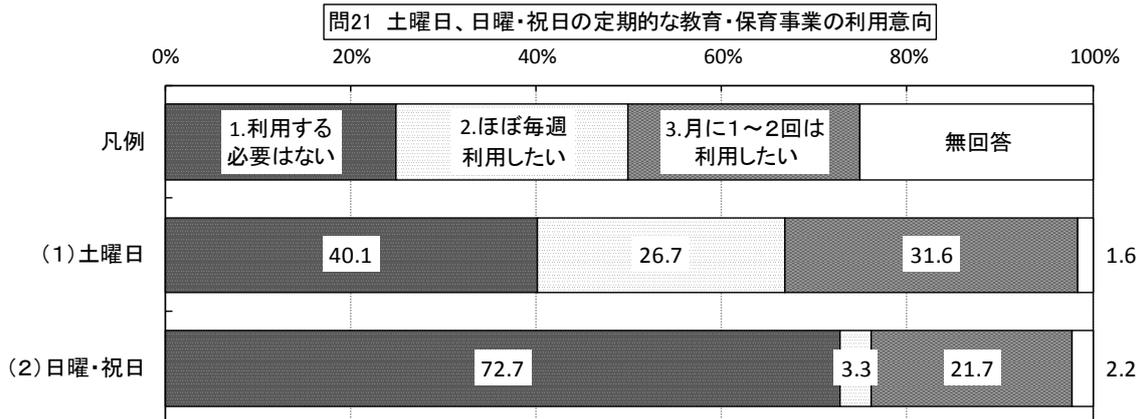
各事業の利用意向をみると、今後利用したいと回答した人の割合は「自治体発行の子育て支援情報誌」が約7割(69.6%)で最も多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(60.8%)、「保健相談センターの情報・相談事業」(53.2%)、「教育相談室」(43.2%)と続いている。



土日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

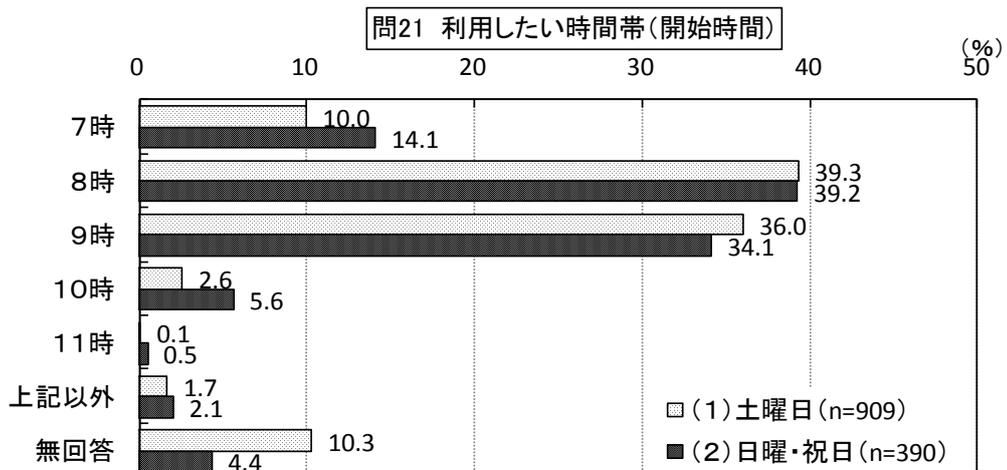
問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、土曜日では「利用する必要はない」が約4割（40.1%）で最も多いが、「月に1～2回は利用したい」（31.6%）と「ほぼ毎週利用したい」（26.7%）もそれぞれ3割前後みられ、『利用したい』とする意向は6割弱（58.3%）となる。

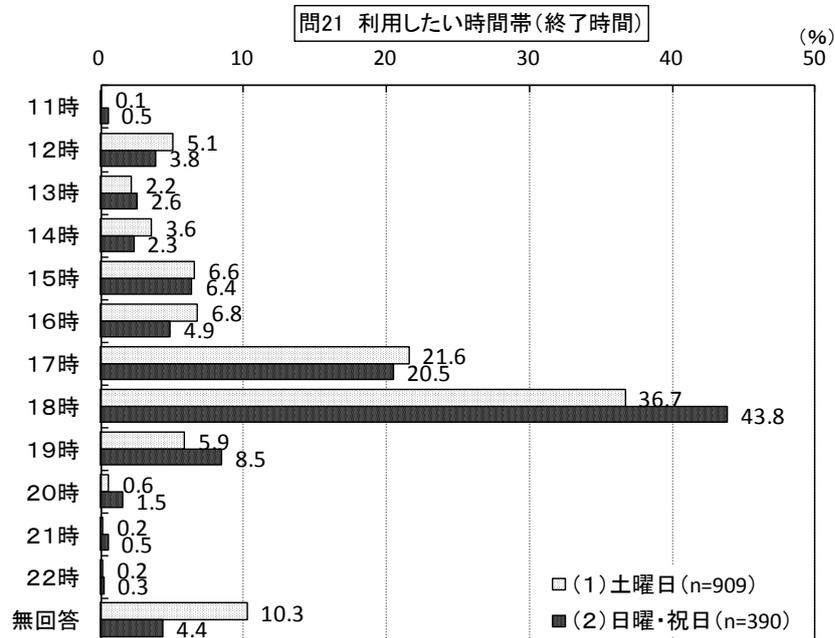


一方、日曜・祝日では「利用する必要はない」が7割強（72.7%）を占め、「月に1～2回は利用したい」は2割強（21.7%）、「ほぼ毎週利用したい」は3%程度にとどまる。

希望する利用開始時間帯をみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」が約4割（土曜日39.3%、日曜日・祝日39.2%）で最も多く、次いで「9時」（土曜日36.0%、日曜日・祝日34.1%）となっている。

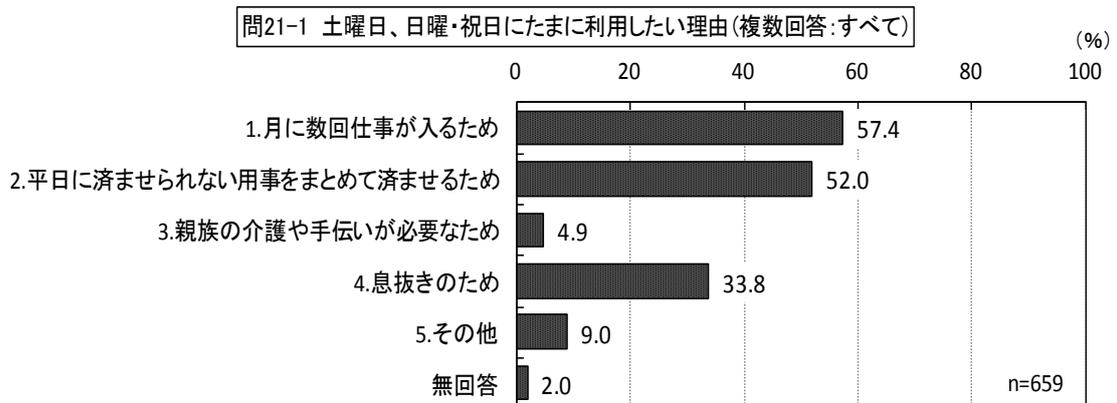


希望する利用終了時間帯をみると、土曜日、日曜・祝日ともに「18時」が4割前後（土曜日36.7%、日曜・祝日43.8%）で最も多く、次いで「17時」（土曜日21.6%、日曜・祝日20.5%）となっている。



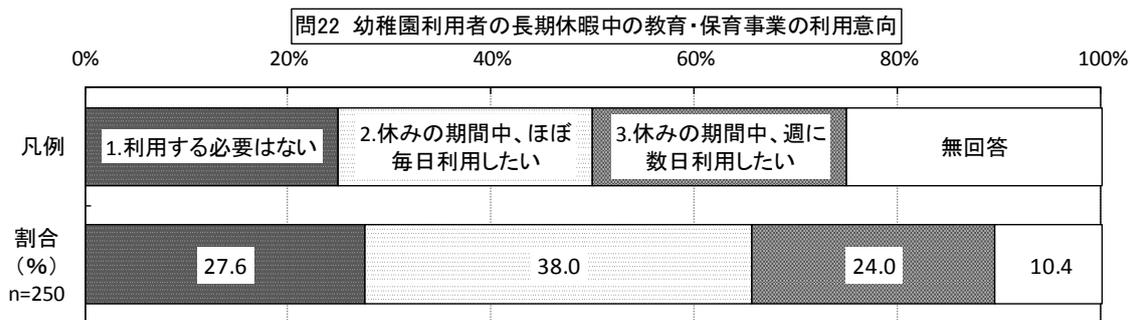
問21-1 問21で、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

土曜日、日曜・祝日にたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が6割弱（57.4%）で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（52.0%）、「息抜きのため」（33.8%）と続いている。



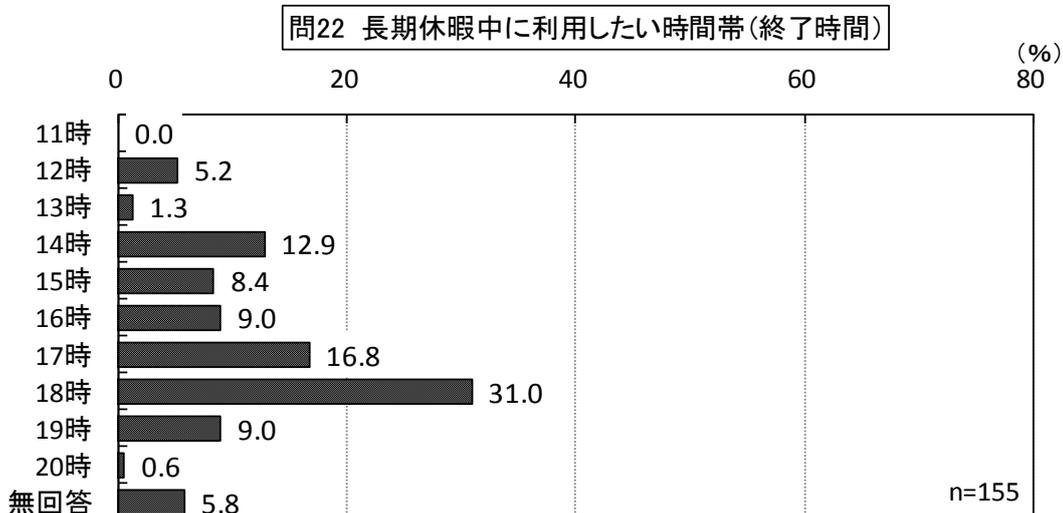
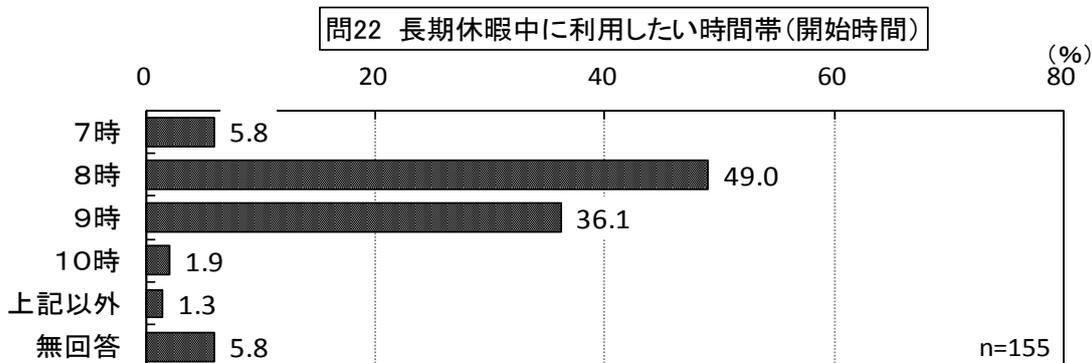
問22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

幼稚園利用者について、長期休暇中に教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が4割弱（38.0%）で最も多く、次いで「利用する必要はない」（27.6%）、「休みの期間中、週に数日利用したい」（24.0%）となっている。「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」とをあわせた6割強（62.0%）が長期休暇期間中の『利用希望あり』となっている。



希望する利用開始時間帯は、「8時」が約5割（49.0%）で最も多く、次いで「9時」（36.1%）となっている。

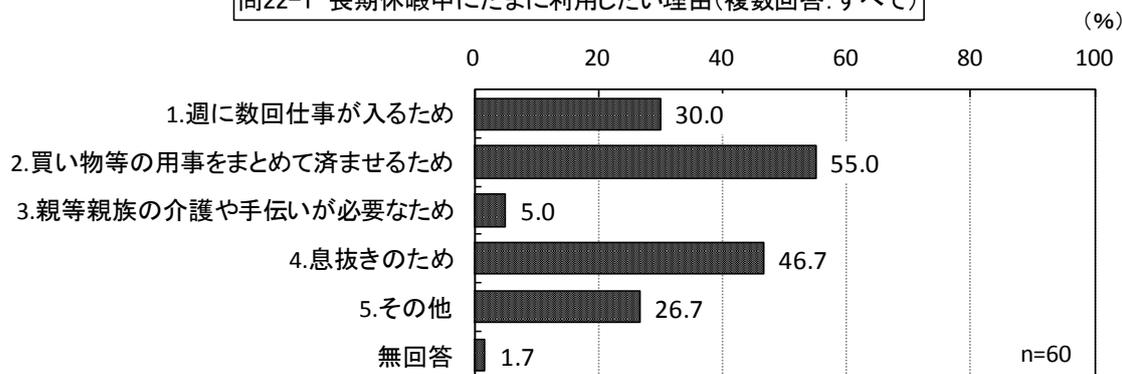
また、希望する利用終了時間帯は、「18時」が3割強（31.0%）で最も多く、次いで「17時」（16.8%）となっている。



問22-1 問22 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

幼稚園利用者について、長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が6割弱（55.0%）で最も多く、次いで「息抜きのため」（46.7%）、「週に数回仕事が入るため」（30.0%）となっている。

問22-1 長期休暇中にたまに利用したい理由(複数回答:すべて)



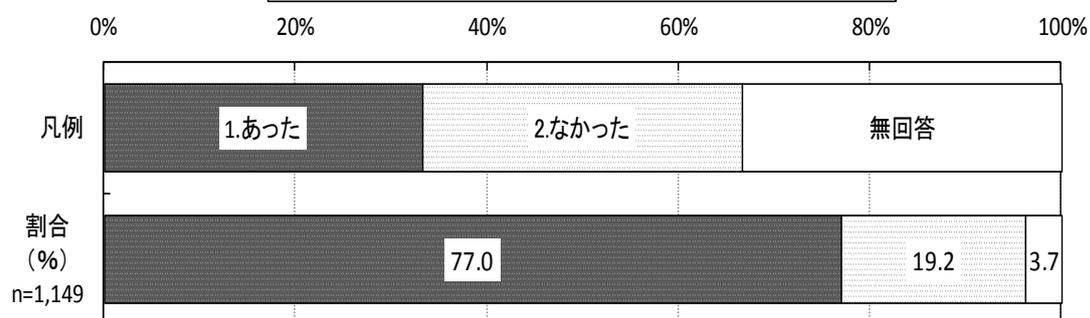
お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15 で1に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

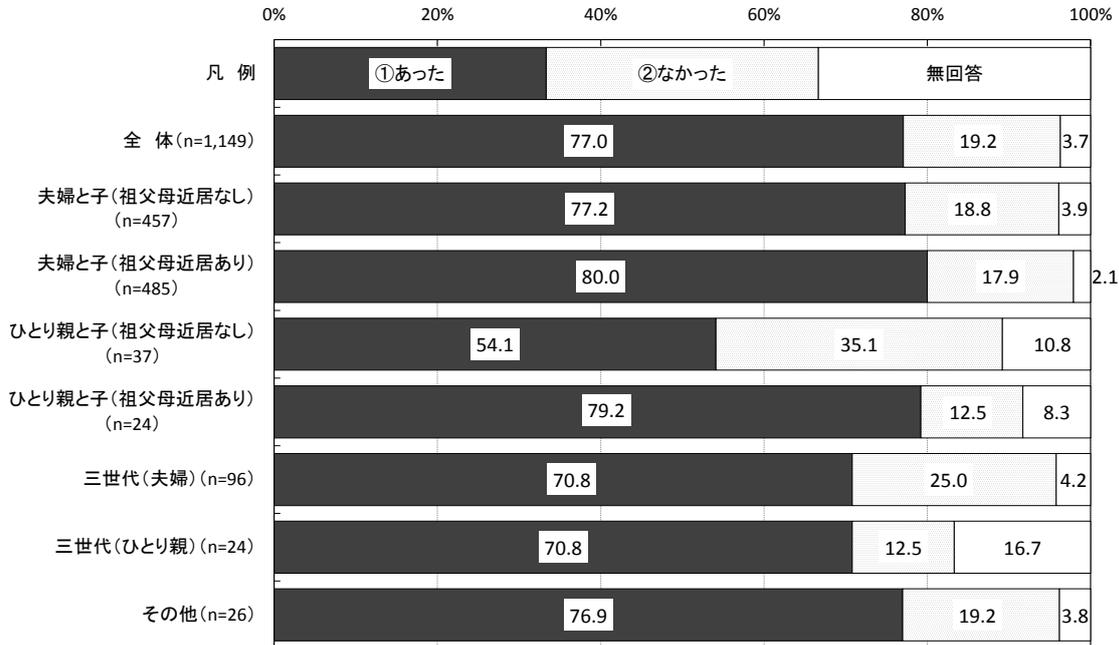
この1年間のお子さんの病気やけがによる事業未利用の有無をみると、「あった」が8割弱（77.0%）、「なかった」が約2割（19.2%）となっている。

家族類型でみると、他の家族類型より『ひとり親と子（祖父母近居なし）』で「あった」（54.1%）とする回答が割合が低くなっている。

問23 この1年間のお子さんの病気やケガによる事業未利用の有無



問23 この1年間のお子さんの病気やケガによる事業未利用の有無 × 家族類型

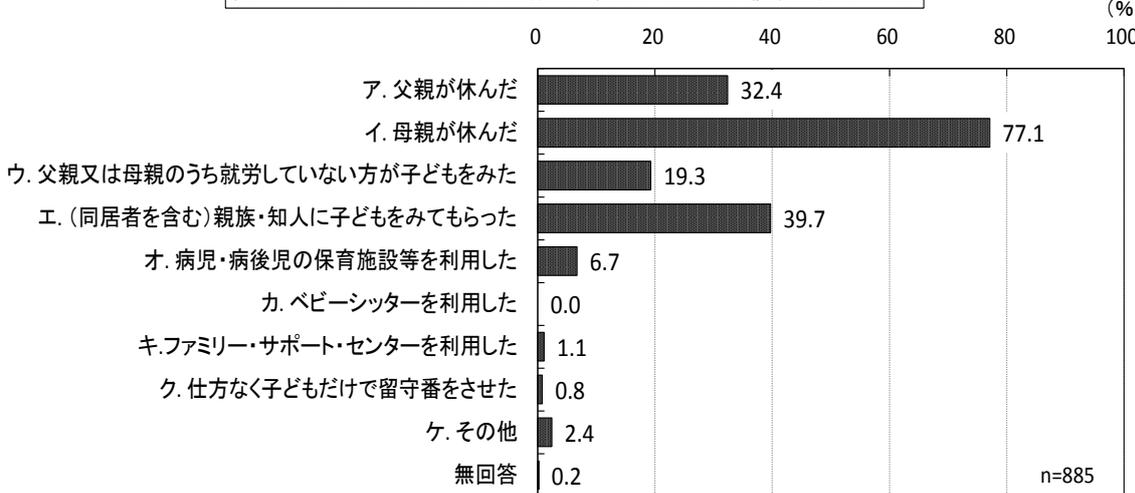


問23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法をみると、「母親が休んだ」が8割弱(77.1%)で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(39.7%)、「父親が休んだ」(32.4%)となっている。

対処方法別に休んだ日数をみると、いずれも場合も7日以内の割合が過半数を占めるが、母親が休んだ場合や親族・知人、就労していない親がみた場合は、「10日」や「11～20日」という回答も比較的多くみられた。

問23-1 この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法(複数回答:すべて)



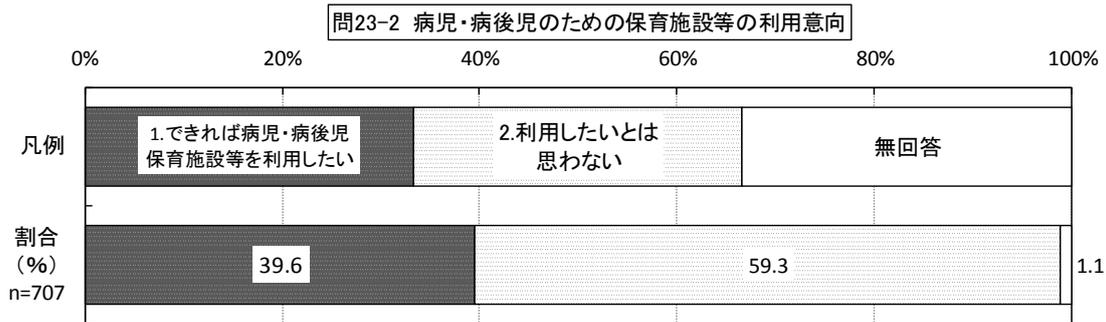
問23-1 対処方法別の休んだ日数

(単数回答)

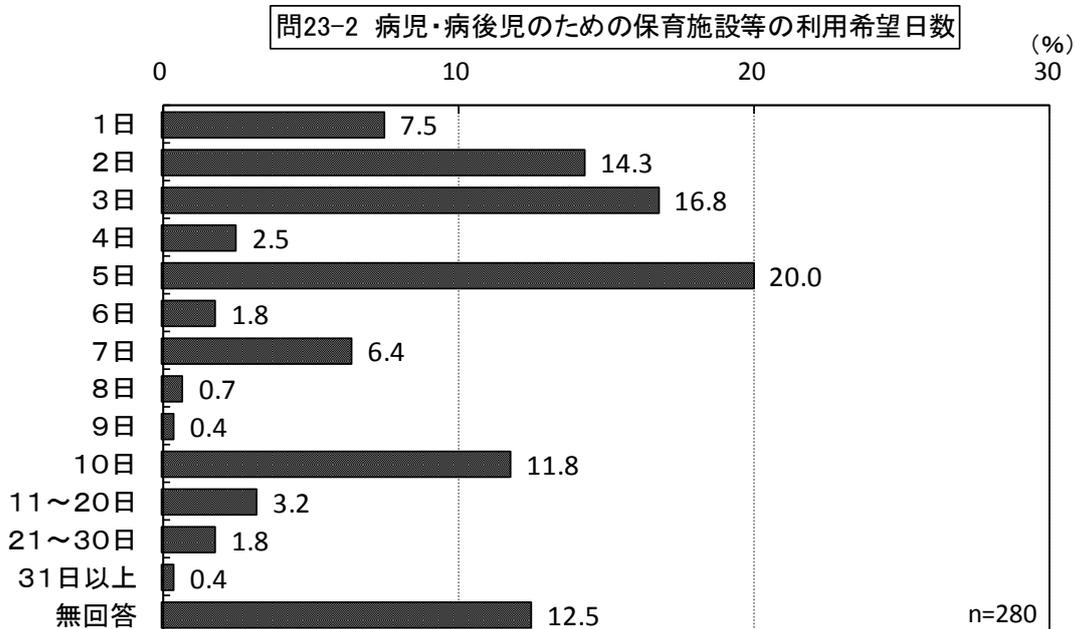
上段:件数、下段:縦%	ア・ 父親が 休んだ	イ・ 母親が 休んだ	ウ・ 子ども をみた	エ・ 親族・ 知人に 子ども をみた	オ・ 施設等 を利用 した	カ・ ベビー シッター を利用 した	キ・ ファミ リサポ ート を利用 した	ク・ 留守番 をさせ た	ケ・ その他
	1日	69 24.0	68 10.0	10 5.8	39 11.1	15 25.4	0 0.0	1 10.0	3 42.9
2日	65 22.6	86 12.6	17 9.9	60 17.1	12 20.3	0 0.0	1 10.0	3 42.9	1 4.8
3日	51 17.8	80 11.7	18 10.5	59 16.8	6 10.2	0 0.0	4 40.0	0 0.0	3 14.3
4日	9 3.1	20 2.9	7 4.1	9 2.6	6 10.2	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 14.3
5日	37 12.9	92 13.5	23 13.5	54 15.4	9 15.3	0 0.0	2 20.0	0 0.0	3 14.3
6日	4 1.4	13 1.9	4 2.3	6 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7日	13 4.5	48 7.0	12 7.0	21 6.0	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.5
8日	1 0.3	12 1.8	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9日	0 0.0	1 0.1	1 0.6	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.5
10日	19 6.6	126 18.5	27 15.8	0 0.0	4 6.8	0 0.0	0 0.0	1 14.3	4 19.0
11日～20日	8 2.8	80 11.7	19 11.1	73 20.8	3 5.1	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 4.8
21日～30日	0 0.0	19 2.8	12 7.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
31日以上	1 0.3	6 0.9	4 2.3	9 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	10 3.5	31 4.5	17 9.9	17 4.8	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8
合計	287 100.0	682 100.0	171 100.0	351 100.0	59 100.0	0 100.0	10 100.0	7 100.0	21 100.0

問23-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

病児・病後児のための保育施設等の利用意向をみると、「利用したいとは思わない」が約6割(59.3%)を占め、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は約4割(39.6%)となっている。



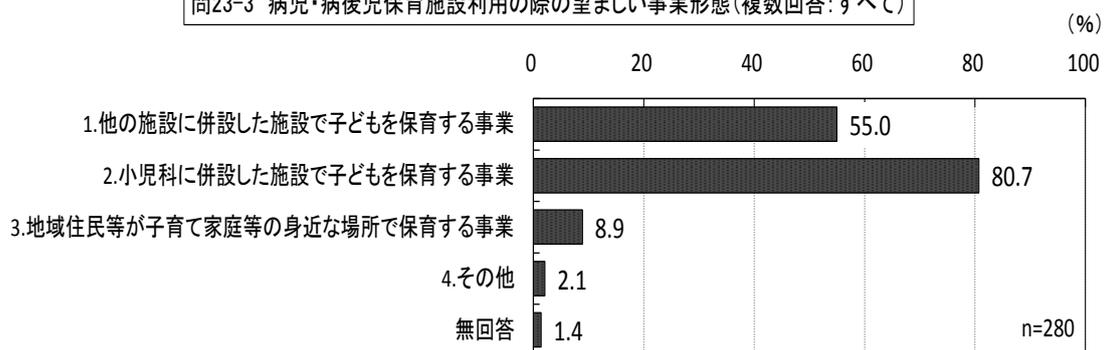
できれば利用したいとした場合の利用希望日数をみると、「5日」が2割(20.0%)で最も多く、次いで「3日」(16.8%)、「2日」(14.3%)、「10日」(11.8%)と続いている。



問23-3 問23-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

病児・病後児保育施設の利用の際の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が約8割（80.7%）で最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（55.0%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」（8.9%）となっている。

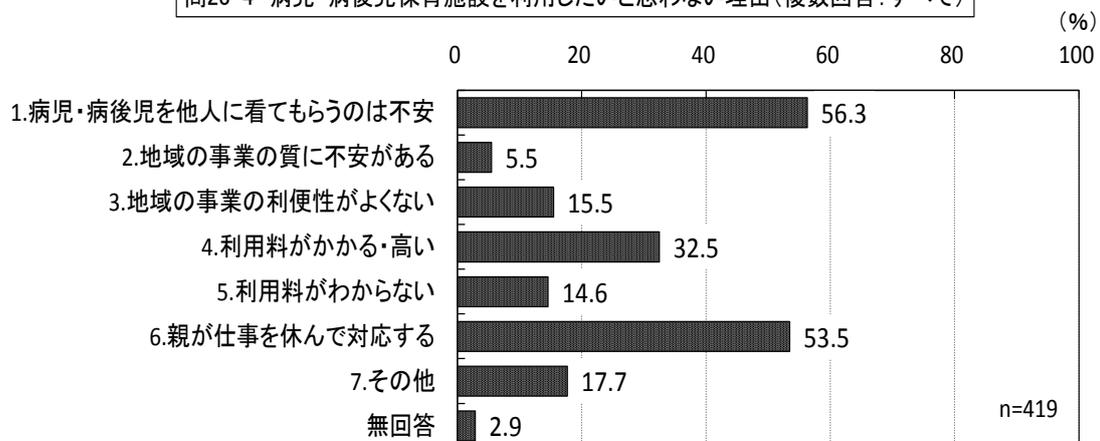
問23-3 病児・病後児保育施設利用の際の望ましい事業形態（複数回答：すべて）



問23-4 問23-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が6割弱（56.3%）で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」（53.5%）、「利用料がかかる・高い」（32.5%）、「地域の事業の利便性がよくない」（15.5%）と続いている。

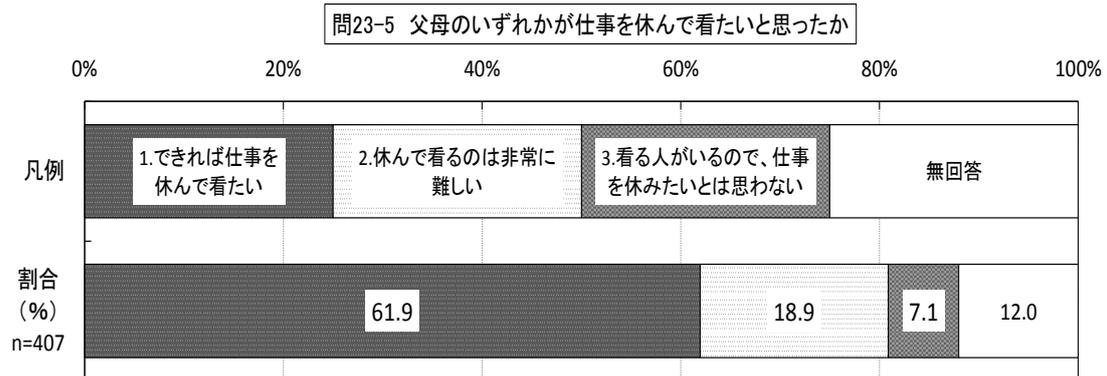
問23-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由（複数回答：すべて）



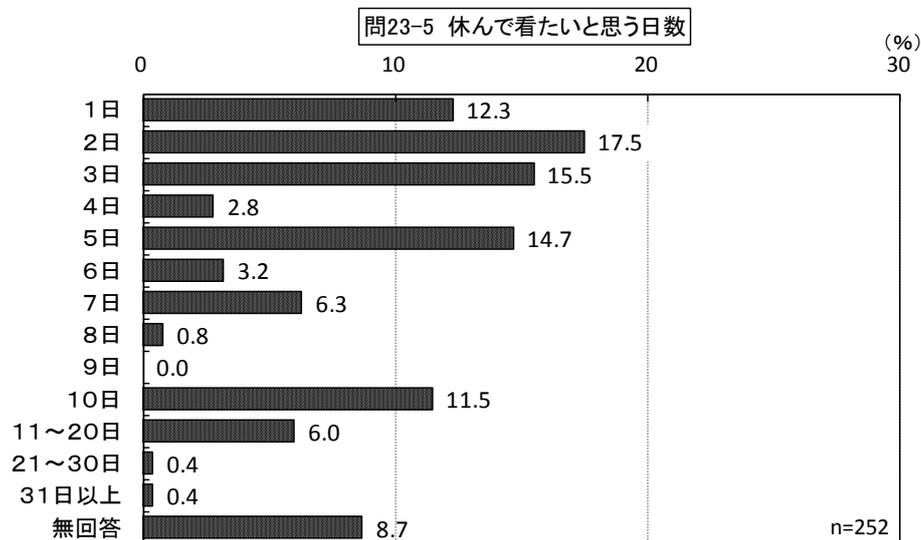
問23-1で「エ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかをみると、「できれば仕事を休んで看たい」が6割強(61.9%)を占め、「休んで看るのは非常に難しい」は2割弱(18.9%)、「子どもを看る人がいるので、仕事を休みたいとは思わない」は1割弱(7.1%)となっている。

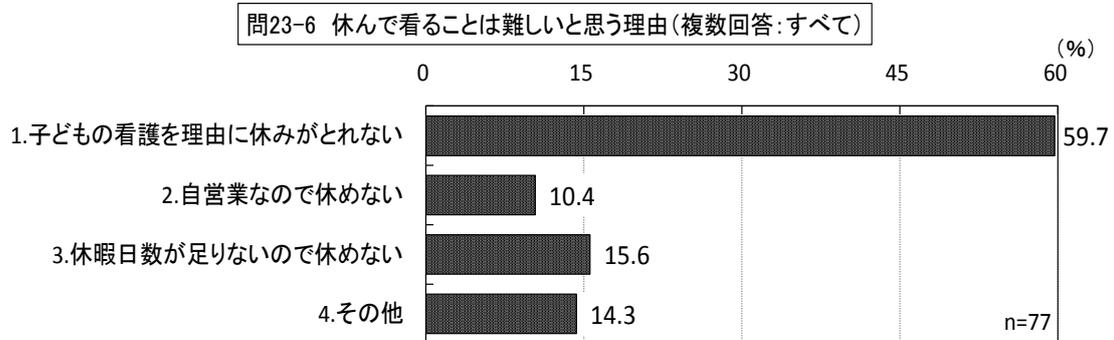


休んで看たい日数をみると、「2日」が2割弱(17.5%)で最も多く、次いで「3日」(15.5%)、「5日」(14.7%)、「1日」(12.3%)と続き、『5日以内』とする回答が6割強(62.8%)を占める。



問23-6 問23-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

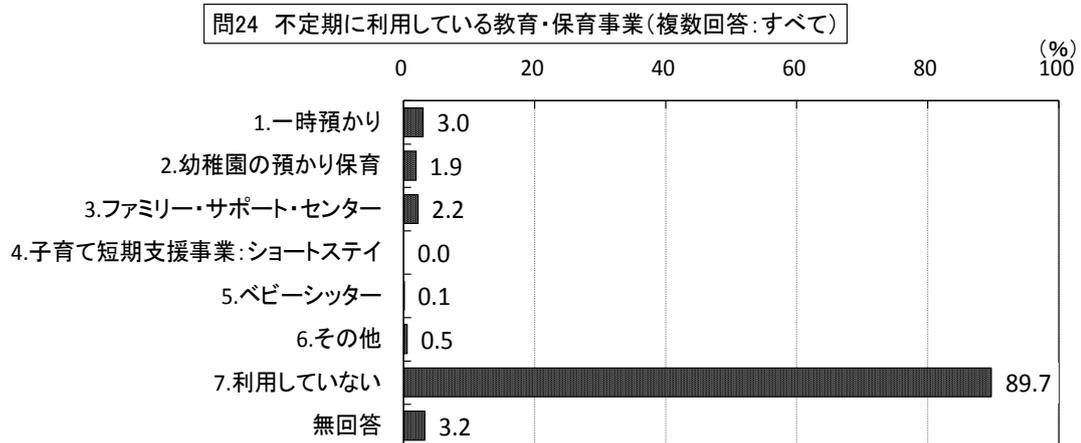
「休んで見ることは非常に難しい」と回答した理由をみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が約6割（59.7%）を占め、次いで「休暇日数が足りないので休めない」（15.6%）となっている。



不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

一時預かり等の不定期に利用する事業について利用の有無をみると、「利用していない」が約9割（89.7%）を占め、ほとんどの回答者が不定期な預かり等の事業を利用していない状況がある。



利用している場合について、事業毎の年間の利用日数をみると、「ファミリー・サポート・センター」や「幼稚園の預かり保育」では3日以内の利用が4～5割と比較的多く、「一時預かり」では11日～20日や31日以上といった長期間の利用が比較的多くなっている。

問24 事業ごとの不定期利用日数(年間)

(複数回答)

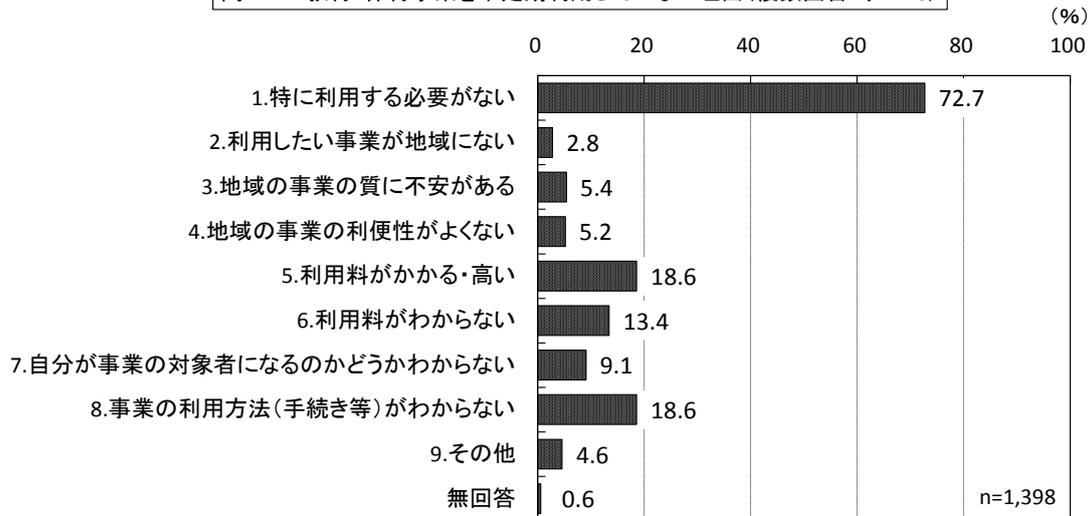
上段:件数、下段:縦%	1 一時 預 かり	2 幼 稚 園 の 預 か り 保 育	3 ト ・ フ ア ミ リ ・ セ ン タ ー ・ サ ポ ー	4 子 育 て シ ョ ー ト 支 援 事 業	5 ベ ビ ー シ ッ タ ー	6 そ の 他
	1日	3 6.5	5 17.2	6 17.6	0 0.0	0 0.0
2日	6 13.0	2 6.9	8 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3日	4 8.7	6 20.7	3 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4日	2 4.3	2 6.9	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5日	4 8.7	5 17.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
6日	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 12.5
7日	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8日	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9日	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10日	2 4.3	3 10.3	3 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11日～20日	9 19.6	2 6.9	4 11.8	0 0.0	0 0.0	1 12.5
21日～30日	0 0.0	0 0.0	3 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
31日以上	10 21.7	2 6.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	2 25.0
無回答	4 8.7	2 6.9	2 5.9	0 0.0	1 100.0	3 37.5
合 計	46 100.0	29 100.0	34 100.0	0 100.0	1 100.0	8 100.0

問24で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。

不定期な預かり等の事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が7割強（72.7%）で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」と「事業の利用方法（手続き等）がわからない」がそれぞれ2割弱（18.6%）、「利用料がわからない」が1割強（13.4%）と続いている。

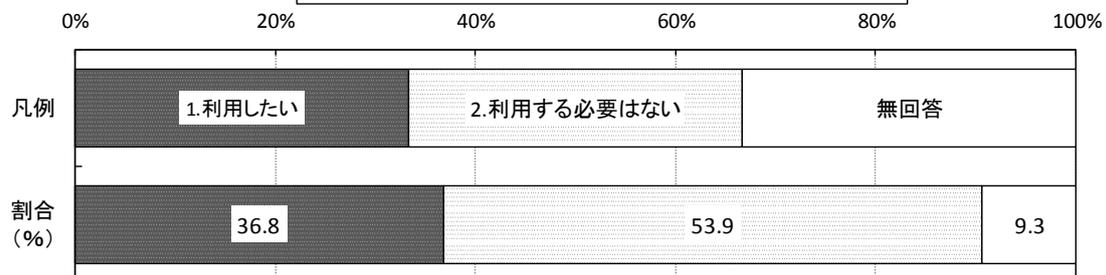
問24-1 教育・保育事業を不定期利用していない理由（複数回答：すべて）



問25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

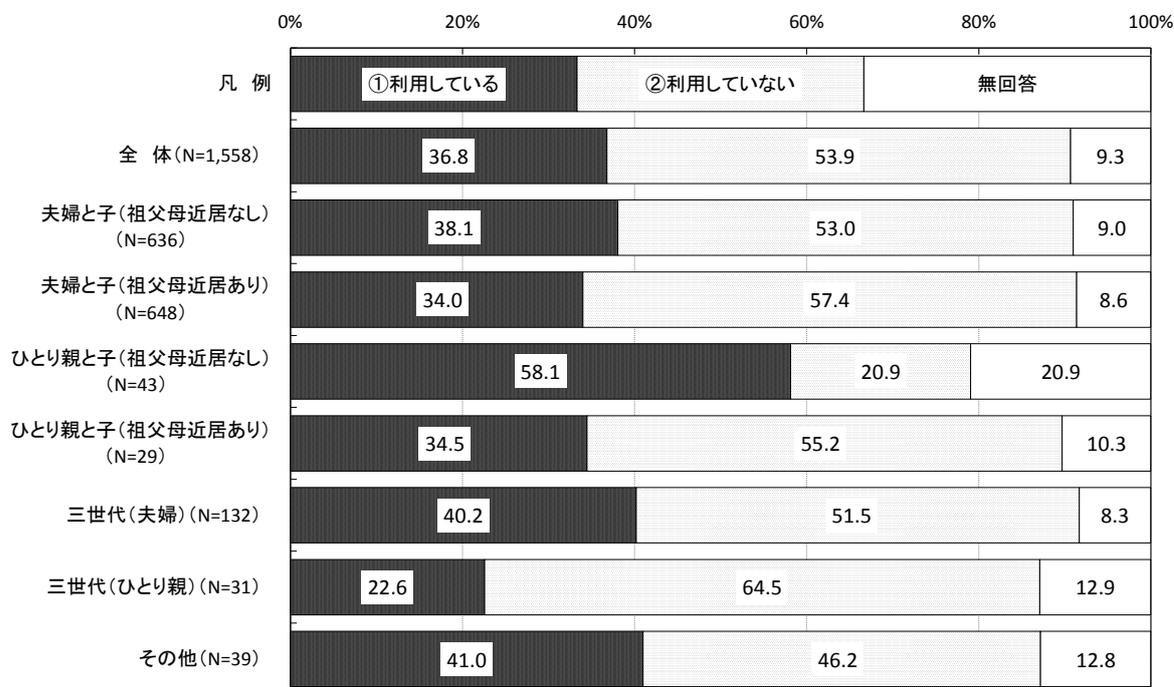
私用、親の通院、不定期の就労等での不定期な預かり等の事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が5割強（53.9%）を占め、「利用したい」は4割弱（36.8%）となっている。

問25 私用、通院、不定期就労等での教育・保育事業の利用意向



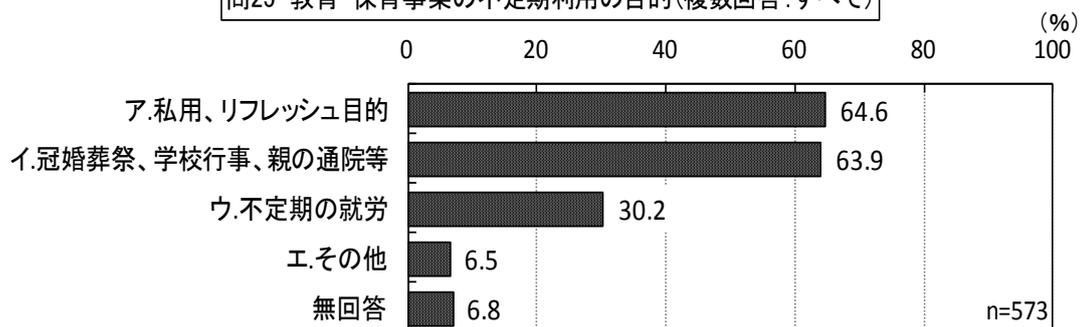
家族類型でみると、『ひとり親と子（祖父母近居なし）』では「利用したい」が約6割（58.1%）と高い。

問25 私用、親の通院、不定期就労等での教育・保育事業の有無 × 家族類型



「利用したい」とした場合の利用目的をみると、「私用、リフレッシュ目的」と「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」がそれぞれ6割強（私用等64.6%、冠婚葬祭等63.9%）、「不定期の就労」が約3割（30.2%）となっている。

問25 教育・保育事業の不定期利用の目的(複数回答:すべて)



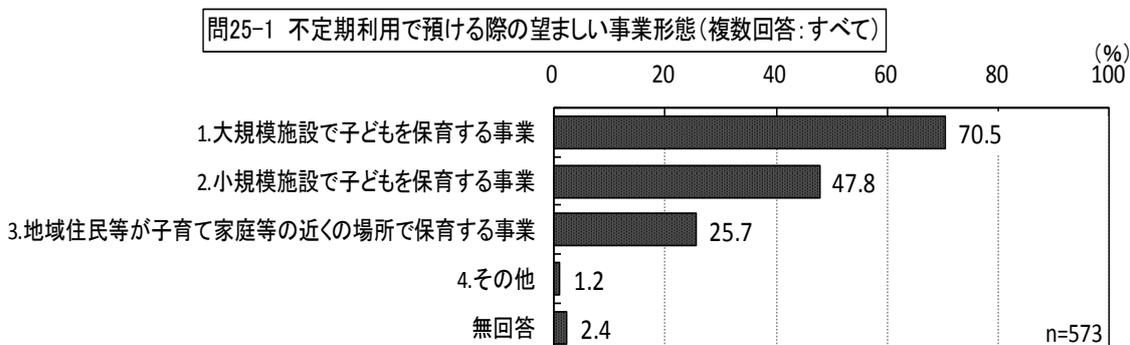
また、事業の年間利用希望日数は、11～20日が3割弱（29.0%）で最も多く、次いで21～30日（12.9%）、10日（10.8%）となっている。利用目的別でみると、「私用、リフレッシュ目的」で11～20日とする回答が多く、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」では5日とする回答が多くなっている。

問25 私用、通院、不定期就労等での利用希望日数 (単数回答)

	利用 したい 合計	シ ア ユ 目 私 的 、 リ フ レ ッ ツ	行 イ 事 、 冠 婚 の 葬 祭 、 学 校 等	ウ 、 不 定 期 の 就 労	エ 、 そ の 他
上段:件数、下段:縦%					
1日	8 1.4	26 7.0	25 6.8	13 7.5	2 5.4
2日	32 5.6	41 11.1	44 12.0	14 8.1	4 10.8
3日	43 7.5	31 8.4	52 14.2	13 7.5	4 10.8
4日	10 1.7	8 2.2	9 2.5	8 4.6	0 0.0
5日	39 6.8	46 12.4	80 21.9	25 14.5	4 10.8
6日	19 3.3	13 3.5	11 3.0	4 2.3	2 5.4
7日	19 3.3	7 1.9	10 2.7	7 4.0	1 2.7
8日	11 1.9	1 0.3	4 1.1	2 1.2	0 0.0
9日	3 0.5	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
10日	62 10.8	42 11.4	53 14.5	21 12.1	4 10.8
11日～20日	166 29.0	93 25.1	24 6.6	23 13.3	9 24.3
21日～30日	74 12.9	21 5.7	27 7.4	14 8.1	1 2.7
31日以上	19 3.3	29 7.8	7 1.9	15 8.7	2 5.4
無回答	68 11.9	12 3.2	20 5.5	13 7.5	4 10.8
合 計	573 100.0	370 100.0	366 100.0	173 100.0	37 100.0

問25-1 問25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

利用で預ける際の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」が約7割(70.5%)で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(47.8%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(25.7%)となっている。

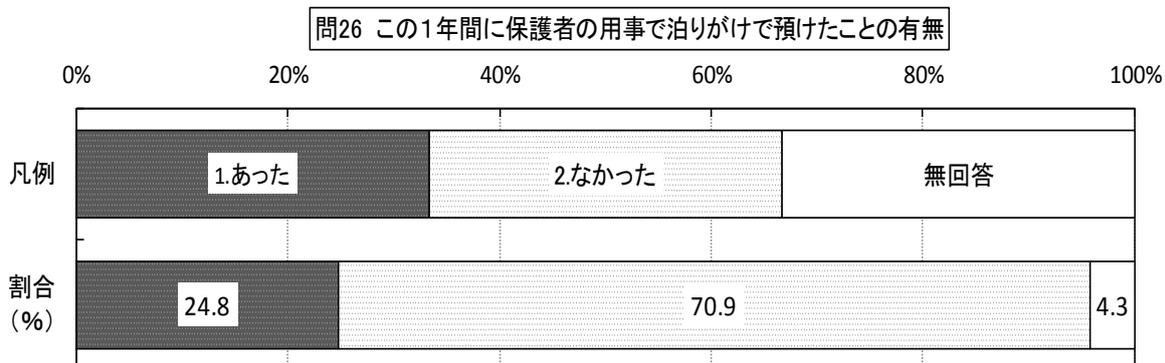


問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。

この1年間に保護者の用事で泊まりがけで預けたことの有無をみると、「なかった」が約7割(70.9%)で、「あった」は2割強(24.8%)となっている。

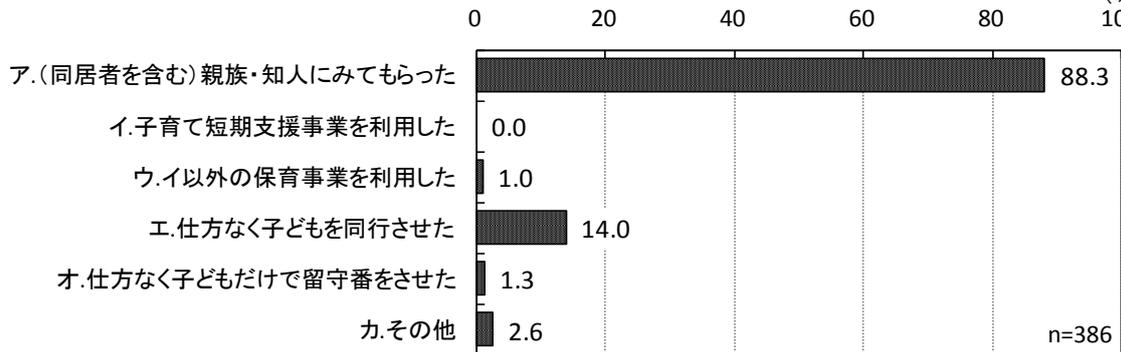
泊まりがけで預けた際の対処方法をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が9割弱(88.3%)と、ほとんどの回答者が親族や知人に子どもの面倒を頼んでいる状況にある。一方、「仕方なく子どもを同行させた」も1割強(14.0%)みられた。

また、このいずれの場合でも、日数は3日以内とする回答が6割程度(親族・知人にみてもらった55.4%、子どもを同行させた59.3%)となっている。



問26 泊りがけで預けた際の対処方法(複数回答:すべて)

(%)
100

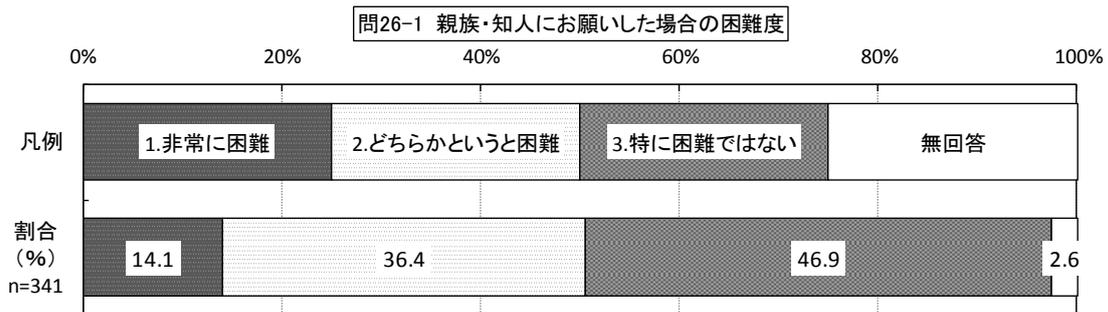


問26 泊りがけで預けた際の対処方法毎の日数 (単数回答)

上段:件数、下段:縦%	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	イ. 子育て短期支援事業を利用した	ウ. イ以外の保育事業を利用した	エ. 仕方なく子どもを同行させた	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	カ. その他
	1日	101 29.6	0 0.0	2 0.0	12 22.2	0 0.0
2日	58 17.0	0 0.0	1 0.0	13 24.1	0 0.0	2 20.0
3日	30 8.8	0 0.0	0 0.0	7 13.0	1 20.0	2 20.0
4日	12 3.5	0 0.0	0 0.0	5 9.3	0 0.0	0 0.0
5日	38 11.1	0 0.0	0 0.0	5 9.3	0 0.0	1 10.0
6日	4 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7日	18 5.3	0 0.0	0 0.0	4 7.4	1 20.0	0 0.0
8日	3 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9日	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10日	20 5.9	0 0.0	0 0.0	3 5.6	2 40.0	1 10.0
11日~20日	27 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
21日~30日	6 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
31日以上	8 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	15 4.4	0 0.0	1 0.0	5 9.3	1 20.0	3 30.0
合計	341 100.0	0 100.0	4 100.0	54 100.0	5 100.0	10 100.0

問26 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
 問26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

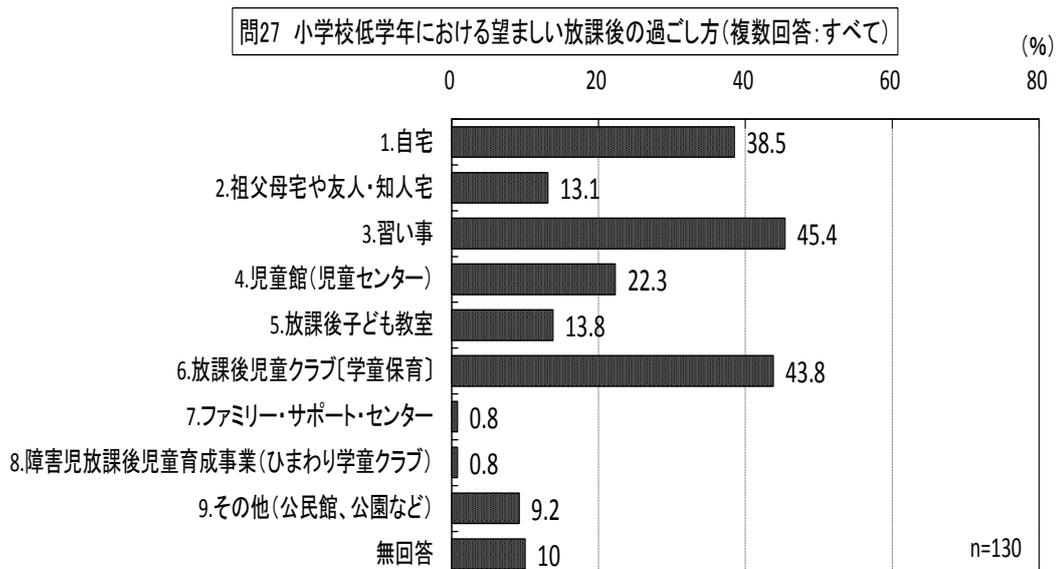
泊まりがけで親族・知人にお子さんを預けることの困難度をみると、「特に困難ではない」が5割弱(46.9%)で最も多くなっているが、「どちらかというと困難」が4割弱(36.4%)、「非常に困難」も2割弱(14.1%)となっており、あわせると約5割(50.5%)が預けることは『困難』としている。



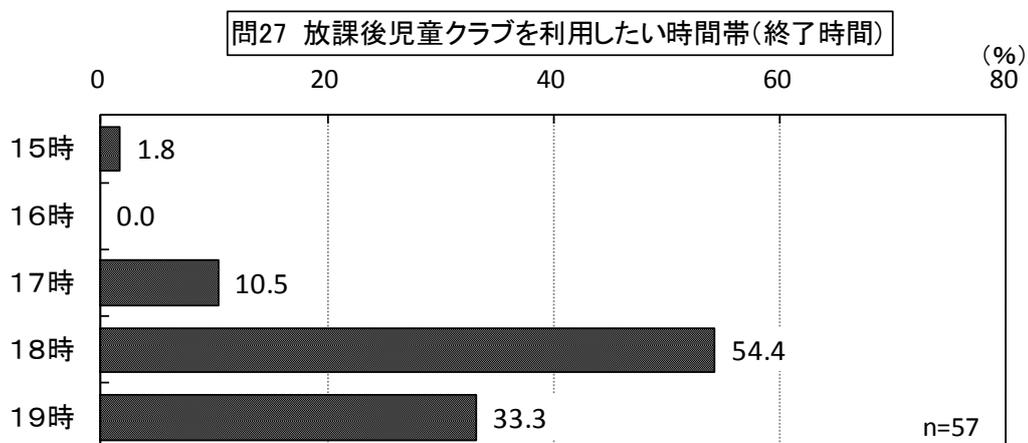
小学校就学後の放課後の過ごし方について (お子さんが5歳以上の方)

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

小学校低学年における望ましい放課後の過ごし方をみると、「習い事」が5割弱(45.4%)で最も多く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(43.8%)、「自宅」(38.5%)、「児童館(児童センター)」(22.3%)、「放課後子ども教室」(13.8%)と続いている。



このうち、放課後児童クラブについて利用を希望する時間帯（終了時間）をみると、「18時」が5割強（54.4%）で最も多く、次いで「19時」（33.3%）、「17時」（10.5%）となっている。



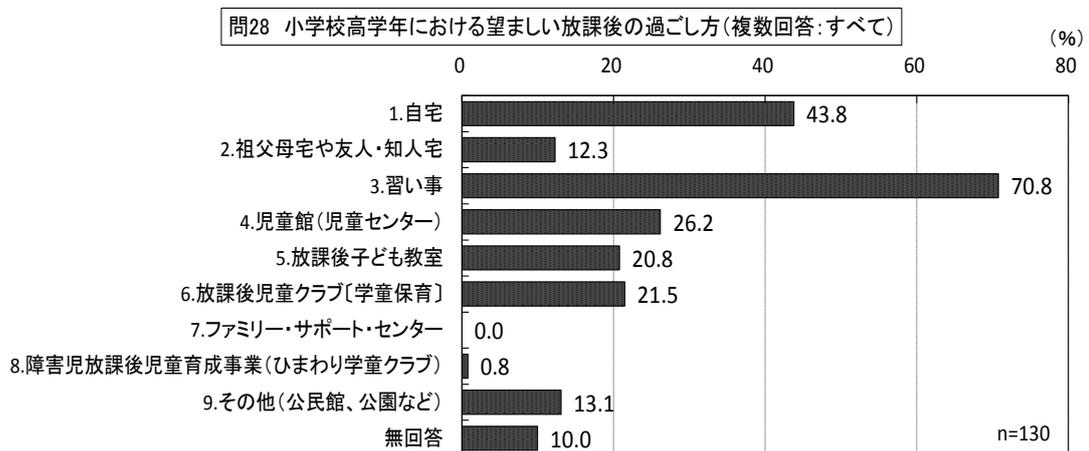
過ごさせたいと思う場所での1週間当たりの希望日数をみると、おおむね3日以内とする回答が多くなっているが、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では5日とする割合が突出して高く、また、「自宅」や「祖父母宅や友人・知人宅」でも5日とする割合が比較的高くなっている。

問27 過ごさせたい場所での希望日数(小学校低学年)

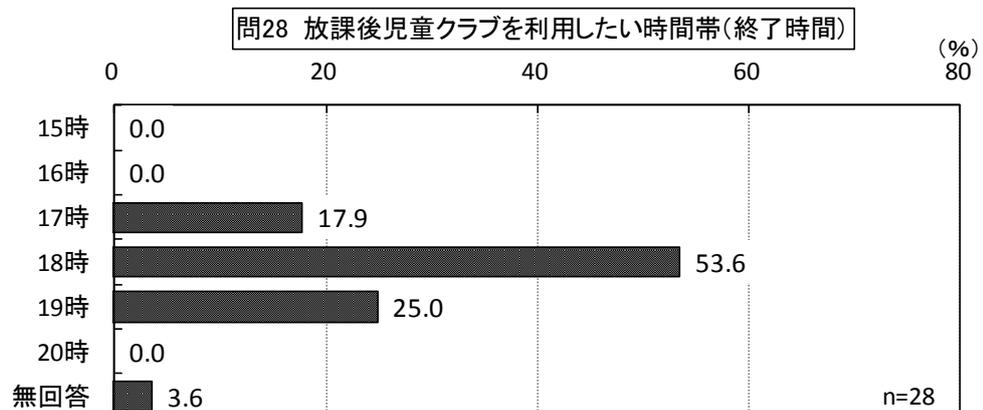
上段:件数、下段:縦%	1 ・ 自 宅	2 人 ・ 知 人 ・ 祖 父 母 宅 や 友 人 ・	3 学 室 ・ 学 習 塾 な ど ・ サ ツ イ カ ー ・ ク ラ ブ ・ 教 室	4 ・ 児 童 セ ン タ ー	5 ・ 放 課 後 子 ど も の 家	6 ・ 放 課 後 児 童 ク ラ ブ 〔 学 童 保 育 〕	7 ・ ポ ー ト ・ フ ァ ミ リ ー ・ セ ン タ ー	8 成 事 業 ・ 障 害 児 放 課 後 児 童 育	9 公 園 な ど ・ そ の 他 〔 公 民 館 、
	1週当たり1日	6 12.0	5 29.4	15 25.4	8 27.6	6 33.3	0 0.0	1 0.0	0 0.0
1週当たり2日	11 22.0	3 17.6	25 42.4	11 37.9	5 27.8	3 5.3	0 0.0	0 0.0	3 25.0
1週当たり3日	7 14.0	2 11.8	15 25.4	5 17.2	4 22.2	5 8.8	0 0.0	0 0.0	3 25.0
1週当たり4日	1 2.0	1 5.9	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1週当たり5日	15 30.0	5 29.4	1 1.7	4 13.8	2 11.1	35 61.4	0 0.0	0 0.0	2 16.7
1週当たり6日	2 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	12 21.1	0 0.0	1 100.0	0 0.0
1週当たり7日	4 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
無回答	4 8.0	1 5.9	1 1.7	1 3.4	0 0.0	2 3.5	0 0.0	0 0.0	1 8.3
合計	50 100.0	17 100.0	59 100.0	29 100.0	18 100.0	57 100.0	1 100.0	1 100.0	12 100.0

問28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

小学校高学年になった際の望ましい放課後の過ごし方をみると、「習い事」が約7割（70.8%）で最も多く、低学年の場合と比べて割合が高まっている。次いで「自宅」（43.8%）、「児童館（児童センター）」（26.2%）、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（21.5%）、「放課後子ども教室」（20.8%）と続いている。



このうち、放課後児童クラブについて利用を希望する時間帯（終了時間）をみると、「18時」が5割強（53.6%）で最も多く、次いで「19時」（25.0%）、「17時」（17.9%）となっている。



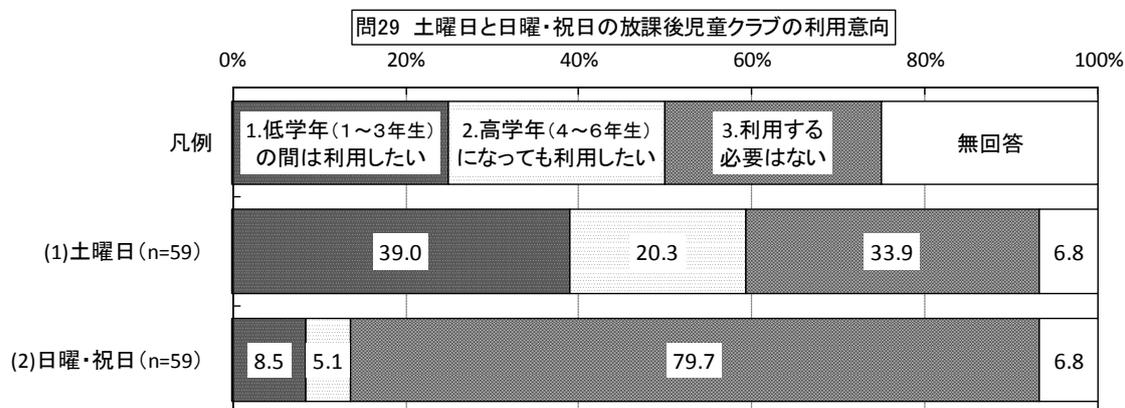
過ごさせたいと思う場所での1週間当たりの希望日数をみると、小学校低学年（問27）とほぼ同様の傾向で、おおむね3日以内とする回答が多くなっており、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」や「自宅」では5日とする割合が高くなっている。

問28 過ごさせたい場所での利用日数(小学校高学年)

上段:件数、下段:縦%	1 ・ 自 宅	2 ・ 人 宅 ・ 祖 父 母 宅 や 友 人 ・	3 ・ 学 室 ・ 習 い 事 （ ピ ア ノ ・ 教 習 塾 な ど ）	4 ・ 児 童 セ ン タ ー	5 ・ 放 課 後 子 ど も 教 室	6 ・ 学 童 保 育 ）	7 ・ ポ ー ト ・ フ ァ ミ リ ー ・ セ ン タ ー	8 ・ 成 事 業 ・ 障 害 児 放 課 後 児 童 育	9 ・ 公 園 な ど ） ・ そ の 他 （ 公 民 館 、
1週当たり1日	10 17.5	3 18.8	12 13.0	10 29.4	6 22.2	1 3.6	0 0.0	0 4.0	2 11.8
1週当たり2日	16 28.1	5 31.3	25 27.2	6 17.6	10 37.0	4 14.3	0 0.0	0 6.0	3 17.6
1週当たり3日	8 14.0	3 18.8	40 43.5	9 26.5	5 18.5	6 21.4	0 0.0	0 2.0	5 29.4
1週当たり4日	0 0.0	0 0.0	4 4.3	2 5.9	0 0.0	2 7.1	0 0.0	0 12.0	2 11.8
1週当たり5日	14 24.6	3 18.8	8 8.7	4 11.8	3 11.1	12 42.9	0 0.0	0 3.0	2 11.8
1週当たり6日	1 1.8	0 0.0	2 2.2	0 0.0	1 3.7	3 10.7	0 0.0	1 0.0	0 0.0
1週当たり7日	3 5.3	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9
無回答	5 8.8	2 12.5	1 1.1	2 5.9	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8
合計	57 100.0	16 100.0	92 100.0	34 100.0	27 100.0	28 100.0	0 100.0	1 100.0	17 100.0

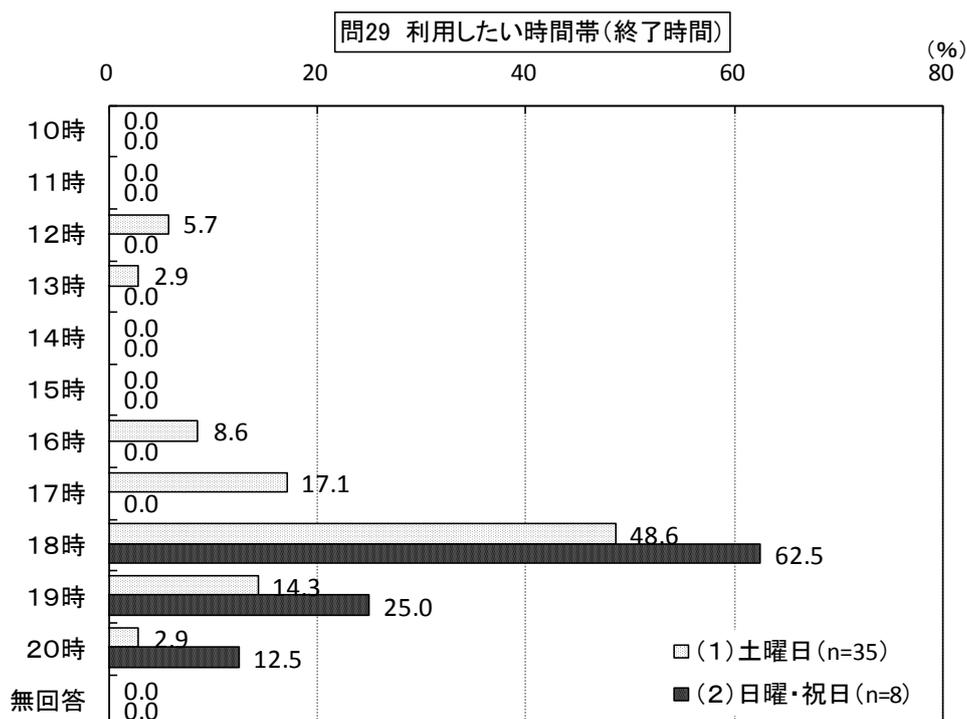
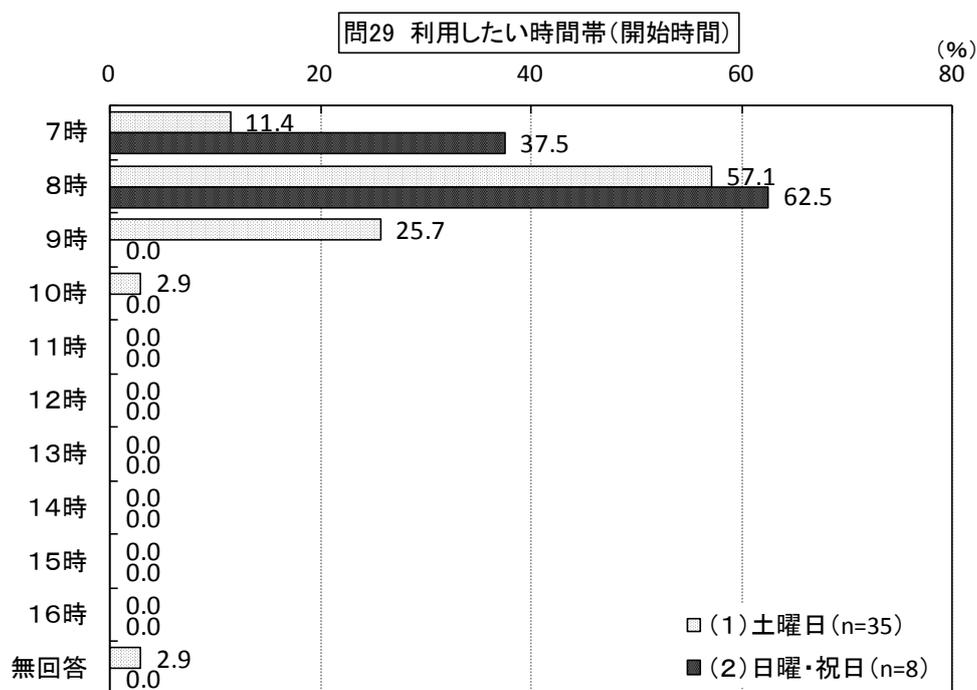
問29 問27 または問28 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用意向をみると、土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が約4割（39.0%）で最も多く、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（20.3%）とあわせた『利用したい』が約6割（59.3%）を占め、「利用する必要はない」は3割強（33.9%）となっている。



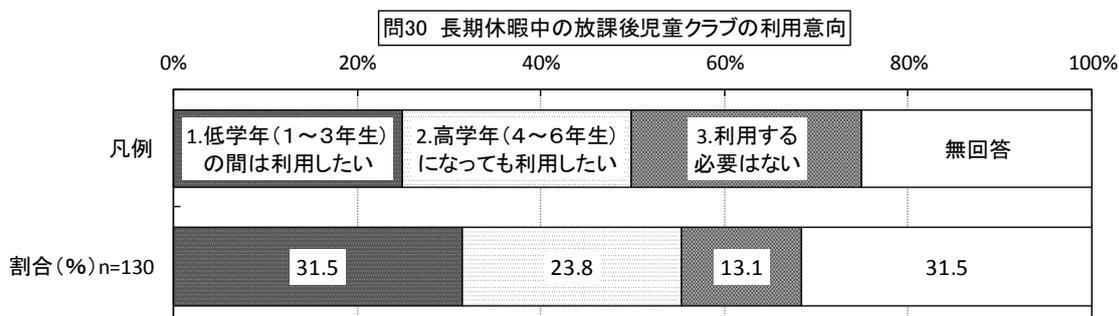
一方、日曜・祝日では「利用する必要はない」が約8割(79.7%)を占め、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」はそれぞれ1割以下となっている。

また、利用を希望する時間帯をみると、土曜日、日曜・祝日ともに開始は「8時」が6割前後(土曜日57.1%、日曜・祝日62.5%)を占め、終了は「18時」が5割～6割(土曜日48.6%、日曜・祝日62.5%)となっている。

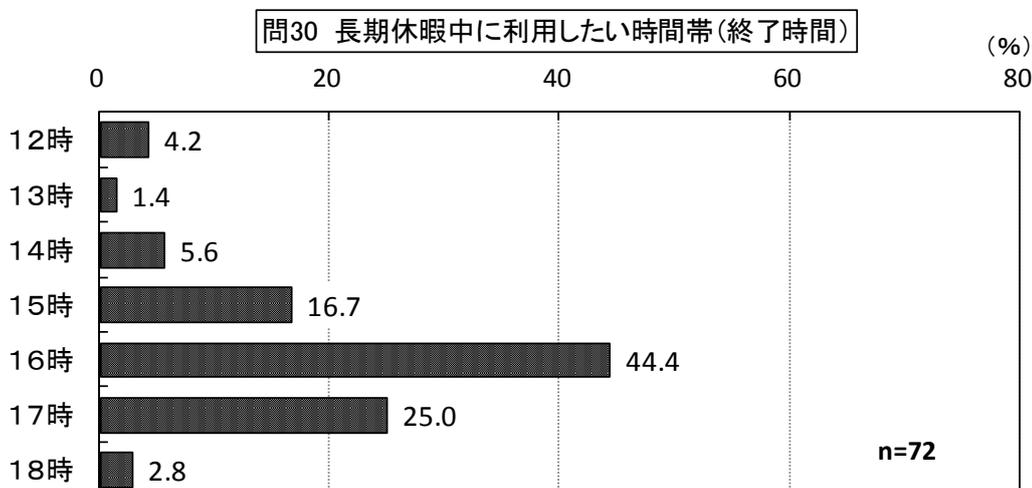
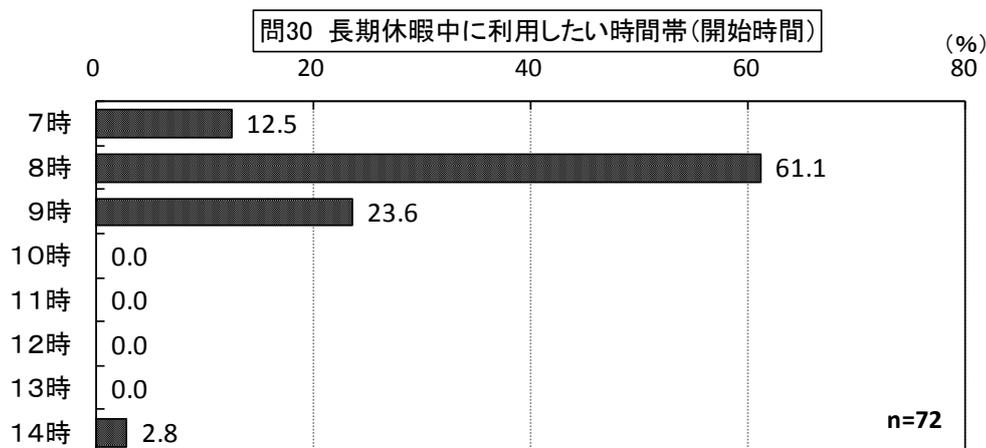


問30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が3割強（31.5%）で最も多く、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（23.8%）とあわせた『利用したい』が6割弱（55.3%）を占め、「利用する必要はない」は1割強（13.1%）となっている。



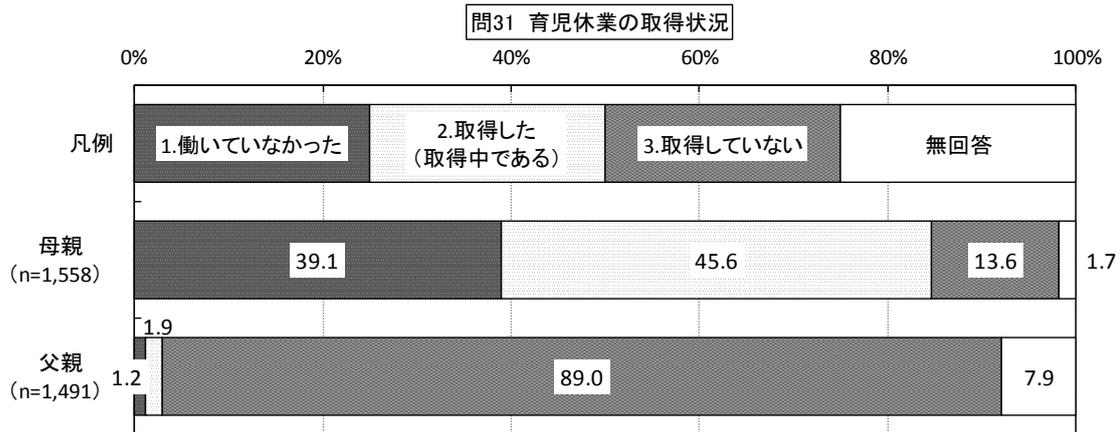
また、利用を希望する時間帯をみると、開始時間は「8時」が6割強（61.1%）を占め、次いで「9時」（23.6%）となっている。一方、終了時間は「16時」が4割強（44.4%）で最も多く、次いで「17時」（25.0%）となっている。



育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

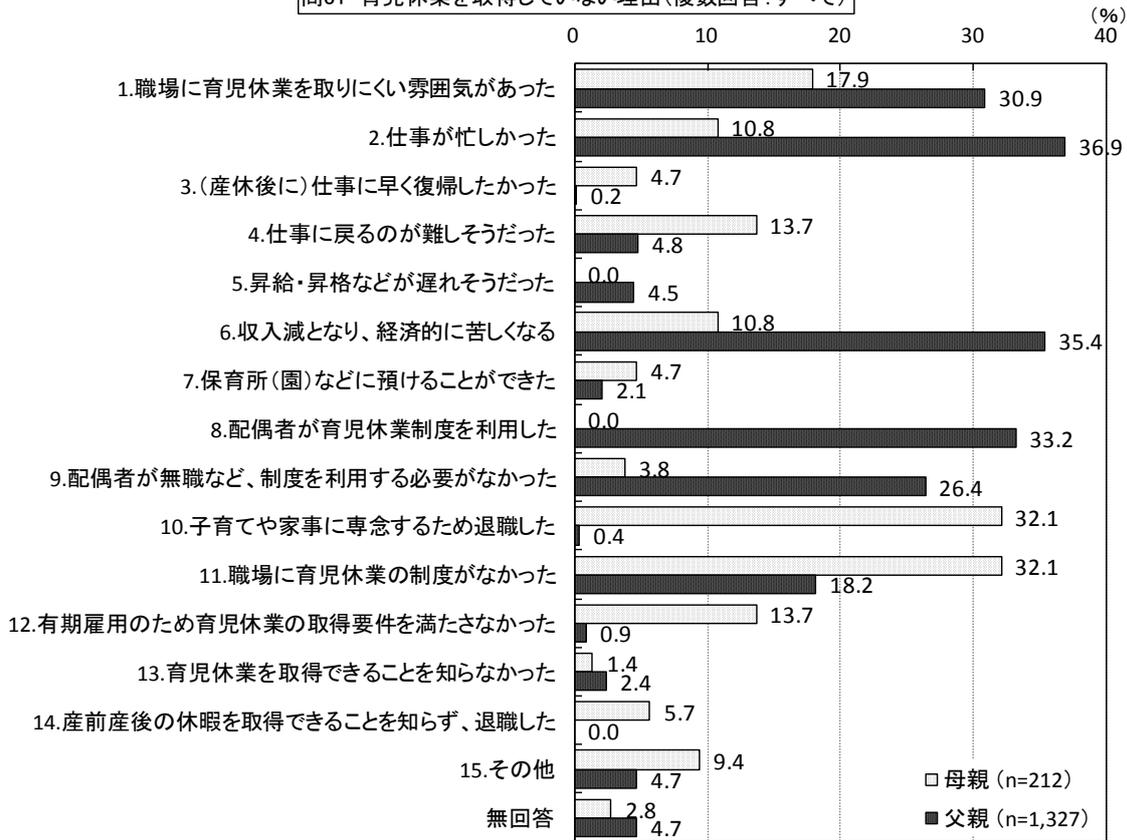
育児休業の取得状況をみると、母親では「取得した（取得中である）」が5割弱（45.6%）、「働いていなかった」が約4割（39.1%）、「取得していない」が1割強（13.6%）となっている。一方、父親では「取得していない」が約9割（89.0%）を占め、父親のほとんどが育児休業を取得していない状況にある。



育児休業を取得していない理由をみると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」と「職場に育児休業の制度がなかった」がともに3割強（32.1%）で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（17.9%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」・「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」（ともに13.7%）と続いている。

父親では、「仕事が忙しかった」が4割弱（36.9%）で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」（35.4%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（33.2%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（30.9%）と続いている。

問31 育児休業を取得していない理由(複数回答:すべて)

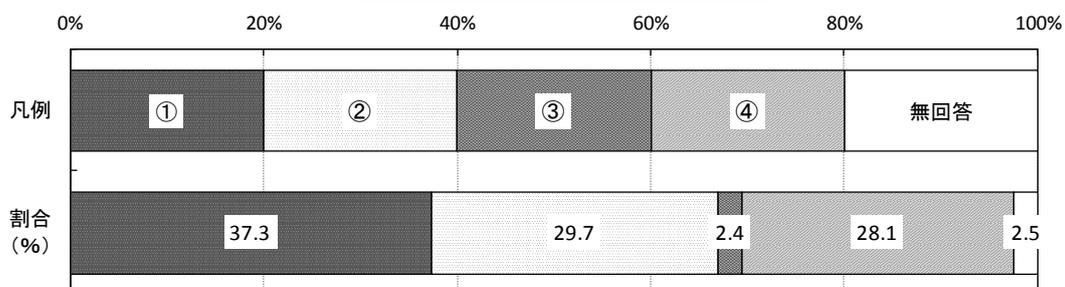


問31-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児給付、保険料免除の制度に対する認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が4割弱(37.3%)で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(29.7%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(28.1%)となっている。

育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない回答者が約3割となっており、育児休業取得を見送る要因にもなっていると思われる。

問31-1 育児休業給付、保険料免除の認知度

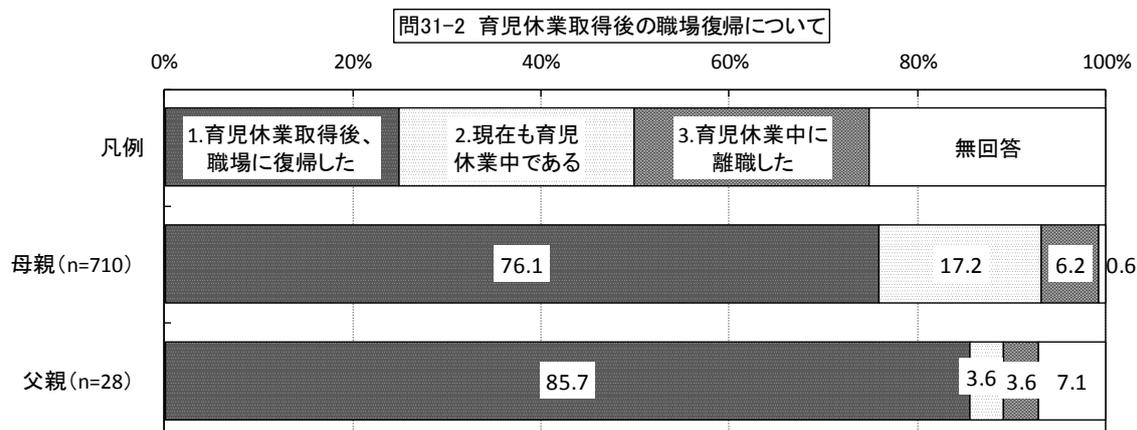


■ ① 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた □ ② 育児休業給付のみ知っていた
 ■ ③ 保険料免除のみ知っていた □ ④ 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
 □ 無回答

問 31 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

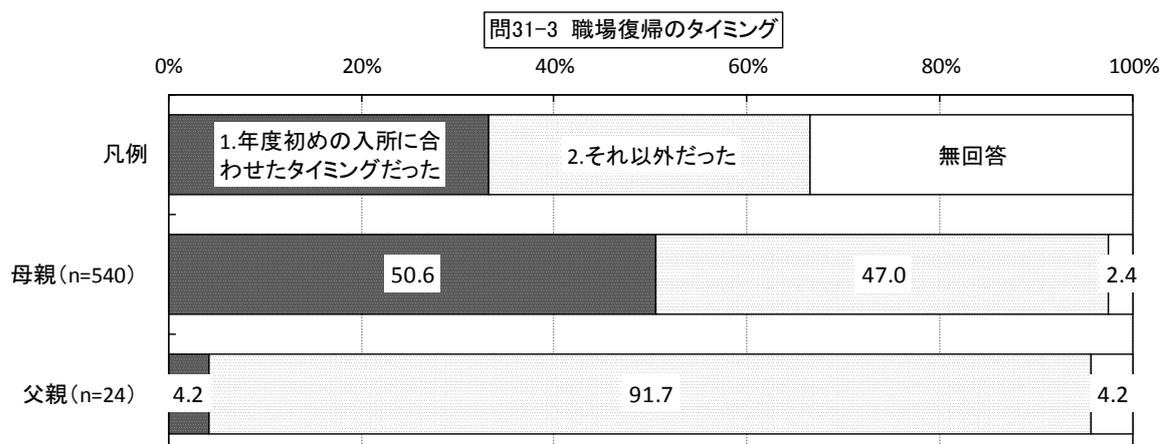
育児休業取得後の職場復帰についてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が8割弱（76.1%）を占め、次いで「現在も育児休業中である」（17.2%）、「育児休業中に離職した」（6.2%）となっている。



問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

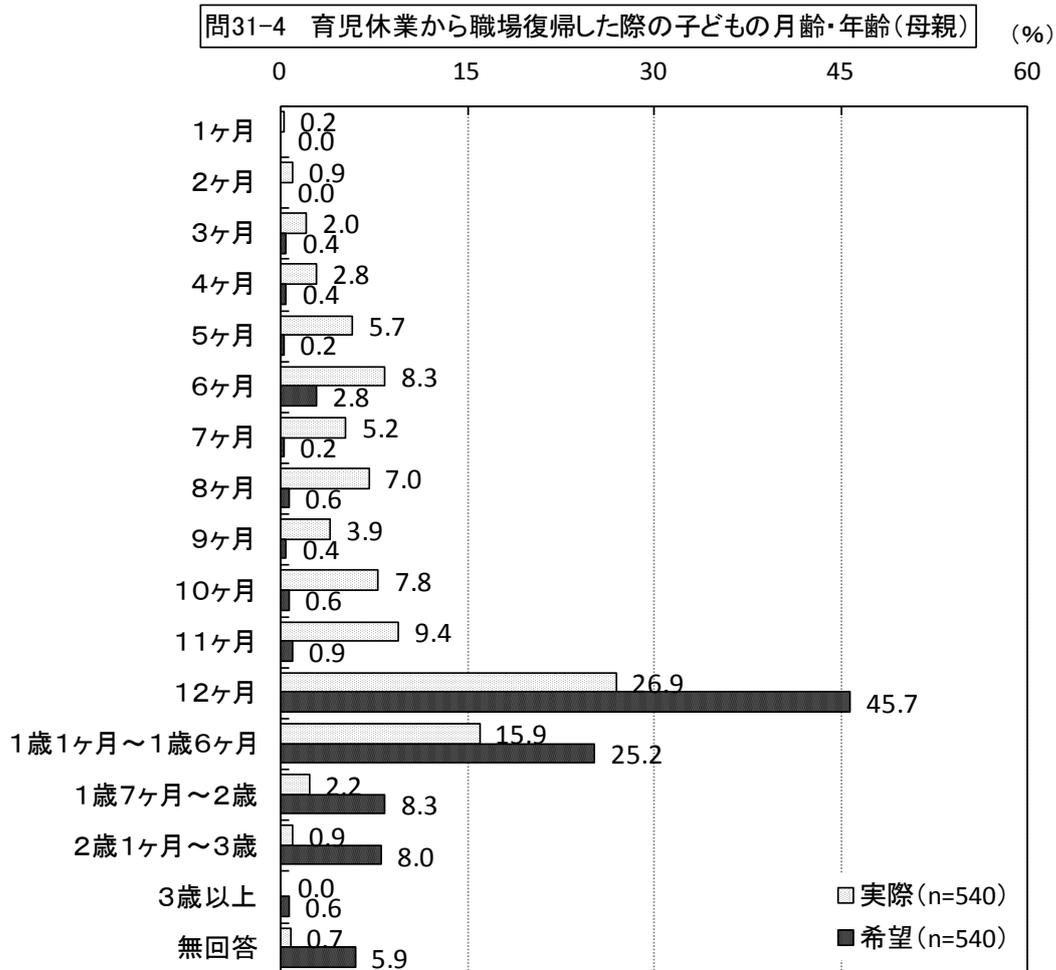
問31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

職場復帰のタイミングをみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が約5割（50.6%）、「それ以外だった」が5割弱（47.0%）となっている。



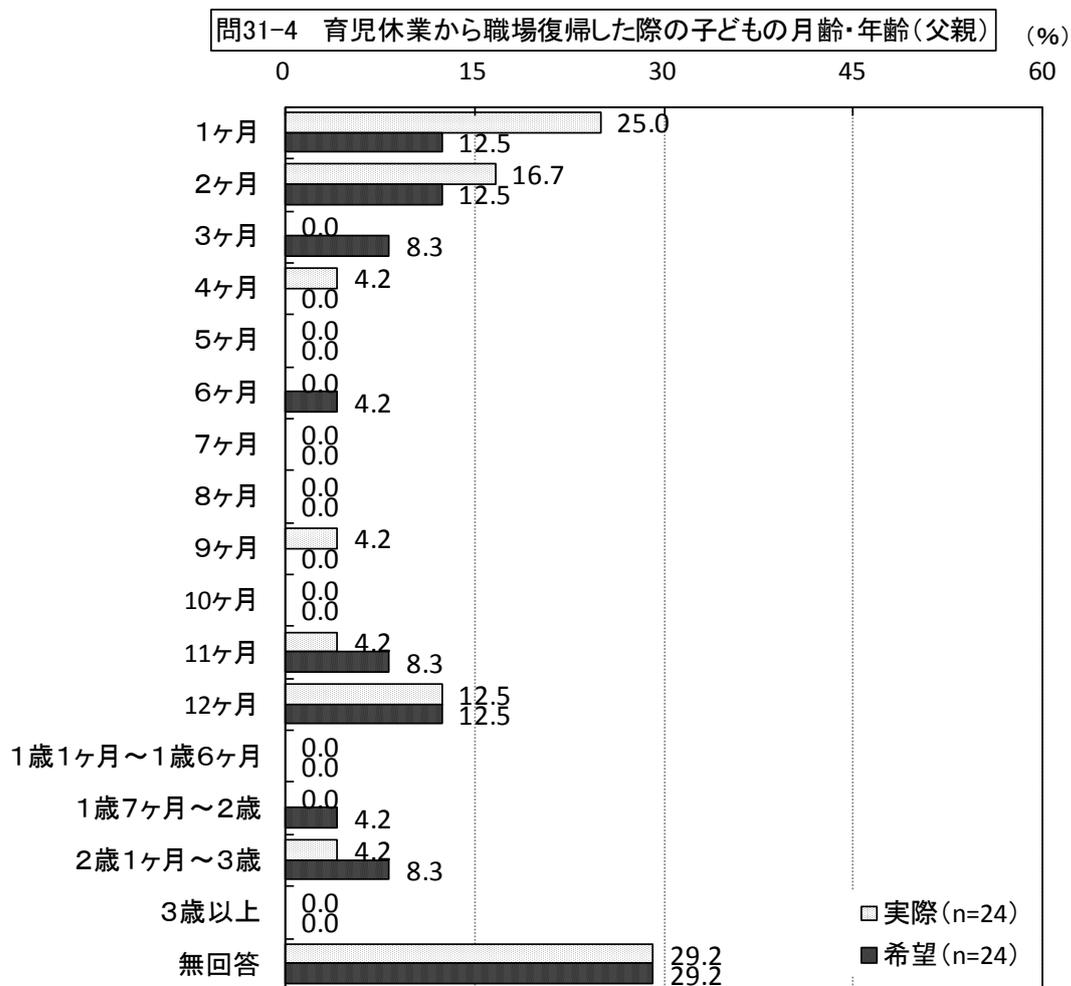
問31-4 育児休業からは、「実際」にお子さん何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

育児休業から職場復帰した際の子どもの月齢・年齢をみると、母親では「12ヶ月」が3割弱（26.9%）で最も多く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」（15.9%）、「11ヶ月」（9.4%）、「6ヶ月」（8.3%）と続いている。



職場復帰する際に希望する月齢・年齢をみると、「12ヶ月」が5割弱（45.7%）で最も多く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」（25.2%）、「1歳7ヶ月～2歳」（8.3%）、「2歳1ヶ月～3歳」（8.0%）と続いている。

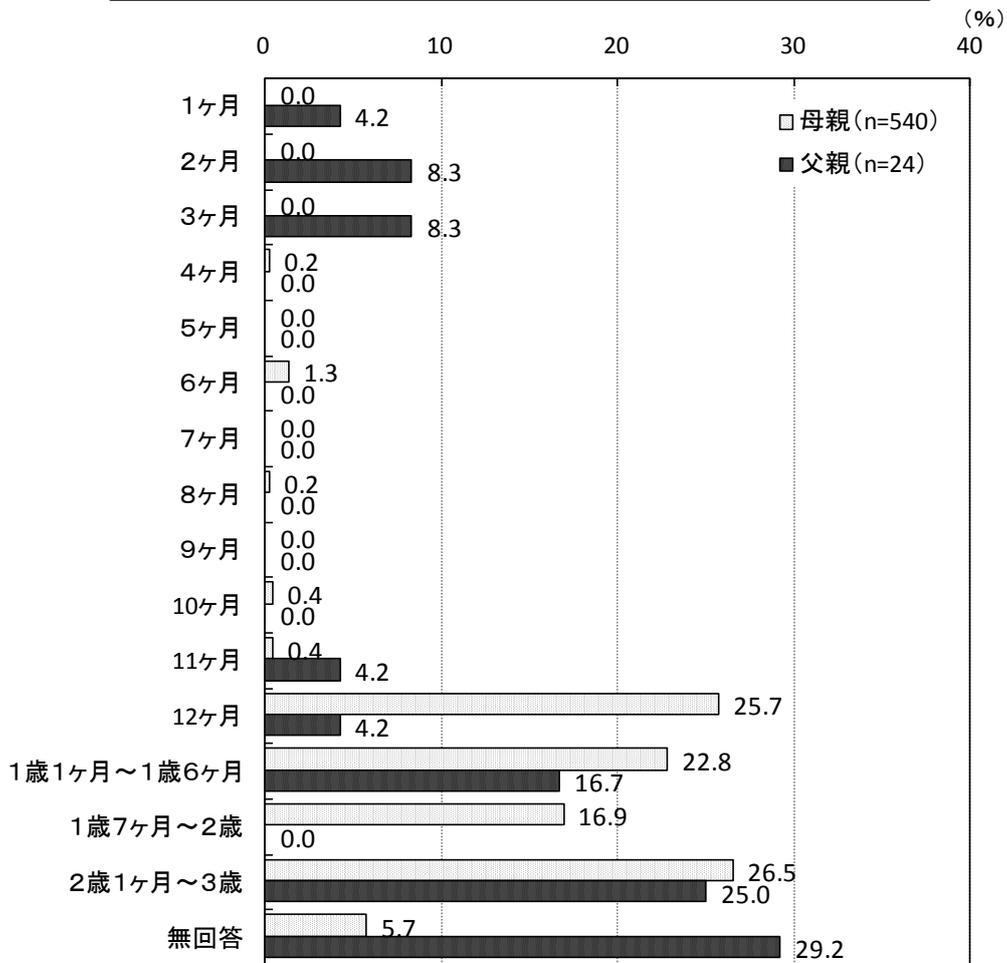
“実際”と“希望”を比較すると、9割弱（87.8%）の回答者が『12ヶ月以上』を希望していることに対して、実際には『12ヶ月未満』が5割以上（53.2%）となっており、希望通りの子どもの月齢・年齢での職場復帰は難しい状況にある。



問31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

3歳まで休暇を取得できる制度がある場合に希望する子どもの月齢・年齢をみると、母親では「2歳1ヶ月～3歳」が3割弱(26.5%)で最も多く、次いで「12ヶ月」(25.7%)、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」(22.8%)となっており、多くの母親が職場への復帰は子どもが1歳以上になってからと考えている。

問31-5 3歳まで取得できる制度がある場合に復帰希望する子どもの月齢・年齢

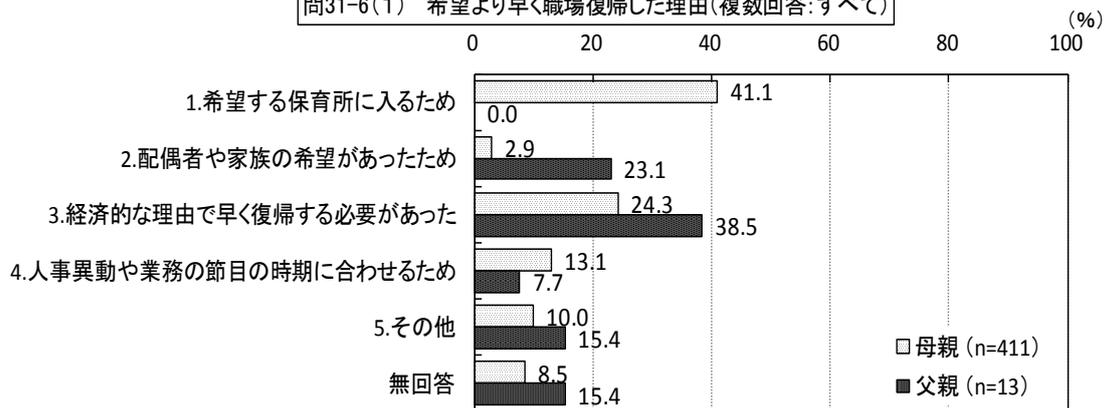


問31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

希望より早く職場復帰した理由をみると、母親では「希望する保育所に入るため」が4割強(41.1%)で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(24.3%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(13.1%)と続いている。

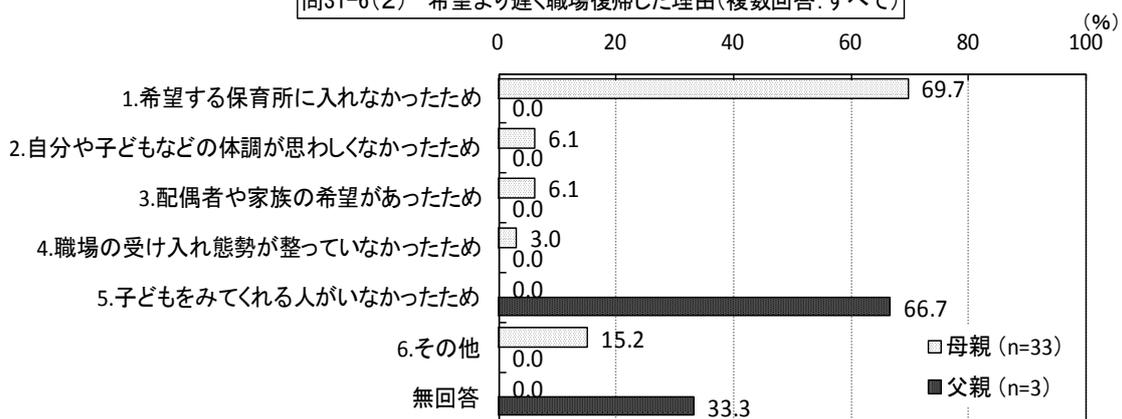
問31-6(1) 希望より早く職場復帰した理由(複数回答:すべて)



(2) 「希望」より遅く復帰した方

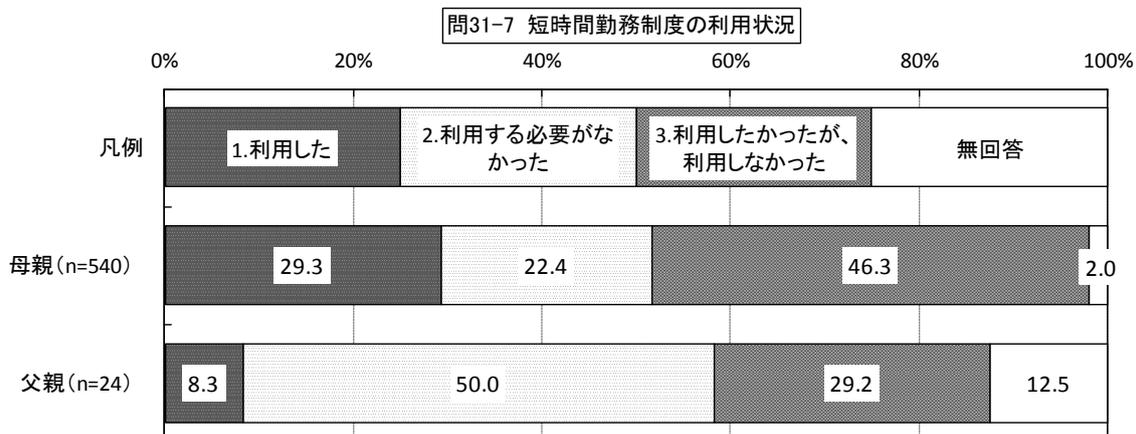
希望より遅く職場復帰した理由をみると、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が約7割(69.7%)を占める。

問31-6(2) 希望より遅く職場復帰した理由(複数回答:すべて)



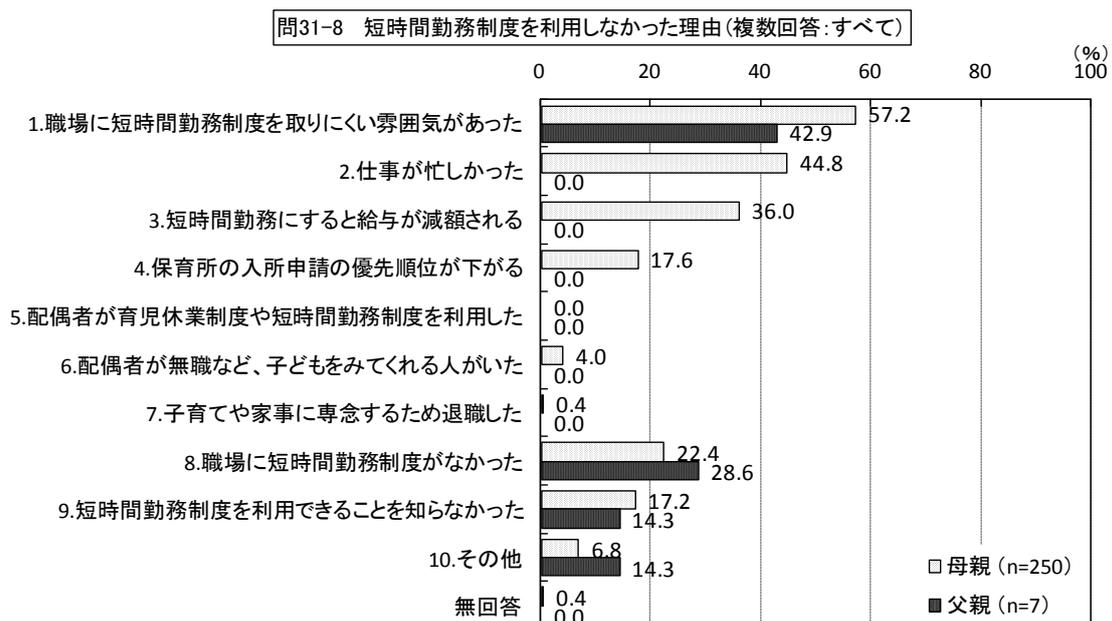
問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 問31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

短時間勤務制度の利用状況を見ると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が5割弱（46.3%）で最も多く、次いで「利用した」（29.3%）、「利用する必要がなかった」（22.4%）となっている。



問 31-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。
 問31-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

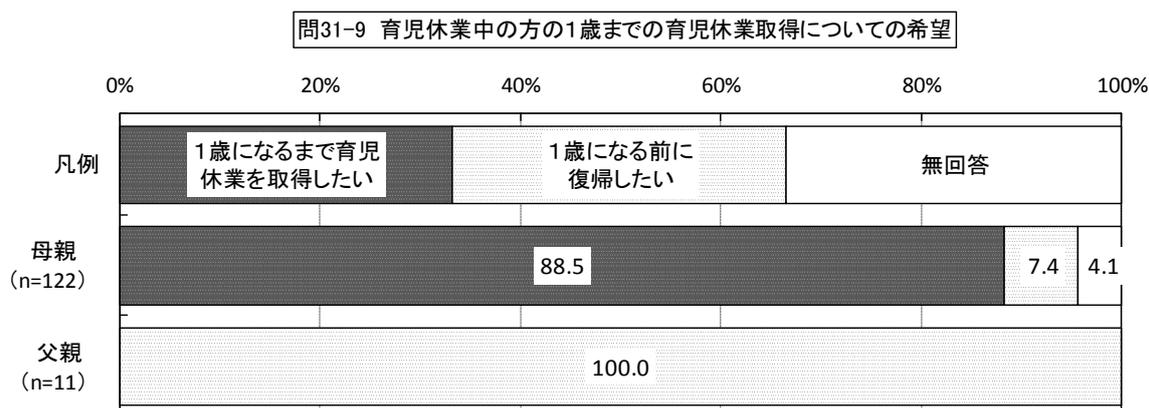
短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親では「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」が6割弱（57.2%）で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」（44.8%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」（36.0%）、「職場に短時間勤務制度がなかった」（22.4%）と続いている。



問31-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問31-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（保育・療育など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

育児休業中の方の1歳までの育児休業取得についての希望をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が9割弱（88.5%）を占める。

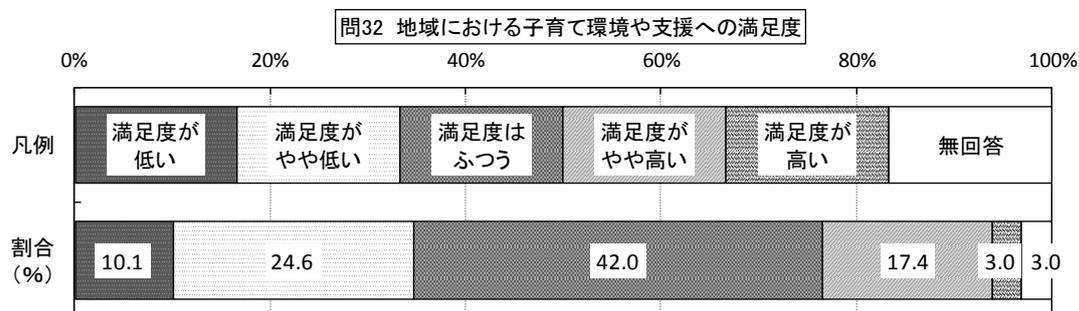


地域の子育て環境や支援に対する満足度について

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

地域における子育て環境や支援への満足度をみると、「満足度はふつう」が4割強（42.0%）で最も多くなっている。

満足度が「低い」と「やや低い」をあわせた『低い』は3割強（34.7%）、「高い」と「やや高い」をあわせた『高い』は約2割（20.4%）となり、地域における子育て環境や支援の満足度はやや低いものとなっている。

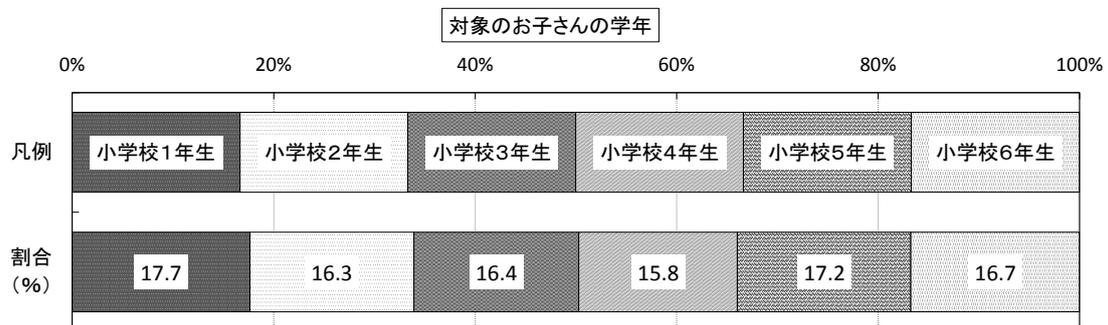
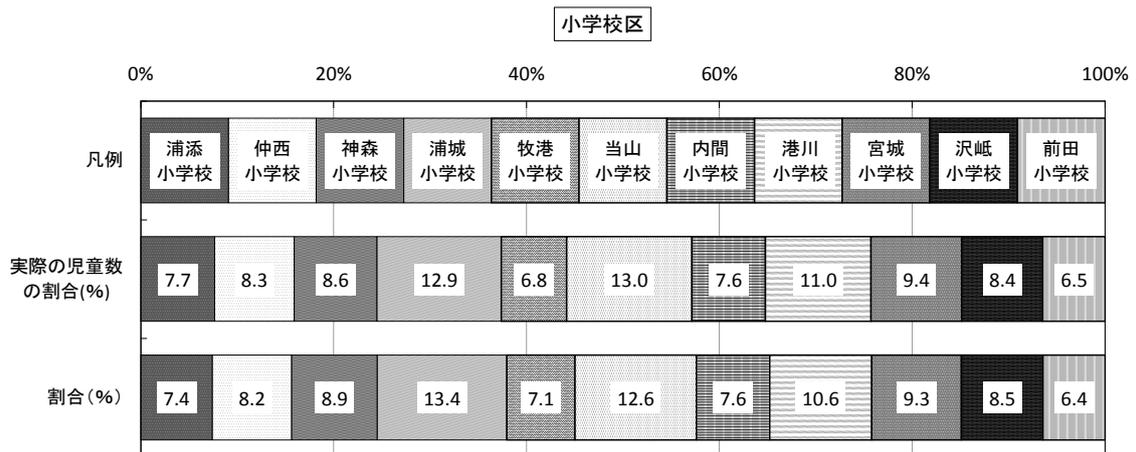


3. 就学児童アンケート調査の結果

お子さんご家族の状況について

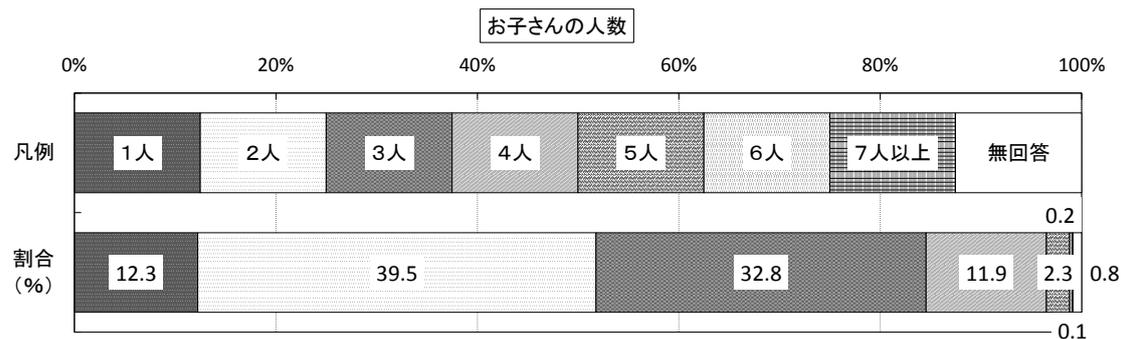
問1 お子さんの生年月をご記入ください。

小学校区別に児童数をみると「4. 浦城小学校区」(13.4%)、「6. 当山小学校区」(12.6%)、「8. 港川小学校区」(10.6%)の順で多く、実際の児童数の割合と比べてもほぼ同じ割合となっている。

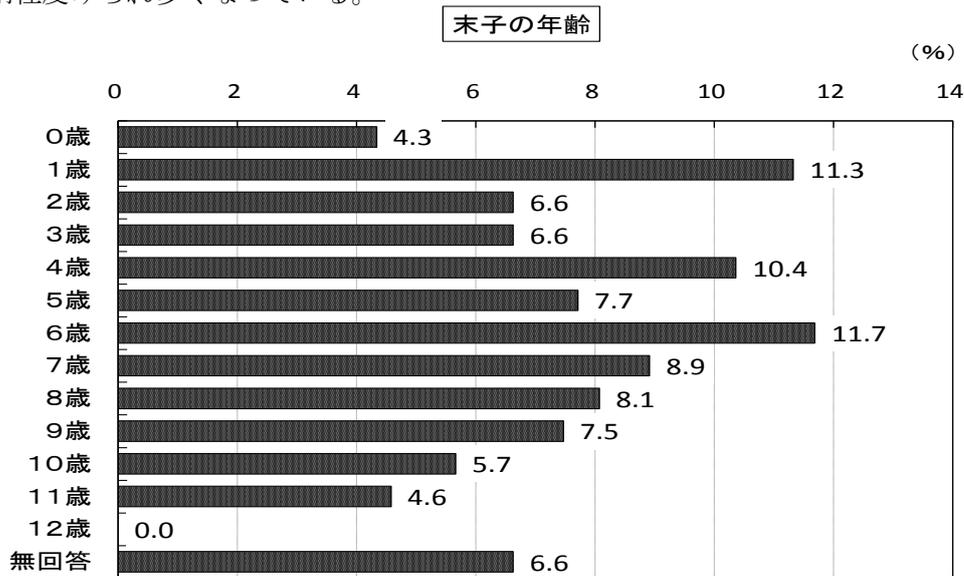


問2 お子さんのきょうだいはいらっしゃいますか。

きょうだいの数については、「2人」が約4割(39.5%)で多く、次いで、「3人」が3割強(32.8%)、「1人」(12.3%)、「4人」(11.9%)と続いている。

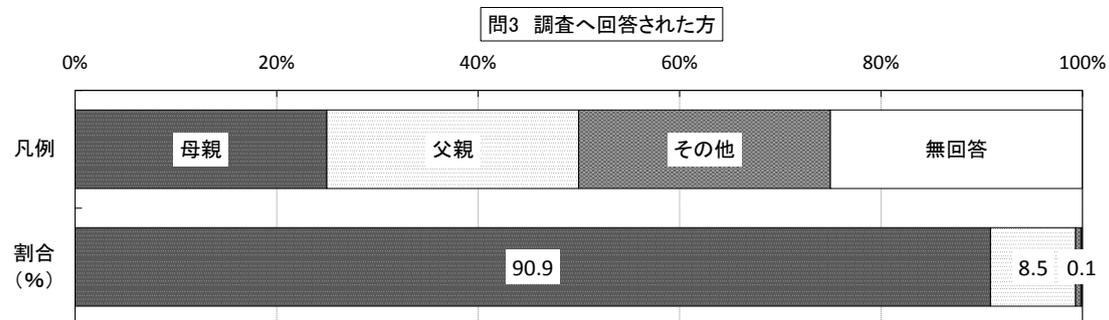


末子の年齢をみると、「6歳」(11.7%)、「1歳」(11.3%)、「4歳」(10.4%)がそれぞれ1割程度みられ多くなっている。



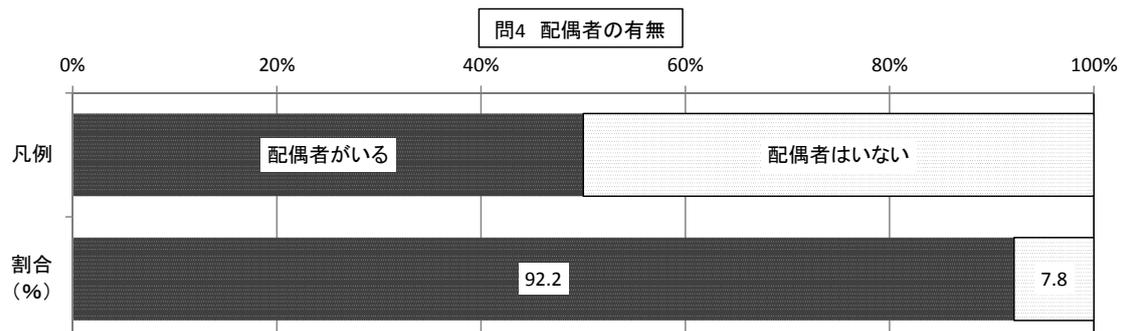
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

回答者をみると「母親」が約9割(90.9%)でほとんどを占めており、「父親」が約1割(8.5%)、「その他」(0.1%)がごく僅かとなっている。



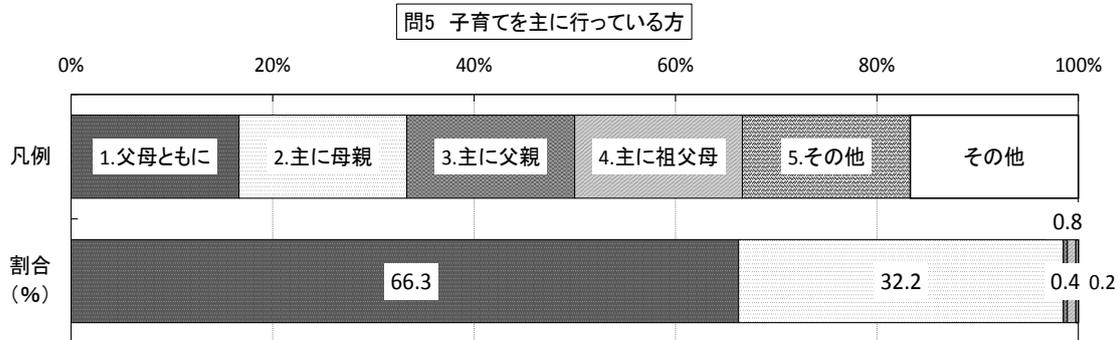
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶者についてみると、「配偶者がいる」が9割強(92.2%)を占め、「配偶者はいない」は1割以下(7.8%)となっている。



問5 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が7割弱(66.3%)で最も多く、次いで、「主に母親」(32.2%)、「主に祖父母」(0.8%)、「主に父親」(0.4%)となっている。

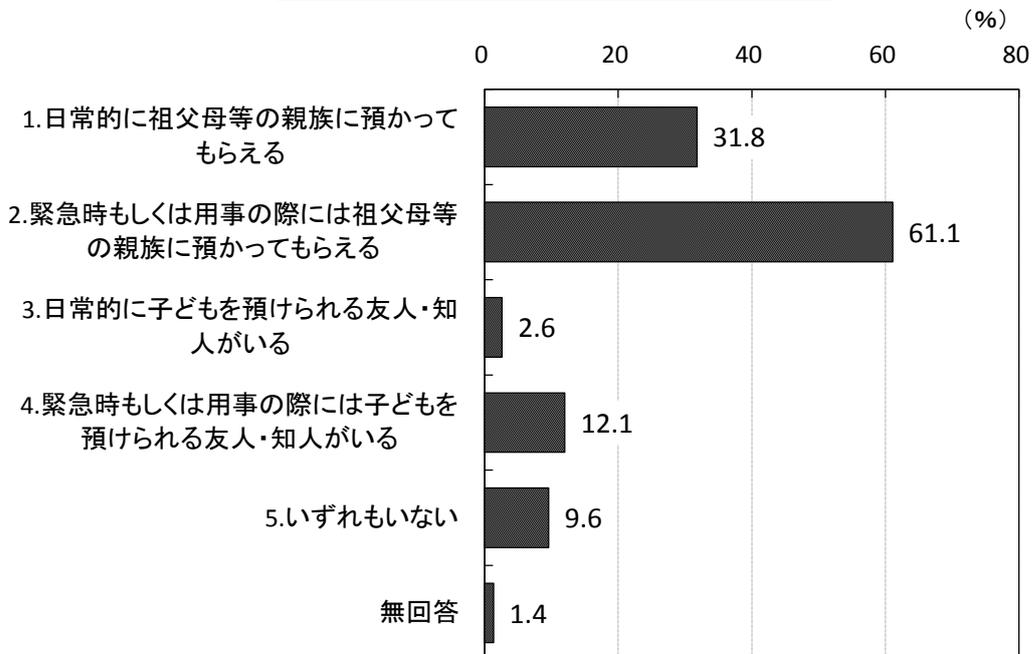


問6 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割強(61.1%)を占め、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が3割強(31.8%)となっている。

一方で、「いずれもない」が9.6%みられる。

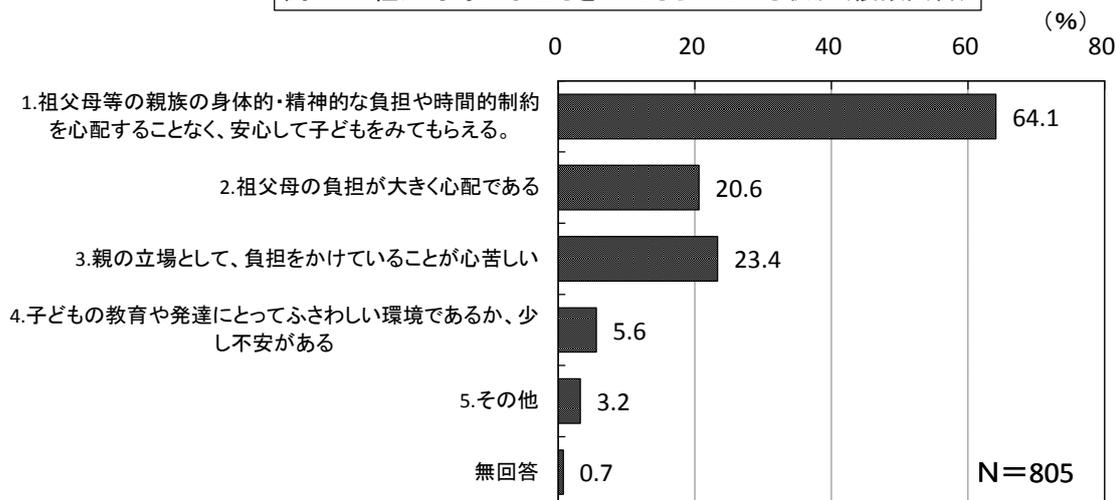
問6 子どもをみてもらえる人の有無(複数回答)



問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

祖父母等に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が6割強(64.1%)を占めている。しかし、「祖父母等の親族への負担が大きく心配である」(20.6%)、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(23.4%)がそれぞれ2割程度みられ、多くの保護者が安心して子どもをみてもらえる一方で、負担をかけていることが心苦しいとしている状況もみられる。

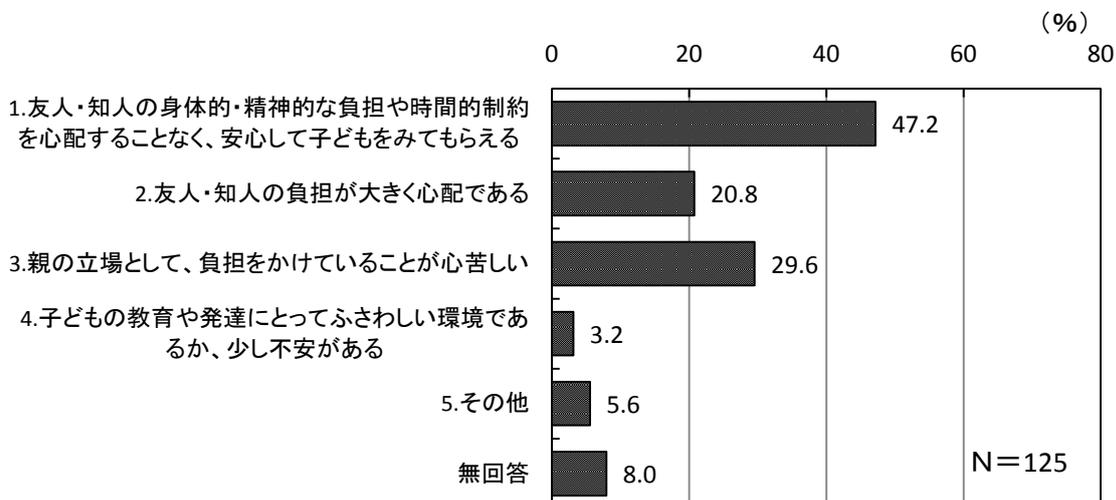
問6-1 祖父母等に子どもをみてもらっている状況(複数回答)



問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況を見ると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が5割弱(47.2%)と最も多く、次いで、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が約3割(29.6%)、「友人・知人への負担が大きく心配である」が約2割(20.8%)と続いており、前問と同様に多くの保護者が安心して子どもをみてもらえる一方で、負担をかけていることが心苦しいとしている状況もみられる。

問6-2 友人や知人に子どもをみてもらっている状況(複数回答)

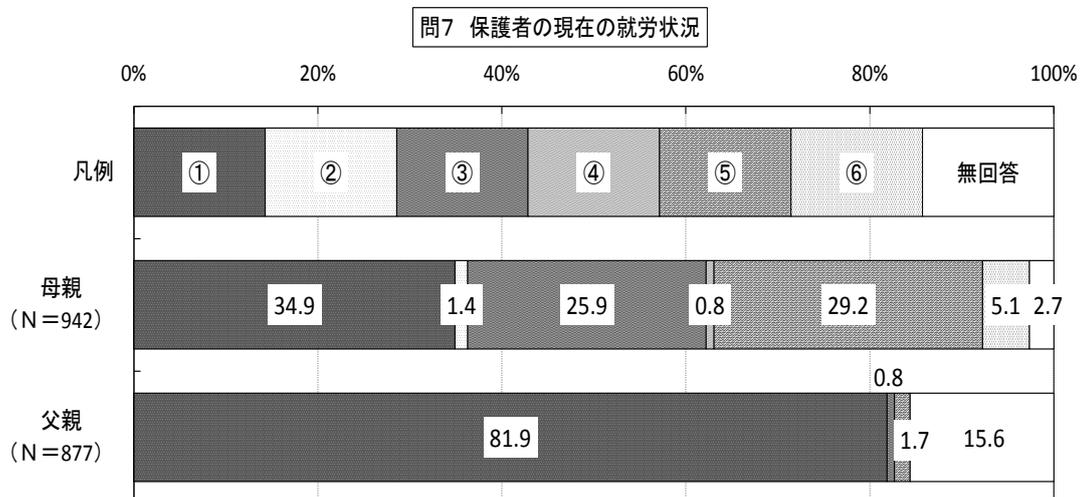


保護者の就労状況について

問7 保護者の就労状況について【父子家庭の場合は記入は不要です】

保護者の就労状況を見ると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が3割強(34.9%)で最も多く、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(25.9%)をあわせた半数以上(60.8%)が現在就労している。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(29.2%)、「これまでに就労したことがない」(5.1%)、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」(1.4%)、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」(0.8%)となっている。

父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が8割強(81.9%)で最も多く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(1.7%)、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(0.8%)と続いている。



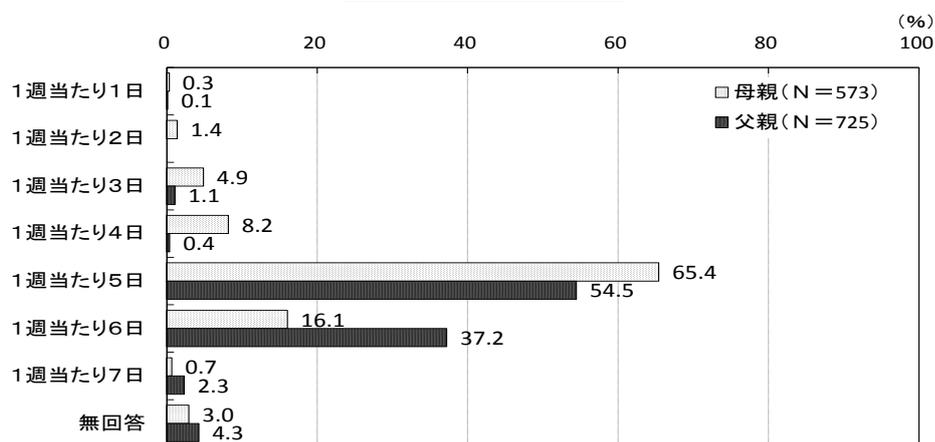
- ①フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ②フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ③パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ④パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ⑤以前は就労していたが、現在は就労していない
- ⑥これまで就労したことがない
- 無回答

問7-① フルタイム・パートタイム、アルバイト等で就労している方にうかがいます。
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答え
ください。

1週当たりの就労日数をみると、母親では「1週当たり5日」が6割強(65.4%)で最も多く、次いで、「1週当たり6日」(16.1%)となっている。

父親では、「1週当たり5日」が5割強(54.5%)で最も多く、次いで、「週6日」(37.2%)となっている。

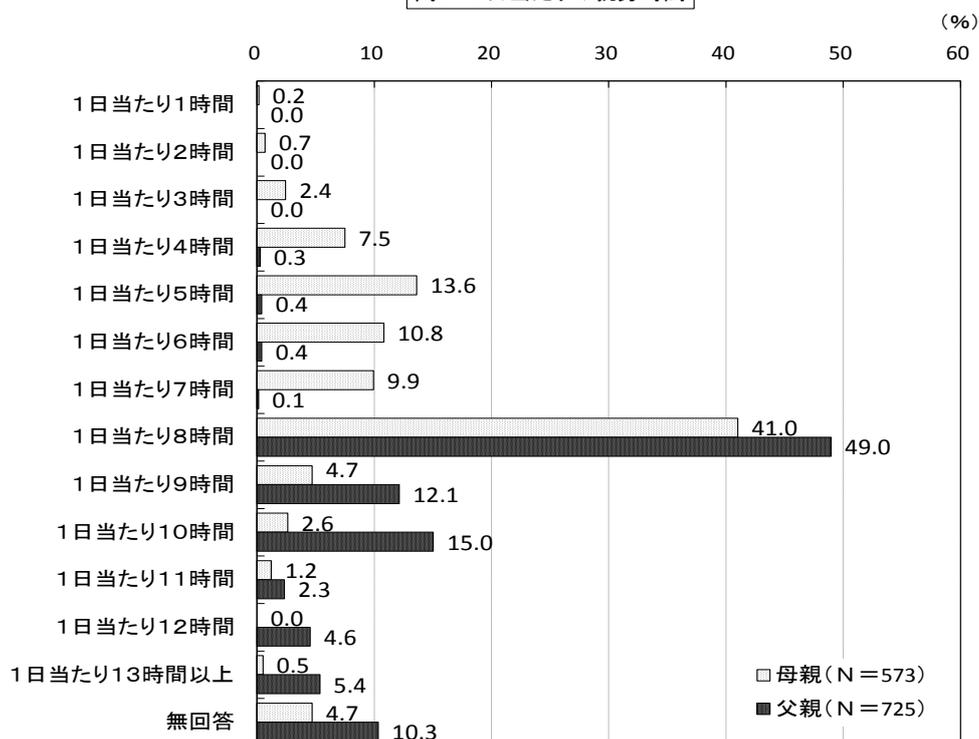
問7 1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間をみると、母親では「1日当たり8時間」が約4割(41.0%)と最も多く、次いで「1日当たり5時間」(13.6%)、「1日当たり6時間」(10.8%)、「1日当たり7時間」(9.9%)となっている。

父親では「1日当たり8時間」が約5割(49.0%)と最も多く、次いで「1日当たり10時間」(15.0%)、「1日当たり9時間」(12.1%)となっており、母親より父親の労働時間が長くなっていることが窺える。

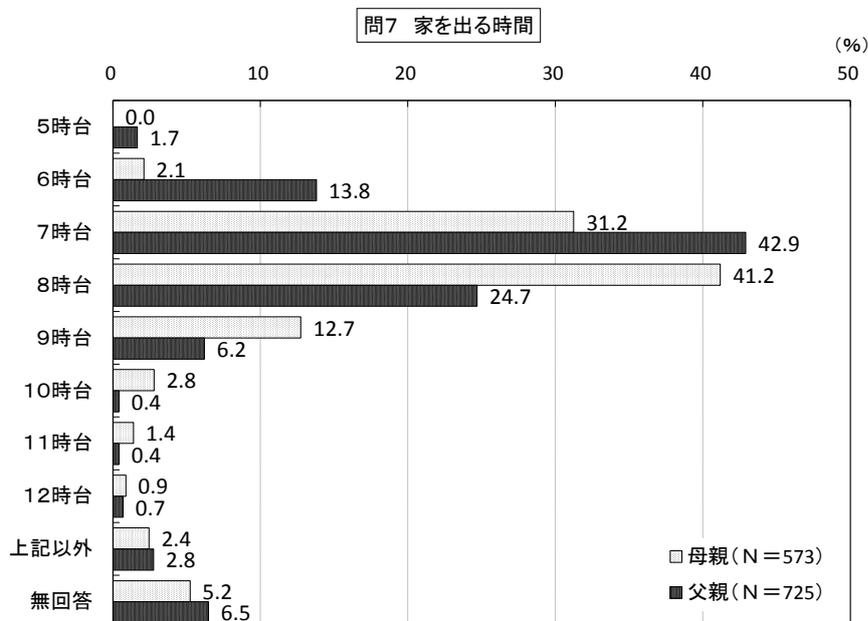
問7 1日当たりの就労時間



問7-② フルタイム・パートタイム、アルバイト等で就労している方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

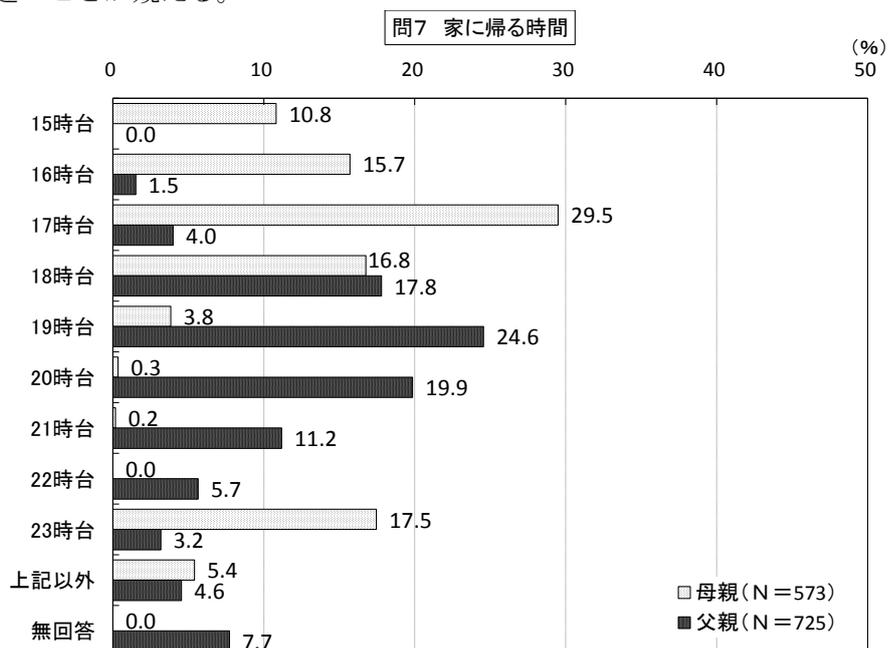
家から出る時間をみると、母親では「8時台」が4割強(41.2%)で最も多く、次いで、「7時台」(31.2%)、「9時台」(12.7%)と続いている。

父親では、「7時台」が4割強(42.9%)で最も多く、次いで、「8時台」(24.7%)、「6時台」(13.8%)と続いている。



家に帰る時間をみると、母親では「17時台」が約3割(29.5%)で最も多く、次いで、「18時台」(16.8%)、「16時台」(15.7%)と続いている。また、「23時台」(17.5%)の回答もあり、帰宅時間がかなり遅い母親も少数ではあるがみられる。

父親では、「19時台」が2割強(24.6%)で最も多く、次いで、「20時台」(19.9%)、「18時台」(17.8%)と続いている。また、21時以降に帰宅する割合も多くなっており、父親の帰宅時間が遅いことが窺える。

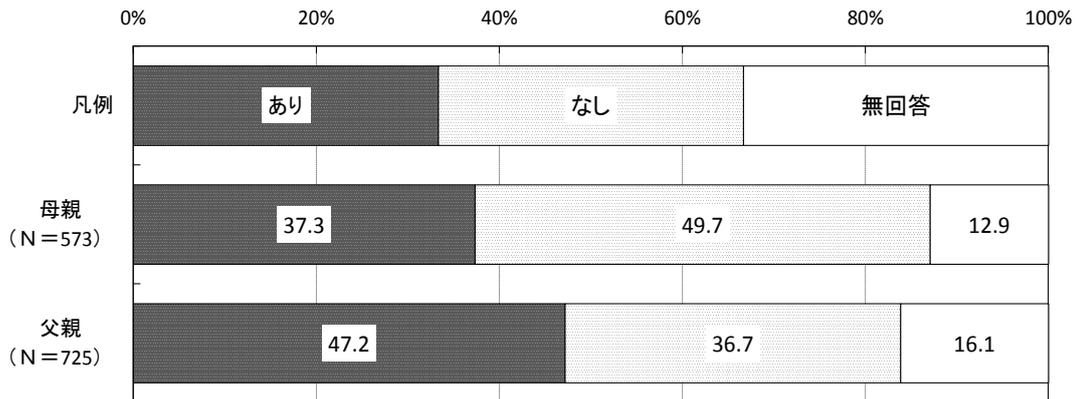


問7-③ フルタイム・パートタイム、アルバイト等で就労している方にうかがいます。
変則的な勤務についてお答えください。

変則的な勤務についてみると、母親では「あり」が4割弱(37.3%)、「なし」が5割弱(49.7%)となっている。

父親では、「あり」が5割弱(47.2%)、「なし」が4割弱(36.7%)となっている。

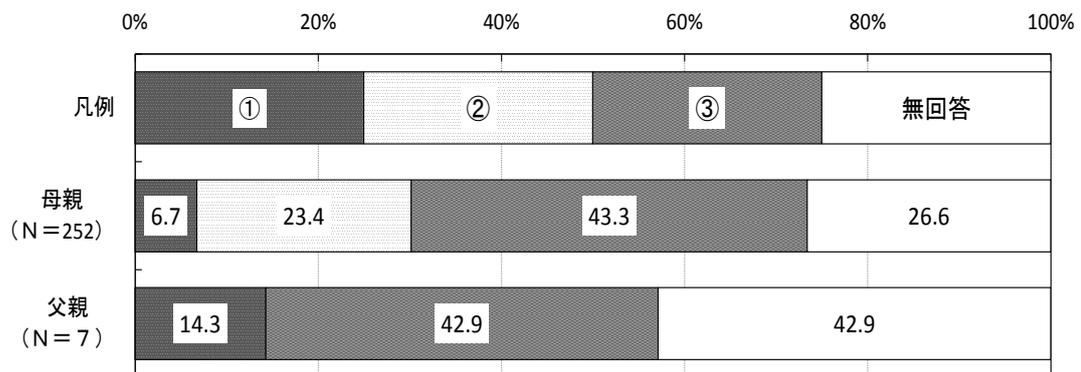
問7 変則的な勤務の有無



問7-④ パートタイム、アルバイト等で就労している方にうかがいます。フルタイムへの
転換希望はありますか。

フルタイムへの転換希望をみると、母親では「転換希望はない」が4割強(43.3%)で最も多くなっている。一方で、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2割強(23.4%)みられる。

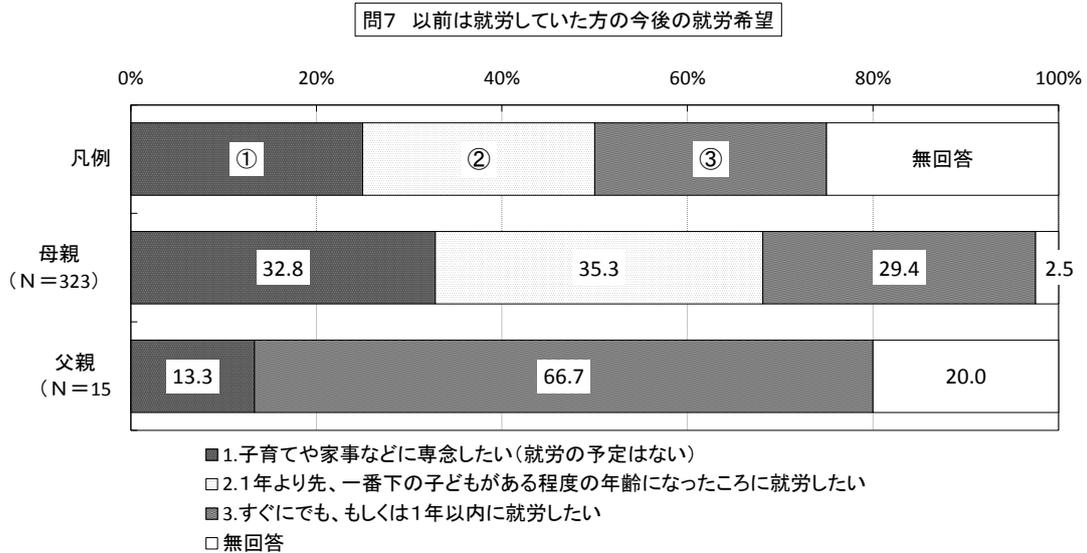
問7 パートタイム・アルバイトからフルタイムへの転換希望の有無



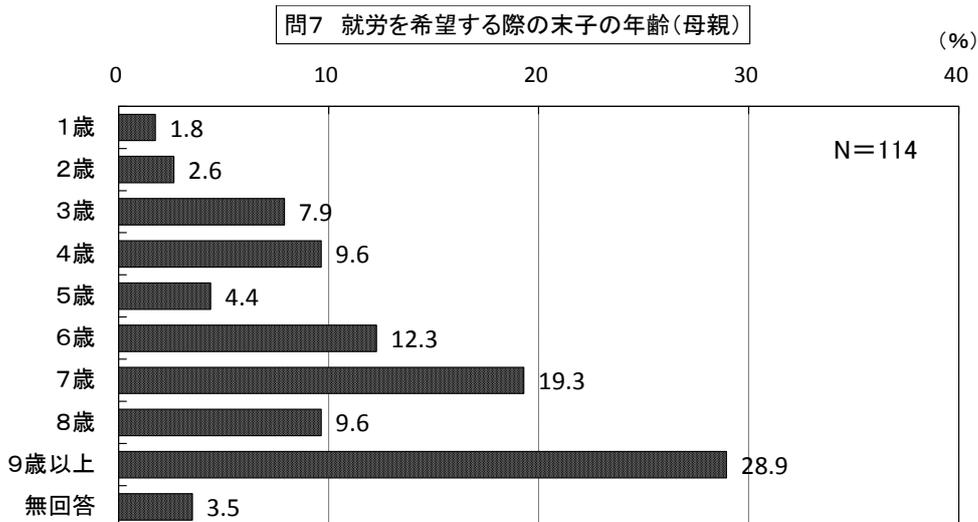
- ① 転換希望があり、実現できる見込みがある
- ② 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ③ 転換希望はない
- 無回答

問7-⑤ 「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

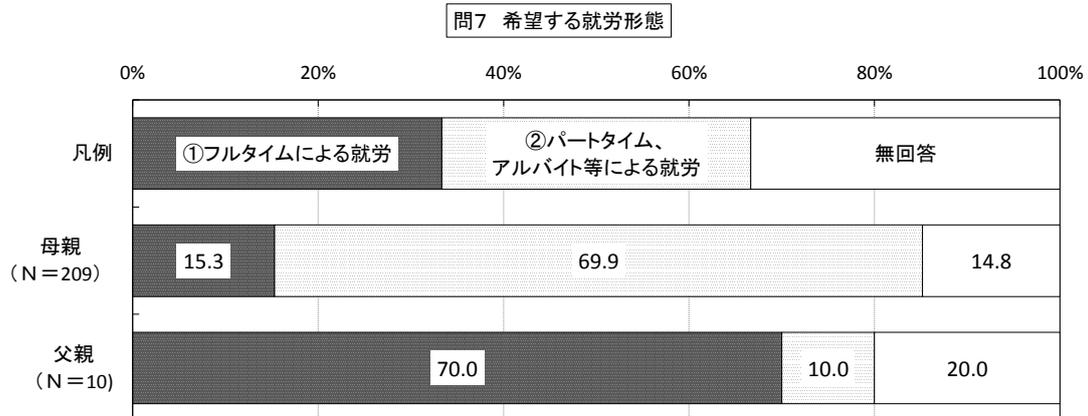
再就労・就労の希望をみると、母親では、「1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい」3割強（35.3%）、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」約3割（29.4%）となっており、『再就労・就労を希望する母親』があわせて6割強（64.7%）を占めている。一方で、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」も3割強（32.8%）みられる。



「1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい」と回答した母親について、就職を希望する際の末子の年齢をみると、「9歳以上」が3割弱（28.9%）で最も多く、次いで、「7歳」（19.3%）、「6歳」（12.3%）となっている。

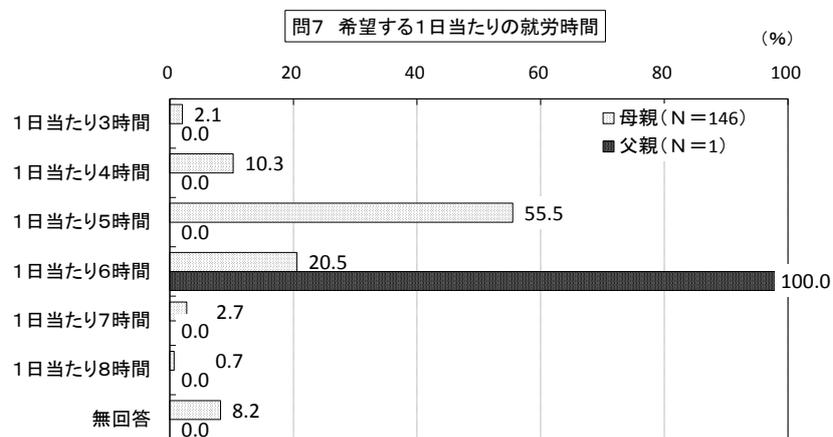
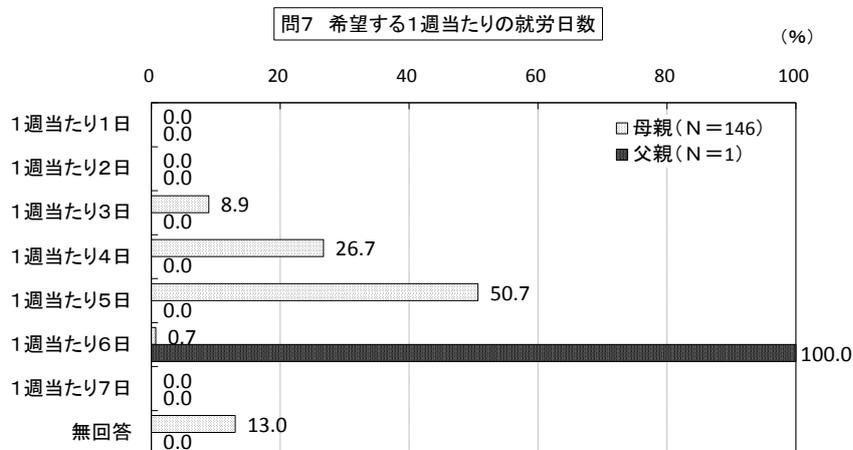


希望する就労形態をみると、母親では、「パートタイム、アルバイト等による就労」が約7割(69.9%)を占め、「フルタイムによる就労」は1割強(15.3%)にとどまっている。



パートタイム、アルバイト等希望者について、希望する1週当たりの就労日数をみると、母親では、「1週当たり5日」が約5割(50.7%)で最も多く、次いで、「1週当たり週4日」(26.7%)、「1週当たり週3日」(8.9%)となっている。

また、希望する1日当たりの就労時間をみると、母親では、「1日当たり5時間」が6割弱(55.5%)で最も多く、次いで「1日当たり6時間」(20.5%)、「1日当たり4時間」(10.3%)と続いている。



放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。

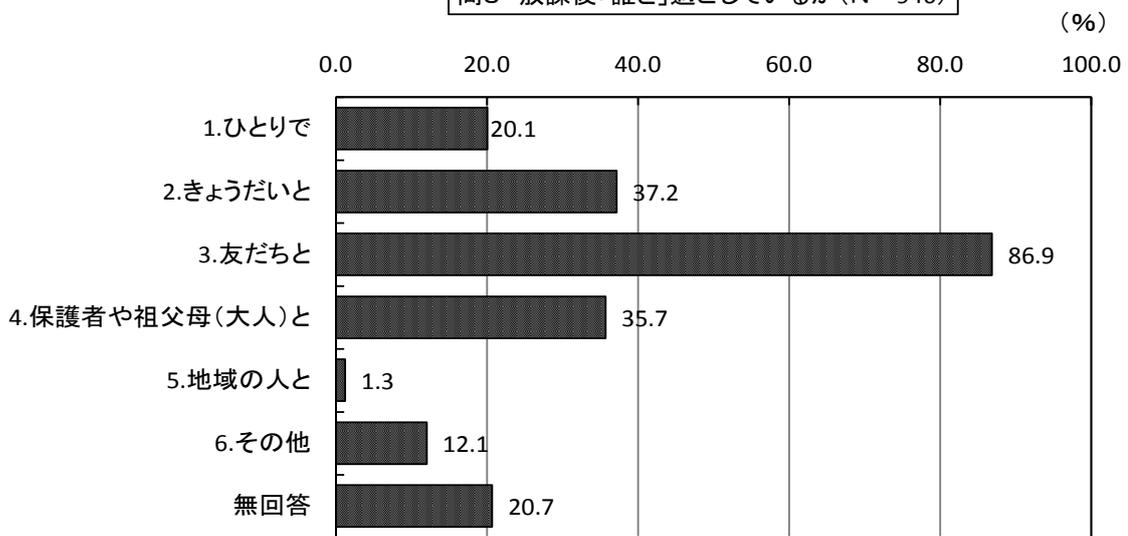
問8 お子さんは、放課後や休日は、どのように過ごしていますか。下の表から「誰と」「どこで」の組み合わせで主なものを2つまで選んでそれぞれの欄にご記入ください。

<放課後の過ごし方『誰と』>

放課後『誰と』過ごしているかについては、「友だちと」が9割弱(86.9%)で最も多く、次いで、「きょうだいと」(37.2%)、「保護者や祖父母(大人)と」(35.7%)がそれぞれ4割弱となっている。一方で、「ひとりで」が約2割(20.1%)みられる。

学年区別でみると、低学年では高学年より「きょうだいと」や「保護者や祖父母(大人)と」とする割合が高く、高学年では低学年より「友だちと」とする割合が高くなっている。

問8 放課後「誰と」過ごしているか(N=946)



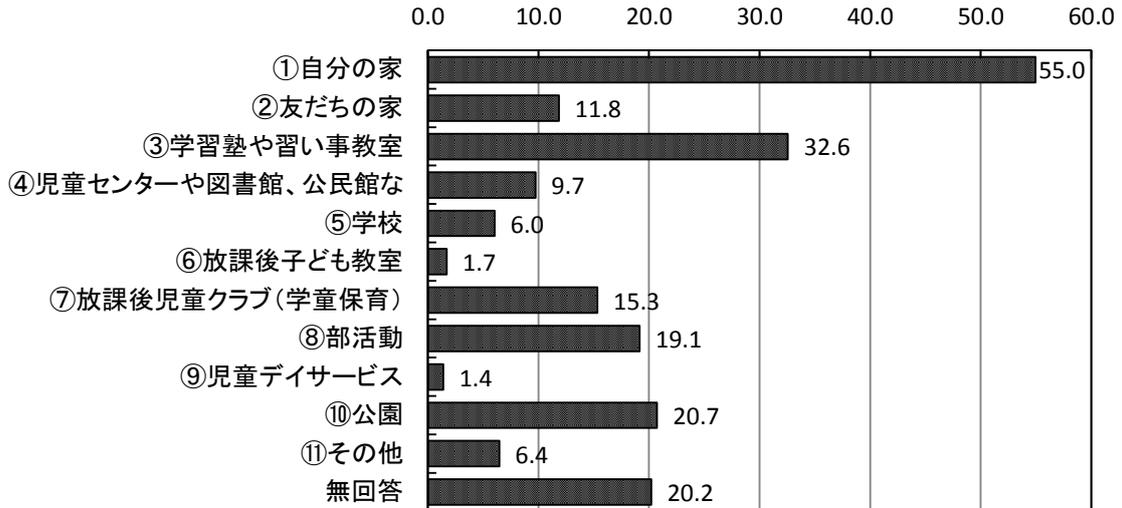
		① ひと りで	② き よ う だ い と	③ 友 だ ち と	④ (大 人 と 保 護 者 や 祖 父 母)	⑤ 地 域 の 人 と	⑥ そ の 他	無 回 答	
		上段:件数、下段:横%							
全 体(N=946)		190 20.1	352 37.2	822 86.9	338 35.7	12 1.3	114 12.1	196 20.7	
放 課 後	学 年 区 分	低学年(1~3年生)(N=476)	83 17.4	211 44.3	367 77.1	197 41.4	7 1.5	47 9.9	112 23.5
		高学年(4~6年生)(N=470)	107 22.8	141 30.0	455 96.8	141 30.0	5 1.1	67 14.3	84 17.9
	中 学 校 区	浦西中学校(N=211)	41 19.4	72 34.1	187 88.6	76 36.0	3 1.4	24 11.4	41 19.4
		仲西中学校(N=293)	53 18.1	102 34.8	273 93.2	106 36.2	3 1.0	33 11.3	58 19.8
		神森中学校(N=156)	38 24.4	52 33.3	146 93.6	49 31.4	2 1.3	18 11.5	35 22.4
		港川中学校(N=167)	30 18.0	71 42.5	137 82.0	60 35.9	1 0.6	21 12.6	32 19.2
		浦西中学校(N=119)	28 23.5	55 46.2	79 66.4	47 39.5	3 2.5	18 15.1	30 25.2

<放課後の過ごし方『どこで』>

放課後『どこで』過ごしているかについては、「自分の家」が6割弱(55.0%)で最も多く、次いで、「学習塾や習い事教室」が3割強(32.6%)、「公園」(20.7%)、「部活動」(19.1%)がそれぞれ約2割、「放課後児童クラブ」が2割弱(15.3%)と続いている。

学年区分でみると、低学年では高学年より「放課後児童クラブ(学童保育)」とする割合が高く、高学年では低学年より「部活動」とする割合が高くなっている。

問8 放課後「どこで」過ごしているか(N=946)

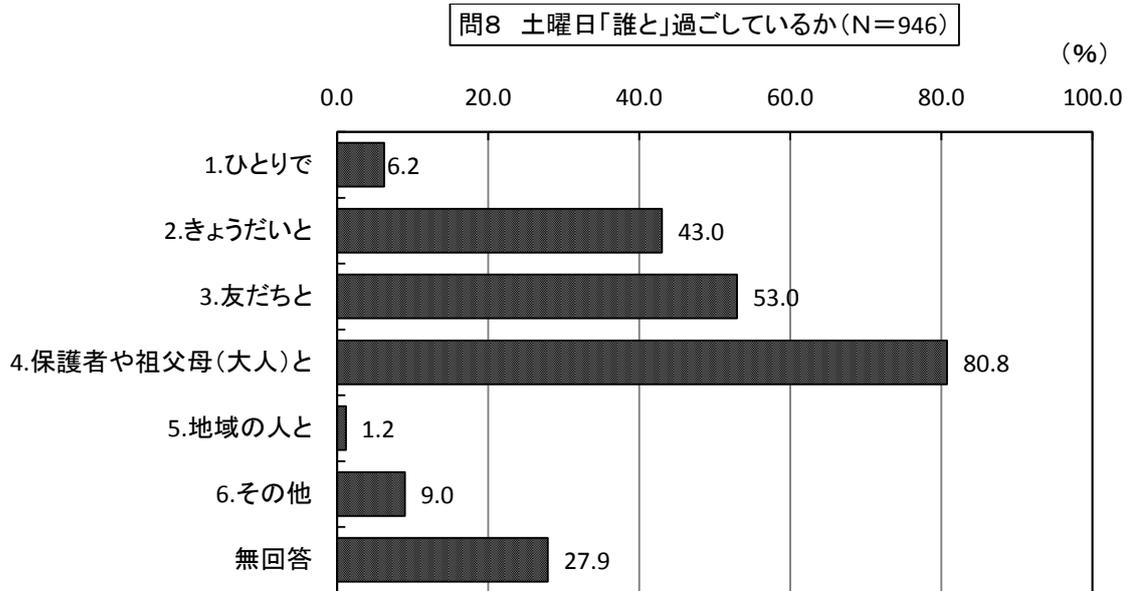


		① 自分の家	② 友だちの家	③ 教室 学習塾 や習い 事	④ 図 書館 、セ ンタ ー 公 民 館 な や	⑤ 学 校	⑥ 放 課 後 子 ど も 教 室	⑦ ブ ー 放 課 後 児 童 保 育 ク ラ ブ	⑧ 部 活 動	⑨ ス キ ー 児 童 デ イ サ ー ビ 	⑩ 公 園	⑪ そ の 他	無 回 答	
上段:件数、下段:横%														
全 体(N=946)		520 55.0	112 11.8	308 32.6	92 9.7	57 6.0	16 1.7	145 15.3	181 19.1	13 1.4	196 20.7	61 6.4	191 20.2	
放 課 後	学 年 区 分	低学年(1~3年生)(N=476)	276	46	158	56	18	11	114	28	11	93	35	106
			58.0	9.7	33.2	11.8	3.8	2.3	23.9	5.9	2.3	19.5	7.4	22.3
	高学年(4~6年生)(N=470)	244	66	150	36	39	5	31	153	2	103	26	85	
		51.9	14.0	31.9	7.7	8.3	1.1	6.6	32.6	0.4	21.9	5.5	18.1	
	中 学 校 区	浦西中学校(N=211)	121	30	58	31	14	4	38	39	2	29	16	40
			57.3	14.2	27.5	14.7	6.6	1.9	18.0	18.5	0.9	13.7	7.6	19.0
		仲西中学校(N=293)	156	37	107	36	14	5	34	53	4	79	7	54
			53.2	12.6	36.5	12.3	4.8	1.7	11.6	18.1	1.4	27.0	2.4	18.4
		神森中学校(N=156)	77	12	49	13	16	2	30	32	3	29	16	33
			49.4	7.7	31.4	8.3	10.3	1.3	19.2	20.5	1.9	18.6	10.3	21.2
港川中学校(N=167)	107	23	56	4	7	4	19	36	1	32	12	33		
	64.1	13.8	33.5	2.4	4.2	2.4	11.4	21.6	0.6	19.2	7.2	19.8		
浦西中学校(N=119)	59	10	38	8	6	1	24	21	3	27	10	31		
	49.6	8.4	31.9	6.7	5.0	0.8	20.2	17.6	2.5	22.7	8.4	26.1		

<土曜日の過ごし方『誰と』>

土曜日『誰と』過ごしているかについては、放課後の過ごし方とは異なり、「保護者や祖父母(大人)と」が約8割(80.8%)を占め最も多く、以下「友だちと」(53.0%)、「きょうだい」(43.0%)となっている。

学年区分別でみると、低学年では高学年より「きょうだいと」や「保護者や祖父母(大人)と」とする割合が高く、高学年では低学年より「友だちと」とする割合が高くなっている。



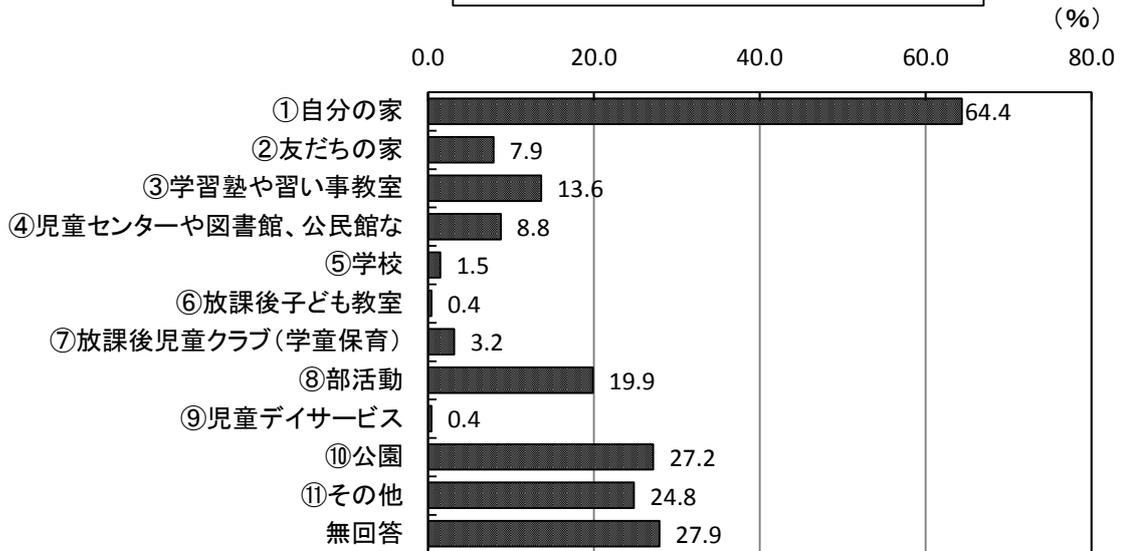
			① ひと りで	② き よ う だ い と	③ 友 だ ち と	④ 大 人 と (保 護 者 や 祖 父 母)	⑤ 地 域 の 人 と	⑥ そ の 他	無 回 答
上段:件数、下段:横%									
全 体(N=946)			59 6.2	407 43.0	501 53.0	764 80.8	11 1.2	85 9.0	264 27.9
土 曜 日	学 年 区 分	低学年(1~3年生)(N=476)	23 4.8	258 54.2	197 41.4	433 91.0	4 0.8	37 7.8	118 24.8
		高学年(4~6年生)(N=470)	36 7.7	149 31.7	304 64.7	331 70.4	7 1.5	48 10.2	146 31.1
	中 学 校 区	浦西中学校(N=211)	14 6.6	87 41.2	98 46.4	184 87.2	3 1.4	17 8.1	55 26.1
		仲西中学校(N=293)	17 5.8	120 41.0	175 59.7	234 79.9	3 1.0	23 7.8	80 27.3
		神森中学校(N=156)	12 7.7	71 45.5	89 57.1	117 75.0	2 1.3	18 11.5	44 28.2
		港川中学校(N=167)	8 4.8	65 38.9	91 54.5	136 81.4	2 1.2	16 9.6	42 25.1
		浦西中学校(N=119)	8 6.7	64 53.8	48 40.3	93 78.2	1 0.8	11 9.2	43 36.1

<土曜日の過ごし方『どこで』>

土曜日『どこで』過ごしているかについては、「自分の家」が6割強(64.4%)で最も多く、放課後の過ごし方と比べ若干増加している。一方で、放課後の過ごし方で2番目に多くなっている「学習塾や習い事教室」(13.6%)の割合が減少し、「公園」が3割弱(27.2%)、「その他」が2割強(24.8%)となっており、「自分の家」に続いて多くなっている。

学年区分でみると、低学年では高学年より「公園」とする割合が高く、高学年では低学年より「部活動」とする割合が高くなる。

問8 土曜日「どこで」過ごしているか(N=946)

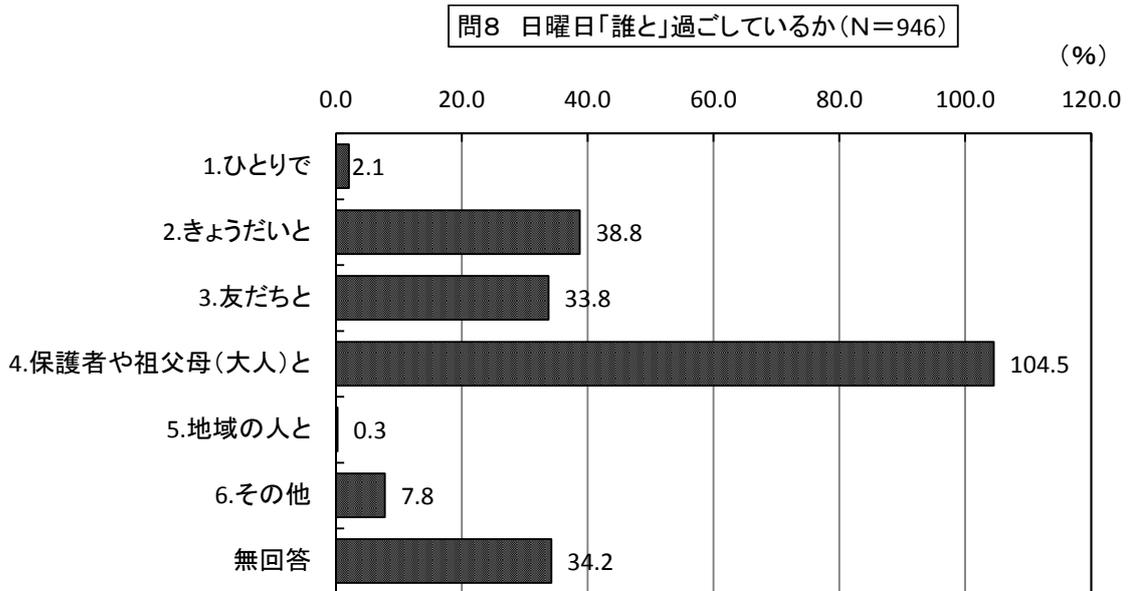


		① 自分の家	② 友だちの家	③ 学習塾や習い事教室	④ 児童センターや図書館、公民館など	⑤ 学校	⑥ 放課後子ども教室	⑦ 放課後児童クラブ(学童保育)	⑧ 部活動	⑨ 児童デイサービス	⑩ 公園	⑪ その他	無回答	
		上段: 件数、下段: 横%												
全体(N=946)		609 64.4	75 7.9	129 13.6	83 8.8	14 1.5	4 0.4	30 3.2	188 19.9	4 0.4	257 27.2	235 24.8	264 27.9	
土曜日	学年区分	低学年(1~3年生)(N=476)	311 65.3	31 6.5	60 12.6	55 11.6	4 0.8	2 0.4	26 5.5	44 9.2	3 0.6	164 34.5	133 27.9	119 25.0
		高学年(4~6年生)(N=470)	298 63.4	44 9.4	69 14.7	28 6.0	10 2.1	2 0.4	4 0.9	144 30.6	1 0.2	93 19.8	102 21.7	145 30.9
	中学校区	浦西中学校(N=211)	151 71.6	23 10.9	22 10.4	20 9.5	0 0.0	0 0.0	5 2.4	35 16.6	0 0.0	50 23.7	62 29.4	54 25.6
			仲西中学校(N=293)	174 59.4	21 7.2	51 17.4	33 11.3	5 1.7	2 0.7	12 4.1	65 22.2	1 0.3	85 29.0	57 19.5
		神森中学校(N=156)	100 64.1	15 9.6	18 11.5	9 5.8	3 1.9	0 0.0	10 6.4	34 21.8	1 0.6	37 23.7	41 26.3	44 28.2
			港川中学校(N=167)	102 61.1	9 5.4	26 15.6	12 7.2	4 2.4	2 1.2	2 1.2	33 19.8	1 0.6	48 28.7	53 31.7
		浦西中学校(N=119)	82 68.9	7 5.9	12 10.1	9 7.6	2 1.7	0 0.0	1 0.8	21 17.6	1 0.8	37 31.1	22 18.5	44 37.0

<日曜日の過ごし方『誰と』>

日曜日『誰と』過ごしているかについて、土曜日よりも更に「保護者や祖父母(大人)と」の値は高くなり104.5%となり、逆に「友だちと」とする回答は3割強(33.8%)と、放課後、土曜日、日曜日の中で最も低くなっている。

学年区分別でみると、低学年では高学年より「きょうだいと」や「保護者や祖父母(大人)と」とする割合が高く、高学年では低学年より「友だちと」とする割合が高くなっている。



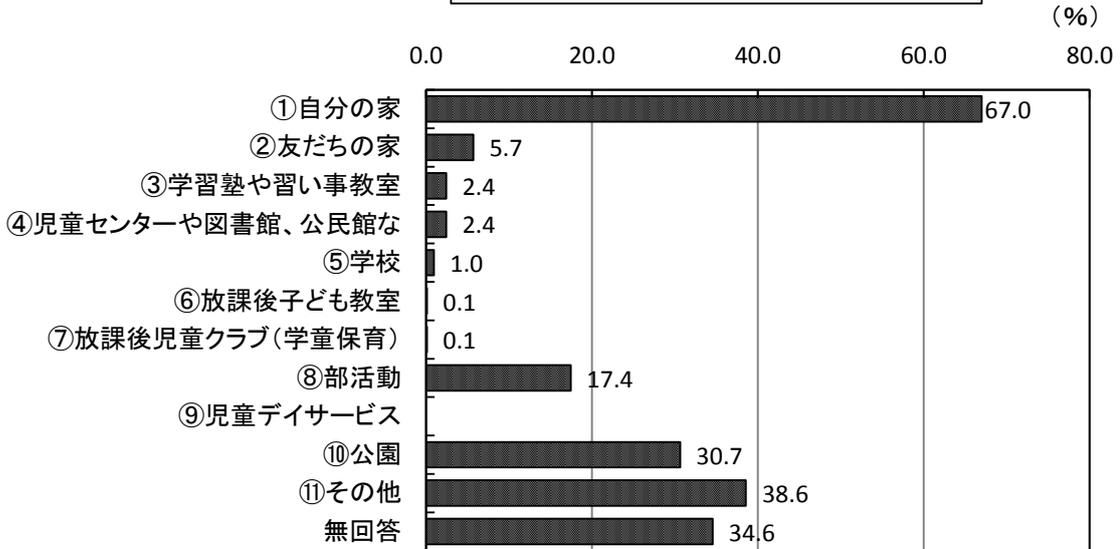
		① ひと りで	② き よ う だ い と	③ 友 だ ち と	④ (大 人 と 保 護 者 や 祖 父 母)	⑤ 地 域 の 人 と	⑥ そ の 他	無 回 答	
上段:件数、下段:横%									
全 体(N=946)		20	367	320	989	3	74	324	
		2.1	38.8	33.8	104.5	0.3	7.8	34.2	
日 曜 日	学 年 区 分	低学年(1~3年生)(N=476)	6	229	113	542	2	33	147
			1.3	48.1	23.7	113.9	0.4	6.9	30.9
	高学年(4~6年生)(N=470)	14	138	207	447	1	41	177	
		3.0	29.4	44.0	95.1	0.2	8.7	37.7	
	中 学 校 区	浦西中学校(N=211)	6	72	62	227	0	13	78
			2.8	34.1	29.4	107.6	0.0	6.2	37.0
		仲西中学校(N=293)	4	103	100	315	1	26	103
			1.4	35.2	34.1	107.5	0.3	8.9	35.2
		神森中学校(N=156)	4	72	63	158	1	12	49
			2.6	46.2	40.4	101.3	0.6	7.7	31.4
	港川中学校(N=167)	3	65	65	174	0	11	43	
		1.8	38.9	38.9	104.2	0.0	6.6	25.7	
浦西中学校(N=119)	3	55	30	115	1	12	51		
	2.5	46.2	25.2	96.6	0.8	10.1	42.9		

<日曜日の過ごし方『どこで』>

日曜日『どこで』過ごしているかについては、「自分の家」が7割弱(67.0%)で最も多く、土曜日の過ごし方より更に増加している。また、土曜日の過ごし方と比べて、「その他」が4割弱(38.6%)、「公園」が約3割(30.7%)と増加している。

学年区分でみると、低学年では高学年より「学習塾や習い事教室」とする割合が高く、高学年では低学年より「部活動」する割合が高くなっている。

問8 日曜日「どこで」過ごしているか(N=946)



		①自分の家	②友だちの家	③学習塾や習い事教室	④児童センターや図書館など	⑤学校	⑥放課後子ども教室	⑦放課後児童クラブ(学童保育)	⑧部活動	⑨児童デイサービス	⑩公園	⑪その他	無回答	
上段:件数、下段:横%														
全体(N=946)		634	54	23	23	9	1	1	165	0	290	365	327	
		67.0	5.7	2.4	2.4	1.0	0.1	0.1	17.4	0.0	30.7	38.6	34.6	
日曜日	学年区分	低学年(1~3年生)(N=476)	335	27	6	11	2	1	0	41	0	187	195	147
			36.6	4.4	10.7	6.9	1.1	0.4	2.5	13.7	0.2	17.9	12.0	16.8
	高学年(4~6年生)(N=470)	299	27	17	12	7	0	1	124	0	103	170	180	
			63.6	5.7	3.6	2.6	1.5	0.0	0.2	26.4	0.0	21.9	36.2	38.3
	中学校区	浦西中学校(N=211)	145	12	6	8	0	0	0	25	0	54	95	77
				68.7	5.7	2.8	3.8	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	25.6	45.0
		仲西中学校(N=293)	189	19	5	6	3	0	0	57	0	91	112	104
				64.5	6.5	1.7	2.0	1.0	0.0	0.0	19.5	0.0	31.1	38.2
		神森中学校(N=156)	105	11	4	4	3	0	1	29	0	47	58	50
				67.3	7.1	2.6	2.6	1.9	0.0	0.6	18.6	0.0	30.1	37.2
	港川中学校(N=167)	114	7	8	2	1	1	0	33	0	59	66	43	
			68.3	4.2	4.8	1.2	0.6	0.6	0.0	19.8	0.0	35.3	39.5	25.7
浦西中学校(N=119)	81	5	0	3	2	0	0	21	0	39	34	53		
		68.1	4.2	0.0	2.5	1.7	0.0	0.0	17.6	0.0	32.8	28.6	44.5	

問9 お子さんの放課後の過ごし方について、どのようなことを希望しますか。

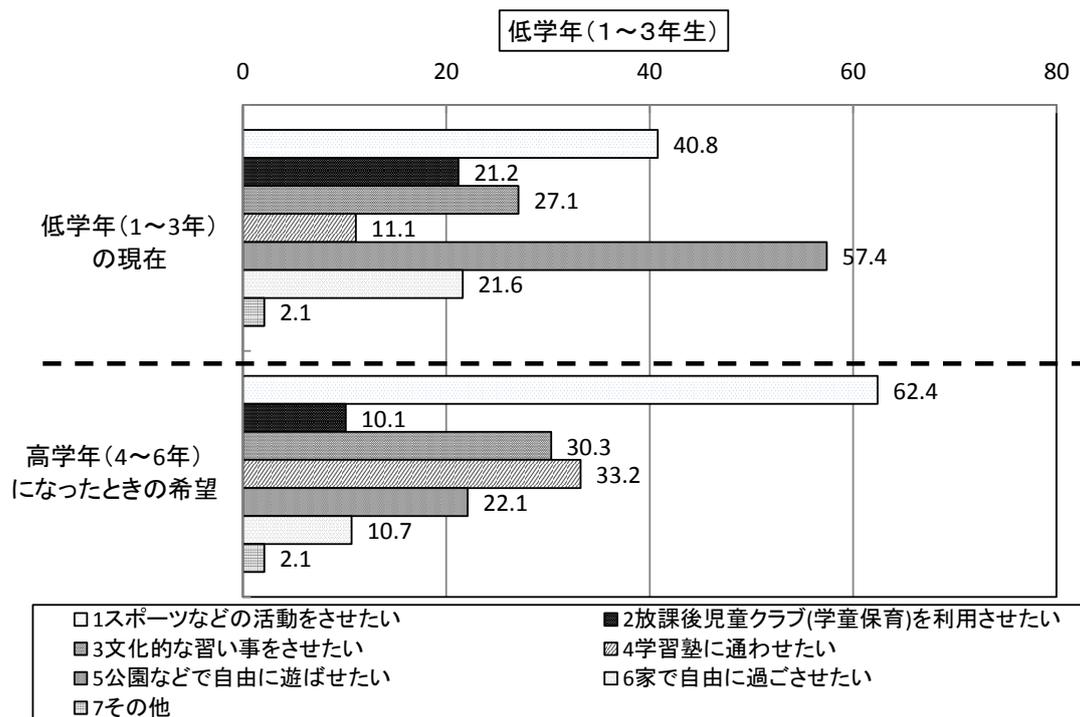
<現在、低学年のお子さんの放課後の過ごし方の希望>

現在、低学年(1～3年生)では、「公園などで自由に遊ばせたい」が6割弱(57.4%)で最も多く、次いで、「スポーツなどの活動をさせたい」が約4割(40.8%)、「文化的な習い事をさせたい」が3割弱(27.1%)、「家で自由に過ごさせたい」(21.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)を利用させたい」(21.2%)がそれぞれ2割強、「学習塾に通わせたい」(11.1%)、「その他」(2.1%)と続いている。

中学校区別でみると、浦添中学校区では「放課後児童クラブ(学童保育)を利用させたい」とする回答の割合が、港川中学校区では「公園などで自由に遊ばせたい」とする回答の割合が他の中学校区と比較すると高い。

高学年(4～6年生)になったときの希望としては、「スポーツなどの活動をさせたい」が6割強(62.4%)で最も多くなっている。一方で、低学年の現在で最も多かった、「公園などで自由に遊ばせたい」の割合は減少し、「学習塾に通わせたい」が3割強(33.2%)と2番目に多くなっている。

中学校区別でみると、浦西中学校区では「公園などで自由に遊ばせたい」とする回答の割合が他の中学校区と比較すると高いことがうかがえる。



問9 低学年の現在の放課後の過ごし方(希望)

(複数回答)

	合計	動1 をさ させ たい などの 活	さ(2 せ学放 たい童課 い保後 を育児 をク童 利用ラ プ	さ3 せ文 たい化 い的 事な 習い 事	い4 学 習 塾 に 通 わ せ た	遊5 ば公 せ園 たいな ど で 自 由 に	せ6 たい家 で 自 由 に 過 ご さ	7 そ の 他	無 回 答
低学年全体	476	194	101	129	53	273	103	10	36
	100.0	40.8	21.2	27.1	11.1	57.4	21.6	2.1	7.6
浦添中学校区	110	45	33	29	12	52	25	3	8
	100.0	40.9	30.0	26.4	10.9	47.3	22.7	2.7	7.3
仲西中学校区	146	53	30	41	17	90	32	3	10
	100.0	36.3	20.5	28.1	11.6	61.6	21.9	2.1	6.8
神森中学校区	78	32	16	18	6	41	16	3	10
	100.0	41.0	20.5	23.1	7.7	52.6	20.5	3.8	12.8
港川中学校区	80	39	12	19	13	52	18	1	3
	100.0	48.8	15.0	23.8	16.3	65.0	22.5	1.3	3.8
浦西中学校区	62	25	10	22	5	38	12	0	5
	100.0	40.3	16.1	35.5	8.1	61.3	19.4	0.0	8.1

問9 高学年になった時の放課後の過ごし方(希望)

(複数回答)

	合計	動1 をさ させ たい などの 活	さ(2 せ学放 たい童課 い保後 を育児 をク童 利用ラ プ	さ3 せ文 たい化 い的 事な 習い 事	い4 学 習 塾 に 通 わ せ た	遊5 ば公 せ園 たいな ど で 自 由 に	せ6 たい家 で 自 由 に 過 ご さ	7 そ の 他	無 回 答
低学年全体	476	297	48	144	158	105	51	10	61
	100.0	62.4	10.1	30.3	33.2	22.1	10.7	2.1	12.8
浦添中学校区	110	66	12	35	35	19	17	1	16
	100.0	60.0	10.9	31.8	31.8	17.3	15.5	0.9	14.5
仲西中学校区	146	96	13	48	46	33	11	4	17
	100.0	65.8	8.9	32.9	31.5	22.6	7.5	2.7	11.6
神森中学校区	78	48	11	28	22	16	6	2	9
	100.0	61.5	14.1	35.9	28.2	20.5	7.7	2.6	11.5
港川中学校区	80	50	7	21	31	18	7	2	12
	100.0	62.5	8.8	26.3	38.8	22.5	8.8	2.5	15.0
浦西中学校区	62	37	5	12	24	19	10	1	7
	100.0	59.7	8.1	19.4	38.7	30.6	16.1	1.6	11.3

＜現在、高学年のお子さんの放課後の過ごし方の希望＞

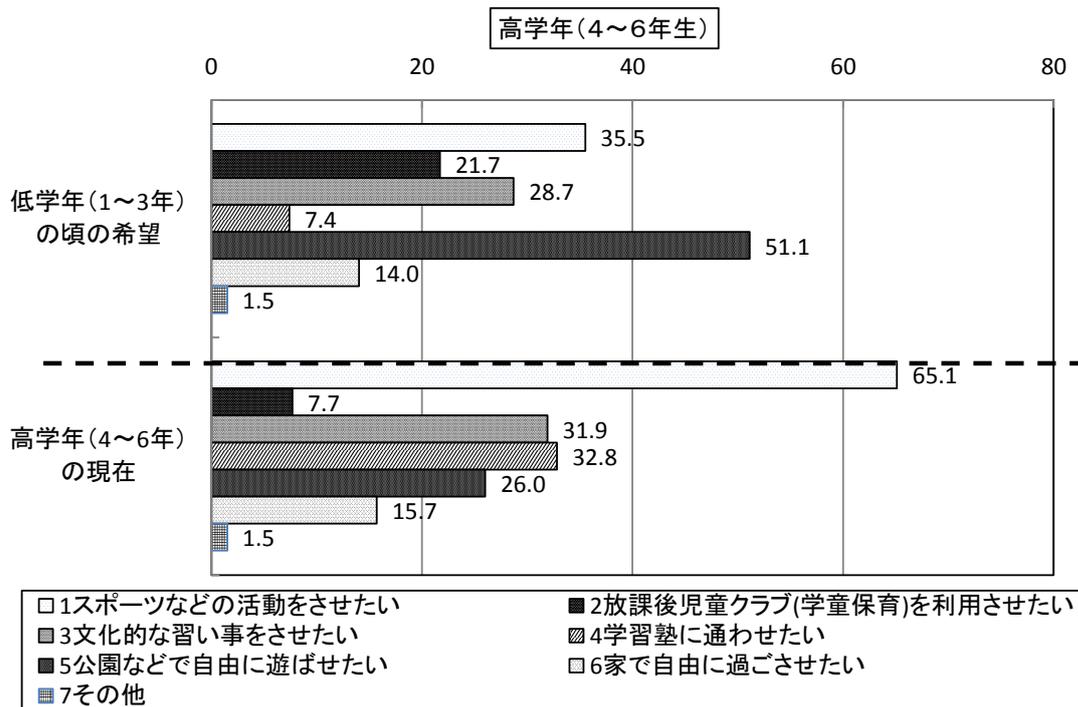
現在、高学年(4～6年生)では、低学年(1～3年)の頃の希望として「公園などで自由に遊ばせたい」が5割強(51.1%)で最も多く、次いで、「スポーツなどの活動をさせたい」が4割弱(35.5%)、
「文化的な習い事をさせたい」が3割弱(28.7%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(21.7%)、「家で自由に過ごさせたい」(14.0%)、「学習塾に通わせたい」(7.4%)、「その他」(1.5%)と続いており、低学年の現在の割合と比べてほとんど大差はない。

中学校区別でみると、仲西中学校区では「放課後児童クラブ(学童保育)を利用させたい」とする回答の割合が、浦西中学校区では「文化的な習い事をさせたい」とする回答の割合が他の中学校区と比較するとやや低い。

また、高学年の現在では、「スポーツなどの活動をさせたい」が7割弱(65.1%)で最も多く、高学年になったときの希望の割合と比べてほとんど変わらない。

次いで、「学習塾に通わせたい」(32.8%)、「文化的な習い事をさせたい」(31.9%)がそれぞれ3割強、「公園などで自由に遊ばせたい」(26.0%)と続いている。

中学校区別でみると、浦西中学校区では「放課後児童クラブ(学童保育)を利用させたい」とする回答の割合が、港川中学校区では「文化的な習い事をさせたい」とする回答の割合が他の中学校区と比較すると高いことがうかがえる。



問9 低学年だった頃の放課後の過ごし方(希望)

(複数回答)

	合計	1 スポーツ などの活 動をさせ たい	2 放課後 児童クラ ブ(学童保 育)を利用 させたい	3 文化的な 習い事を させたい	4 学習塾に 通わせたい	5 公園など で自由に 遊ばせたい	6 家で自由 に過ごさ せたい	7 その他	無 回答
高学年全体	470	167	102	135	35	240	66	7	84
	100.0	35.5	21.7	28.7	7.4	51.1	14.0	1.5	17.9
浦添中学校区	101	30	30	28	6	58	23	2	9
	100.0	29.7	29.7	27.7	5.9	57.4	22.8	2.0	8.9
仲西中学校区	147	58	23	42	14	69	15	3	33
	100.0	39.5	15.6	28.6	9.5	46.9	10.2	2.0	22.4
神森中学校区	78	23	18	26	5	37	13	1	14
	100.0	29.5	23.1	33.3	6.4	47.4	16.7	1.3	17.9
港川中学校区	87	34	17	30	6	45	8		16
	100.0	39.1	19.5	34.5	6.9	51.7	9.2		18.4
浦西中学校区	57	22	14	9	4	31	7	1	12
	100.0	38.6	24.6	15.8	7.0	54.4	12.3	1.8	21.1

問9 高学年の現在の放課後の過ごし方(希望)

(複数回答)

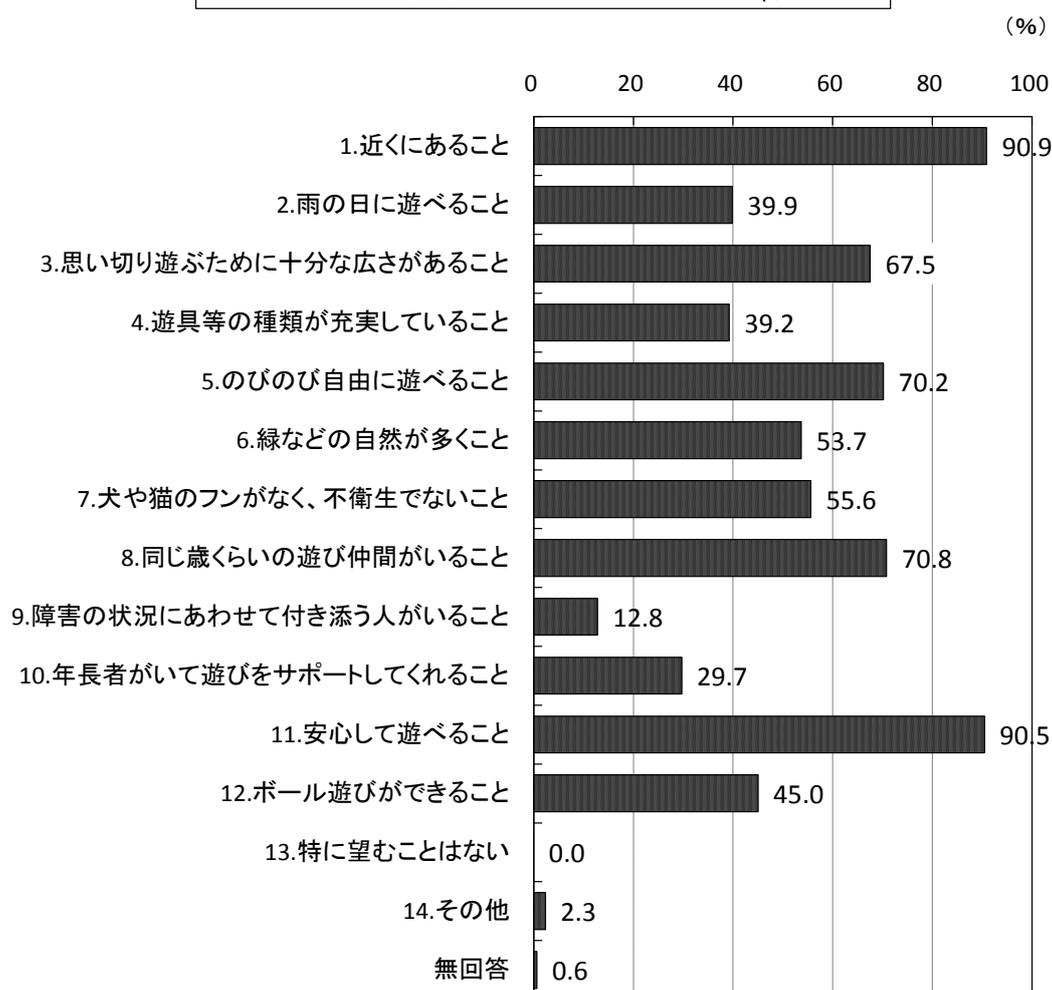
	合計	1 スポーツ などの活 動をさせ たい	2 放課後 児童クラ ブ(学童保 育)を利用 させたい	3 文化的な 習い事を させたい	4 学習塾に 通わせたい	5 公園など で自由に 遊ばせたい	6 家で自由 に過ごさ せたい	7 その他	無 回答
高学年全体	470	306	36	150	154	122	74	7	36
	100.0	65.1	7.7	31.9	32.8	26.0	15.7	1.5	7.7
浦添中学校区	101	65	9	30	27	30	17	3	7
	100.0	64.4	8.9	29.7	26.7	29.7	16.8	3.0	6.9
仲西中学校区	147	99	8	45	55	39	14	2	13
	100.0	67.3	5.4	30.6	37.4	26.5	9.5	1.4	8.8
神森中学校区	78	48	3	23	29	22	12	1	8
	100.0	61.5	3.8	29.5	37.2	28.2	15.4	1.3	10.3
港川中学校区	87	58	5	35	29	16	17	1	5
	100.0	66.7	5.7	40.2	33.3	18.4	19.5	1.1	5.7
浦西中学校区	57	36	11	17	14	15	14	0	3
	100.0	63.2	19.3	29.8	24.6	26.3	24.6	0.0	5.3

問10 お子さんの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。

子どもの遊び場について望ましいと思うことをみると、「近くにあること」(90.9%)、「安心して遊べること」(90.5%)がそれぞれ約9割で多くなっており、以下「同じ歳くらいの遊び仲間がいること」(70.8%)、「のびのび自由に遊べること」(70.2%)、「思い切り遊ぶために十分な広さがあること」(67.5%)と続いている。

周辺の環境について安心、安全性を求める回答が多くなっている一方で、自由に遊ぶことの出来る環境を求める声も多くなっている。

問10 お子さんの遊び場について望ましいと思うこと(複数回答)



問11 お子さんは、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を[]内に数字でご記入ください。

お子さんが4～6年生の場合は、1～3年生だった頃の過ごし方についてもご記入ください。また、「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には、利用を希望する時間も[]内に数字でご記入ください。

問12 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を[]内に数字でご記入ください。お子さんが1～3年生の場合は、4～6年生になったときの希望についてもお答えください。

お子さんが4～6年生の場合は、1～3年生だった頃の希望についてもお答えください。また、「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には、利用を希望する時間も[]内に数字でご記入ください。

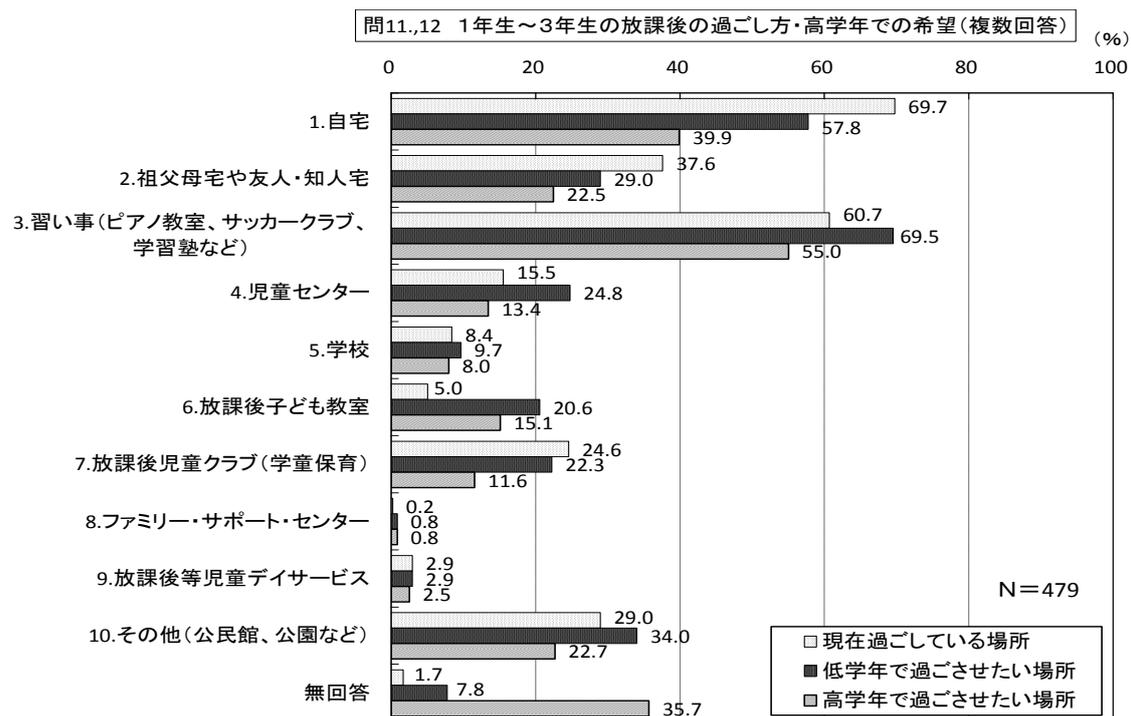
《低学年》

現在、低学年(1～3年生)の過ごし方では、「自宅」が7割弱(69.7%)で最も多くなっており、次いで、「習い事」が約6割(60.7%)、「祖父母宅や友人・知人宅」が4割弱(37.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(24.6%)と続いている。

問12の過ごさせたい場所では、「習い事」が約7割(69.5%)と最も多く、次いで、「自宅」が6割弱(57.8%)となっており、現在の過ごし方と逆転している。

高学年になった時に過ごさせたい場所では、「習い事」(55.0%)「自宅」(39.9%)、がそれぞれ高くなっている。一方で、それぞれの項目で、現在過ごしている場所、過ごさせたい場所の値より低くなっていることも窺える。

現在、放課後を過ごしている場所ごとの日数をみると、「自宅」では、『週2日』(24.1%)と『週5日』(21.4%)が多くなっており、『週7日』も7.5%いる。「習い事」では、『週1～週3日』が7割強(71.6%)を占めている。「祖父母宅や友人・知人宅」(68.2%)、「その他」(69.8%)では、『週1～2日』が約7割を占めている。



問11 現在、放課後を過ごしている場所ごとの日数

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	57 17.2	80 24.1	54 16.3	35 10.5	71 21.4	10 3.0	25 7.5	0 0.0	332 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	75 41.9	47 26.3	20 11.2	10 5.6	18 10.1	5 2.8	4 2.2	0 0.0	179 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	63 21.8	80 27.7	64 22.1	43 14.9	27 9.3	9 3.1	3 1.0	0 0.0	289 100.0
4. 児童センター	38 51.4	19 25.7	7 9.5	5 6.8	2 2.7	3 4.1	0 0.0	0 0.0	74 100.0
5. 学校	8 20.0	10 25.0	8 20.0	3 7.5	10 25.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0	40 100.0
6. 放課後子ども教室	19 4.2	5 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	452 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	4 3.4	3 2.6	7 6.0	17 14.5	73 62.4	12 10.3	1 0.9	0 0.0	117 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	4 28.6	0 0.0	5 35.7	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	14 100.0
10. その他(公民館、公園など)	56 40.3	41 29.5	25 18.0	10 7.2	7 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	139 100.0

問12 高学年になった時に放課後を過ごさせたい場所ごとの日数

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	53 27.9	64 33.7	36 18.9	10 5.3	16 8.4	1 0.5	10 5.3	0 0.0	190 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	60 56.1	29 27.1	6 5.6	5 4.7	7 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	107 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	36 13.7	74 28.2	89 34.0	28 10.7	30 11.5	4 1.5	1 0.4	0 0.0	262 100.0
4. 児童センター	22 34.4	25 39.1	14 21.9	1 1.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	1 1.6	64 100.0
5. 学校	4 10.5	16 42.1	9 23.7	1 2.6	6 15.8	2 5.3	0 0.0	0 0.0	38 100.0
6. 放課後子ども教室	44 61.1	18 25.0	6 8.3	1 1.4	2 2.8	1 1.4	0 0.0	0 0.0	72 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	1 1.8	8 14.5	13 23.6	5 9.1	22 40.0	5 9.1	1 1.8	0 0.0	55 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	4 33.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	12 100.0
10. その他(公民館、公園など)	43 39.8	39 36.1	16 14.8	5 4.6	4 3.7	0 0.0	1 0.9	0 0.0	108 100.0

問12 低学年で放課後を過ごさせたい場所ごとの日数

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	57 20.7	95 34.5	52 18.9	13 4.7	37 13.5	4 1.5	17 6.2	0 0.0	275 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	73 52.9	42 30.4	6 4.3	5 3.6	8 5.8	1 0.7	3 2.2	0 0.0	138 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	72 21.8	125 37.8	78 23.6	24 7.3	26 7.9	4 1.2	2 0.6	0 0.0	331 100.0
4. 児童センター	44 37.3	41 34.7	24 20.3	4 3.4	3 2.5	2 1.7	0 0.0	0 0.0	118 100.0
5. 学校	13 28.3	15 32.6	7 15.2	1 2.2	9 19.6	1 2.2	0 0.0	0 0.0	46 100.0
6. 放課後子ども教室	66 67.3	20 20.4	6 6.1	0 0.0	5 5.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	98 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	2 1.9	8 7.5	19 17.9	13 12.3	56 52.8	8 7.5	0 0.0	0 0.0	106 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	2 14.3	3 21.4	5 35.7	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	14 100.0
10. その他(公民館、公園など)	47 29.0	66 40.7	29 17.9	7 4.3	11 6.8	0 0.0	2 1.2	0 0.0	162 100.0

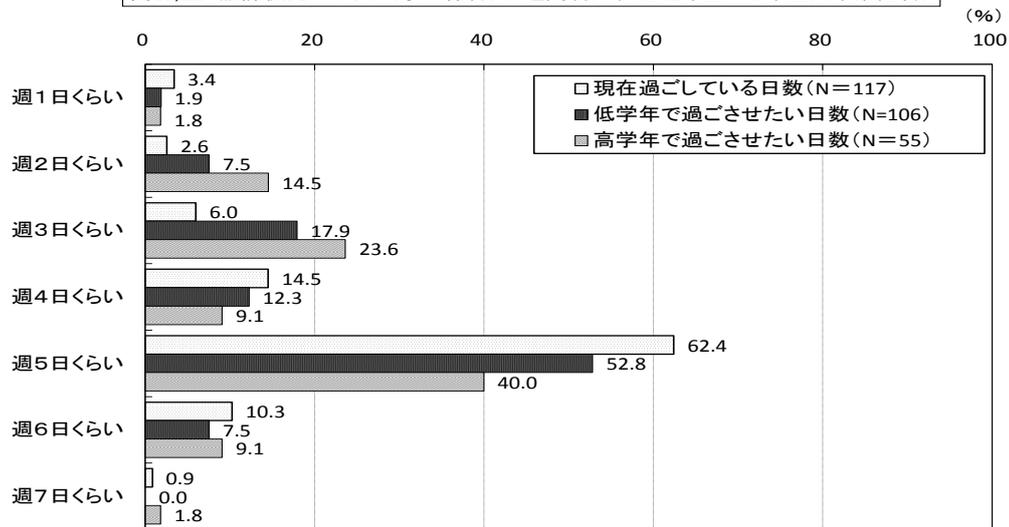
7. 放課後児童クラブ（学童保育）利用について

放課後児童クラブ(学童保育)を現在利用している日数では、「週5日くらい」が6割強(62.4%)で最も多くなっており、低学年、高学年で過ごさせたい日数についても同様に「週5日くらい」とする回答が多くなっている。

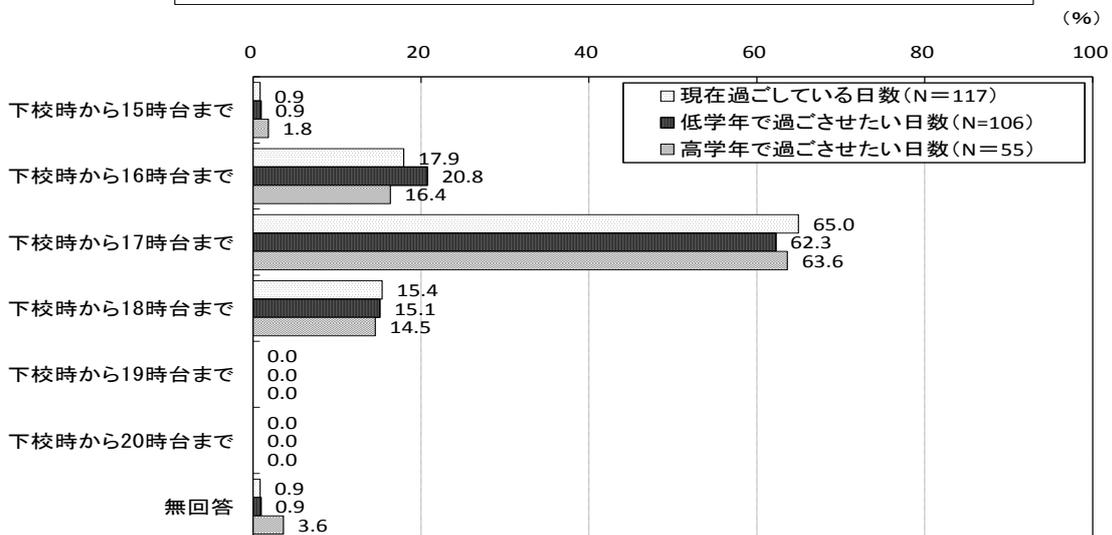
時間帯の希望では、それぞれの項目で「下校時から17時台まで」が最も多くなっている。

放課後児童クラブを希望する学年をみると、「6年生まで」が約4割となっている。

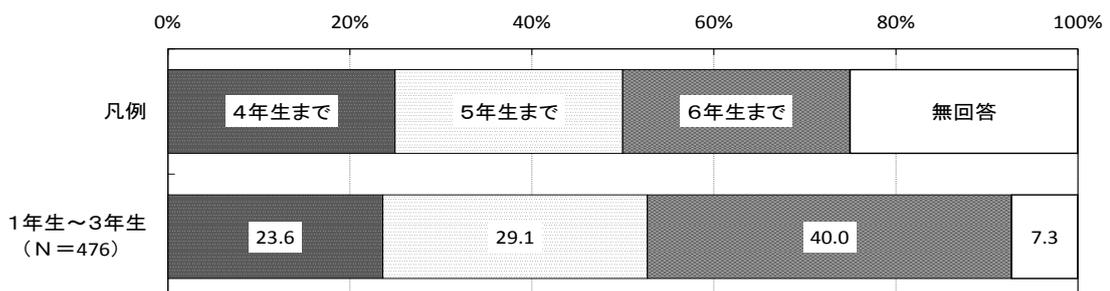
問11,12 放課後児童クラブ(学童保育)の週間利用状況(1年生～3年生)(単数回答)



問11,12 放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望時間(1年生～3年生)(単数回答)



問12 放課後児童クラブ(学童保育)の1年生～3年生の利用希望学年



《高学年》

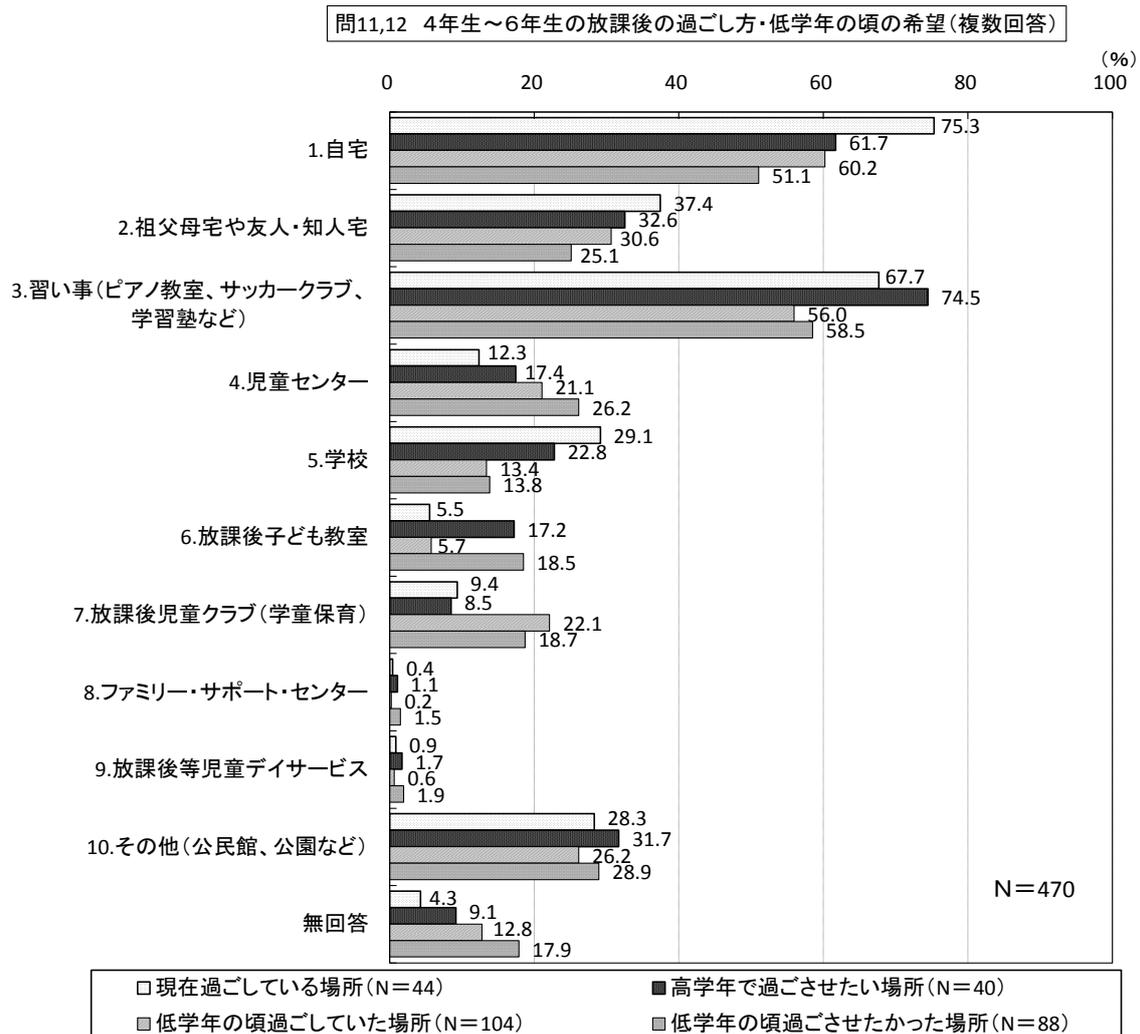
現在、高学年(4～6年生)の過ごし方では、「自宅」が8割弱(75.3%)で多く、次いで、「習い事」が7割弱(67.7%)、「祖父母宅や友人・知人宅」が4割弱(37.4%)と続いている。

高学年で過ごさせたい場所をみると、「習い事」が7割強(74.5%)と最も多く、次いで、「自宅」が6割強(61.7%)となっており、現在の過ごし方と逆転している。また、「放課後子ども教室」が2割弱(17.2%)みられ、現在の過ごし方の割合と比べて高くなっている。

低学年(1～3年生)の頃の実際の過ごし方をみても、「自宅」(60.2%)、「習い事」(56.0%)がそれぞれ高くなっている一方で、高学年の頃の希望と同じく、割合が若干逆転している。また、「放課後児童クラブ(学童保育)」(22.1%)は、現在の割合と比べて高くなっている。

低学年の頃放課後を過ごしていた場所ごとの日数を自宅で見ると、「週3日」(23.7%)、「週5日」(23.0%)、「週2日」(21.2%)がそれぞれ多くなっている一方で、現在放課後を過ごしている場所ごとの日数を自宅で見ると、「週1～週3日」で7割弱(68.1%)を占めている。

低学年の頃放課後を過ごしていた場所ごとの日数を習い事でみると、「週1～週3日」が多くなっている一方で、高学年の現在の日数では、「週1～週4日」の割合が多くなっており、「週7日」も僅かだが(0.9%)みられる。



問11 放課後を過ごしている場所ごとの日数

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	62 17.5	109 30.8	70 19.8	33 9.3	46 13.0	16 4.5	18 5.1	0 0.0	354 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	76 43.2	46 26.1	29 16.5	5 2.8	14 8.0	4 2.3	2 1.1	0 0.0	176 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	47 14.8	85 26.7	99 31.1	44 13.8	28 8.8	12 3.8	3 0.9	0 0.0	318 100.0
4. 児童センター	26 44.8	13 22.4	9 15.5	4 6.9	3 5.2	3 5.2	0 0.0	0 0.0	58 100.0
5. 学校	25 18.2	25 18.2	37 27.0	13 9.5	35 25.5	2 1.5	0 0.0	0 0.0	137 100.0
6. 放課後子ども教室	15 57.7	7 26.9	3 11.5	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	0 0.0	6 13.6	6 13.6	3 6.8	22 50.0	5 11.4	0 0.0	2 4.5	44 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
10. その他(公民館、公園など)	47 35.3	42 31.6	24 18.0	9 6.8	6 4.5	4 3.0	1 0.8	0 0.0	133 100.0

問12 高学年で、放課後を過ごさせたい場所ごとの日数

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	61 21.0	95 32.8	58 20.0	25 8.6	34 11.7	5 1.7	12 4.1	0 0.0	290 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	61 39.9	55 35.9	17 11.1	4 2.6	11 7.2	2 1.3	2 1.3	1 0.7	153 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	36 10.3	116 33.1	119 34.0	41 11.7	34 9.7	4 1.1	0 0.0	0 0.0	350 100.0
4. 児童センター	39 47.6	22 26.8	9 11.0	4 4.9	6 7.3	2 2.4	0 0.0	0 0.0	82 100.0
5. 学校	18 16.8	27 25.2	30 28.0	9 8.4	21 19.6	1 0.9	1 0.9	0 0.0	107 100.0
6. 放課後子ども教室	44 54.3	24 29.6	10 12.3	1 1.2	2 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	81 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	2 5.0	3 7.5	10 25.0	3 7.5	16 40.0	6 15.0	0 0.0	0 0.0	40 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0
10. その他(公民館、公園など)	54 36.2	44 29.5	28 18.8	6 4.0	15 10.1	0 0.0	1 0.7	1 0.7	149 100.0

問11 低学年の頃放課後を過ごしていた場所ごとの日数(4年生～6年生)

(単数回答)

上段:件数、下段:横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	30 10.6	60 21.2	67 23.7	31 11.0	65 23.0	13 4.6	17 6.0	0 0.0	283 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	58 40.3	36 25.0	18 12.5	7 4.9	19 13.2	4 2.8	1 0.7	1 0.7	144 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	57 21.7	78 29.7	78 29.7	26 9.9	18 6.8	6 2.3	0 0.0	0 0.0	263 100.0
4. 児童センター	35 35.4	29 29.3	22 22.2	4 4.0	7 7.1	2 2.0	0 0.0	0 0.0	99 100.0
5. 学校	13 20.6	17 27.0	12 19.0	2 3.2	17 27.0	1 1.6	0 0.0	1 1.6	63 100.0
6. 放課後子ども教室	18 66.7	5 18.5	4 14.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	2 1.9	4 3.8	4 3.8	7 6.7	74 71.2	13 12.5	0 0.0	0 0.0	104 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
10. その他(公民館、公園など)	50 40.7	35 28.5	23 18.7	7 5.7	4 3.3	1 0.8	3 2.4	0 0.0	123 100.0

問12 低学年の頃放課後を過ごさせたかった場所ごとの日数

(単数回答)

上段: 件数、下段: 横%	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	6週日	週7日	無回答	合計
1. 自宅	29 12.1	67 27.9	63 26.3	25 10.4	38 15.8	8 3.3	10 4.2	0 0.0	240 100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	46 39.0	30 25.4	22 18.6	3 2.5	14 11.9	1 0.8	1 0.8	1 0.8	118 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	56 20.4	102 37.1	90 32.7	16 5.8	10 3.6	1 0.4	0 0.0	0 0.0	275 100.0
4. 児童センター	32 26.0	43 35.0	29 23.6	6 4.9	12 9.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	123 100.0
5. 学校	16 24.6	22 33.8	12 18.5	1 1.5	12 18.5	1 1.5	1 1.5	0 0.0	65 100.0
6. 放課後子ども教室	44 50.6	30 34.5	10 11.5	0 0.0	3 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	87 100.0
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	3 3.4	5 5.7	19 21.6	4 4.5	47 53.4	9 10.2	0 0.0	1 1.1	88 100.0
8. ファミリー・サポート・センター	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	7 100.0
9. 放課後等児童デイサービス	5 55.6	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	9 100.0
10. その他(公民館、公園など)	44 32.4	43 31.6	25 18.4	10 7.4	9 6.6	2 1.5	2 1.5	1 0.7	136 100.0

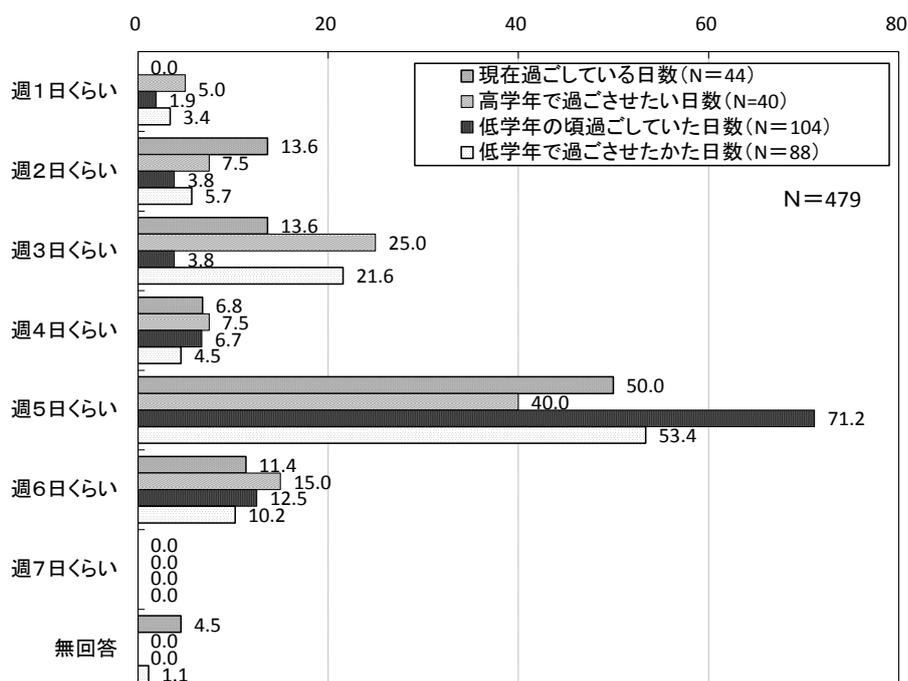
7. 放課後児童クラブ(学童保育)利用について

放課後児童クラブ(学童保育)の高学年の利用状況を見ると、現在過ごしている日数では、「週5日くらい」が5割(50.0%)で最も多くなっている。高学年、低学年で過ごさせたい日数、低学年で過ごさせたかった日数についても、現在過ごしている日数同様に「週5日くらい」がそれぞれ最も多くなっている。

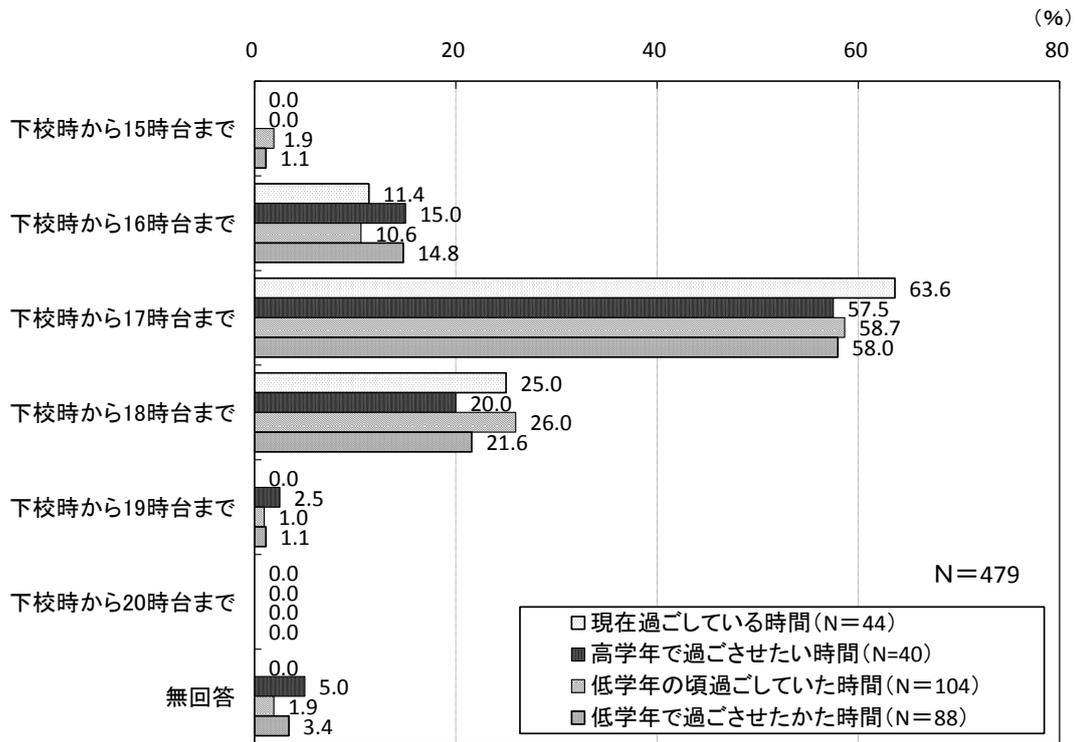
利用希望の時間帯を見ると、それぞれの項目で「下校時から17時台まで」が最も多くなっている。また、学年別現在の利用状況を見ると、「6年生まで」が約4割(40.9%)と多くなっており、利用希望においても「6年生まで」(57.5%)が多くなっている。

問11,12 高学年の放課後児童クラブ(学童保育)の週間利用状況と希望 (単数回答)

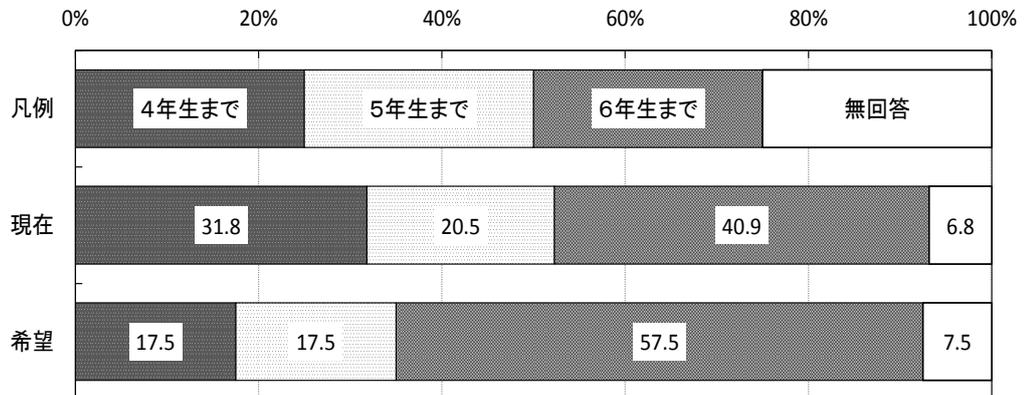
(%)



問11,12 放課後児童クラブ(学童保育)の利用時間と利用希望時間(単数回答)



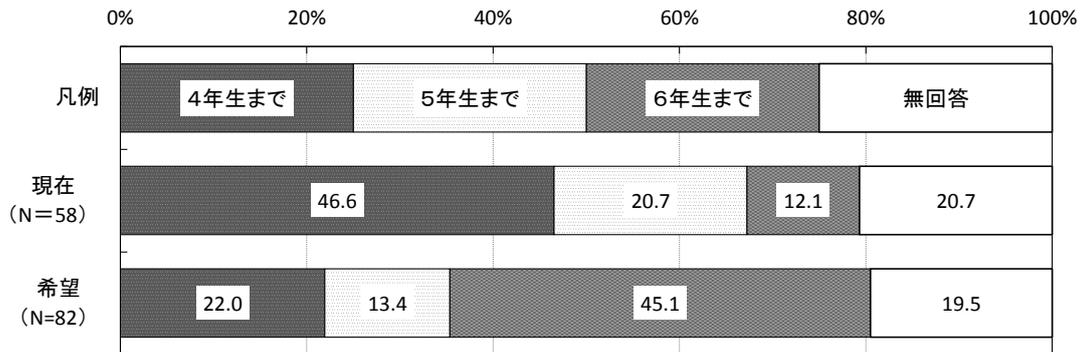
問12 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況と利用希望学年



4. 児童センター利用について

児童センターの週間利用状況をみると、高学年で「4年生まで（利用している、利用していた）」が5割弱（46.6%）となっており、利用希望としても、「6年生まで（利用したい）」が5割弱（45.1%）を占めていることから、高学年において児童センターを利用したいとするニーズが高いことがうかがえる。

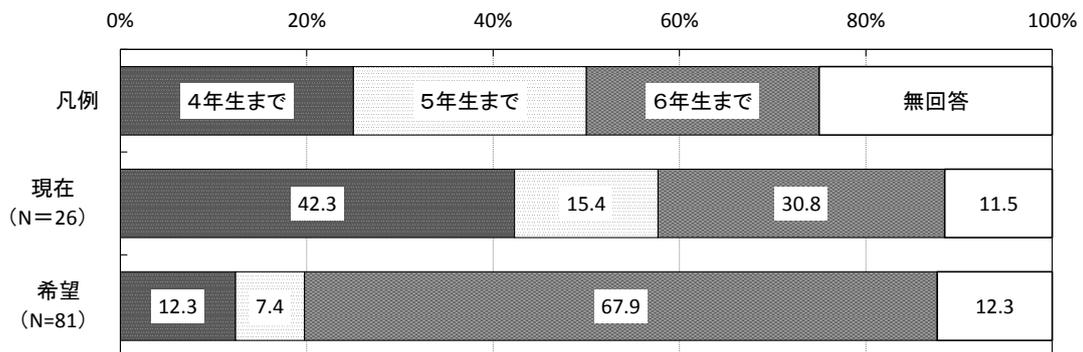
問11,12 高学年の児童センター週間利用状況と希望学年



5. 放課後子ども教室利用について

放課後子ども教室の週間利用状況をみると、4年生まで（利用している、利用していた）」が4割強（42.3%）と多くなっており、次いで、「6年生まで」が30.8%となっている。一方で、利用希望としては、「6年生まで（利用したい）」が7割弱（67.9%）を占め、6年生まで放課後子ども教室を利用したいとするニーズが高いことがうかがえる。

問11,12 放課後子ども教室の週間利用状況と希望学年



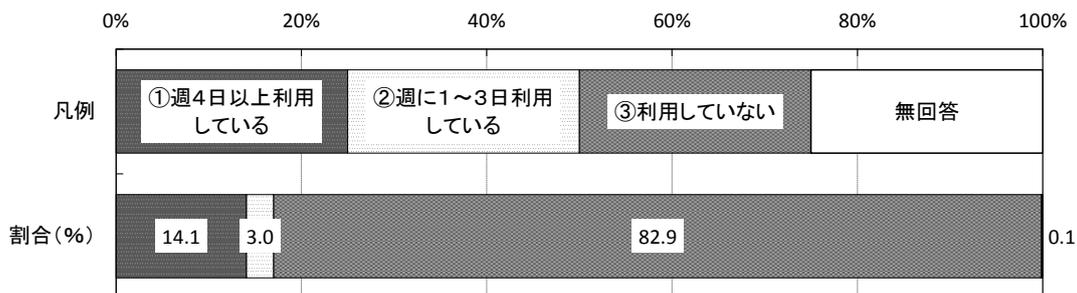
放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況や今後の利用希望についてうかがいます。

問13 平日、土曜日にお子さんは放課後児童クラブ（学童保育）を利用されていますか。

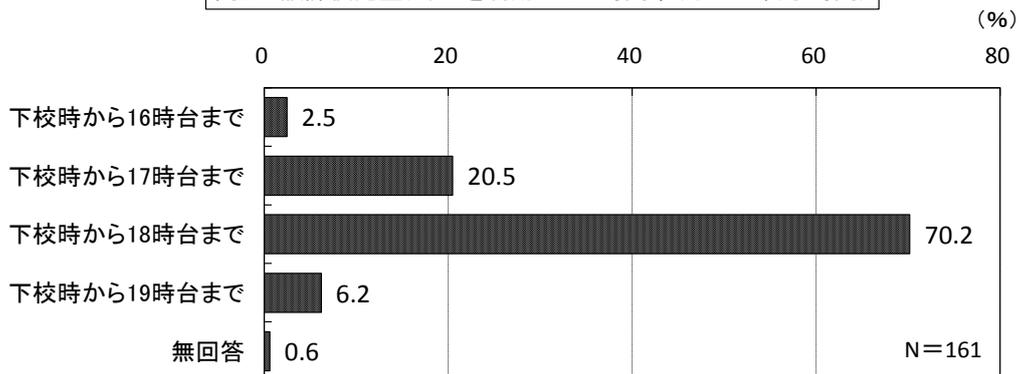
平日、土曜日の放課後児童クラブの利用経験や利用希望をみると、平日では「利用していない」が8割強(82.9%)で最も多くなっており、次いで、「週4日以上利用している」(14.1%)、「週1～3日利用している」(3.0%)となっている。

終了時間では、「18時台」が約7割(70.2%)と最も多くなっている。

問13 放課後児童クラブの利用経験や利用希望(平日)



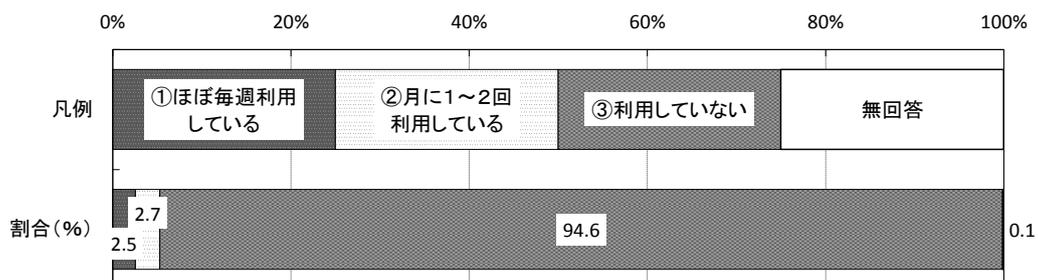
問13 放課後児童クラブを利用したい時間帯(平日の終了時間)



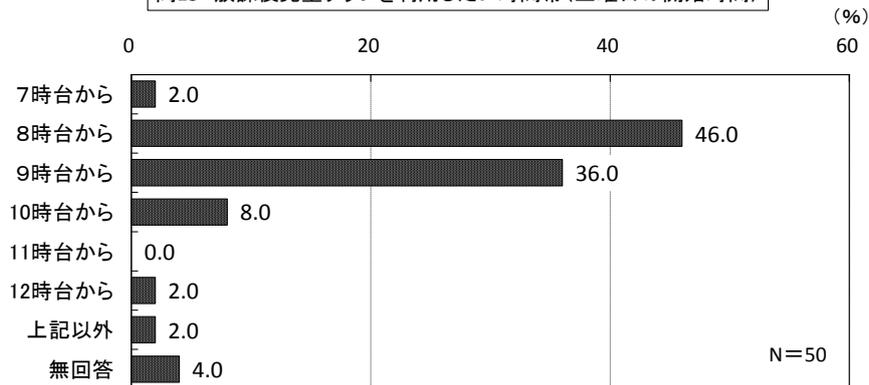
土曜日では、「利用していない」が94.6%とほとんどを占めている。

開始時間では、『8時台+9時台』が8割強(82.0%)でほとんどを占め、終了時間では、「16時台」(32.0%)、「17時台」(26.0%)が多くなっている。

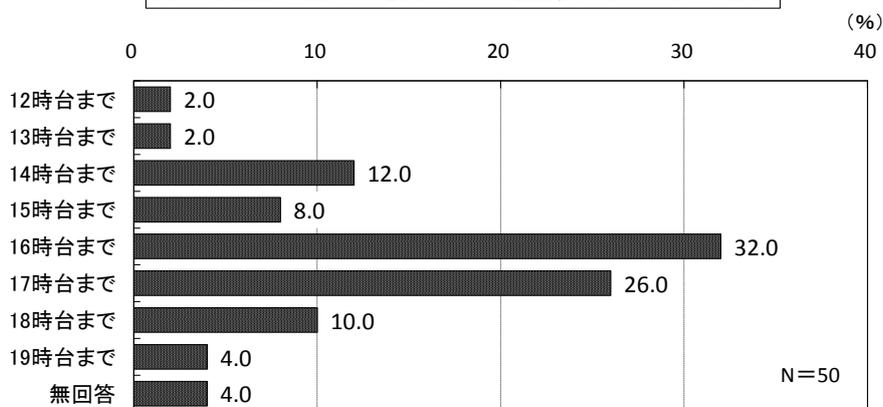
問13 放課後児童クラブの利用経験や利用希望(土曜日)



問13 放課後児童クラブを利用したい時間帯(土曜日の開始時間)



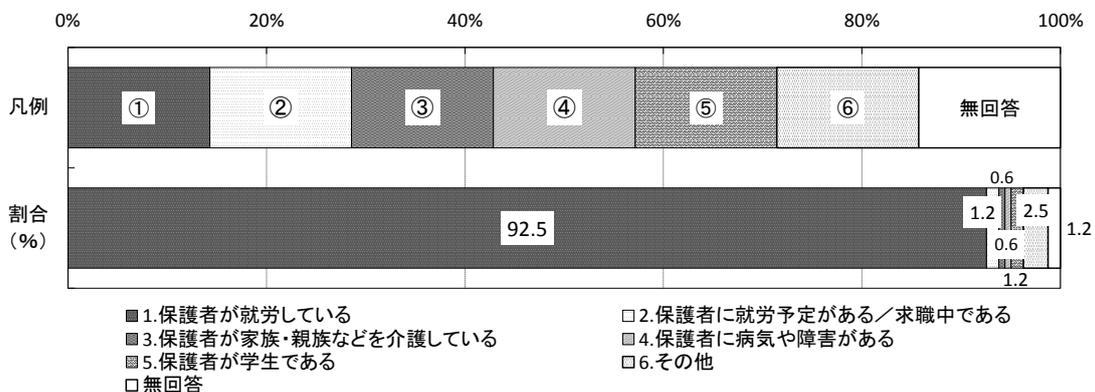
問13 放課後児童クラブを利用したい時間帯(土曜日の終了時間)



問 13 で、平日の「1. 週4日以上利用している」または「2. 週1~3日利用している」に○をつけた方にかがいます。
問 13-1 平日に放課後児童クラブ(学童保育)を利用されている理由についてうかがいます。

平日に放課後児童クラブ(児童保育)を利用している理由をみると、「保護者が現在就労している」が9割強(92.5%)でほとんどを占めている。

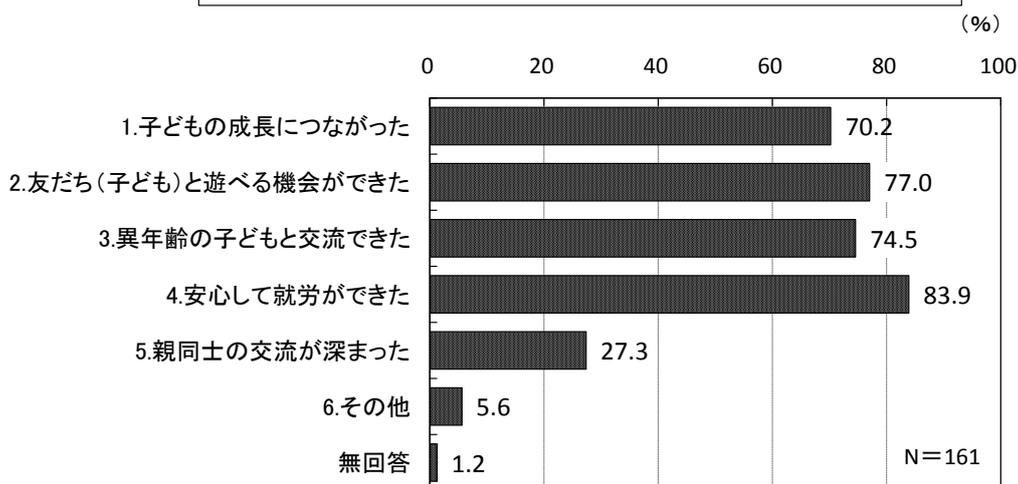
問13-1 平日に放課後児童クラブを利用したい理由



問 13-2 現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）を利用してよかったと感じることはありますか。

放課後児童クラブ（学童保育）を利用してよかったと感じることをみると、「安心して就労ができた」が8割強(83.9%)で最も多くなっている。次いで、「友だち（子ども）と遊べる機会ができた」(77.0%)、「異年齢の子どもと交流できた」(74.5%)、「子どもの成長につながった」(70.2%)となっている。

問13-2 放課後児童クラブ(学童保育)を利用してよかったこと(複数回答)

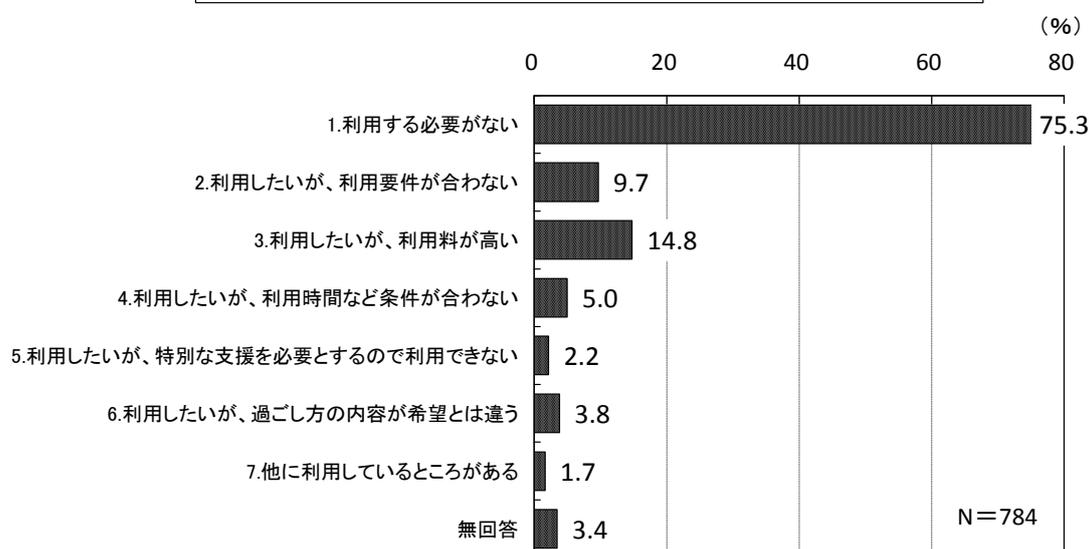


問 13 の平日で、「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-3 利用していない理由についてうかがいます。

放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由をみると、「利用する必要がない」が8割弱(75.3%)で最も多く、次いで、「利用したいが、利用料が高い」(14.8%)、「利用したいが、利用要件が合わない」(9.7%)と続いている。

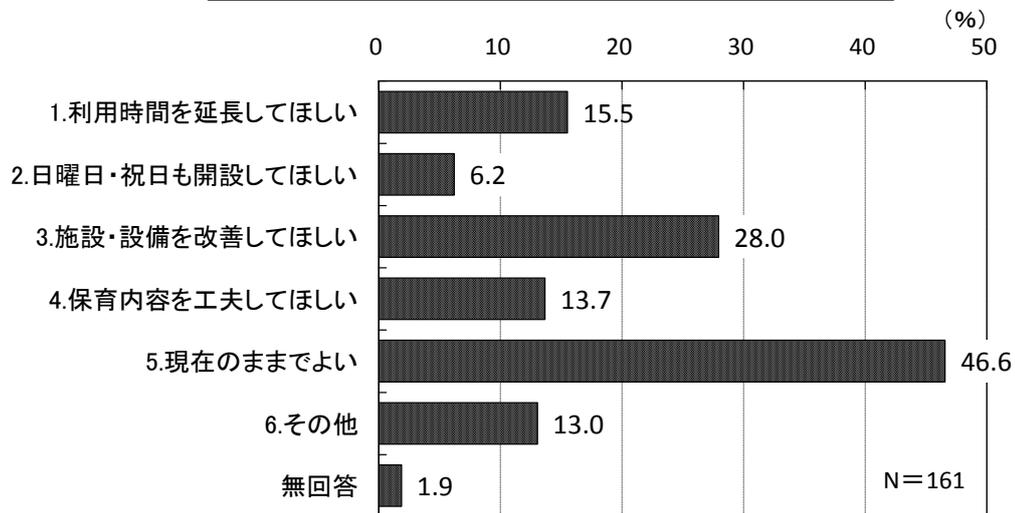
問13-3 放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由(複数回答)



問14 現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）に対して要望はありますか。

放課後児童クラブに対しての要望をみると「現在のままでよい」が5割弱(46.6%)で最も多くなっている一方で、「施設・設備を改善してほしい」(28.0%)、「利用時間を延長してほしい」(15.5%)とする要望も多くなっている。

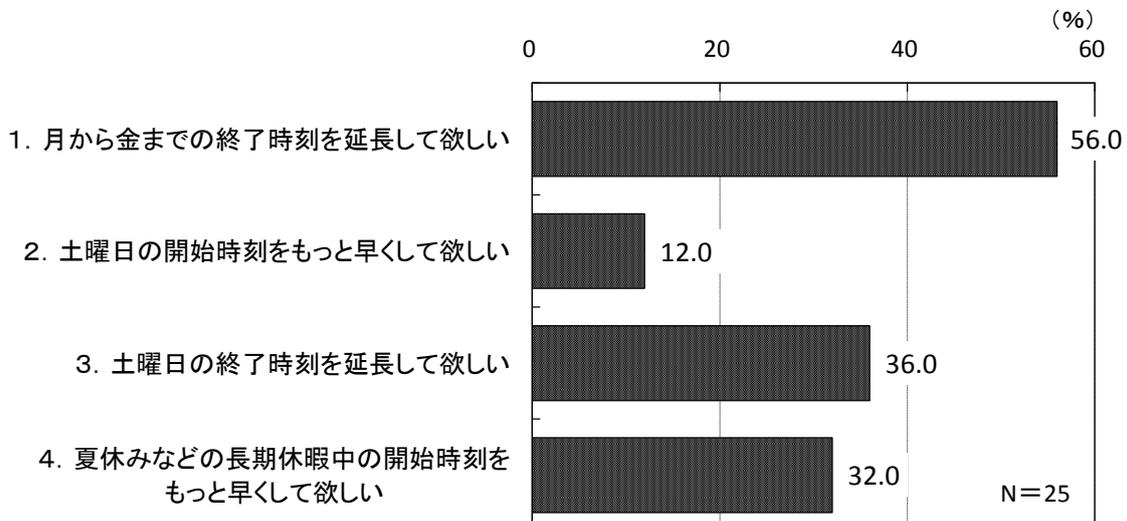
問14 放課後児童クラブ(学童保育)に対して要望(複数回答)



問14で、「1. 利用時間を延長してほしい」に○をつけた方にうかがいます。
問14-1 延長を希望されるのは、どの時間帯ですか。

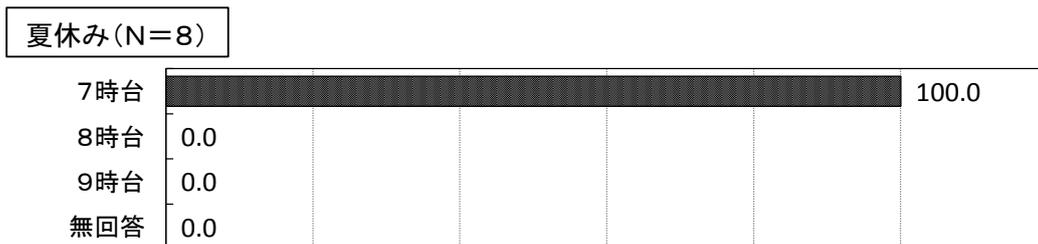
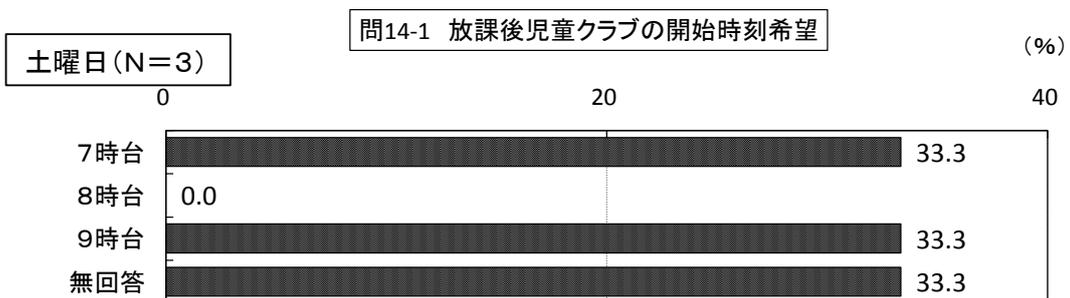
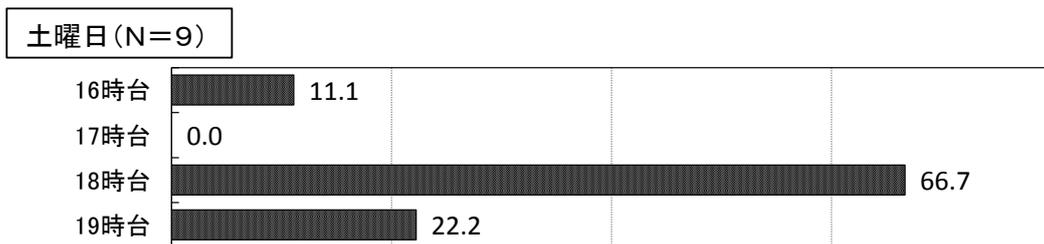
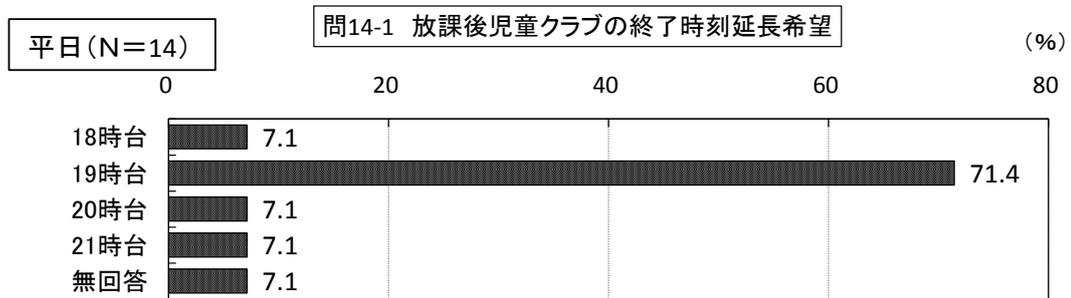
放課後児童クラブ利用時間延長の希望をみると、「月から金までの終了時刻を延長して欲しい」が6割弱(56.0%)で最も多くなっており、次いで、「土曜日の終了時刻を延長して欲しい」(36.0%)、「夏休みなどの長期休暇中の開始時刻をもっと早くして欲しい」(32.0%)と続いている。

問14-1 放課後児童クラブ利用時間延長の希望(複数回答)



放課後児童クラブの終了時刻延長希望の時間帯では、平日で「19時台」(71.4%)が最も多く、土曜日では、「18時台」(66.7%)が多くなっている。

長期休暇の開始時刻希望の時間帯では、「7時台」となっている。

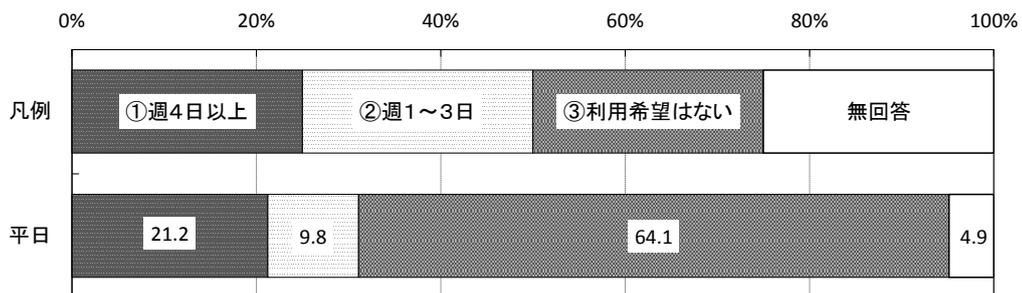


問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんは、平日、土曜日、日曜日、祝日、長期休暇（夏休みなど）に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望されますか。

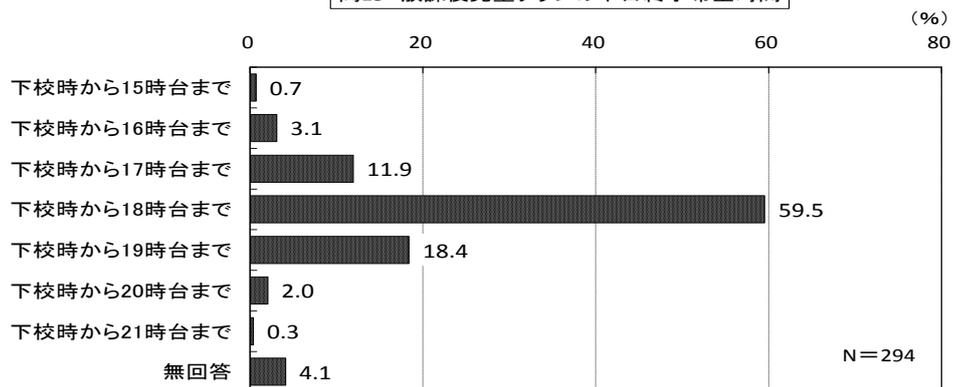
利用している、利用していないにかかわらず放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望を見ると、平日で「利用希望はない」が7割強(64.1%)と多くなっている。一方、「週4日以上」、「週1～3日」をあわせて3割強(31.0%)が『希望する』と回答している。

終了希望時間では、「18時台」が約6割(59.5%)で最も多くなっており、「17時台～19時台」に集中している。

問15 放課後児童クラブの平日の利用希望の有無

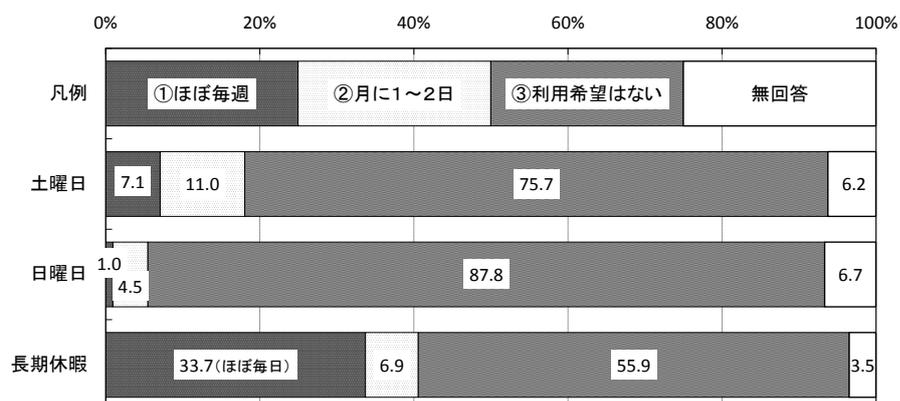


問15 放課後児童クラブの平日終了希望時間

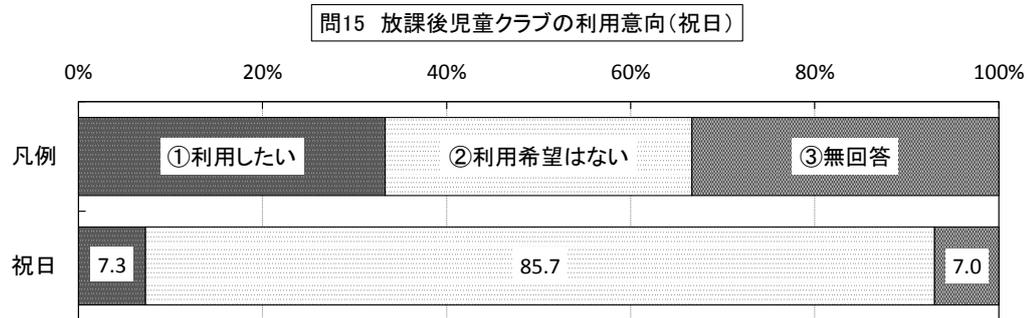


土曜日、日曜日、長期休暇ともに「利用希望はない」が最も多くなっているが、長期休暇では、『利用したい』（ほぼ毎日+月に1～2日）が約4割(40.6%)となっている。

問15 放課後児童クラブの利用意向（土曜日・日曜日・長期休暇）

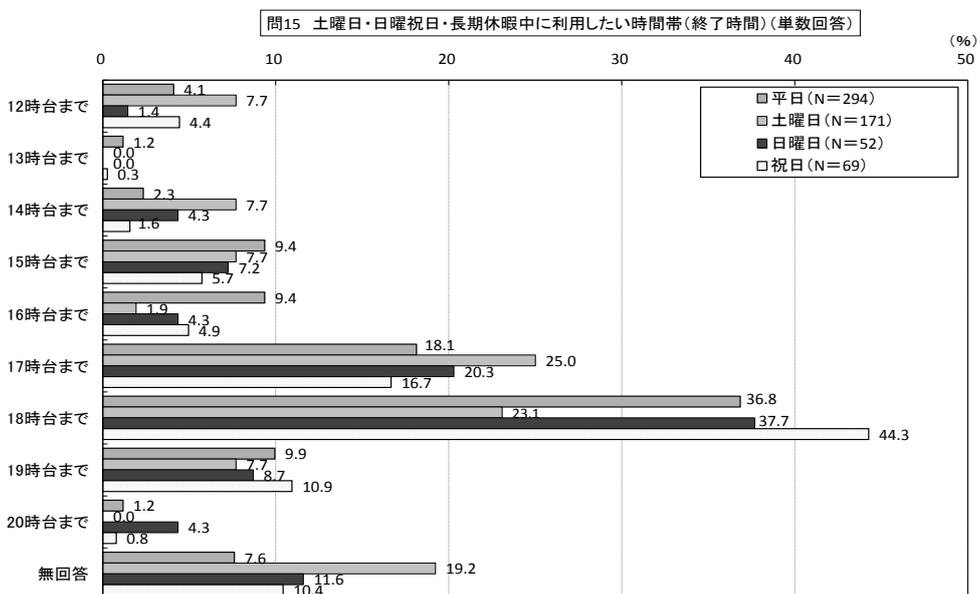
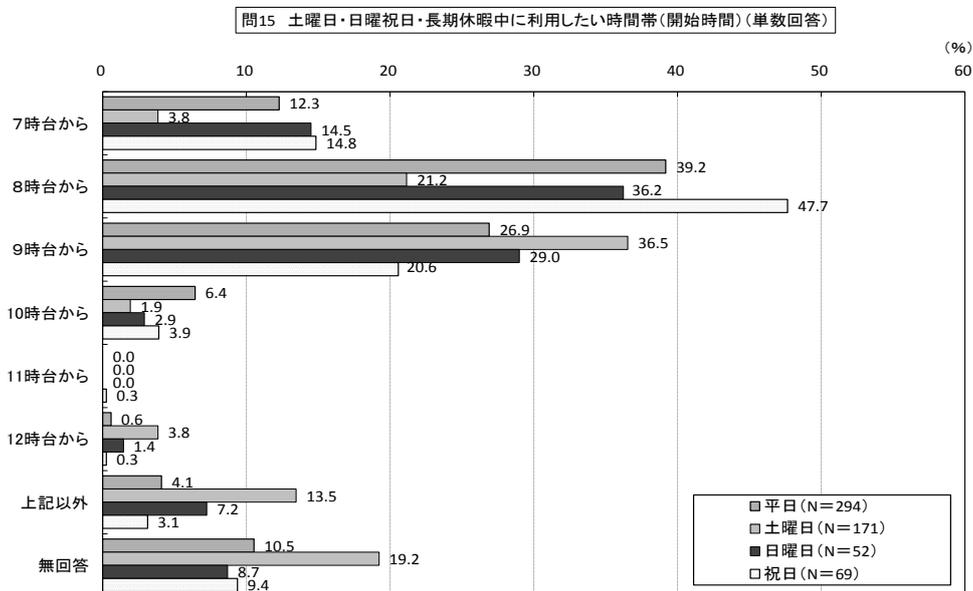


祝日では、「利用必要はない」が9割弱(85.7%)でほとんどを占めている一方で、「利用したい」も僅か(7.3%)にいる。

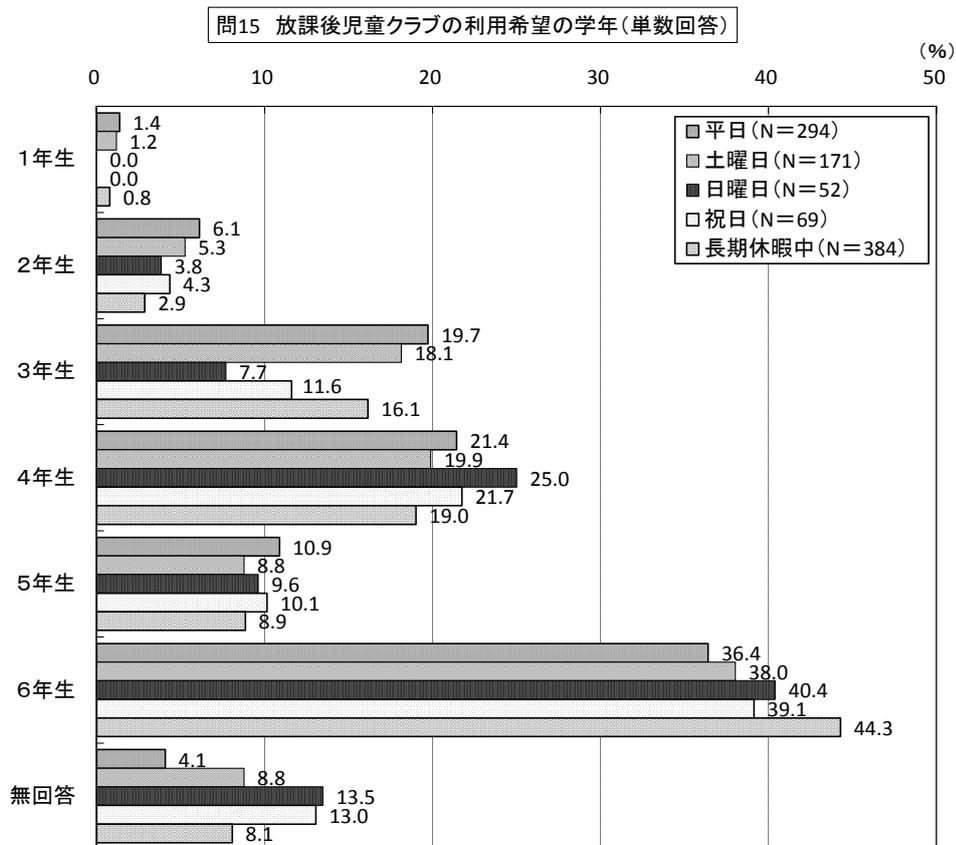


利用したい時間帯で開始時間をみると、すべての項目で『8時台+9時台』が多くなっている。

終了時間では、「17時台」、「18時台」が多くなっている。

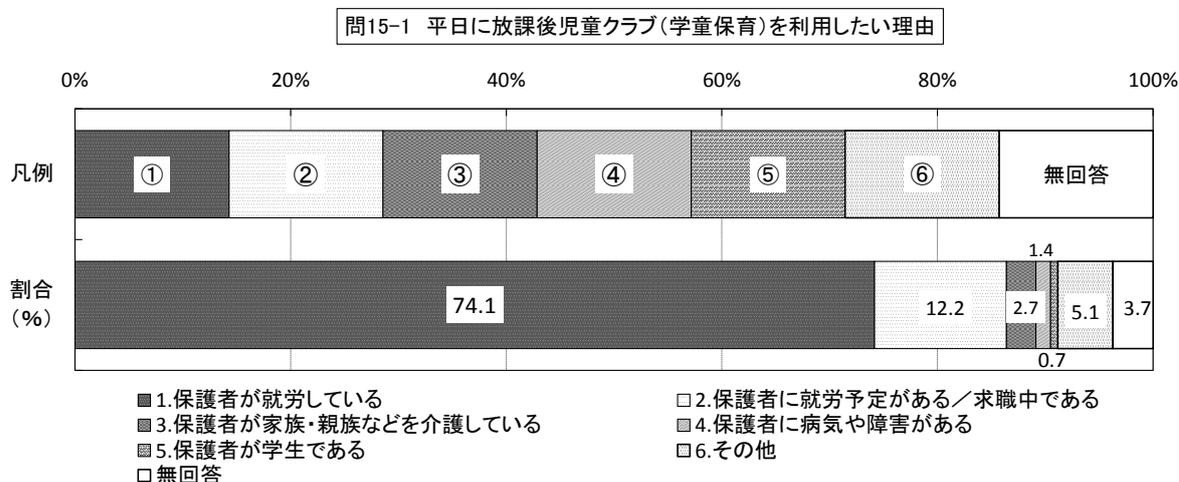


放課後児童クラブの利用希望を学年別でみると、「平日、土曜日、日曜日、祝日、長期休暇」それぞれの項目で、「小学校6年生」が最も多くなっている。



問 15 の平日で、「1. または 2.」に○をつけた方にうかがいます。
問 15—1 平日に放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい理由についてうかがいます。

平日に放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい理由をみると、「保護者が就労している」が7割強(74.1%)で最も多く、次いで、「保護者に就労予定がある/求職中である」(12.2%)となっており、就労面に関する理由の割合が高くなっている。

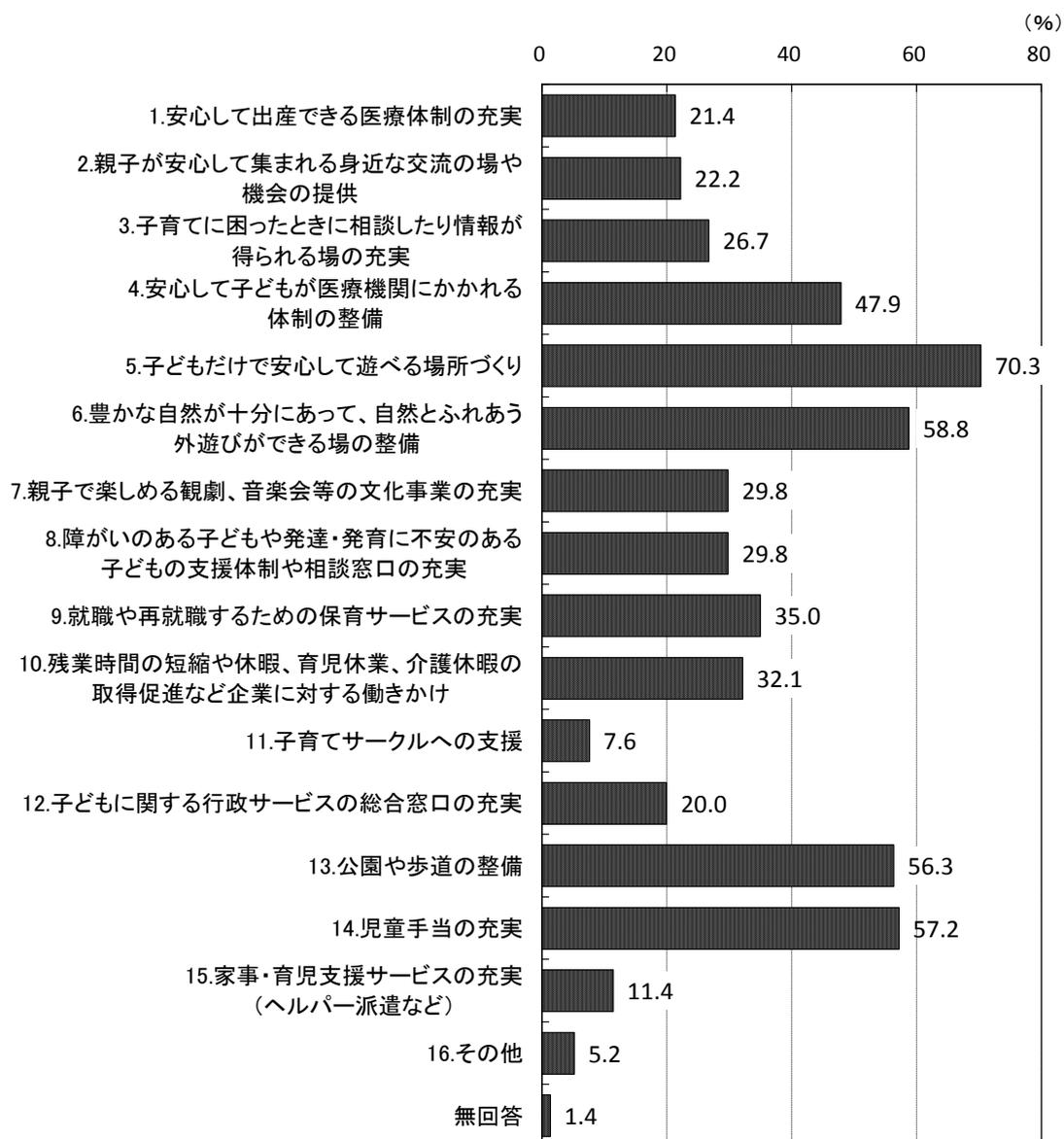


問16 子育て支援でもっと力を入れてほしいものは何ですか。

子育て支援でもっと力を入れてほしいものをみると、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が約7割(70.3%)で最も多く、次いで、「豊かな自然が十分にあって、自然とふれあう外遊びができる場の整備」(58.8%)、「児童手当の充実」(57.2%)、「公園や歩道の整備」(56.3%)がそれぞれ6割弱、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が5割弱(47.9%)と続いている。

安心して遊べる場所や自然とふれあえる場所、公園など周囲の環境整備を求める回答が多い一方で、児童手当や医療機関の整備など、子育て世帯が暮らしやすい支援を求める声も多くなっている。

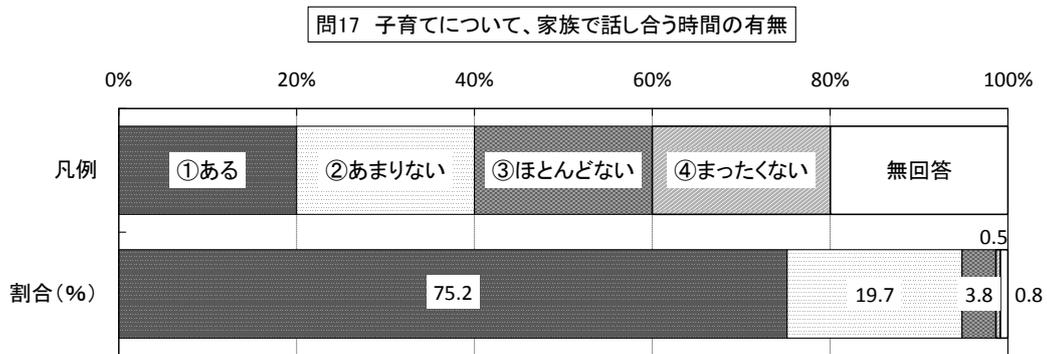
問16 子育て支援でもっと力を入れてほしいもの(複数回答)



子育てへの思いについてうかがいます。

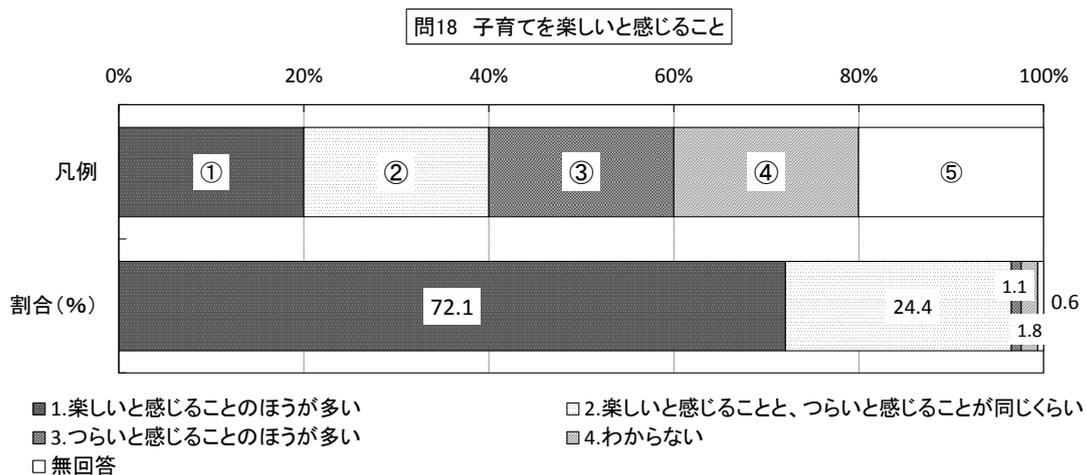
問17 子育てに関して情報を基に考えたり、家族で話し合ったりする時間はありますか。

子育てについて家族で話し合う時間については、「ある」が8割弱(75.2%)で最も多くなっている一方で、子育てについて家族で話し合う時間が「ほとんどない」(3.8%)も僅かにいる。



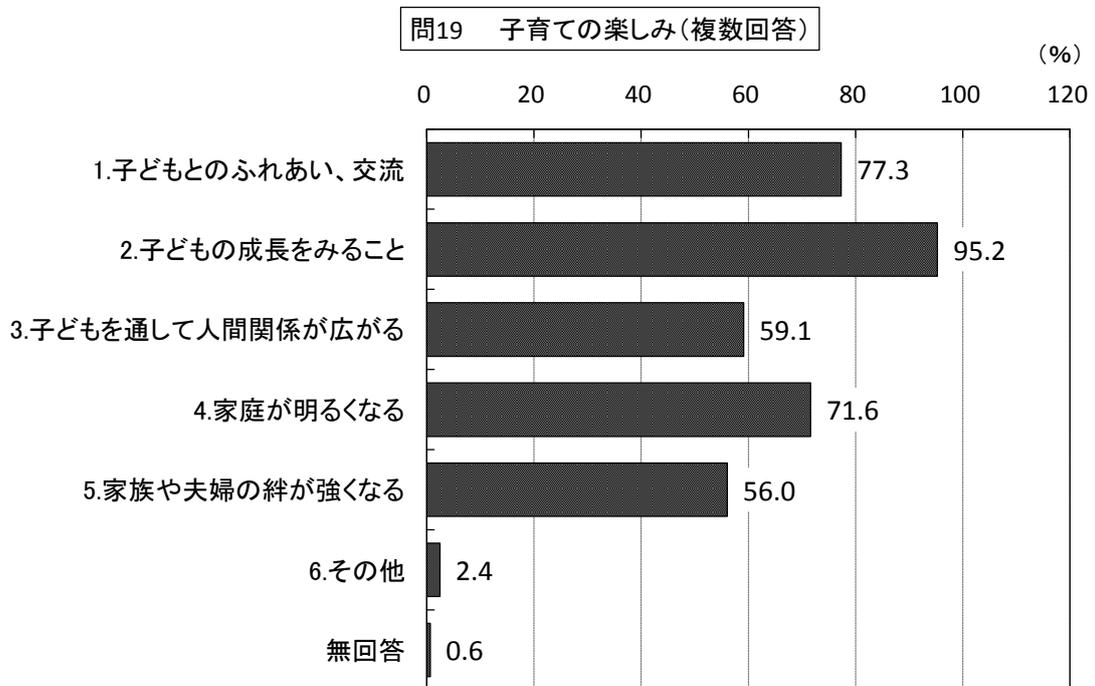
問18 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。

子育てを楽しんでいることについてみると、「楽しいと感じることが多い」が7割強(72.1%)で最も多くなっている一方で、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が2割強(24.4%)みられる。



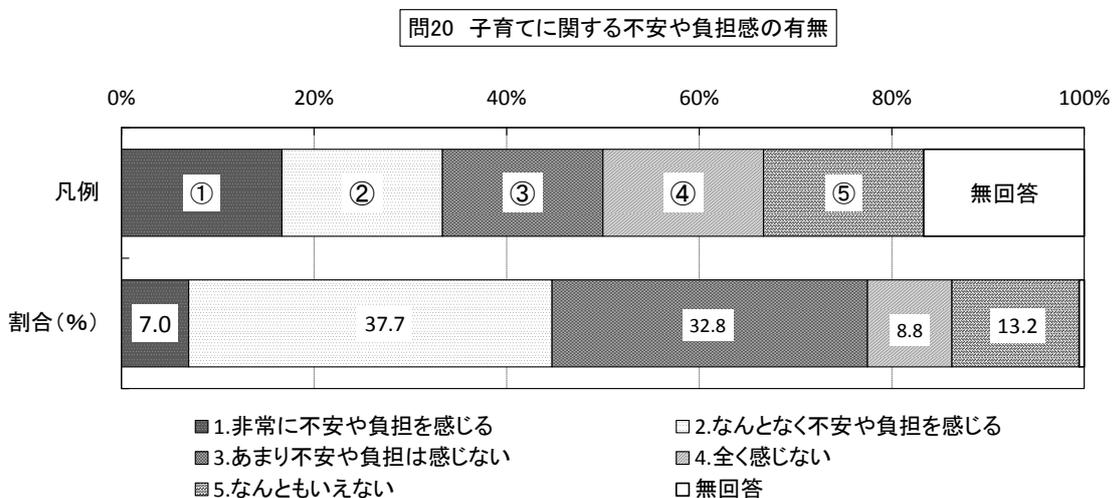
問19 子育ての楽しみはどんなことですか。

子育ての楽しみをみると、「子どもの成長をみること」が95.2%で最も多くなっており、次いで、「子どもとのふれあい、交流」(77.3%)、「家庭が明るくなる」(71.6%)、「子どもを通して人間関係が広がる」(59.1%)、「家族や夫婦の絆が強くなる」(56.0%)と続いている。



問20 子育てに関して不安や負担などを感じますか。

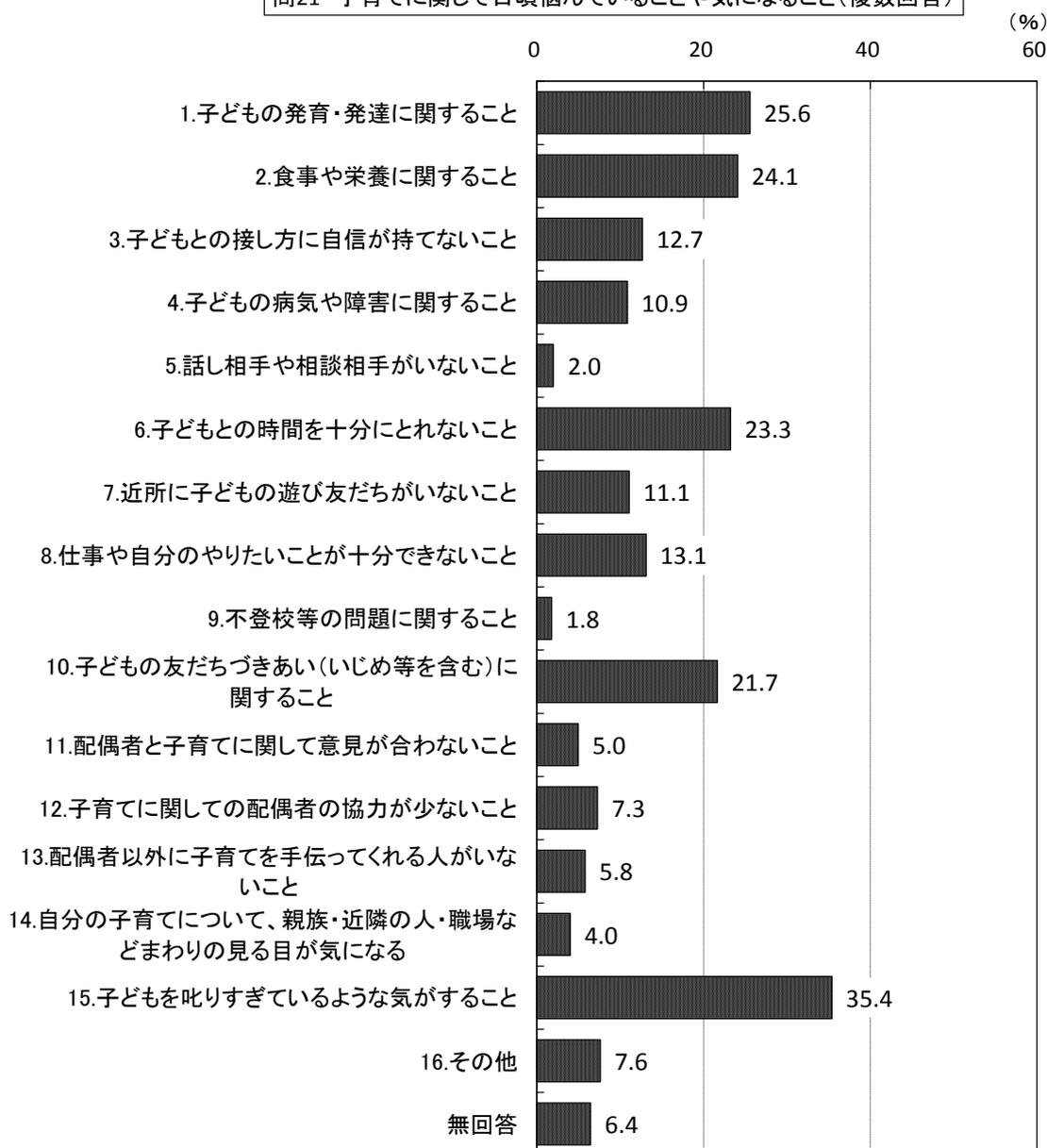
子育てに関する不安や負担などをみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が4割弱(37.7%)で多く、次いで、「あまり不安や負担は感じない」が3割強(32.8%)となっている。一方で、「非常に不安や負担を感じる」が1割弱(7.0%)みられる。



問21 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。

子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることをみると、「子どもを叱りすぎているような気がする」と(35.4%)が最も多く、4割弱が子どもを叱りすぎているのではと悩んでいる。次いで、「1. 子どもの発育・発達に関すること」(25.6%)、「2. 食事や栄養に関すること」(24.1%)、「6. 子どもとの時間を十分にとれないこと」(23.3%)、「10. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」(21.7%)と続いている。

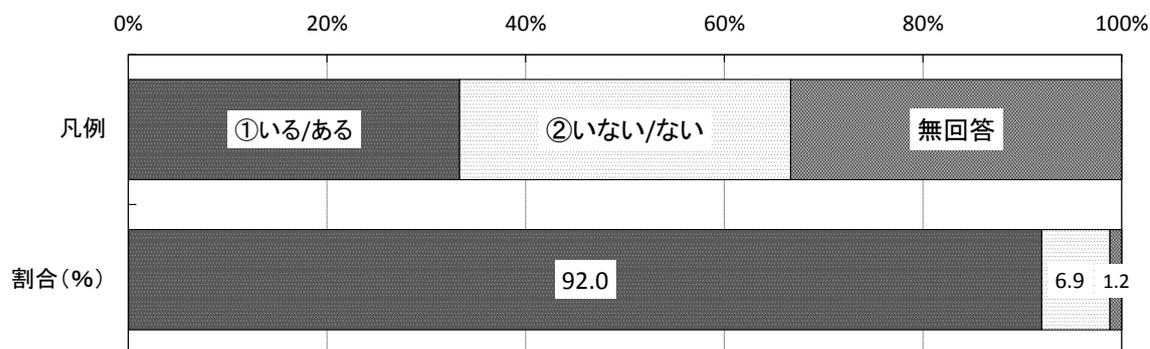
問21 子育てに関して日頃悩んでいることや気になること(複数回答)



問 22 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。

子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）の有無をみると、「いる／ある」が 92.0% でほとんどを占めている。一方で、「いない／ない」(6.9%)が僅かにみられる。

問22 気軽に相談できる人・場所の有無

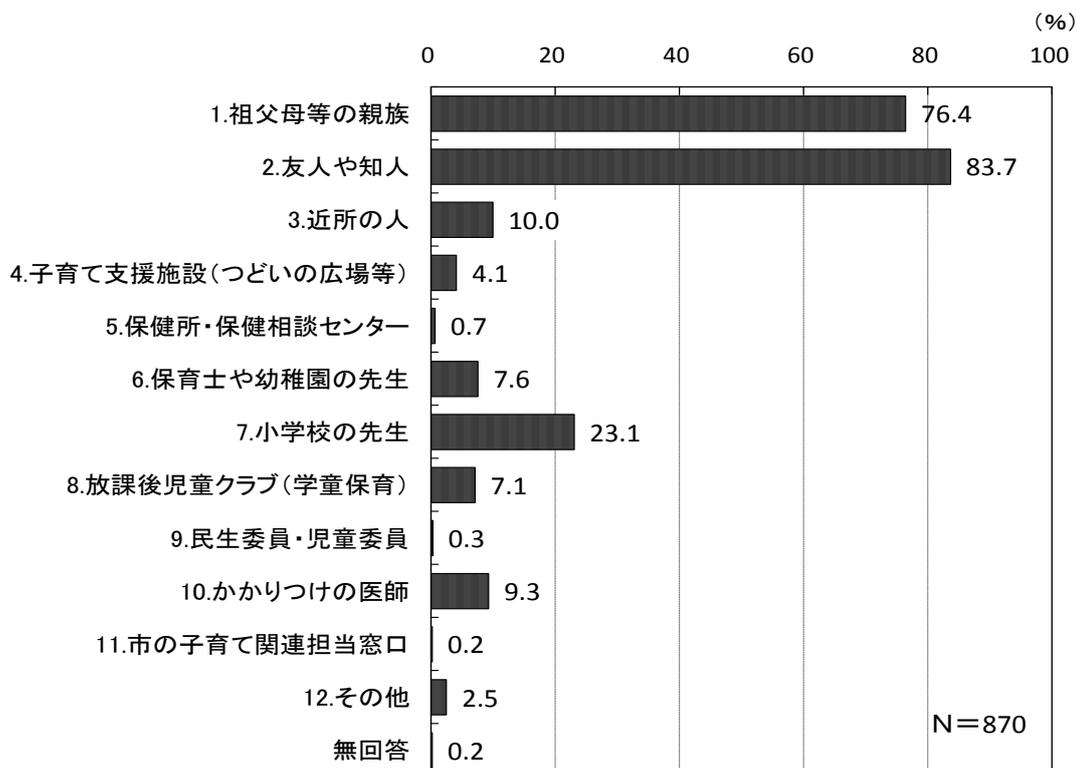


問 22 で、「1.」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。

気軽に相談できる人（どこ）をみると、「友人や知人」(83.7%)や「祖父母等や親族」が(76.4%)が多くそれぞれ8割程度となっており、次いで「小学校の先生」が2割強(23.1%)と続いている。

問22-1 気軽に相談できる人(どこ)

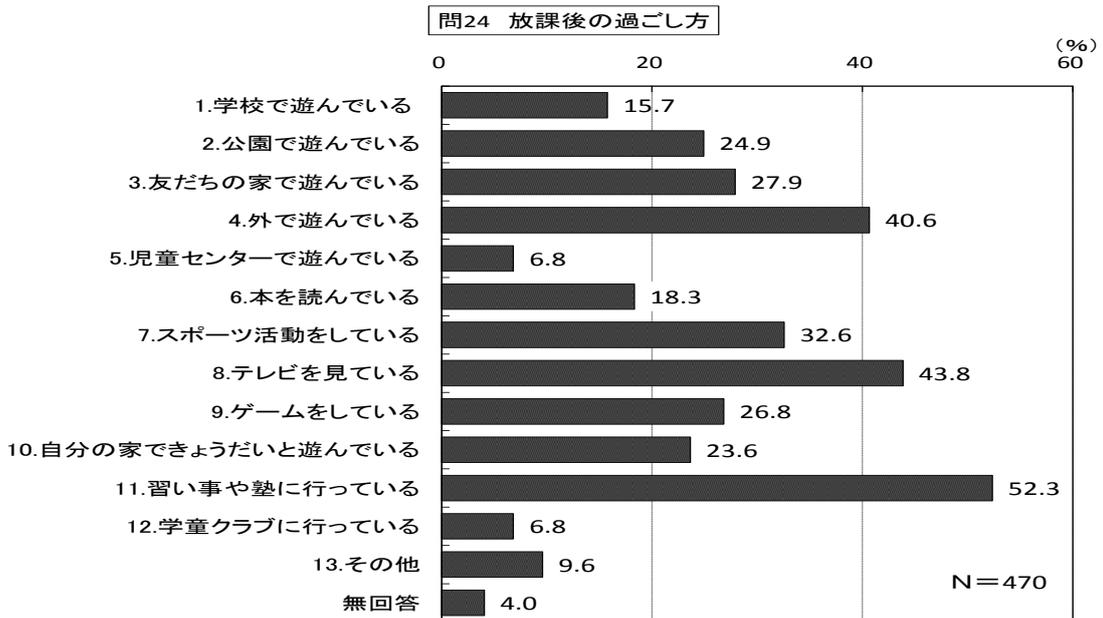


ここから先は宛名のお子さん(小学校4年生～6年生)に回答いただいた項目です。

放課後の過ごし方についてうかがいます。

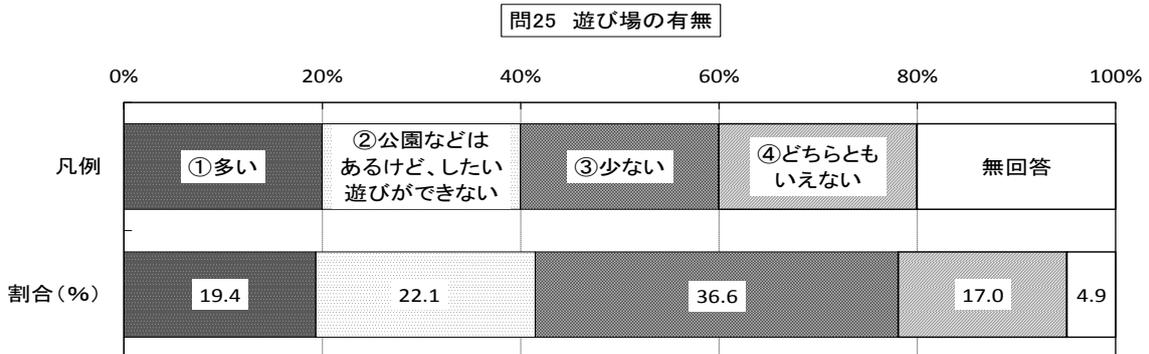
問24 放課後は何ほうかごをしてなに過ごすことすが多いおおですか。

放課後の過ごし方をみると、「習い事や塾に行っている」が5割強(52.3%)で多く、次いで、「テレビを見ている」が4割強(43.8%)、「外で遊んでいる」が約4割(40.6%)、「スポーツ活動をしている」が3割強(32.6%)と続いている



問25 今住んでいるところは遊び場あそびが多いおおですか。

遊び場の有無についてみると、「少ない」が4割弱(36.6%)で最も多く、次いで、「公園などはあるけど、したい遊びができない」(22.1%)、「多い」(19.4%)、「どちらともいえない」(17.0%)となっている。



問26 ^{ちか}近くにあったらよいと ^{おも}思う ^{あそ}遊び場などはどのようなものですか。

近くにあったらよいと思う遊び場をみると、「プールやグラウンドなどのスポーツができるところ」が6割弱(56.8%)で多く、次いで、「ボール遊びや鬼ごっこができる空き地や原っぱ」(49.1%)、「自分たちだけでの映画や劇が見られるところ」(42.1%)、「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」(39.4%)と続いている。

問26 近くにあったらよいと思う遊び場

